

平成 25 年度

裾野市市民意識調査  
報告書



平成 26 年 3 月

裾野市



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査対象 .....	1
3 調査期間 .....	1
4 調査方法 .....	1
5 回収状況 .....	1
6 調査結果の表示方法 .....	1
<b>II 調査結果のまとめ</b> .....	<b>2</b>
<b>III 調査結果</b> .....	<b>3</b>
回答者の属性 .....	3
1 市の政策全体について .....	6
2 満足度・重要度調査について .....	8
①お住まいの周辺環境について（住環境） .....	8
②裾野市の取り組みについて（市施策） .....	48
3 健康について .....	104
4 スポーツ活動について .....	108
5 住宅用火災警報器の設置について .....	116
6 屋外広告物について .....	120
7 市営墓地について .....	128
<b>III 参考資料</b> .....	<b>133</b>
1 調査票 .....	133



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

平成 25 年度の裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、諸施策推進のための基礎資料を得ることを目的としています。

## 2 調査対象

本調査は、20 歳以上の市民から無作為に抽出した 1,000 人を対象に実施しました。

## 3 調査期間

平成 26 年 1 月 21 日に発送し、平成 26 年 2 月 4 日を投函締切としました。


## 4 調査方法

郵送配布、郵送回収

## 5 回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
1,000 票	583 票	58.3%

## 6 調査結果の表示方法

- ・集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

## II 調査結果のまとめ

### << 重要度・満足度調査 >>

#### ■住環境改善の重要課題は、鉄道・バス、道路網・歩道、地震災害対策

「鉄道やバスの便利さ」「道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況」「地震災害に強いまちづくり」は、前回・前々回に引き続き満足度が低く、重要度が高い項目であり、重要課題として検討する必要性が高くなっています。なかでも「鉄道やバスの便利さ」については、点数差が前回よりも大きいことから、必要性が高まっています。

#### ■市施策に満足している人の割合より、満足していない人の割合が高い。

市の政策全体について満足している人は 22.3%、満足していない人は 26.0%と、満足している人を満足していない人が上回っており、前回調査から逆転しています。

#### ■市施策の重要課題は、財政運営の効率化、土地利用、商業地づくり・ブランドづくり

「市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化」「市内の土地利用のバランスの良さ」「にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進」は、満足度が低く重要度が高い項目であり、今後の重要課題として検討する必要性が高いと考えられます。

### << 特集調査 >>

#### ■健康でないと感じる人が 11.8%。

自分が「健康でない」の割合は 11.8%と前回調査よりも低くなっています。また、悩み事の相談相手がいる人が 79.6%、かかりつけ医がいる人が 64.5%となっています。

#### ■スポーツ活動をしていない人は 40.8%。

この1年間でのスポーツ活動では「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が 40.8%にのびます。運動をしていない理由としては「仕事などで忙しく時間がない」「場所や施設が近くにない」「はじめるきっかけがない」が多くなっています。

#### ■住宅用火災警報器を設定していない住宅は 27.3%。

住宅用火災報知器が設置されていない住宅は 27.3%と、前回調査から横ばいとなっています。設置していない理由としては、「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」「設置費用負担が大きい」「設置が義務化されていることを知らなかった」「自分で設置することは難しい」となっています。

#### ■屋外広告物をより規制することに賛成する人が5割強。

「規制が必要な地区や道路区間などを対象として、きめ細かに規制したほうが良い」「市域全域で厳しく規制したほうが良い」とより規制を加えるべきとする人が 55.6%となっています。規制する内容は、看板を設置しない地域・地区、大きさや形状、設置される具体的な場所がそれぞれ 4割となっています。

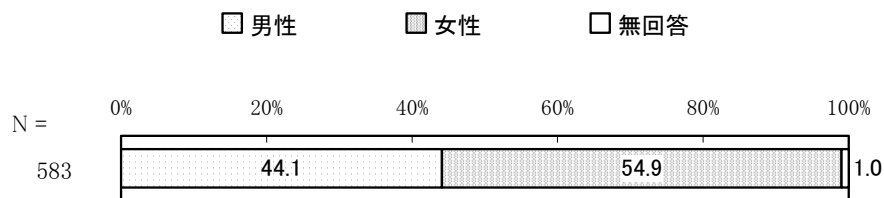
#### ■お墓の購入を考えている人のうち、市営墓地の購入を希望する人は約2割。

お墓を持っていない人は 36.7%で、そのうちお墓の購入を考えている人が 19.2%です。また、その中で市営墓地購入を希望する人が 19.5%、検討している人が 14.6%となっています。

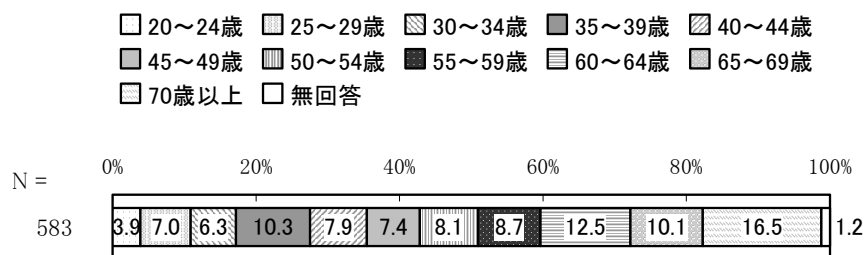
### Ⅲ 調査結果

#### 回答者の属性

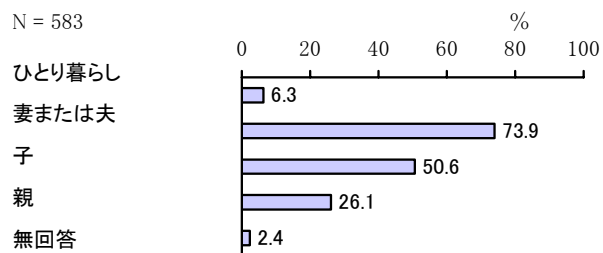
##### 性別



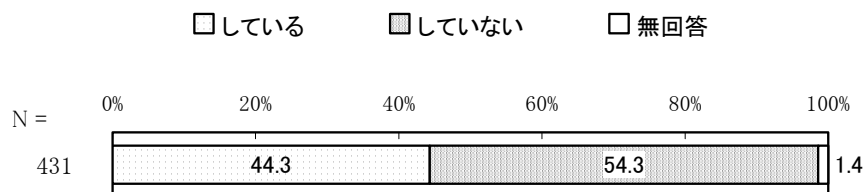
##### 年齢



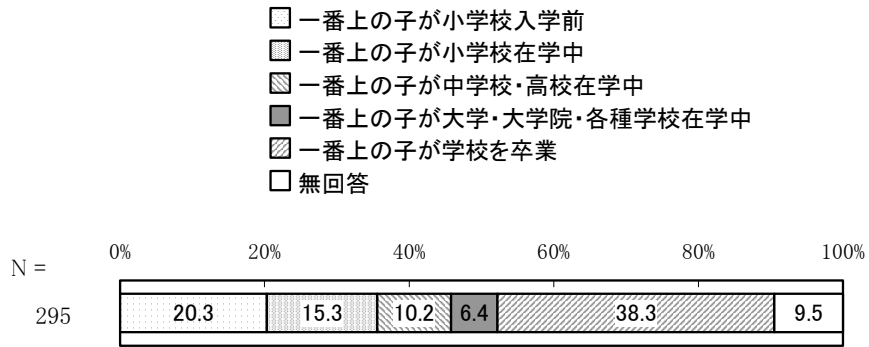
##### 同居の状況



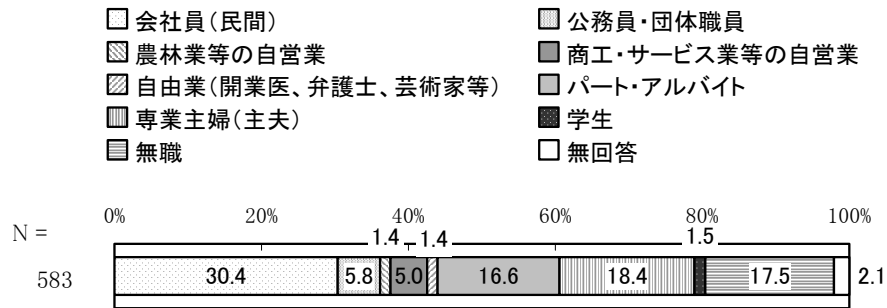
##### 共働きの状況



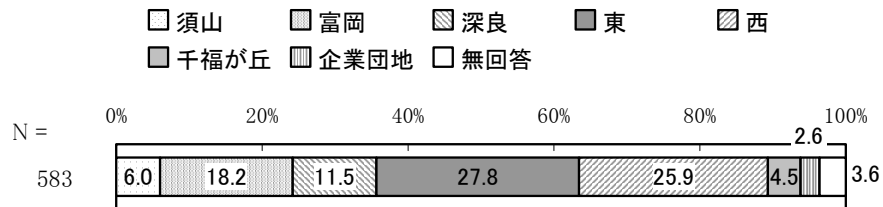
## 子どもの状況



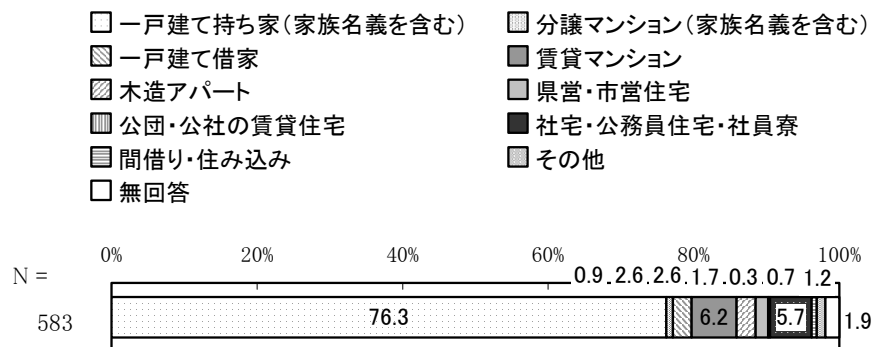
## 就労の状況



## 居住地区

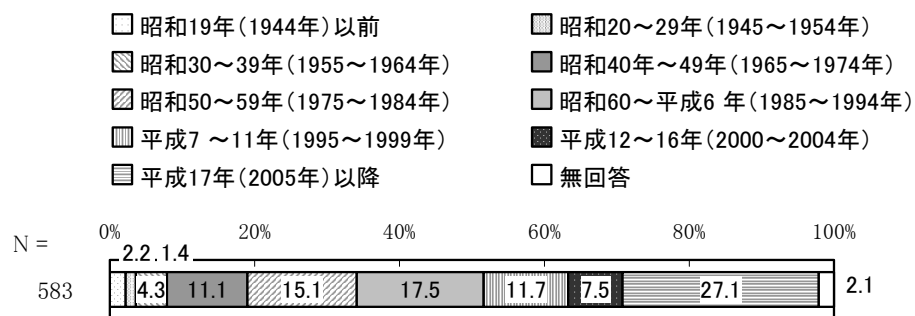


## 住宅の状況

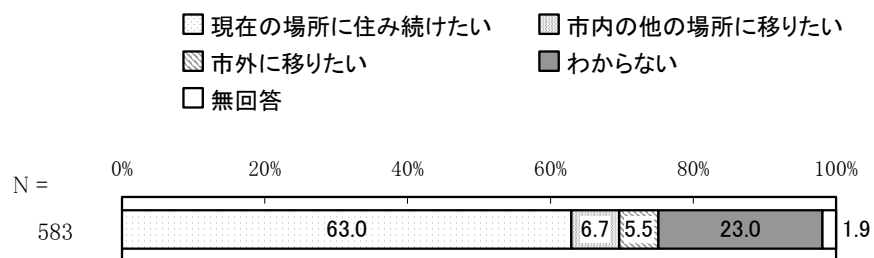




## 居住年数の状況



## 移転希望の状況

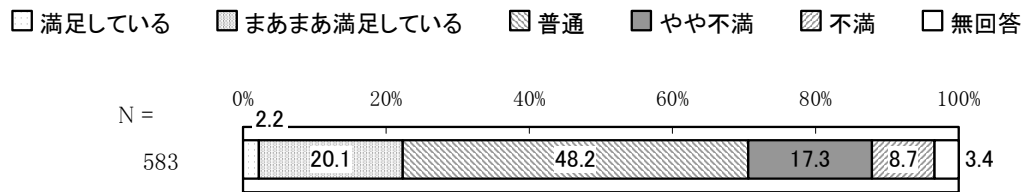


# 1 市の政策全体について

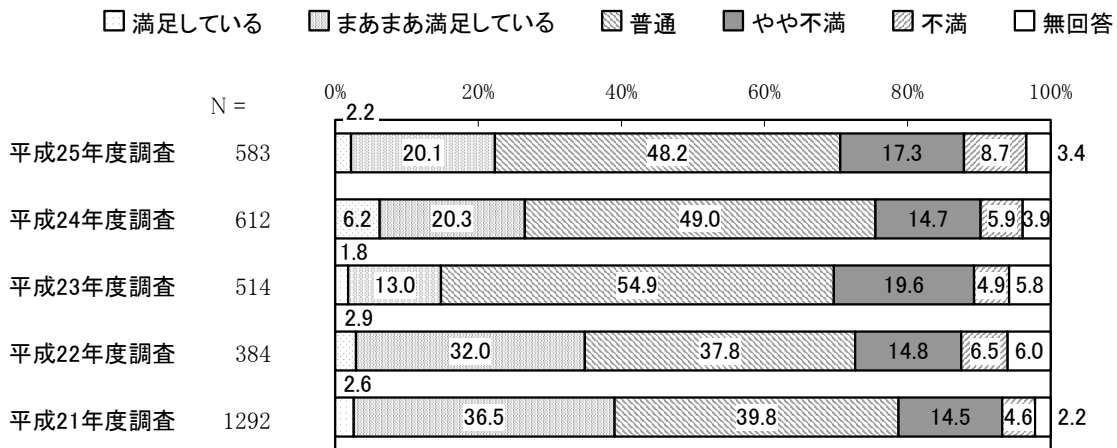
## 問9 裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(〇は1つ)

市の施策全体の満足度については、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が22.3%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が26.0%となり、“不満”の割合の方が高くなっています。

満足度を比較すると、平成22年度から平成23年度にかけて減少しましたが平成24年度に増加し、平成25年度に再び減少しています。不満度は平成21年度より、2割程度で推移しています。

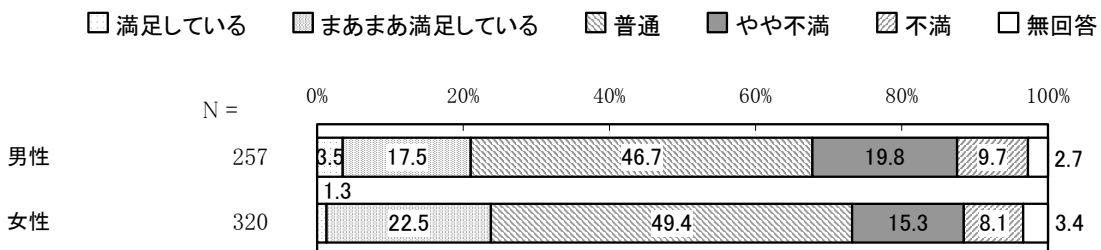


### 【経年比較】



### 【性別】

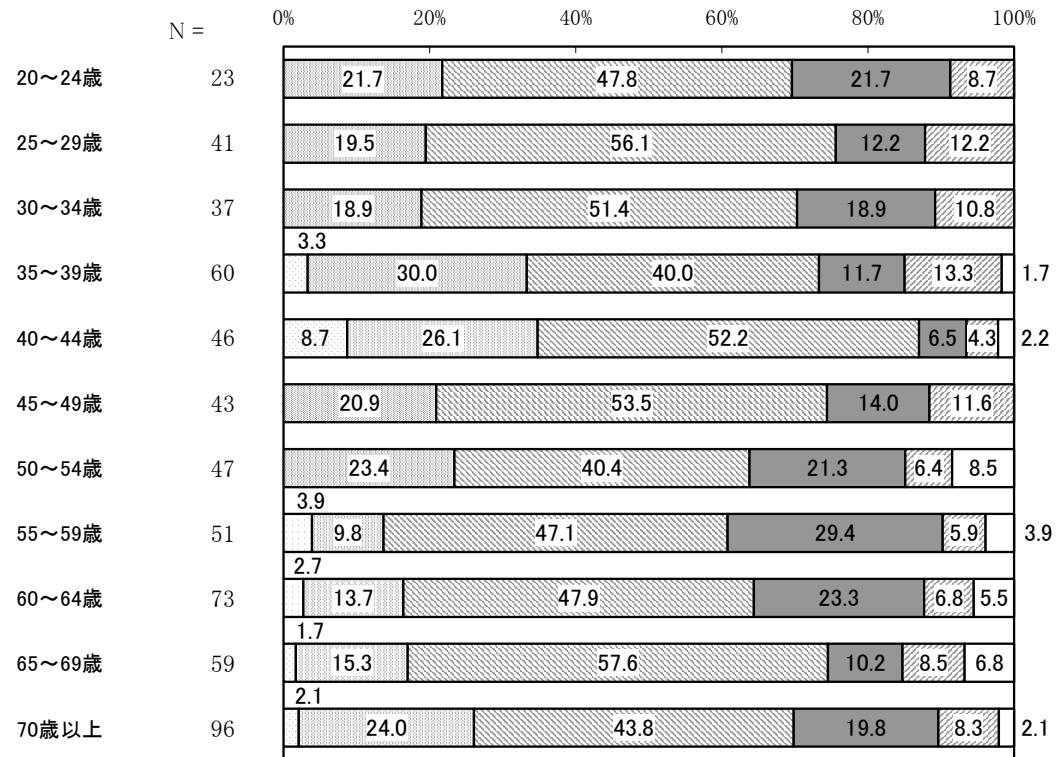
性別で見ると、女性に比べ、男性で“不満”が高くなっています。



## 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳、40～44歳で“満足”の割合が高くなっています。一方、55～59歳で“不満”の割合が高くなっています。

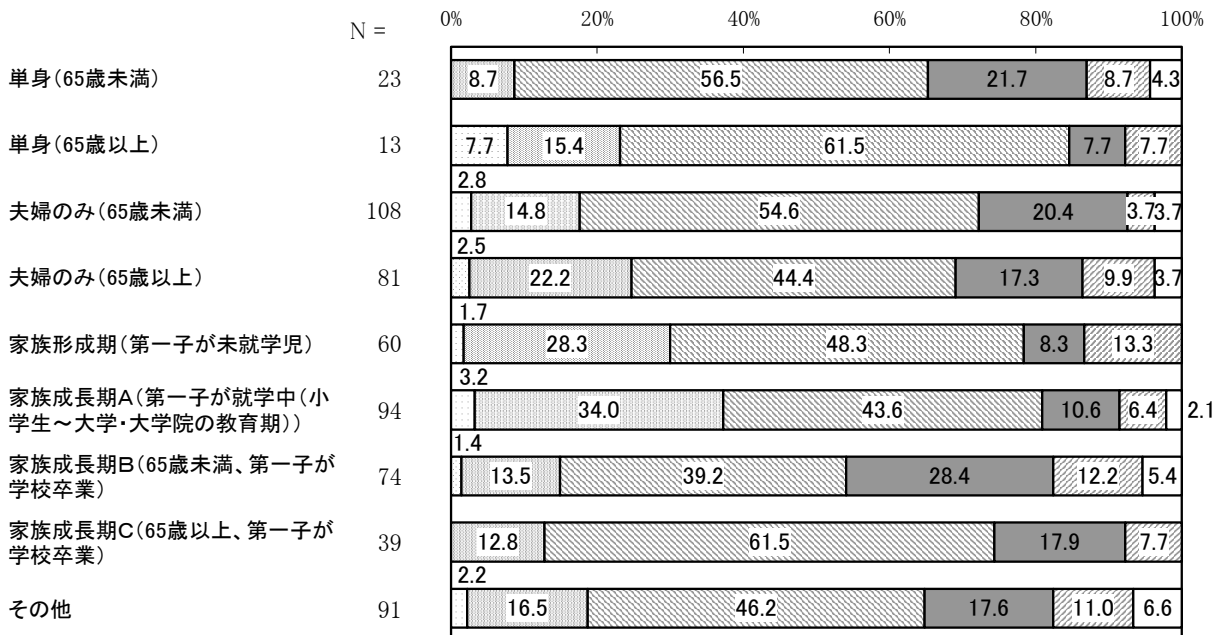
□ 満足している   □ まあまあ満足している   □ 普通   □ やや不満   □ 不満   □ 無回答



## 【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“満足”の割合が高くなっています。また、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高くなっています。

□ 満足している   □ まあまあ満足している   □ 普通   □ やや不満   □ 不満   □ 無回答



## 2 満足度・重要度調査について

### ① お住まいの周辺環境について（住環境）

問10 近隣市町にある公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めた、周辺環境についてお答えください。（満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ〇は1つずつ）

#### 現状の満足度と今後の重要度

現状の評価と重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

各項目の回答者に下表の点数をかけて合計し、回答者総数で割った平均値を得点とします。

現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

#### 満足度&重要度ベスト3

満足度		
順位	事業名	得点
1	身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.50
2	必要な時に適切な医療が受けられる環境	0.35
3	空気や河川の水のきれいさ	0.35

重要度		
順位	事業名	得点
1	必要な時に適切な医療が受けられる環境	1.66
2	犯罪のおきにくい安心なまちづくり	1.55
3	地震災害に強いまちづくり	1.53

#### 満足度が低く重要度が高い項目（今後、重点課題として検討が必要）

順位	事業名	満足度	重要度	点数差※
1	鉄道やバスの便利さ	-0.87	1.16	-2.03
2	道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.65	1.30	-1.95
3	地震災害に強いまちづくり	-0.20	1.53	-1.73

※点数差：満足度から重要度を引いたもの。点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

## 満足度・重要度による順位

満足度	点数	順位	点数	重要度
身近に住んでいる外国人とのトラブルの少な さ	0.50	1	1.66	必要な時に適切な医療が受けられる環境
必要な時に適切な医療が受けられる環境	0.35	2	1.55	犯罪のおきにくい安心なまちづくり
空気や河川の水のきれいさ	0.35	3	1.53	地震災害に強いまちづくり
不安のない消防体制と救急体制の充実	0.33	4	1.49	不安のない消防体制と救急体制の充実
「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少な さ」	0.29	5	1.39	交通安全( 交通教育やカーブミラーなどの安 全施設) への取り組み
誰もが平等に情報を受け取ることができる ( 広報紙・無線、ホームページ、メールなど) 環境	0.20	6	1.30	道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況
トラブルのない、安全で豊かな消費生活	0.10	7	1.29	「近くで買い物ができる」「家の周りが静か」な ど、まちの環境の快適度
犯罪のおきにくい安心なまちづくり	0.09	8	1.24	空気や河川の水のきれいさ
区などが実施する地域コミュニティ活動( 環境 美化活動、地域防災訓練など) への参加のし やすさ	0.07	9	1.20	「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少な さ」
まちなみや自然の景観の美しさ	0.07	10	1.18	近隣住民が共に支えあう地域福祉
近隣住民が共に支えあう地域福祉	-0.01	11	1.18	トラブルのない、安全で豊かな消費生活
河川や水路の整備状況	-0.01	12	1.16	鉄道やバスの便利さ
「近くで買い物ができる」「家の周りが静か」な ど、まちの環境の快適度	-0.04	13	1.11	誰もが暮らしやすい住宅環境の整備
交通安全( 交通教育やカーブミラーなどの安 全施設) への取り組み	-0.12	14	1.07	河川や水路の整備状況
地震災害に強いまちづくり	-0.20	15	0.98	区などが実施する地域コミュニティ活動( 環境 美化活動、地域防災訓練など) への参加のし やすさ
誰もが暮らしやすい住宅環境の整備	-0.22	16	0.97	誰もが平等に情報を受け取ることができる ( 広報紙・無線、ホームページ、メールなど) 環境
公園などの身近な緑地の環境整備	-0.39	17	0.95	公園などの身近な緑地の環境整備
道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.65	18	0.95	まちなみや自然の景観の美しさ
鉄道やバスの便利さ	-0.87	19	0.87	身近に住んでいる外国人とのトラブルの少な さ

## 【問 10 満足度】

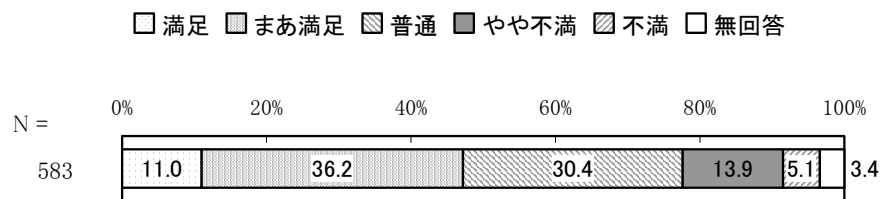
### (1) 必要な時に適切な医療が受けられる環境

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約5割となっています。

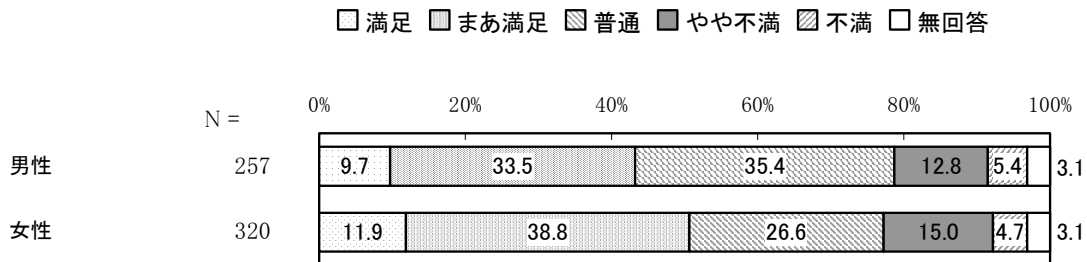
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“満足”の割合が高くなっています。一方、50～54歳、歳で“不満”の割合が高くなっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“満足”の割合が高く、約6割となっています。

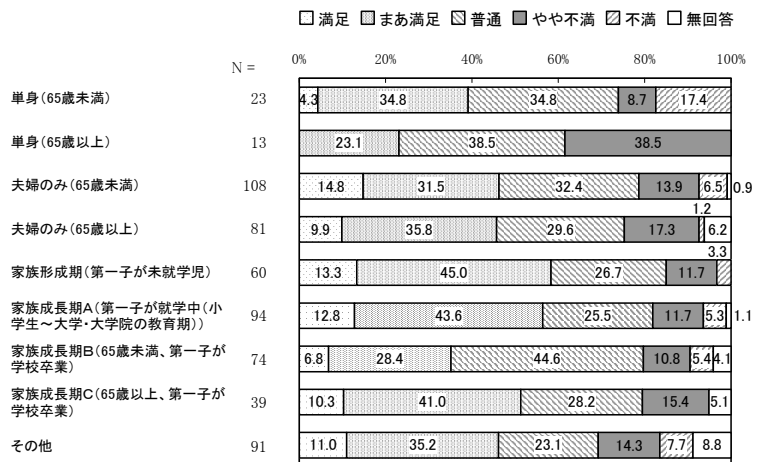
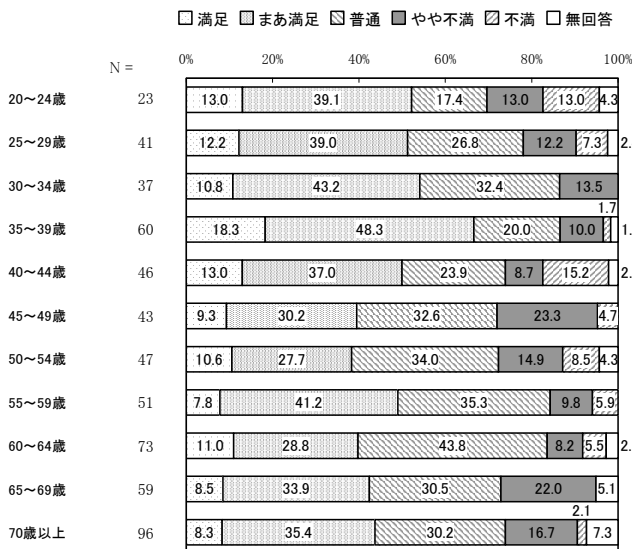


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 【問 10 重要度】

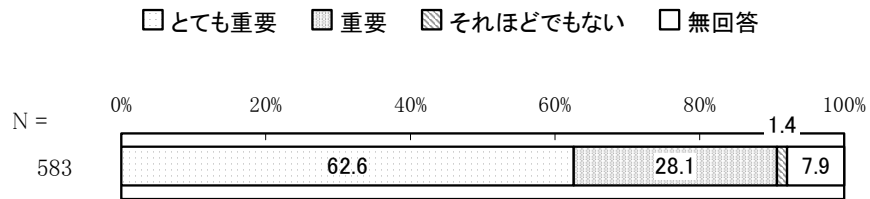
### (1) 必要な時に適切な医療が受けられる環境

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

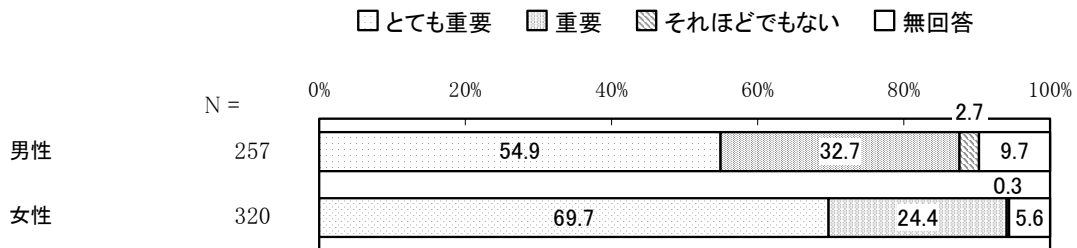
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”が高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で“重要”の割合が高く、8割を超えており、特に30～34歳ですべての方が“重要”と回答しています。

ライフステージ別でみると、すべての地区で“重要”の割合が高く、8割を超えています。

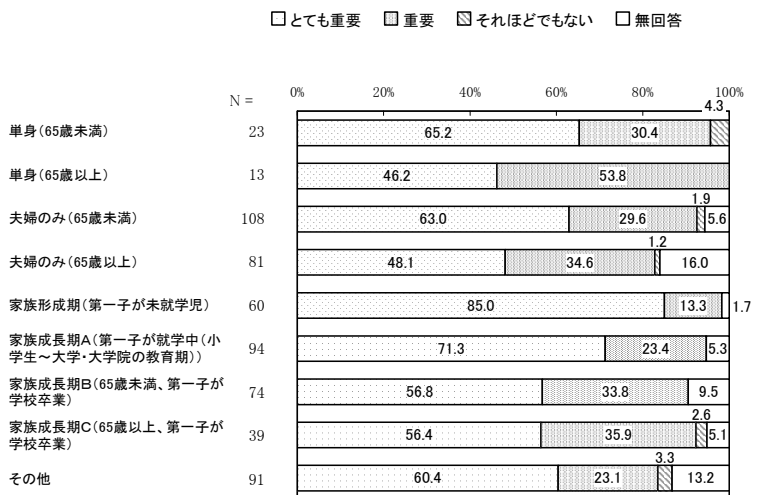
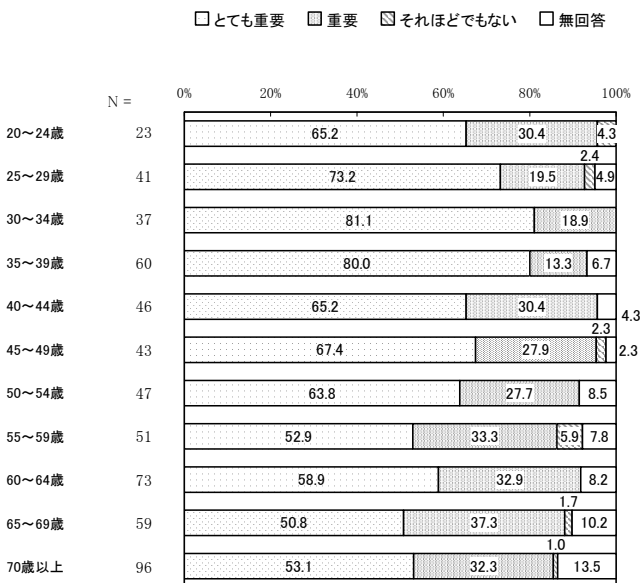


## 【性 別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 【問 10 満足度】

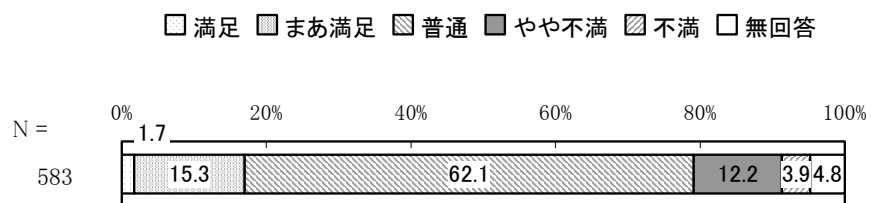
### (2) 近隣住民が共に支えあう地域福祉

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合がともに約2割となっています。

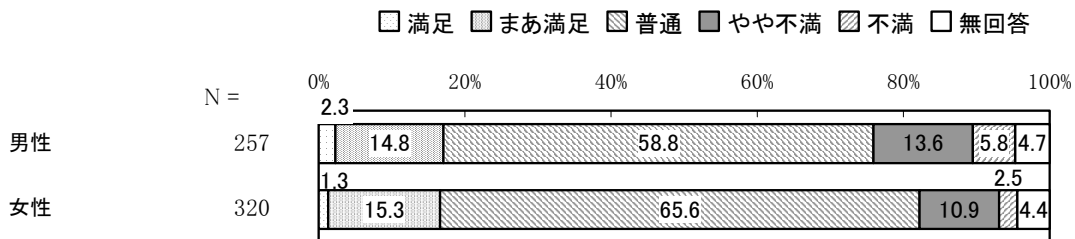
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“満足”の割合が高く、約6割を超えています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“満足”の割合が低く、1割未満となっています。また、単身（65歳未満）で“不満”の割合が高くなっています。

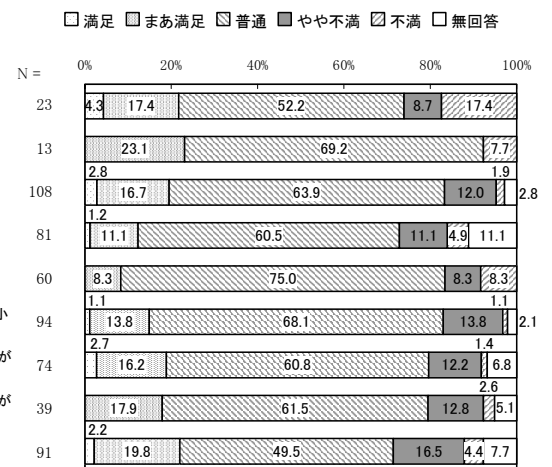
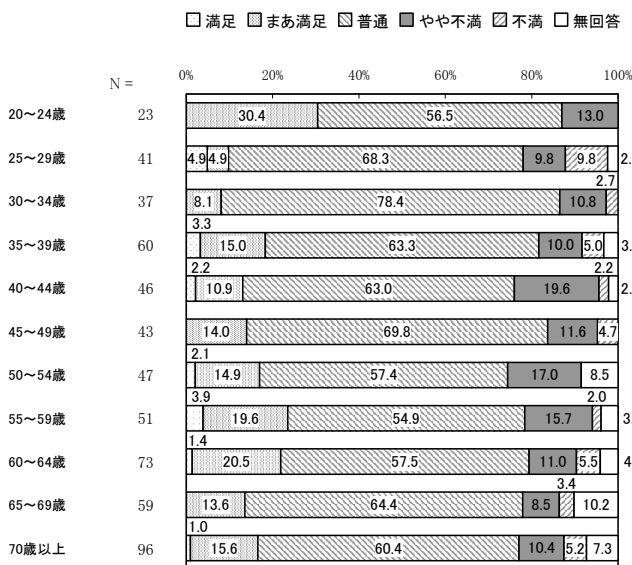


### 【性別】



### 【年代別】

### 【ライフステージ別】





## 【問 10 重要度】

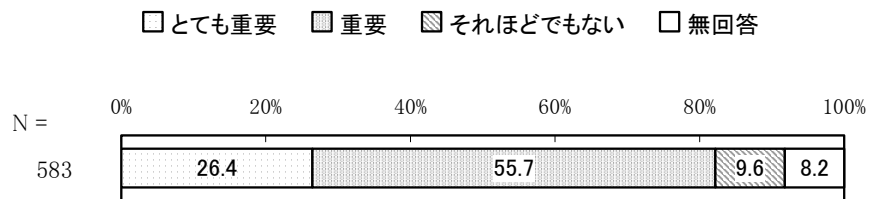
### (2) 近隣住民が共に支えあう地域福祉

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

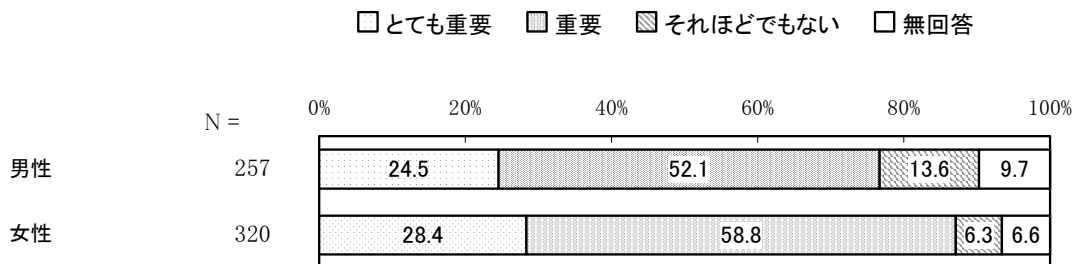
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳、45～49歳、60～64歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で「それほどでもない」の割合が高く、約3割となっています。

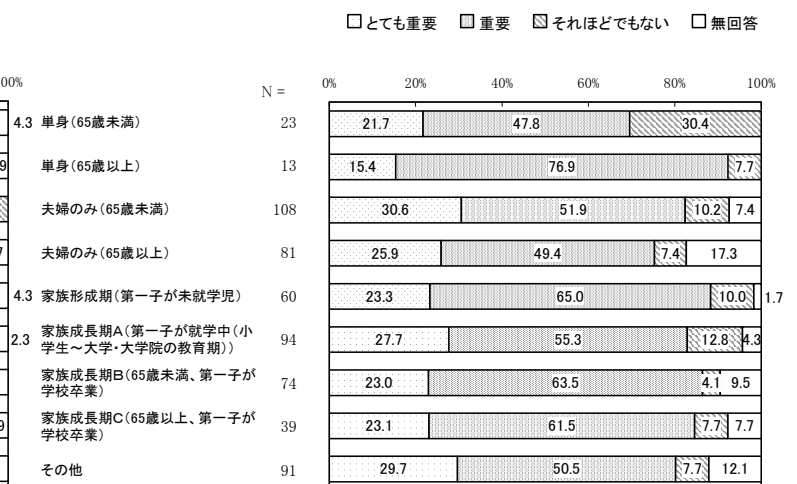
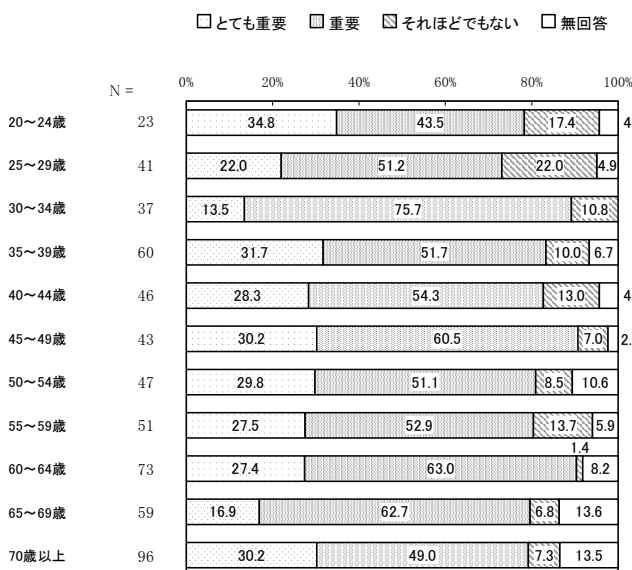


### 【性別】



### 【年代別】

### 【ライフステージ別】



**【問 10 満足度】**

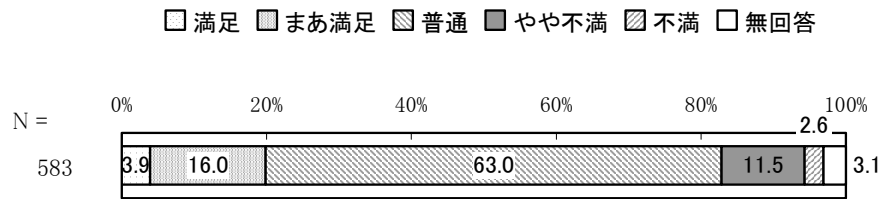
**(3) 区などが実施する地域コミュニティ活動（環境美化活動、地域防災訓練など）への参加のしやすさ**

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が、約2割となっています。

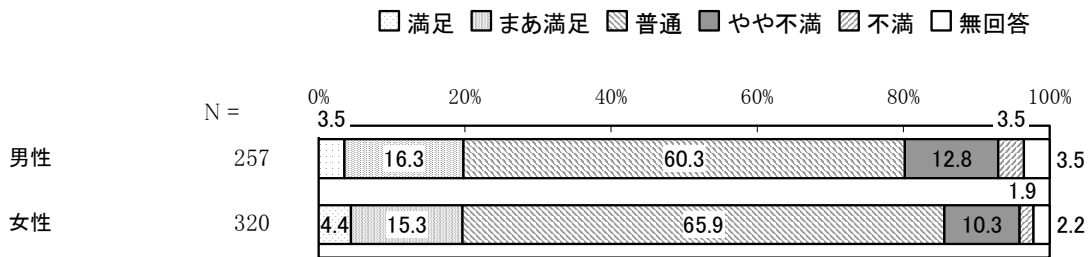
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、2割を超えています。

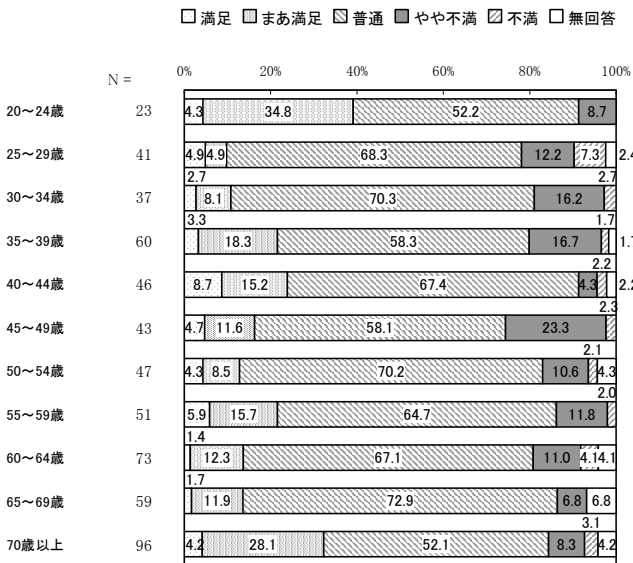
居住地別でみると、他の地区に比べ、深良で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



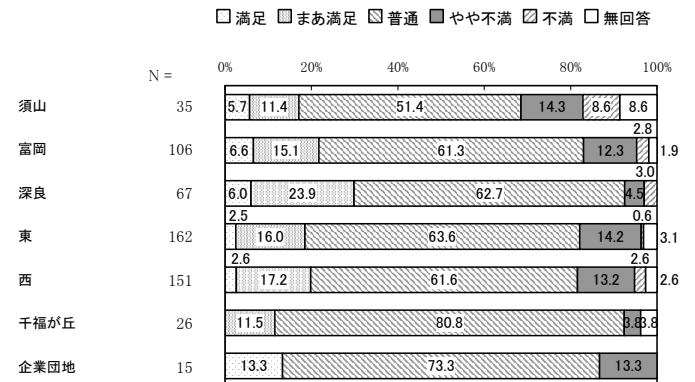
**【性別】**



**【年代別】**



**【居住地別】**



**【問 10 重要度】**

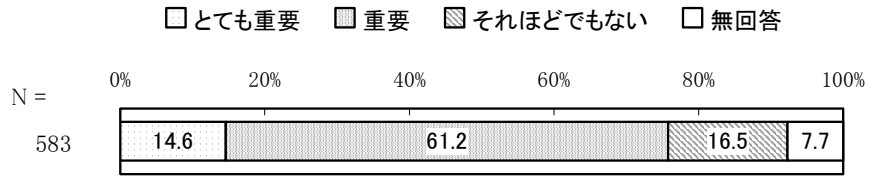
**(3) 区などが実施する地域コミュニティ活動（環境美化活動、地域防災訓練など）への参加のしやすさ**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、7割を超えています。

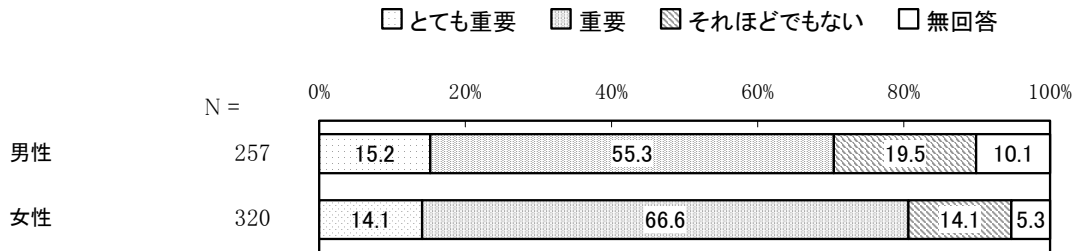
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、45～49歳、50～54歳、70歳以上で“重要”の割合が高く、約8割を超えています。

居住地別でみると、他の地区に比べ、深良で“重要”の割合が高く、約9割となっています。一方、千福が丘で「それほどでもない」の割合が高く、約3割となっています。

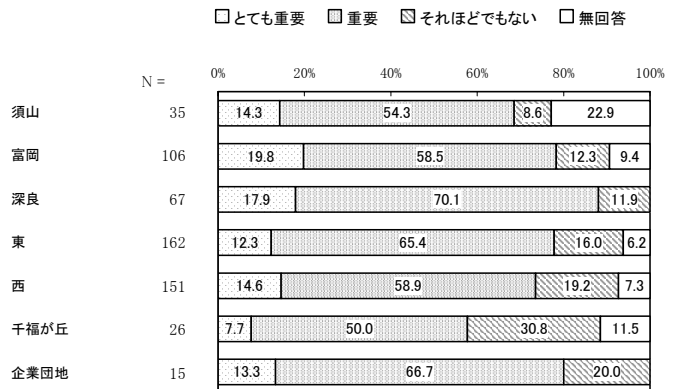
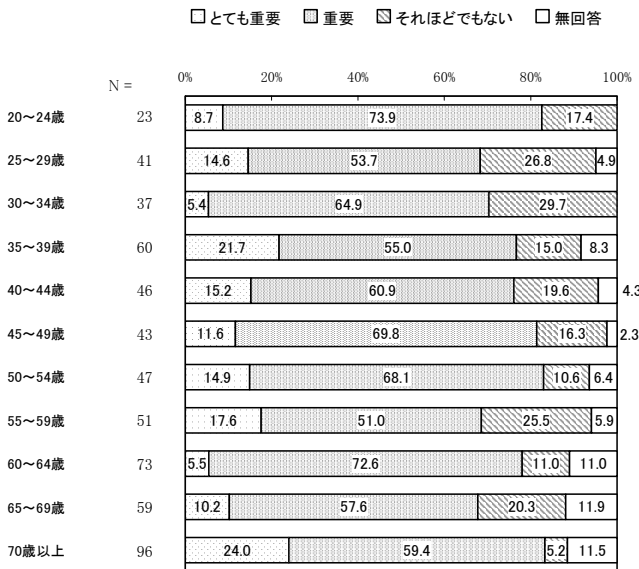


**【性別】**



**【年代別】**

**【居住地別】**



## 【問 10 満足度】

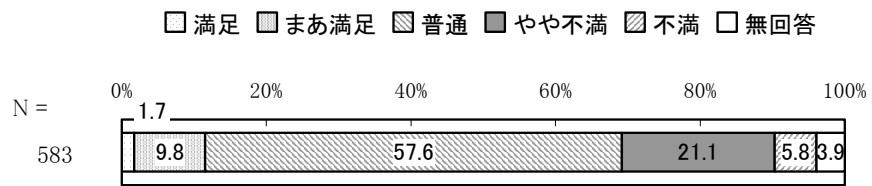
### (4) 地震災害に強いまちづくり

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、2割を超えています。

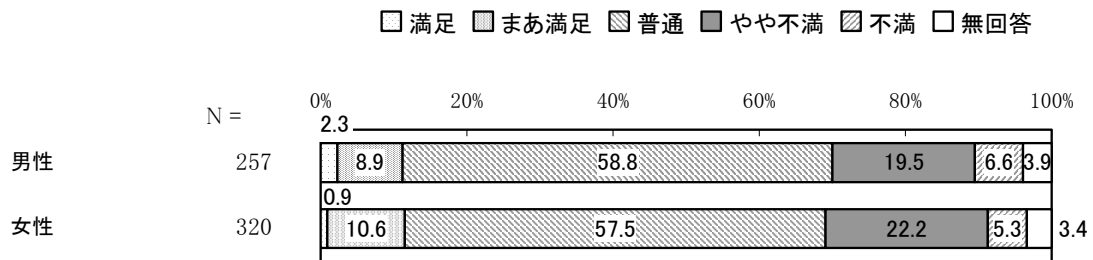
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“不満”の割合が高く、約5割となっています。

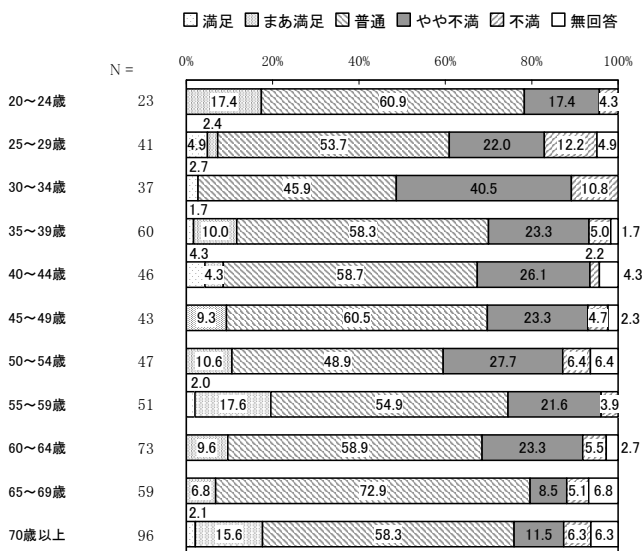
居住地別でみると、他の地区に比べ、企業団地で“不満”の割合が高く、約5割となっています。



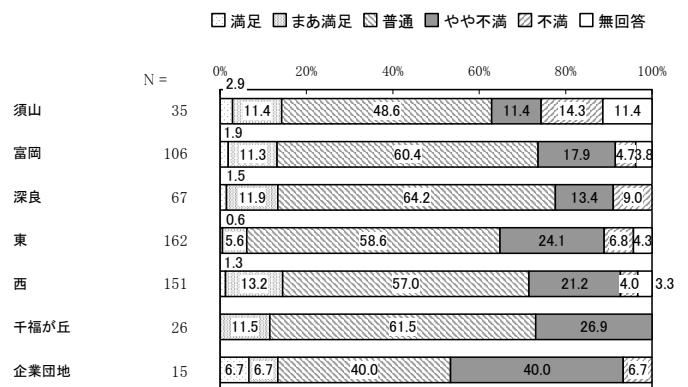
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



**【問 10 重要度】**

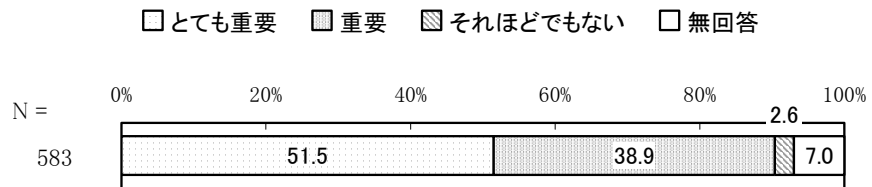
**(4) 地震災害に強いまちづくり**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

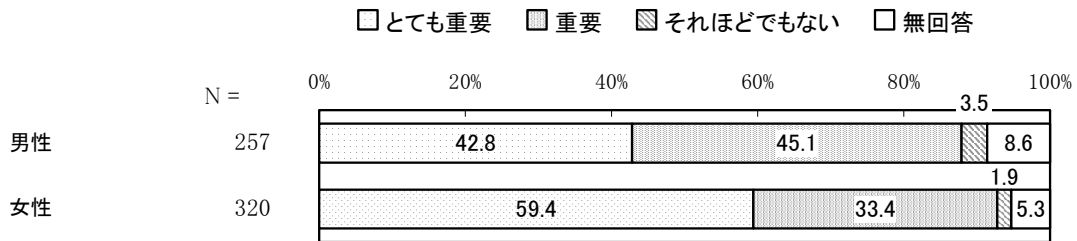
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高く、約6割となっています。

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「とても重要」の割合が高くなる傾向がみられます。

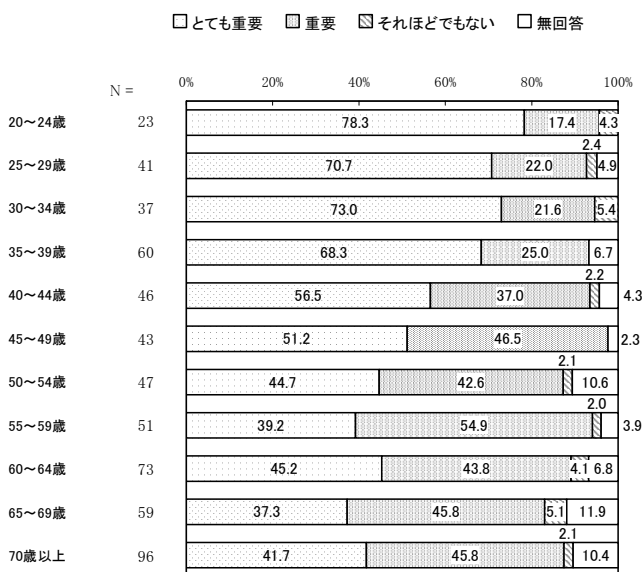
居住地別でみると、全地区で「とても重要」と「重要」の割合が高くなっています。



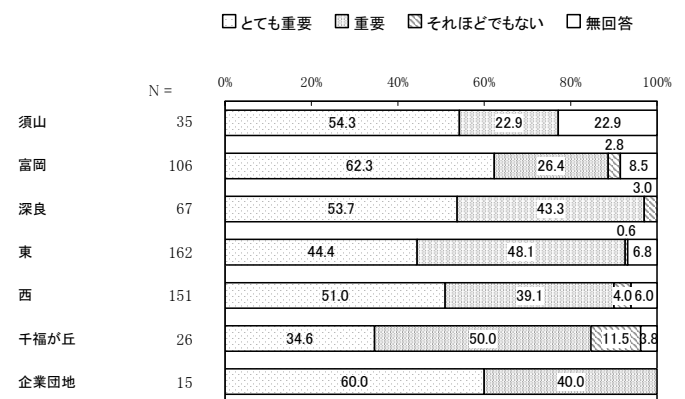
**【性 別】**



**【年代別】**



**【居住地別】**



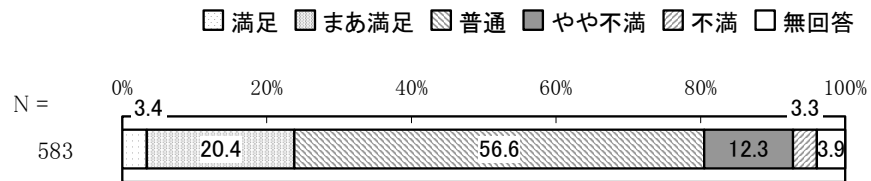
## 【問 10 満足度】

### (5) 犯罪のおきにくい安心なまちづくり

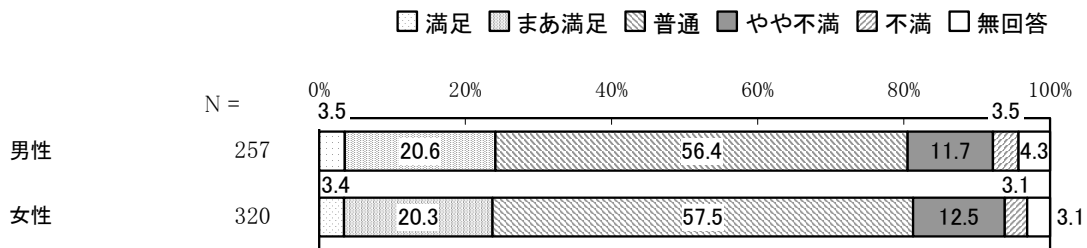
全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が約2割と、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合を上回っています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

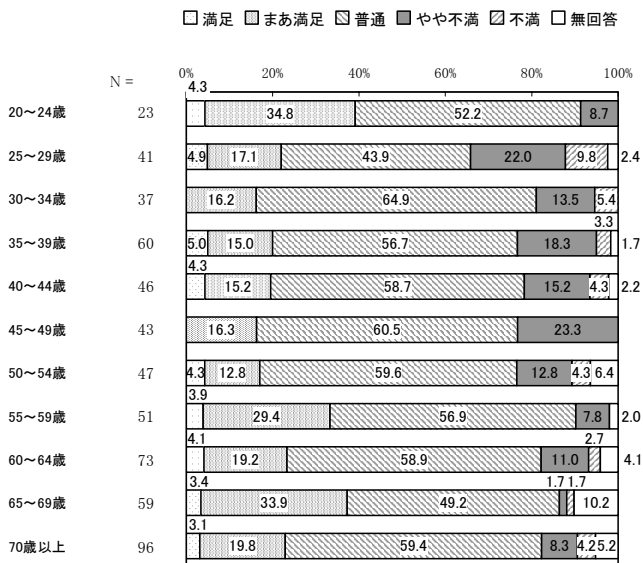
居住地別でみると、他の地区に比べ、深良で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



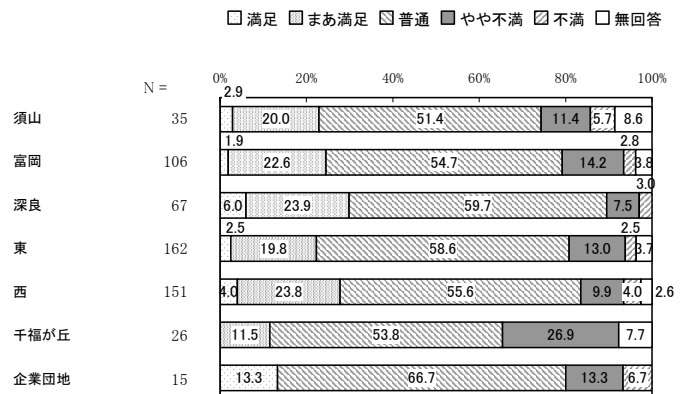
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



**【問 10 重要度】**

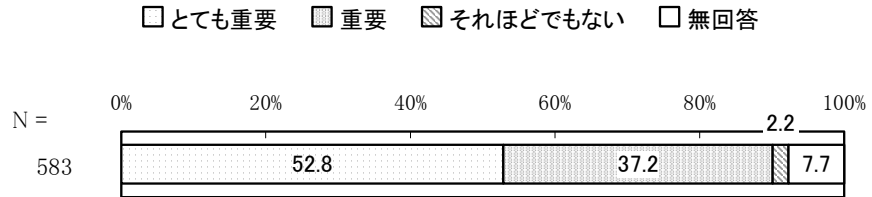
**(5) 犯罪のおきにくい安心なまちづくり**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、9割となっています。

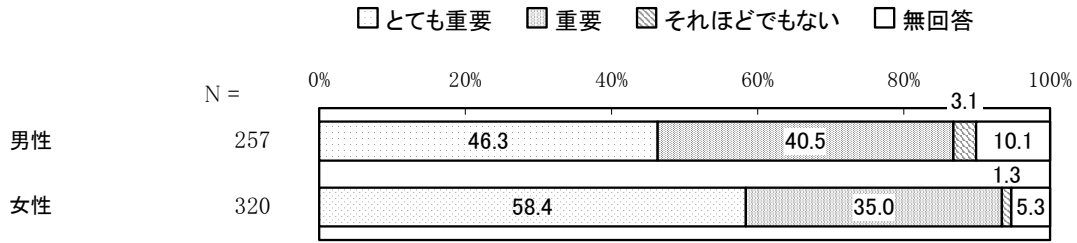
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっています。

年代別でみると、大きな差異はみられません。

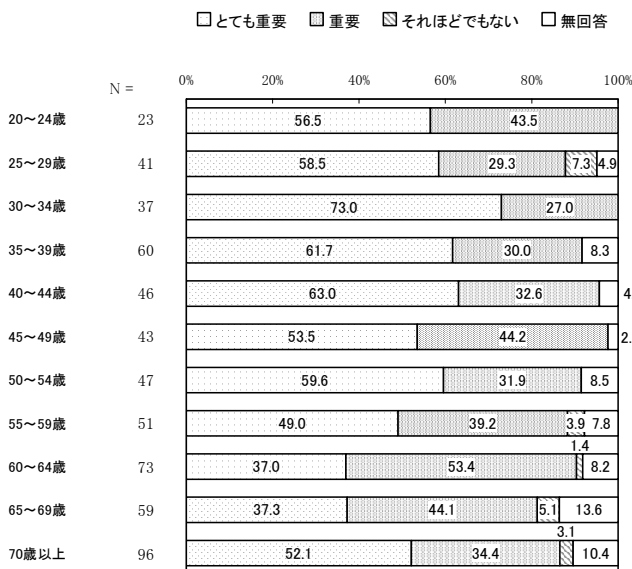
居住地別でみると、他の地区に比べ、須山で“重要”の割合が低くなっています。



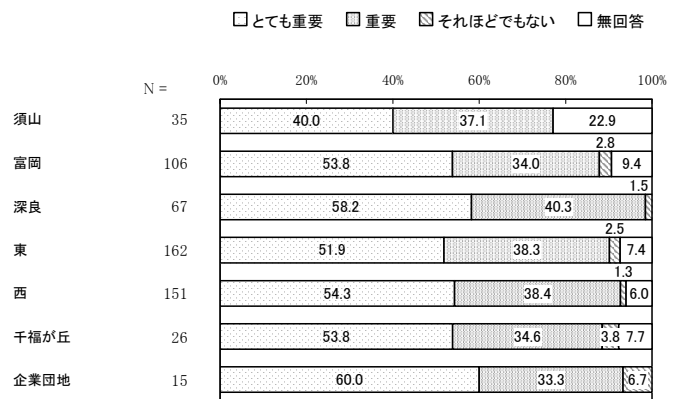
**【性 別】**



**【年代別】**



**【居住地別】**



【問 10 満足度】

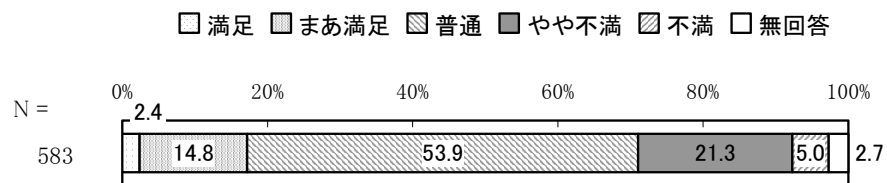
(6) 交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が約3割と、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合を上回っています。

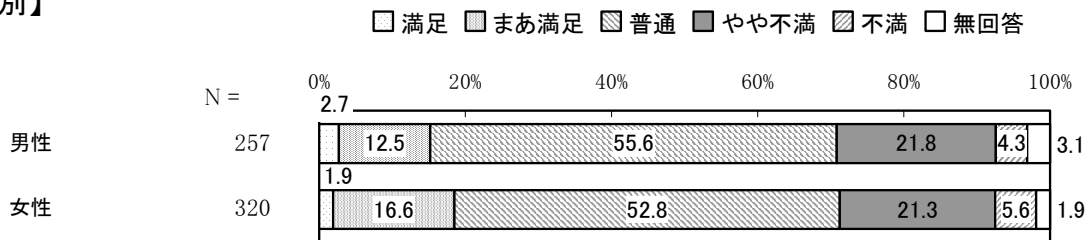
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、35～39歳で“不満”の割合が高く、約5割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期(第一子が未就学児)で“不満”の割合が高く、約4割となっています。

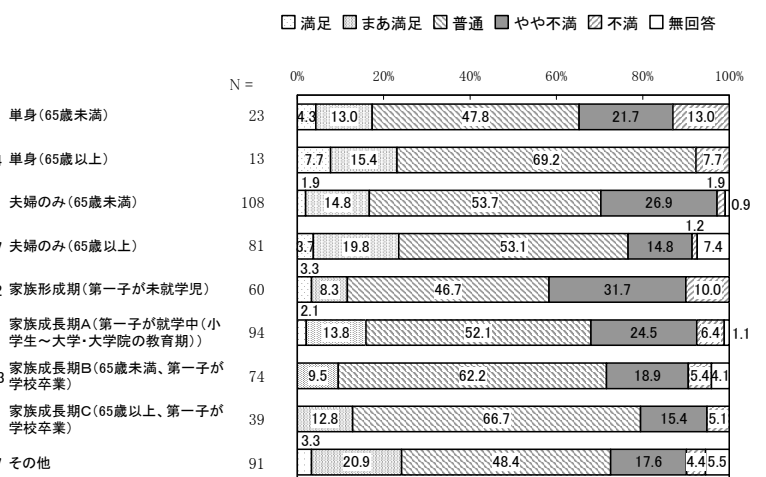
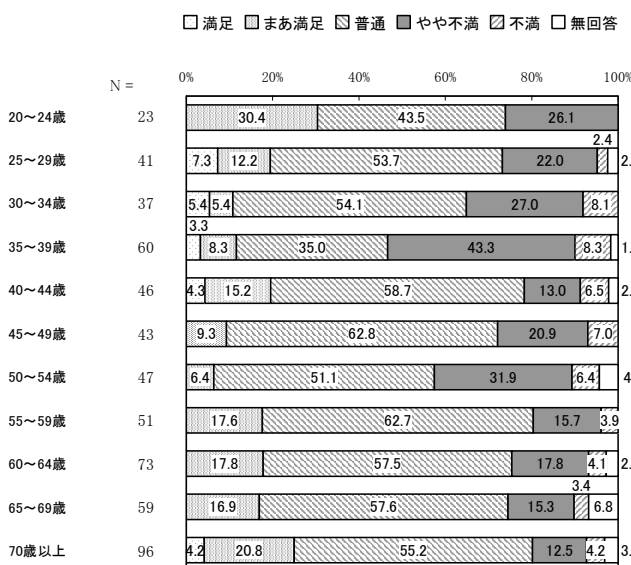


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】





【問 10 重要度】

(6) 交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み

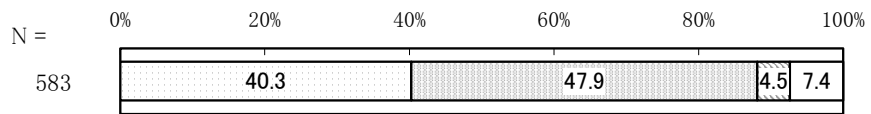
全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が、9割を超えています。

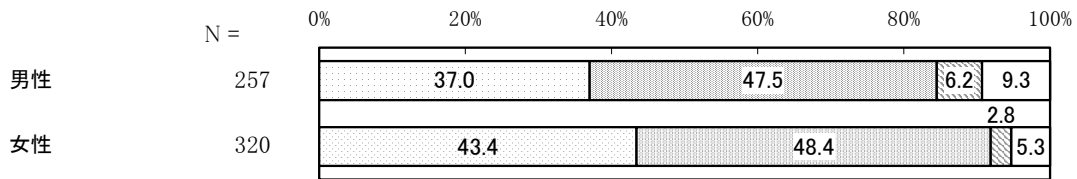
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳未満)、家族成長期C(65歳以上、第一子が学校卒業)で「それほどでもない」の割合が高くなっています。

□とても重要 □重要 □それほどでもない □無回答



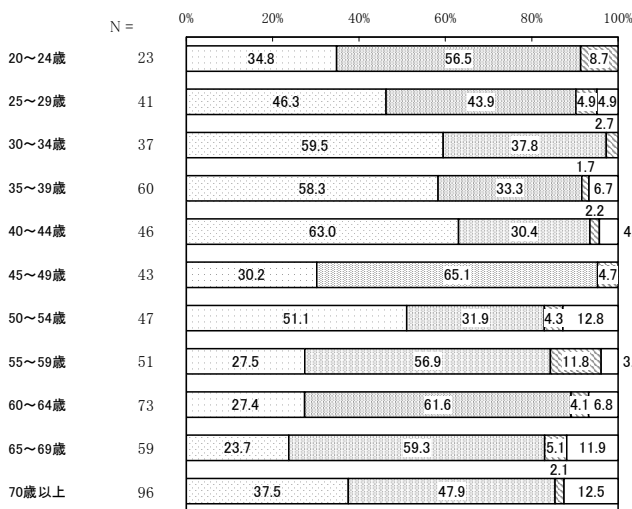
【性別】

□とても重要 □重要 □それほどでもない □無回答



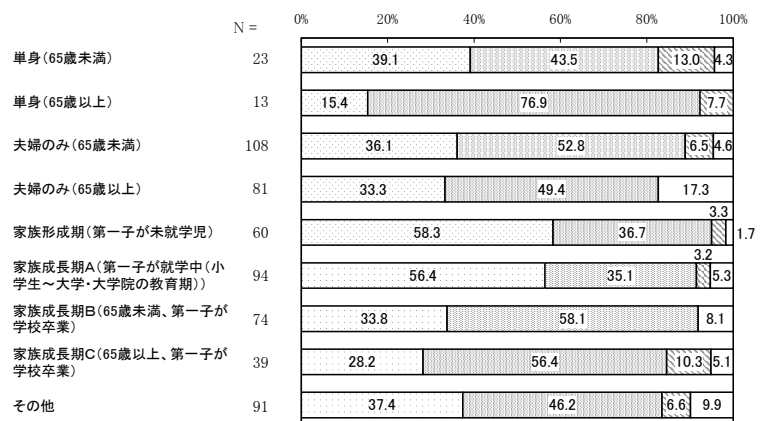
【年代別】

□とても重要 □重要 □それほどでもない □無回答



【ライフステージ別】

□とても重要 □重要 □それほどでもない □無回答



## 【問 10 満足度】

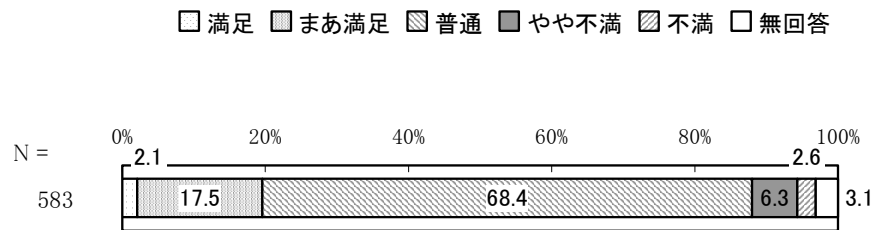
### (7) トラブルのない、安全で豊かな消費生活

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が約2割と、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合を上回っています。

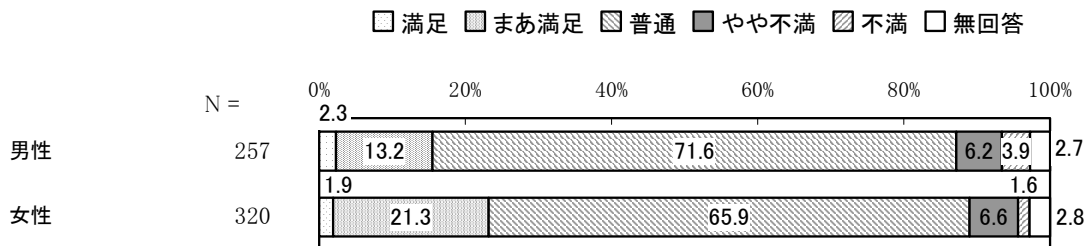
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“満足”の割合が低く、1割未満となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“満足”の割合が高く、約4割となっています。

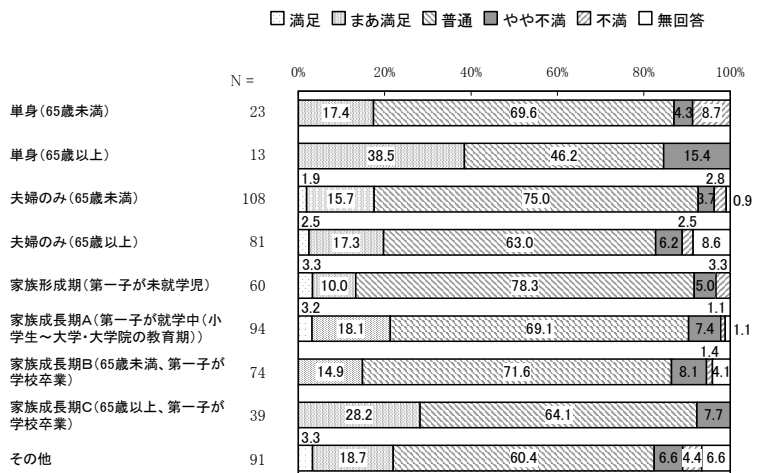
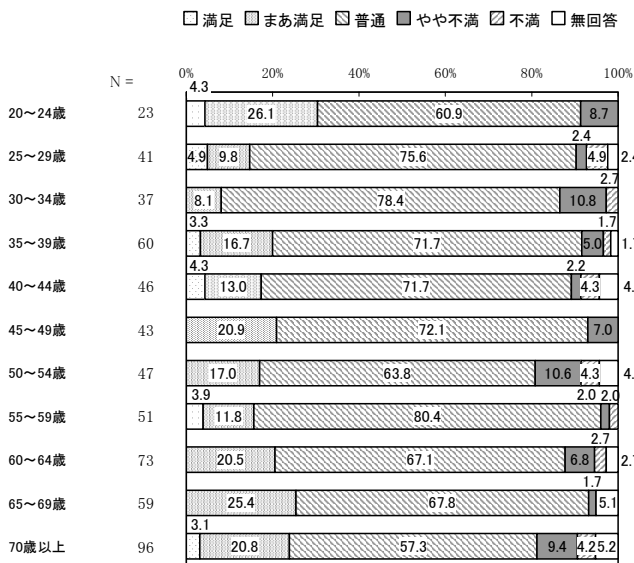


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



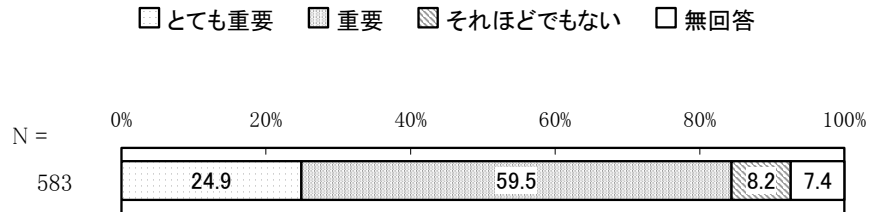
## 【問 10 重要度】

### (7) トラブルのない、安全で豊かな消費生活

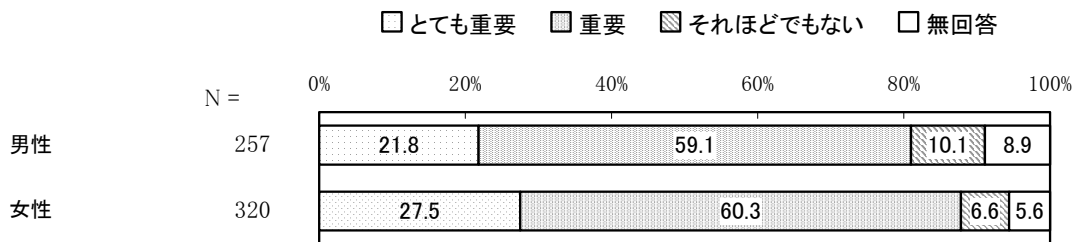
全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約9割となっています。  
年代別でみると、大きな差異はみられません。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）、単身（65歳以上）で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

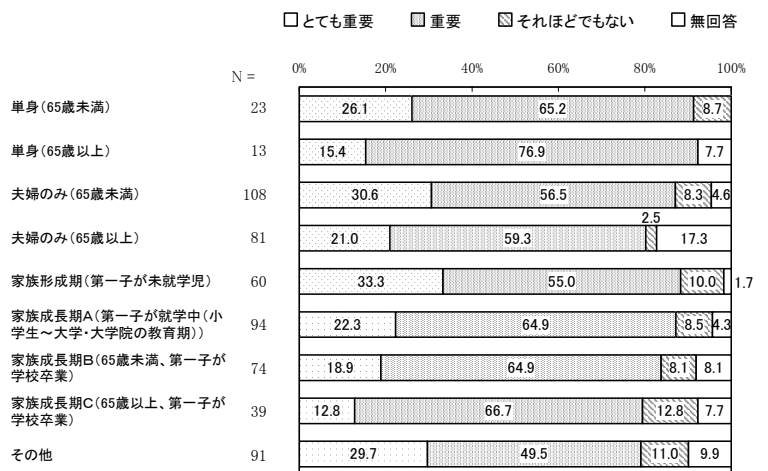
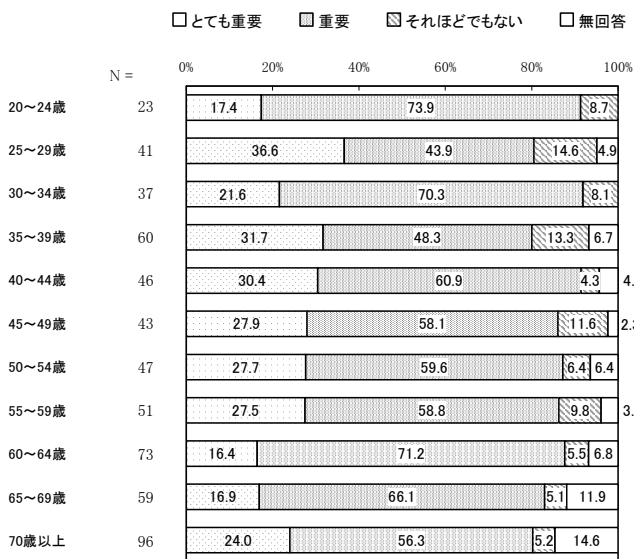


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 【問 10 満足度】

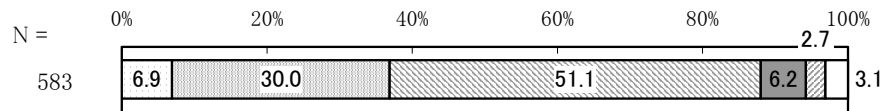
### (8) 不安のない消防体制と救急体制の充実

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が約4割と、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合を大きく上回っています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、約5割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“満足”の割合が高く、約6割となっています。



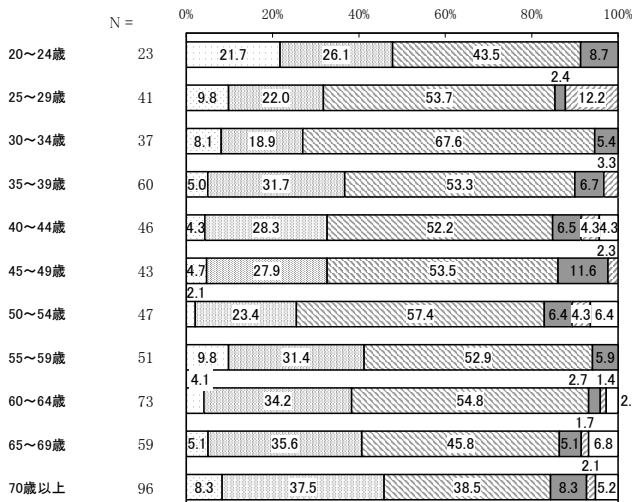
### 【性別】

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答



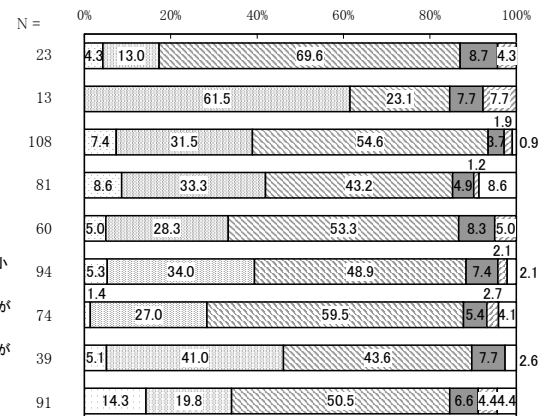
### 【年代別】

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答



### 【ライフステージ別】

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答



**【問 10 重要度】**

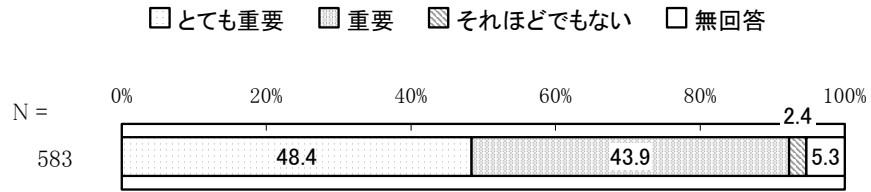
**(8) 不安のない消防体制と救急体制の充実**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

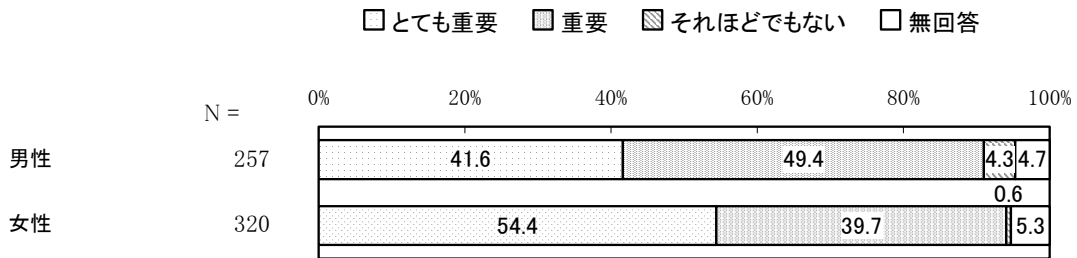
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳、45～49歳で“重要”の割合が高く、すべての方が“重要”と回答しています。

ライフステージ別でみると、すべての項目で“重要”の割合が高く、特に単身（65歳以上）ですべての方が“重要”と回答しています。

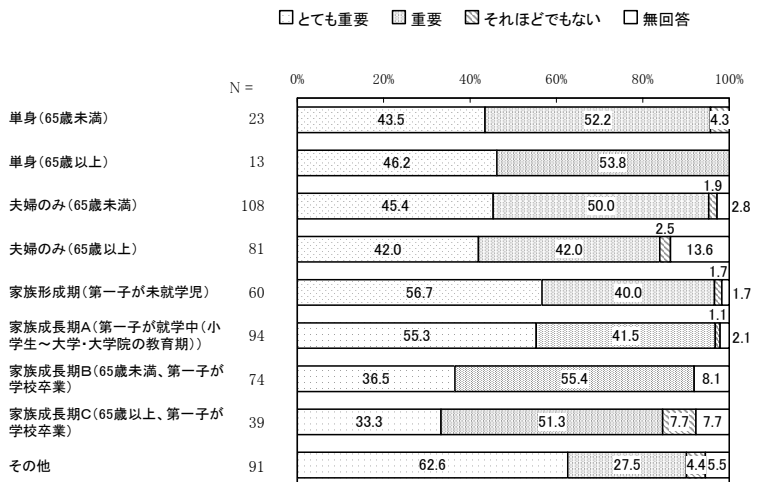
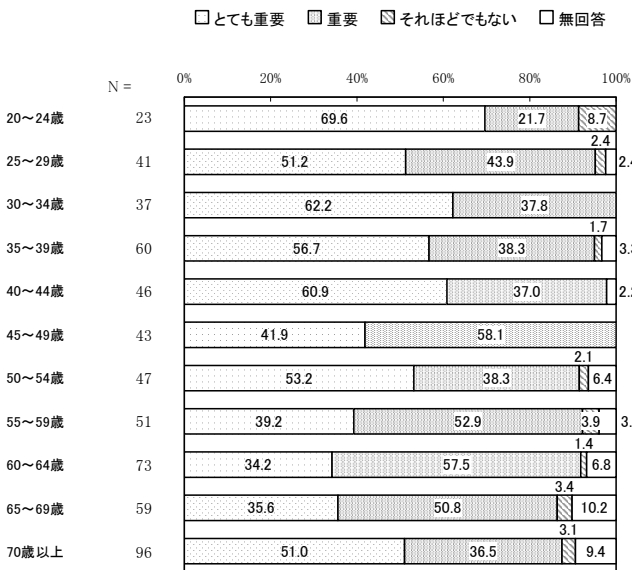


**【性別】**



**【年代別】**

**【ライフステージ別】**



## 【問 10 満足度】

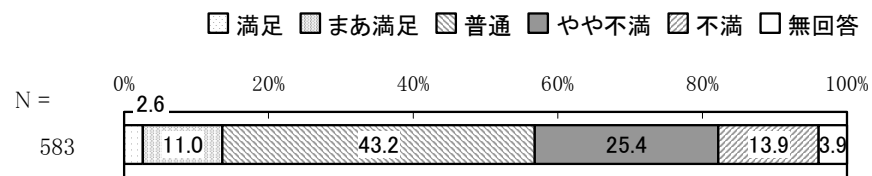
### (9) 公園などの身近な緑地の環境整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合約4割と、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合を上回っています。

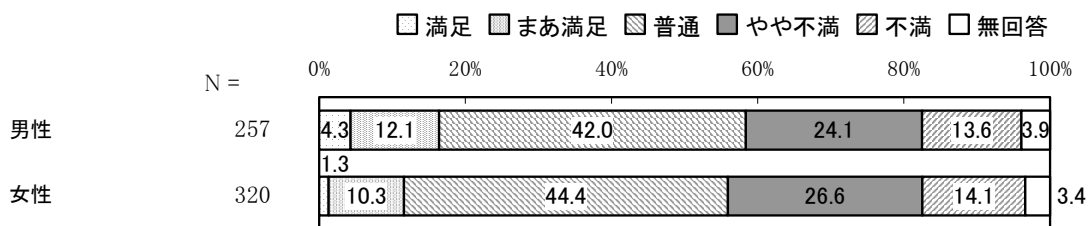
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳、30～34歳で“不満”の割合が高く、約5割となっています。

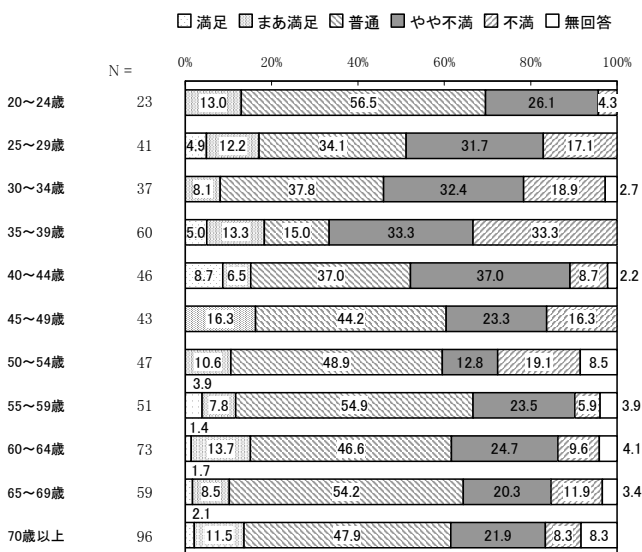
居住地別でみると、他の地区に比べ、企業団地で“不満”の割合が高く、5割を超えています。



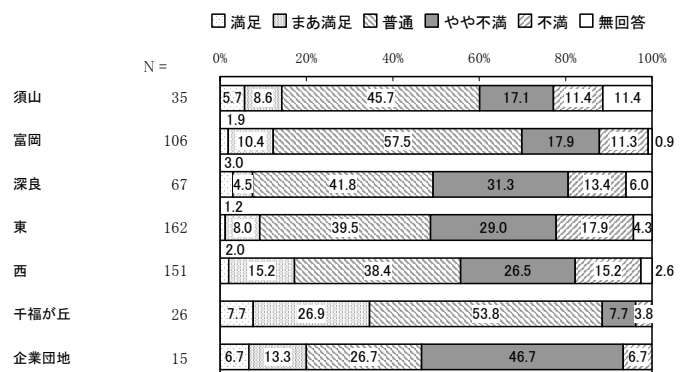
### 【性別】



### 【年代別】



### 【居住地別】



【問 10 重要度】

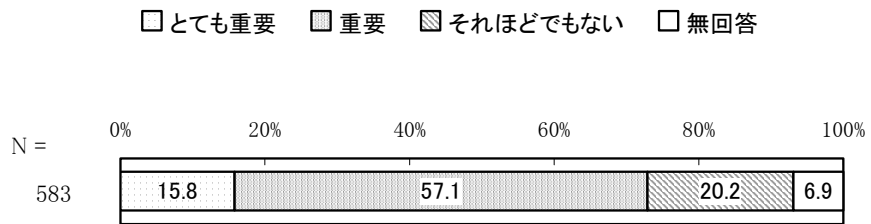
(9) 公園などの身近な緑地の環境整備

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約7割となっています。

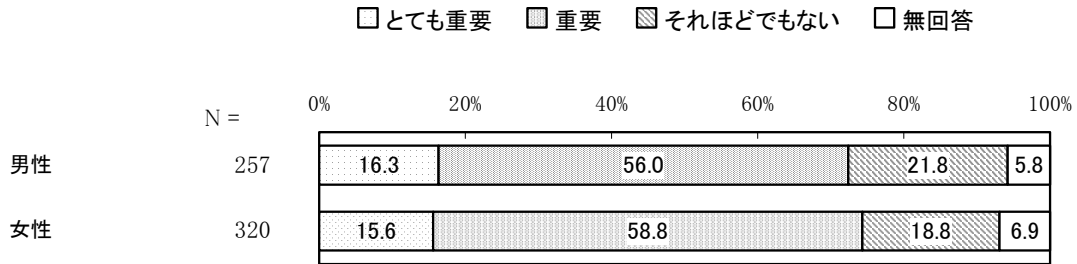
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“重要”の割合が、約9割となっています。一方、45～49歳、50～54歳、55～59歳で「それほどでもない」の割合が高く、約3割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が高くなっています。

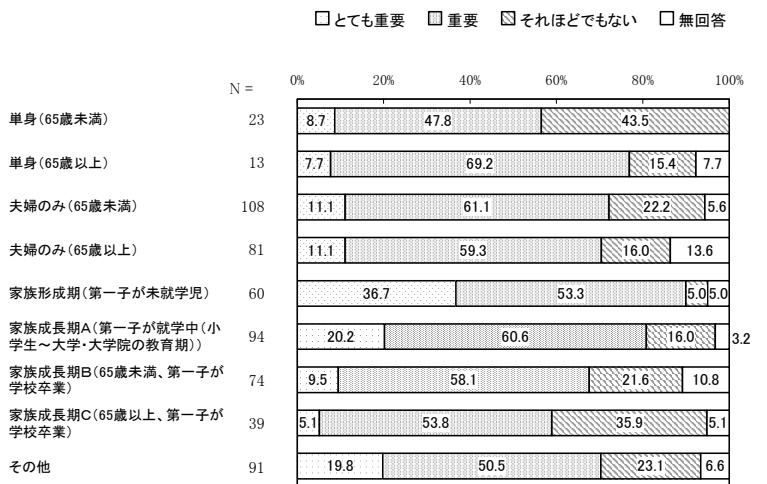
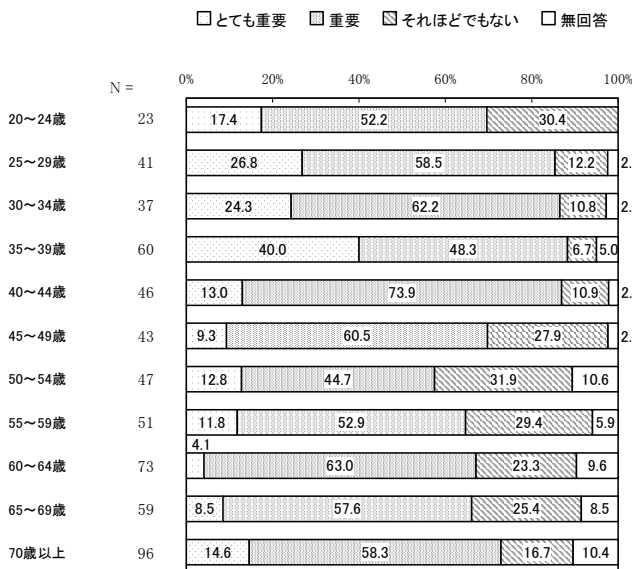


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 10 満足度】

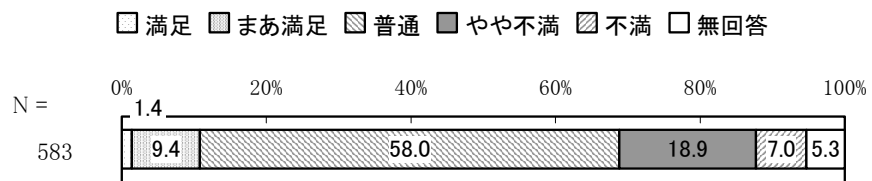
### (10) 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が2割を超えており、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合を上回っています。

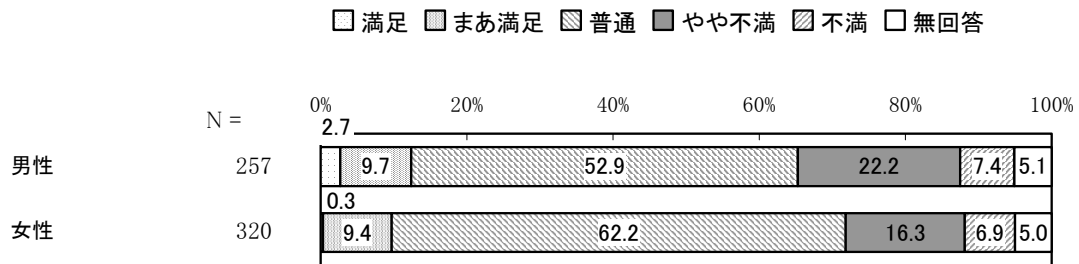
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“不満”の割合が高く、約4割となっています。

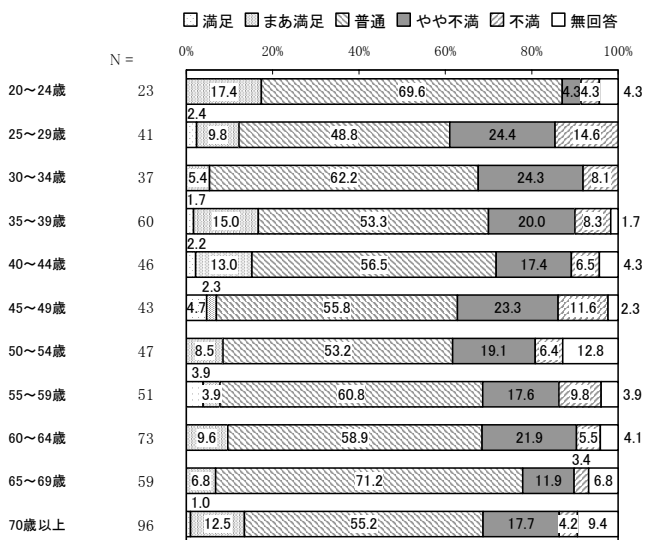
居住地別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で“不満”の割合が低く、1割以下となっています。



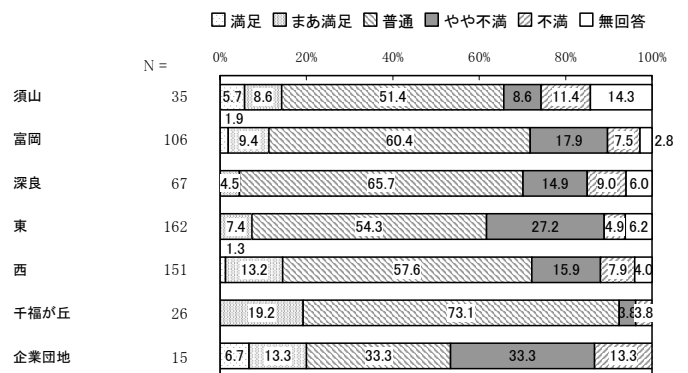
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地別】





## 【問 10 重要度】

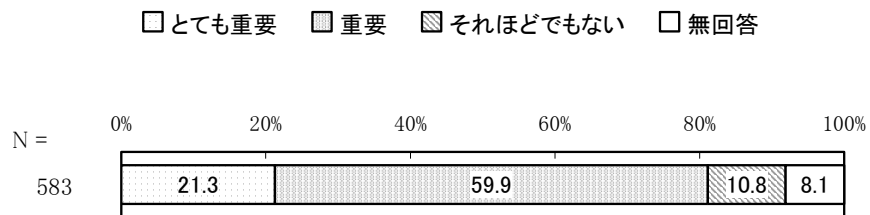
### (10) 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

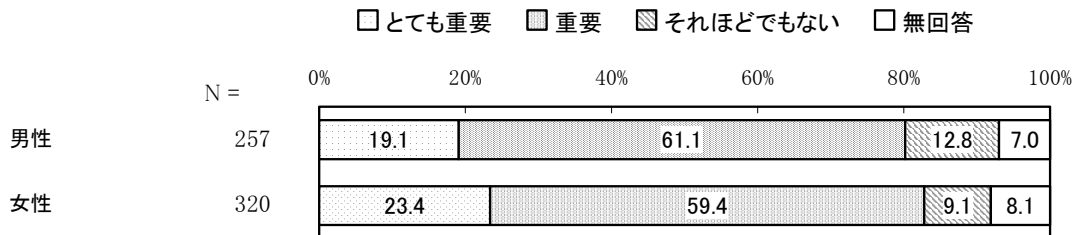
性別で見ると、大きな差異はみられません

年代別で見ると、他の年代に比べ、30～34歳、40～44歳で“重要”の割合が、約9割となっています。また、20～24歳で「それほどでもない」の割合が高く、約2割となっています。

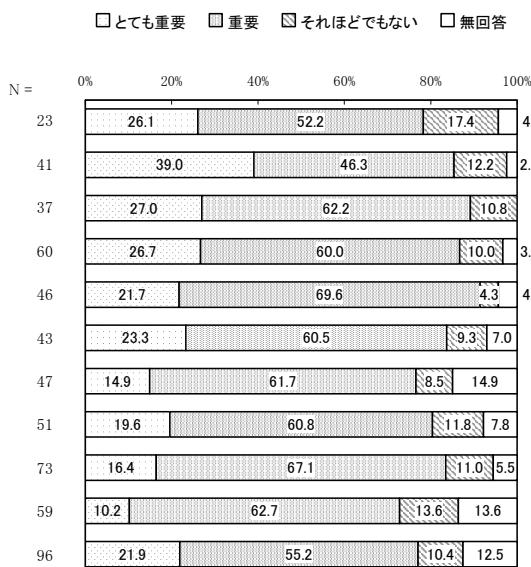
ライフステージ別で見ると、他に比べ、夫婦のみ（65歳以上）で“重要”の割合が低く、約7割となっています。



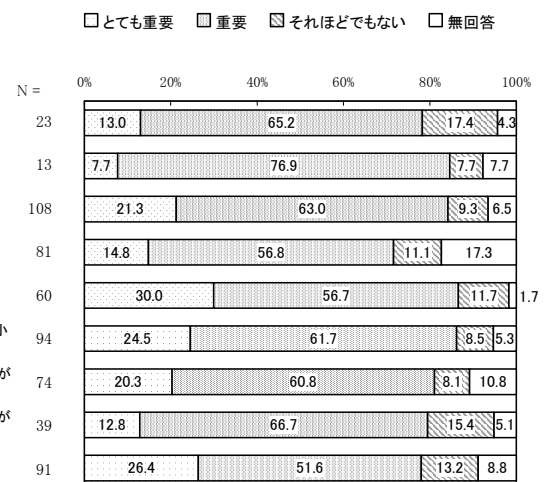
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 10 満足度】

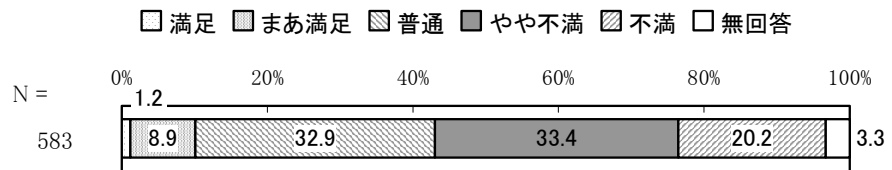
### (11) 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が最も高く、約5割となっています。

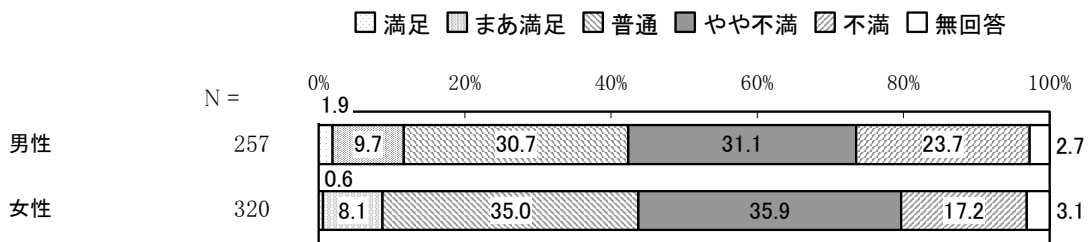
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で“不満”の割合が高く、約7割となっています。

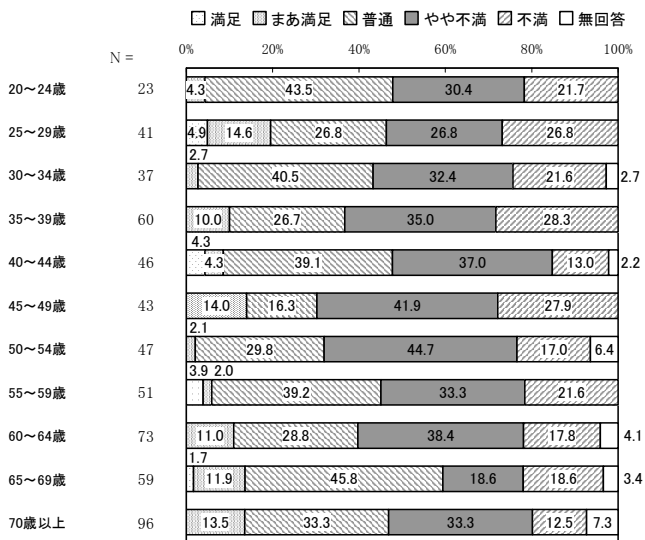
居住地別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で“不満”の割合が低くなっています。



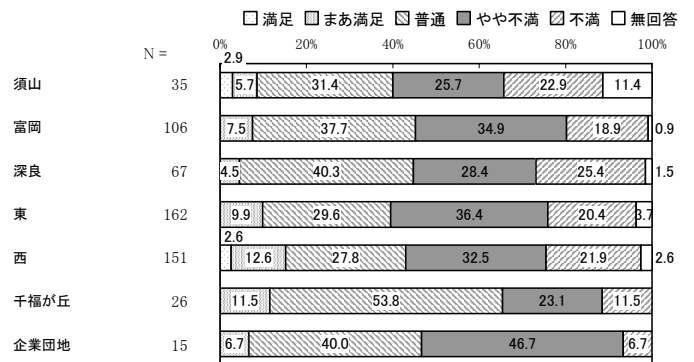
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



**【問 10 重要度】**

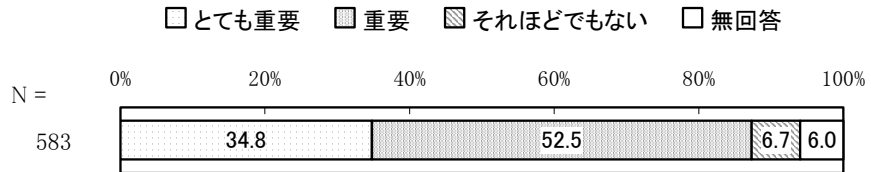
**(11) 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

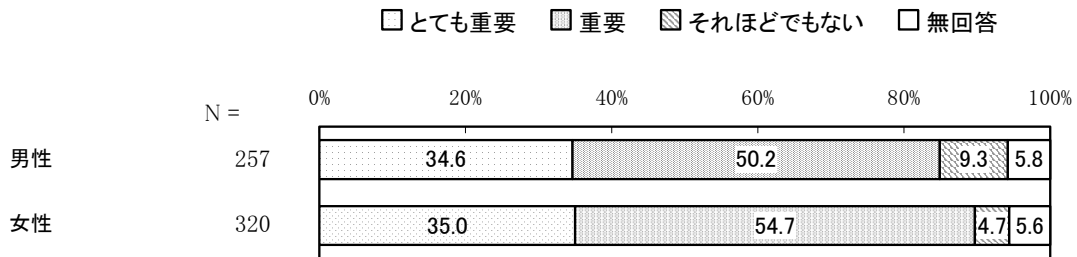
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、若い年代で“重要”の割合が高くなっています。

ライフステージ別でみると、他の年代に比べ、夫婦のみ（65歳以上）で“重要”の割合が低く、8割未満となっています。

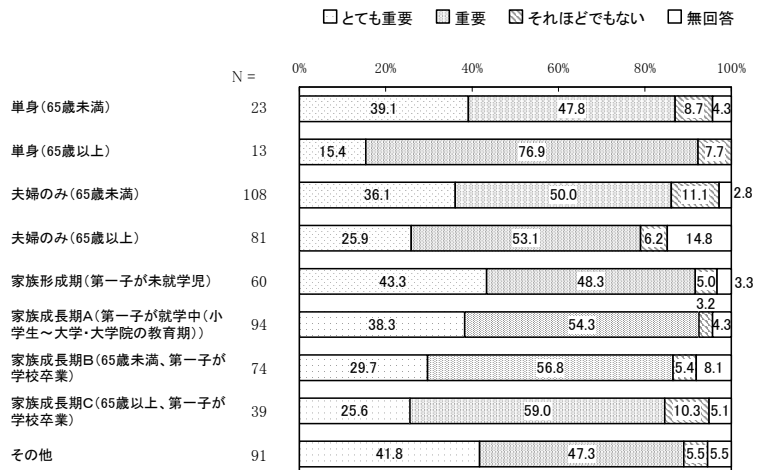
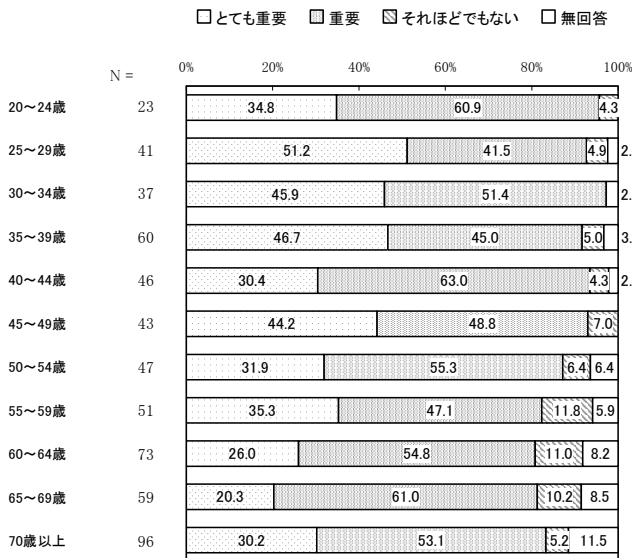


**【性 別】**



**【年代別】**

**【ライフステージ別】**



## 【問 10 満足度】

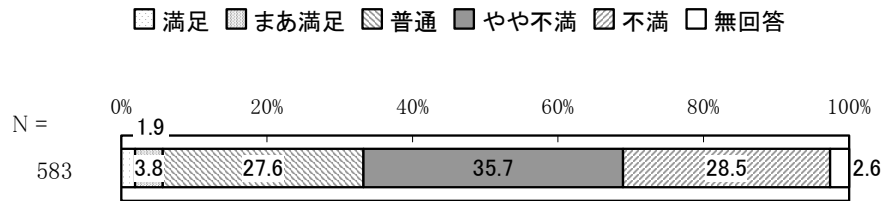
### (12) 鉄道やバスの便利さ

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、6割を超えています。

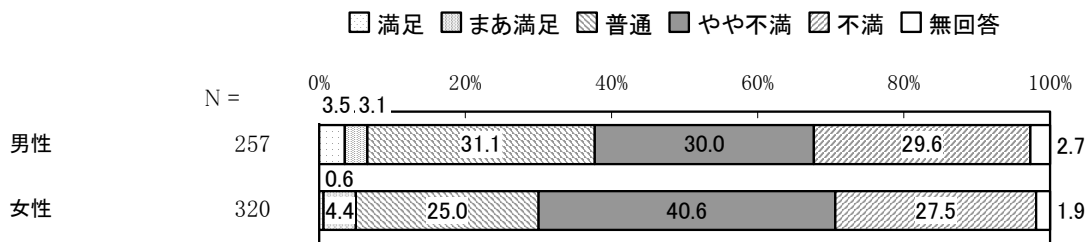
性別でみると、男性に比べ、女性で“不満”が高くなっています。

年代別でみると、20～24歳で“不満”の割合が高く、8割を超えています。

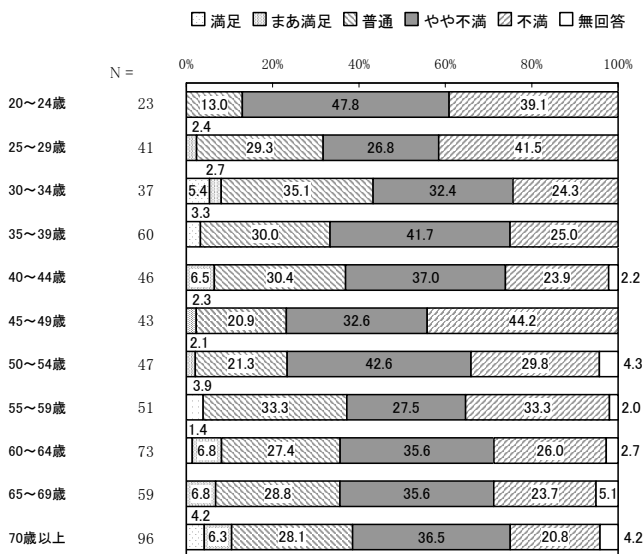
居住地別でみると、すべての地区で“不満”の割合が高く、特に千福が丘で8割を超えています。



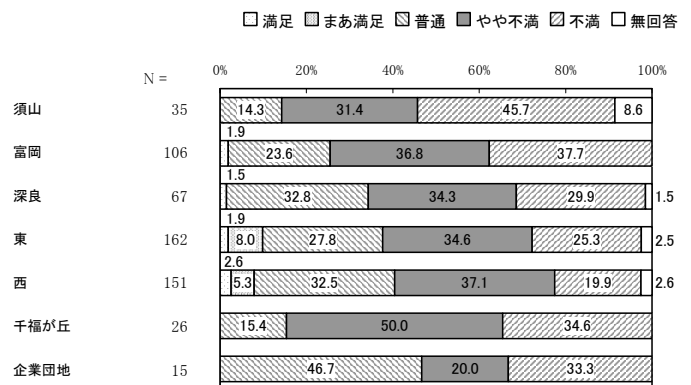
### 【性別】



### 【年代別】



### 【居住地別】



## 【問 10 重要度】

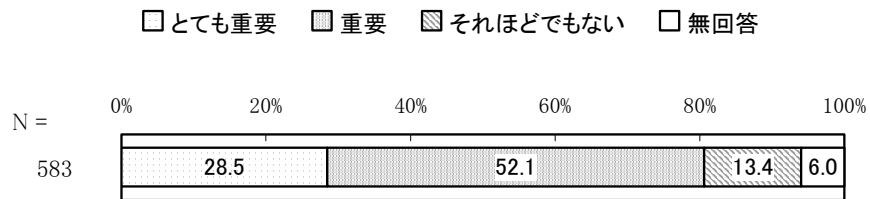
### (12) 鉄道やバスの便利さ

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

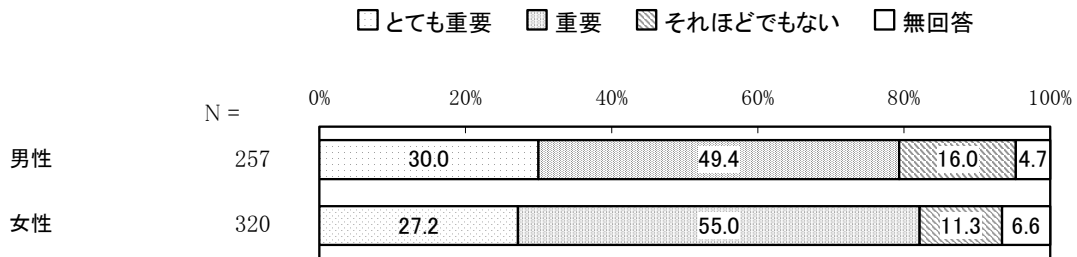
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

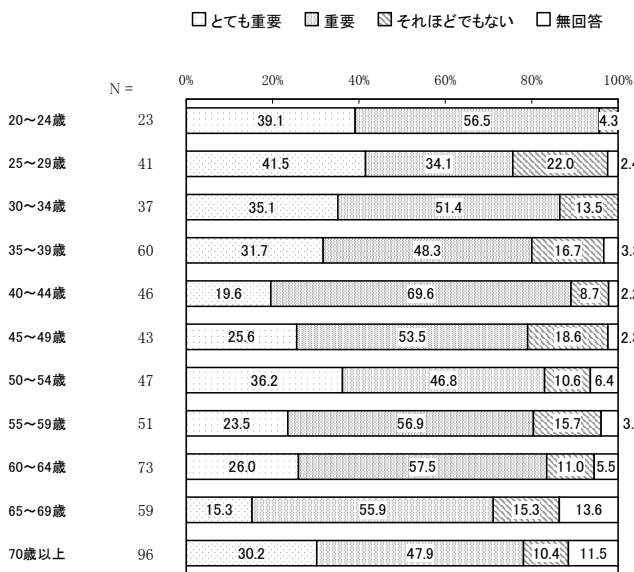
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で「それほどでもない」の割合が高く、2割を超えています。



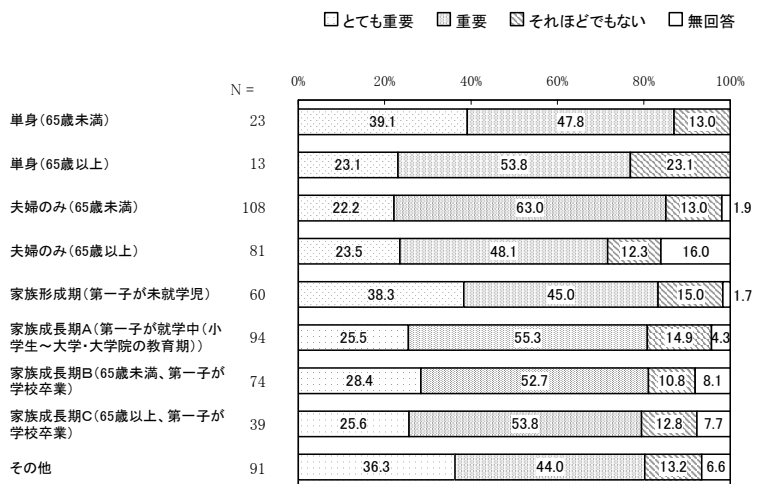
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 10 満足度】

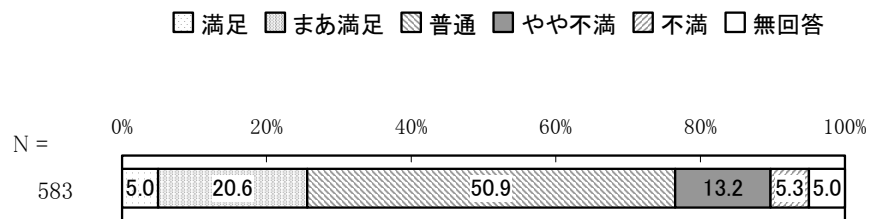
### (13) まちなみや自然の景観の美しさ

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、2割を超えています。

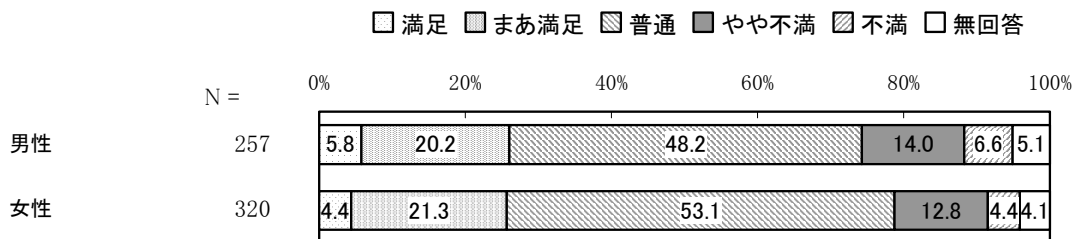
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、約4割となっています。

ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳未満）で“満足”の割合、“不満”の割合ともに高くなっています。

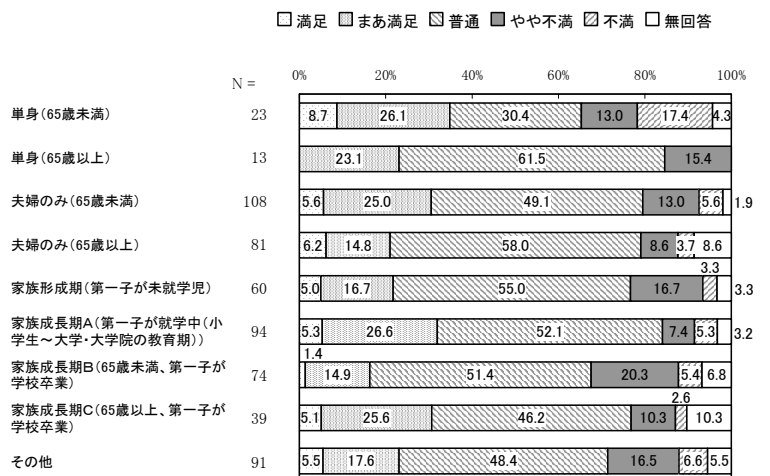
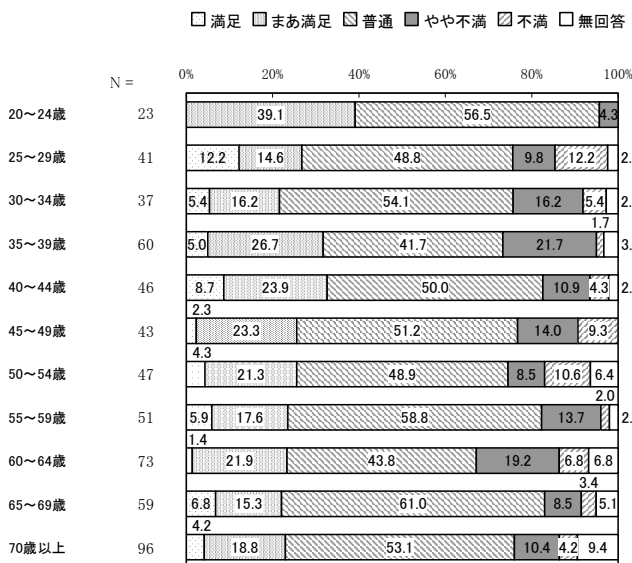


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 【問 10 重要度】

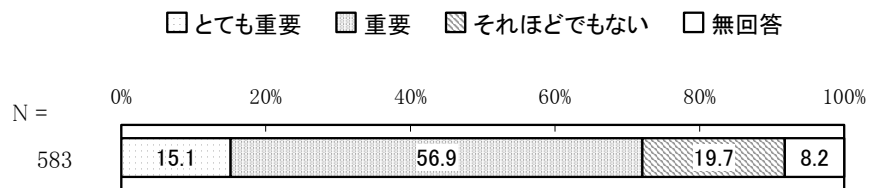
### (13) まちなみや自然の景観の美しさ

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約7割となっています。

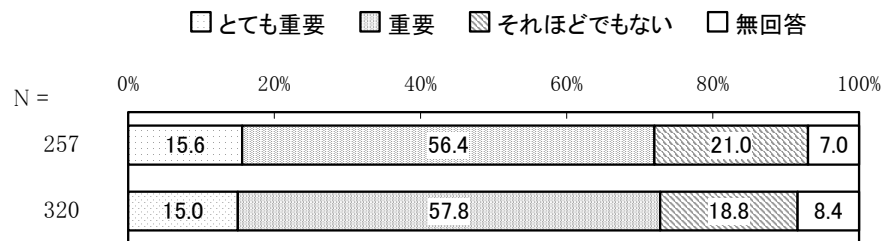
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“重要”の割合が低く、7割未満となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

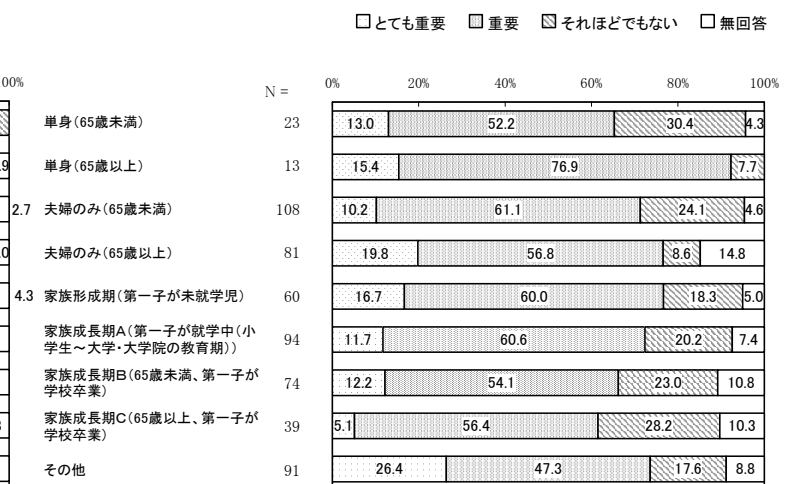
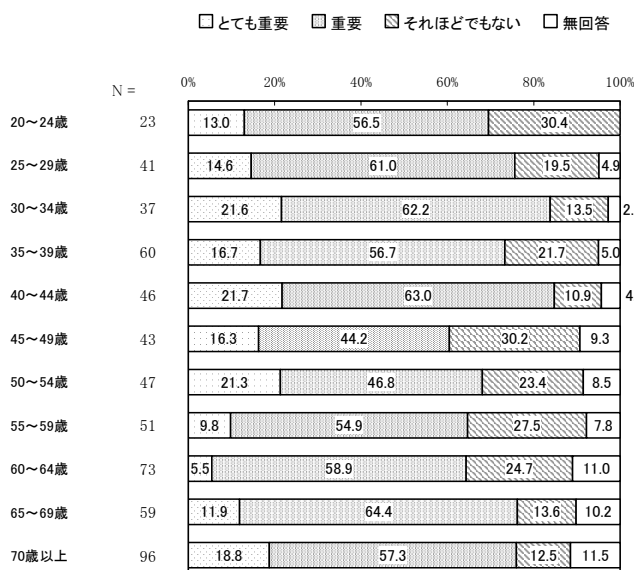


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 【問 10 満足度】

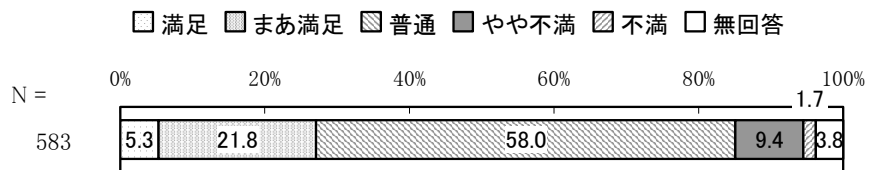
(14) 誰もが平等に情報を受け取ることができる( 広報紙・無線、ホームページ、メールなど) 環境

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が約3割と、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合を上回っています。

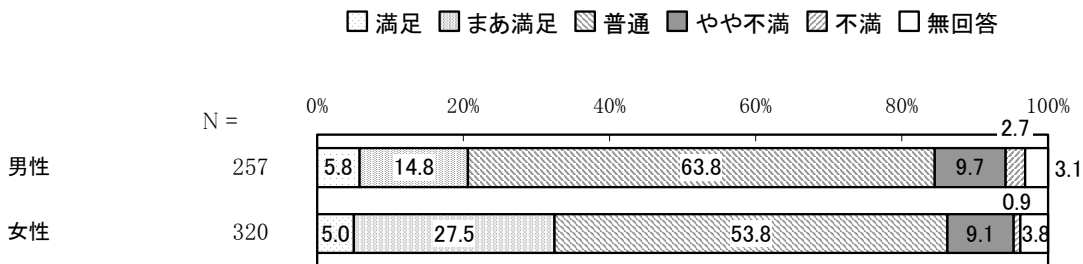
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”が高くなっています。

年代別でみると、20～24歳で“満足”の割合が高く、4割を超えています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳以上)で“満足”の割合が高く、約5割となっています。

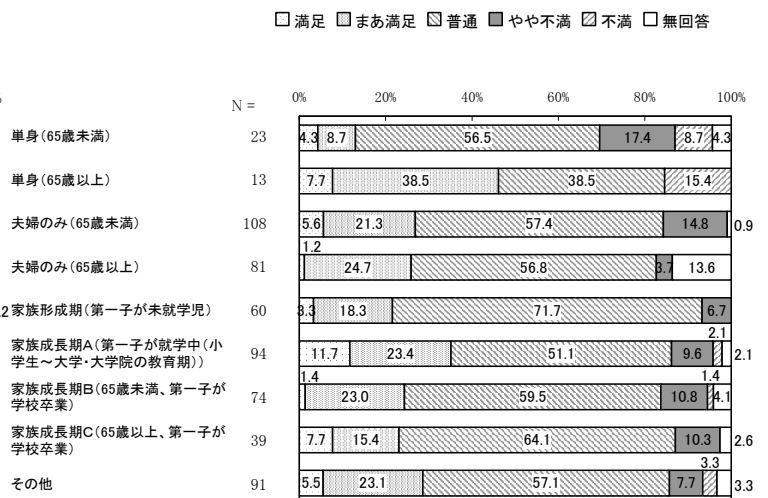
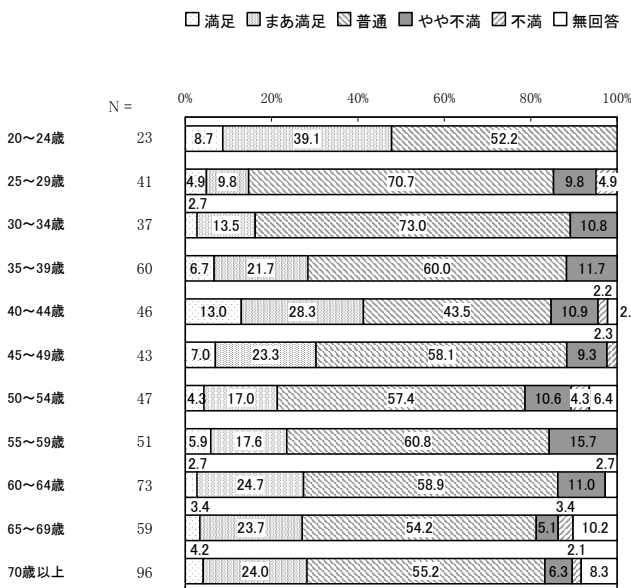


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】





**【問 10 重要度】**

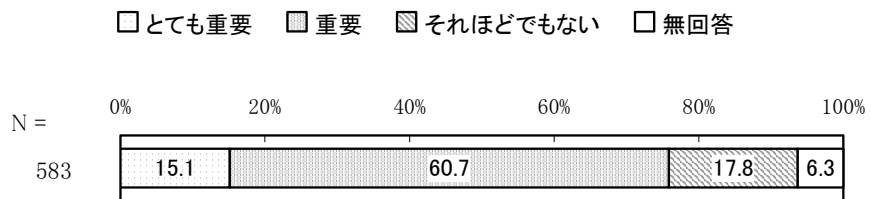
(14) 誰もが平等に情報を受け取ることができる( 広報紙・無線、ホームページ、メールなど) 環境

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、7割を超えています。

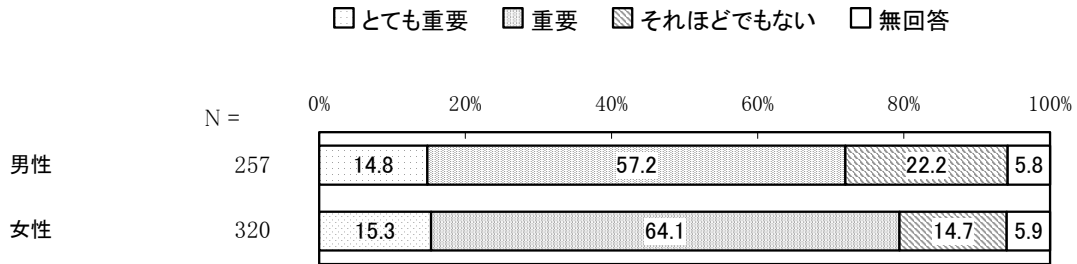
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で「それほどでもない」の割合が高く、3割を超えています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳以上)、夫婦のみ(65歳以上)で“重要”の割合が高く、8割を超えています。一方、単身(65歳未満)で「それほどでもない」の割合が高く、約3割となっています。

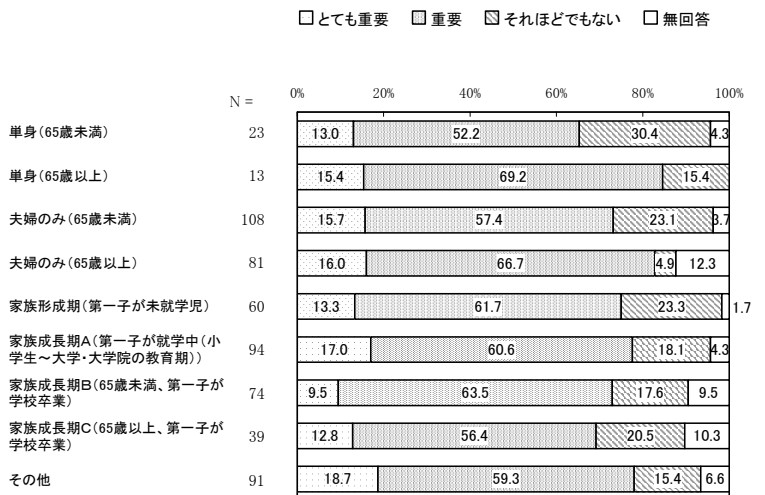
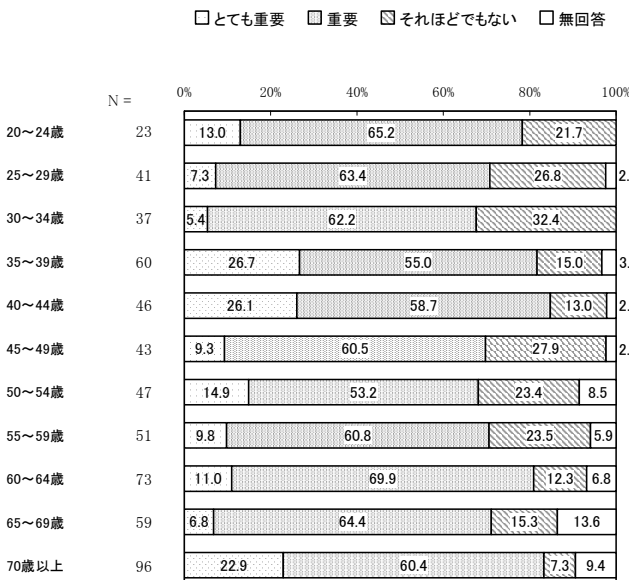


**【性 別】**



**【年代別】**

**【ライフステージ別】**



## 【問 10 満足度】

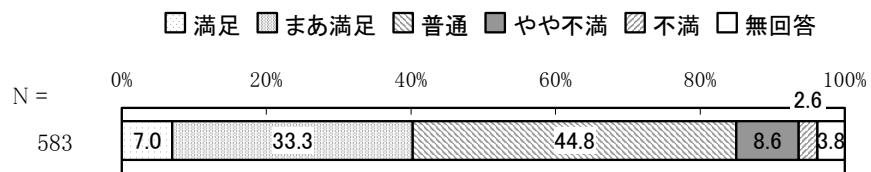
### (15) 空気や河川の水のきれいさ

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約4割となっています。

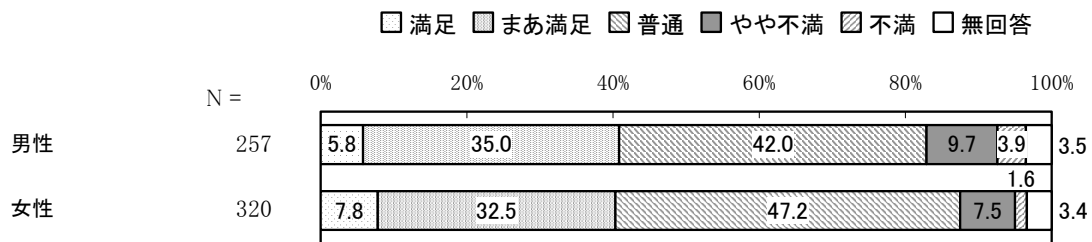
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、約6割となっています。

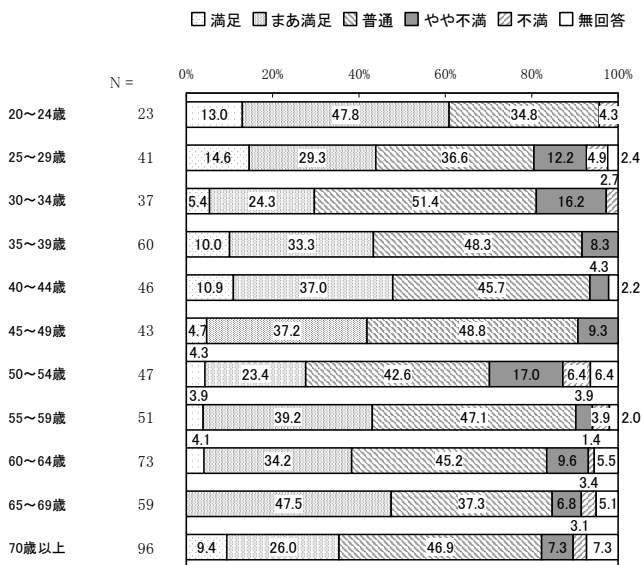
居住地別でみると、須山、千福が丘、企業団地で“満足”の割合が高く、約5割となっています。



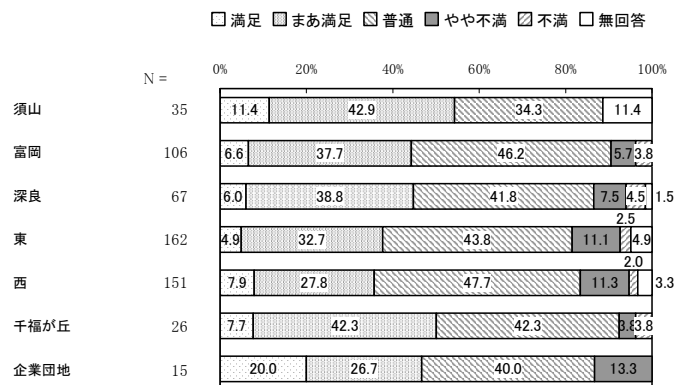
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



【問 10 重要度】

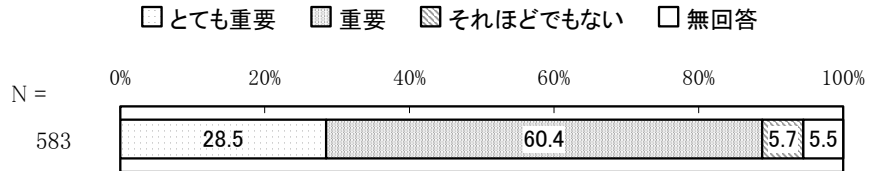
(15) 空気や河川の水のきれいさ

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

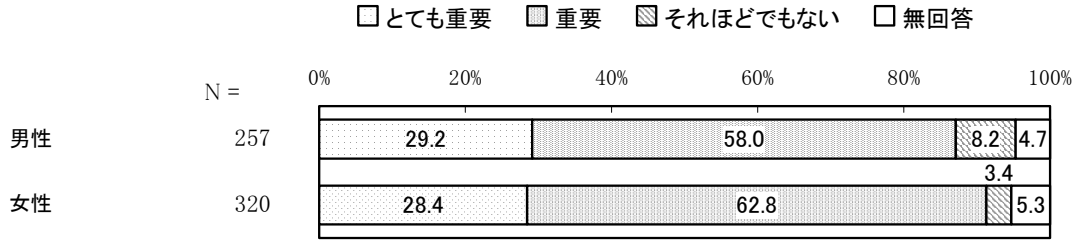
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、大きな差異はみられません。

居住地別でみると、大きな差異はみられません。

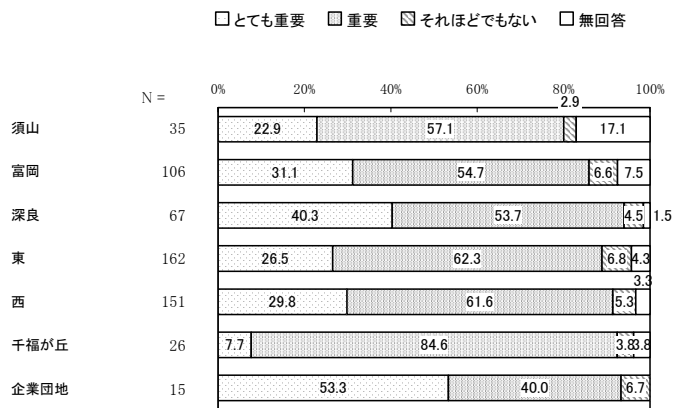
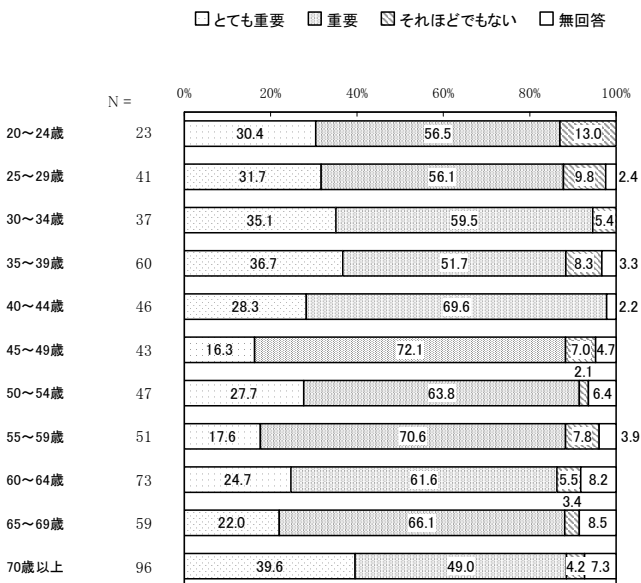


【性 別】



【年代別】

【居住地別】



## 【問 10 満足度】

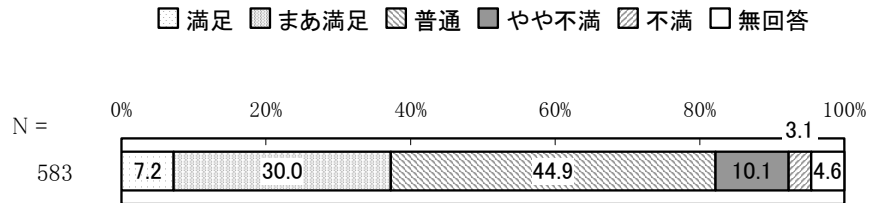
### (16) 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が約4割と、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合を上回っています。

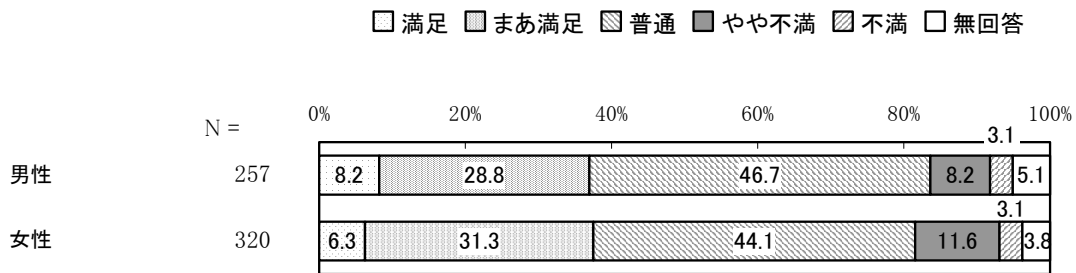
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳で“満足”の割合が高く、約5割となっています。

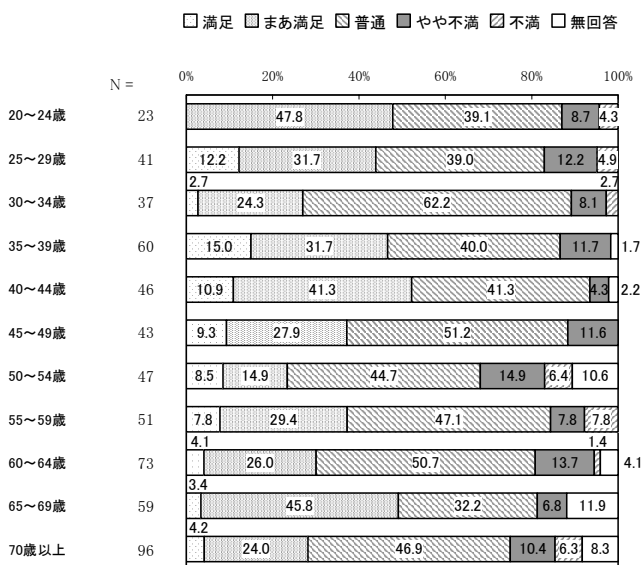
居住地別でみると、深良で“満足”の割合が高く、約5割となっています。



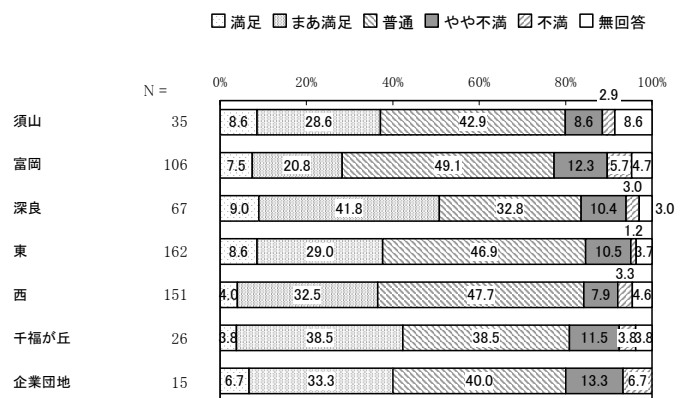
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



【問 10 重要度】

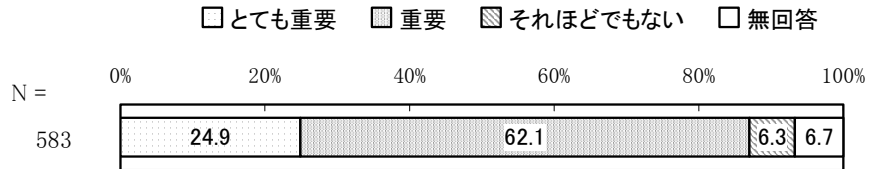
(16) 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

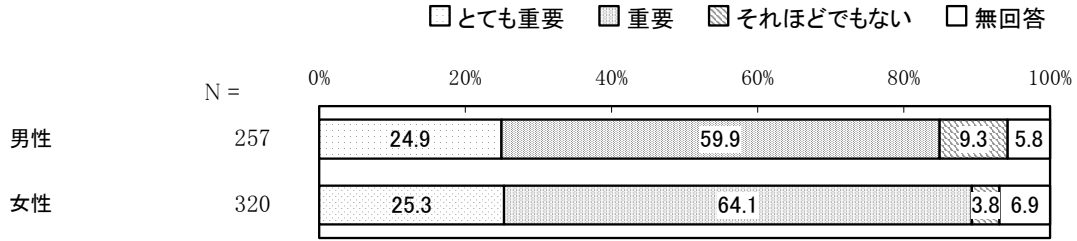
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、全年代で重要の割合が7割をこえています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“重要”の割合が約9割となっています。

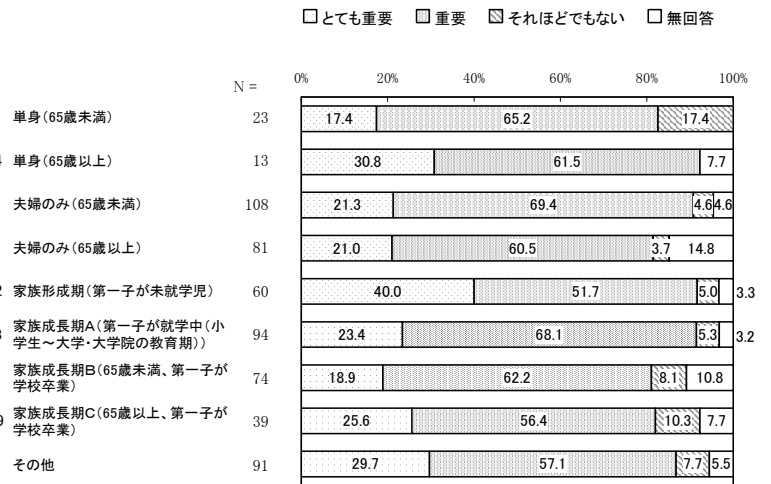
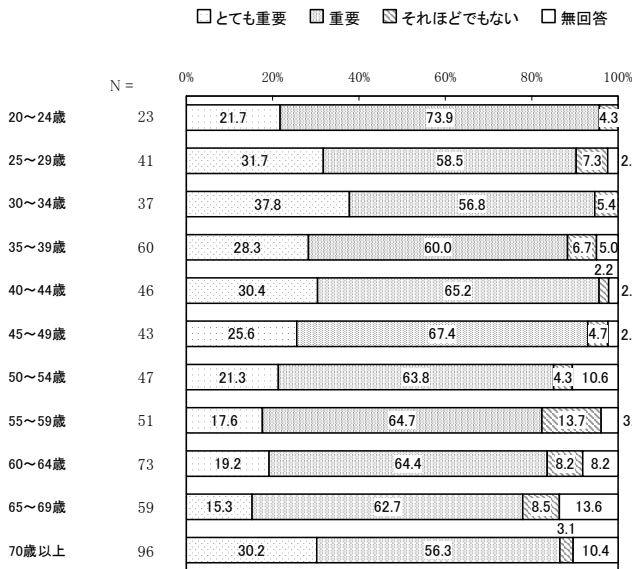


【性 別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問 10 満足度】

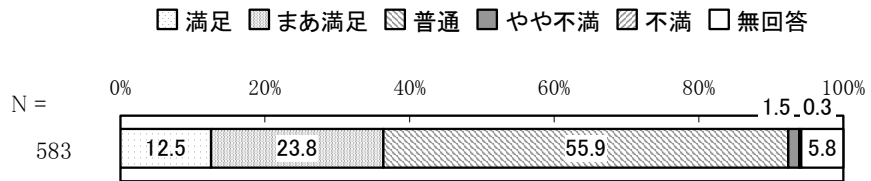
(17) 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が約3割と、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合を上回っています。

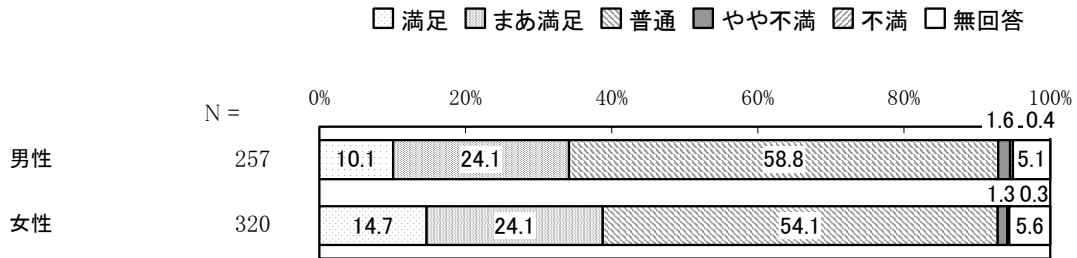
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、20～24歳で“満足”の割合が高く、6割を超えています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）で“満足”の割合が高く、約4割となっています。

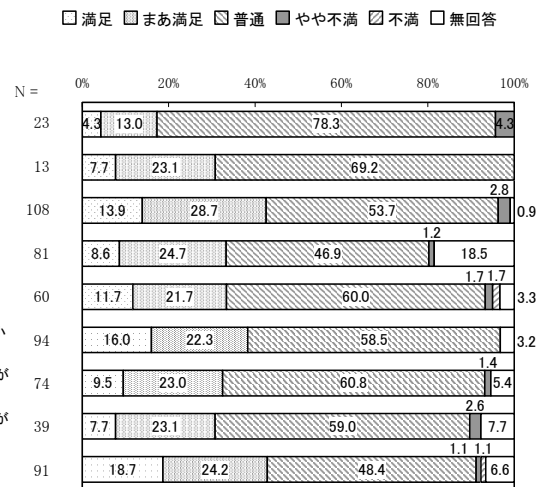
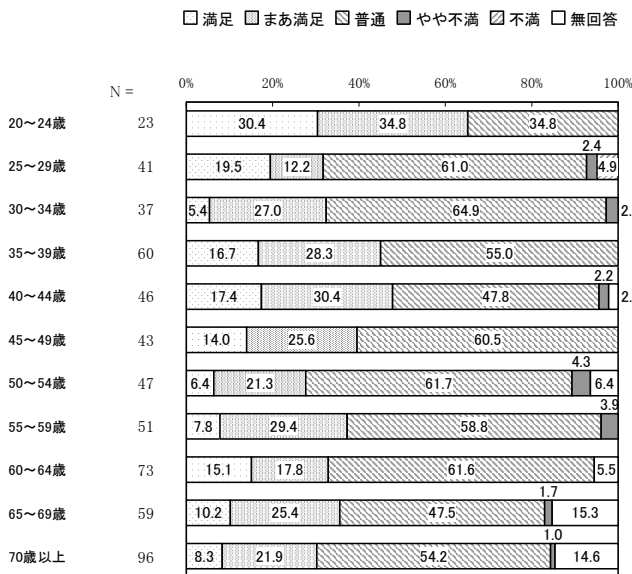


【性 別】



【年代別】

【ライフステージ別】



**【問 10 重要度】**

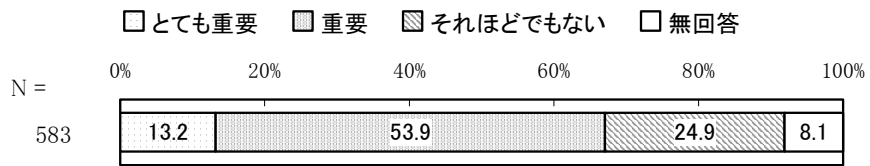
**(17) 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、6割を超えています。

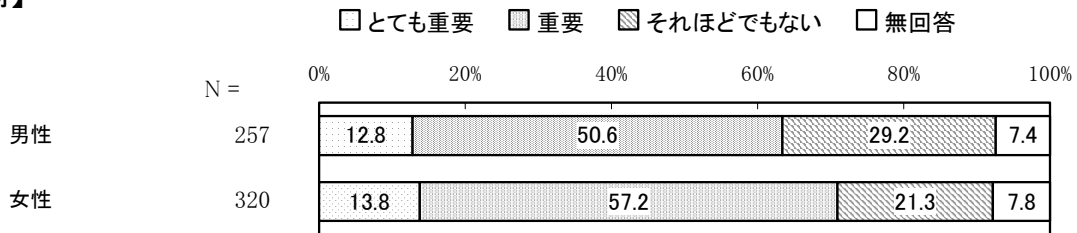
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が、約8割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）、夫婦のみ（65歳未満）で「それほどでもない」の割合が高く、3割を超えています。

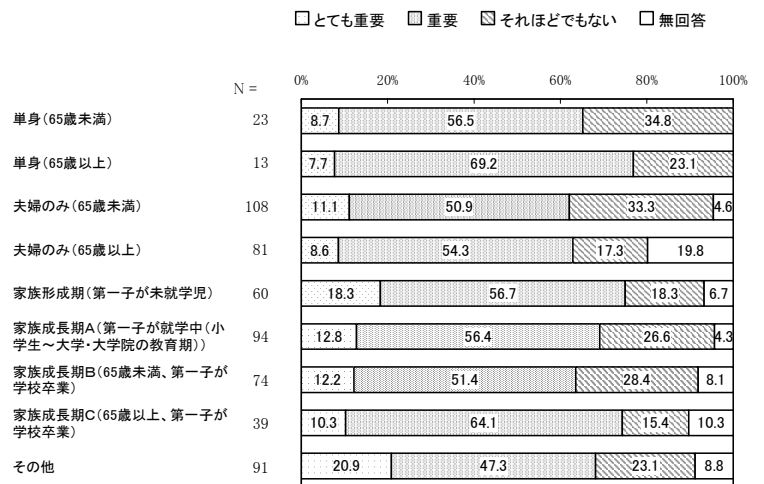
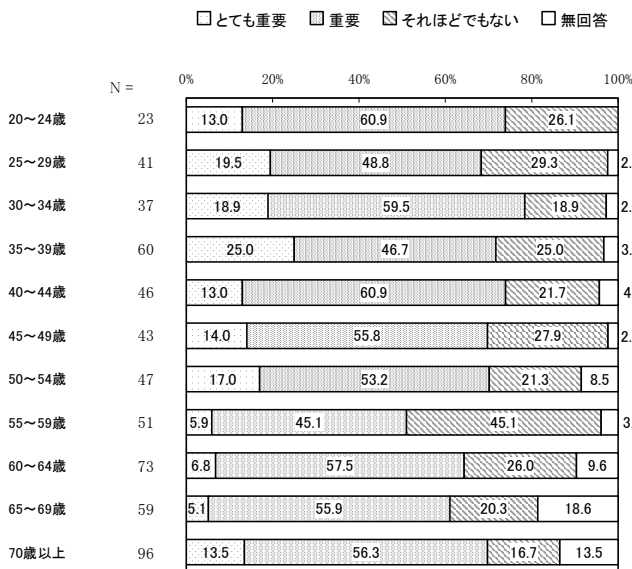


**【性 別】**



**【年代別】**

**【ライフステージ別】**



## 【問 10 満足度】

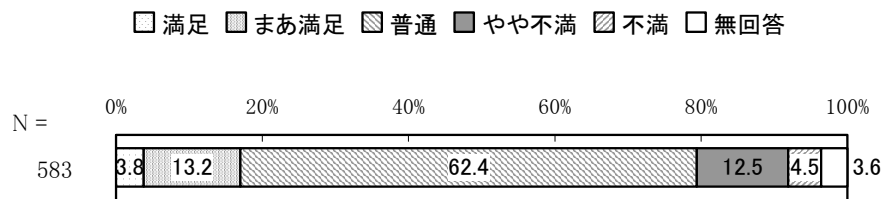
### (18) 河川や水路の整備状況

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合と「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”が共に約2割となっています。

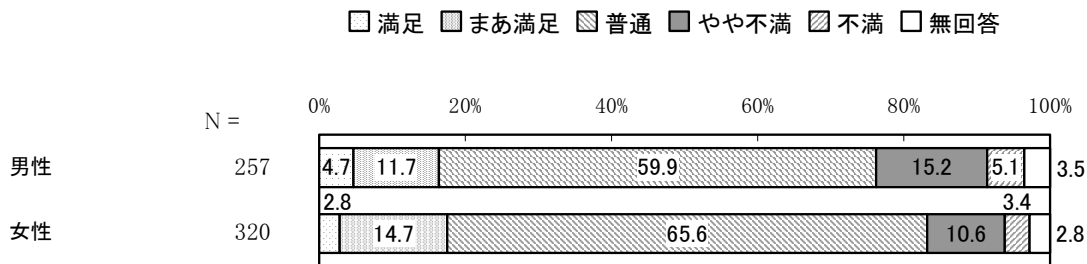
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、約4割となっています。

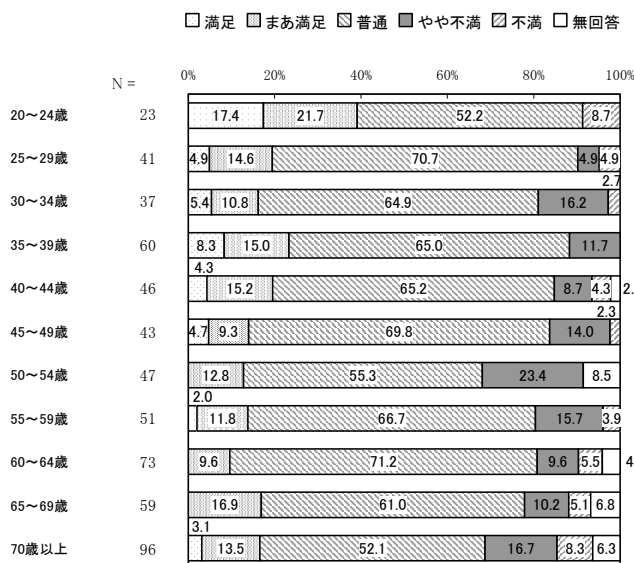
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“不満”の割合が高く、約4割となっています。



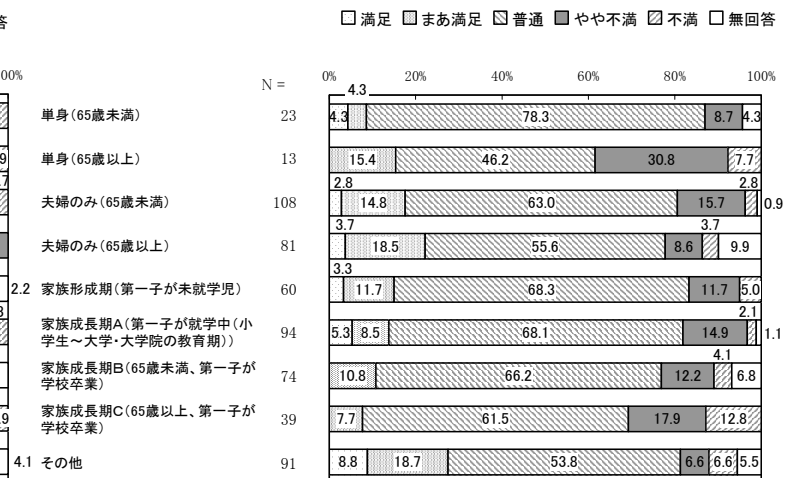
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】





## 【問 10 重要度】

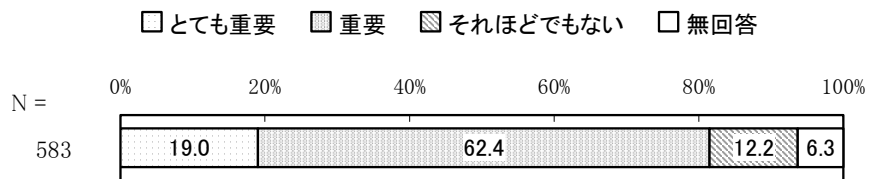
### (18) 河川や水路の整備状況

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

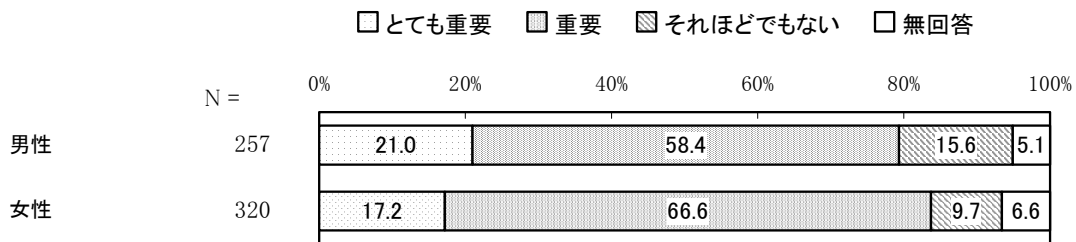
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が、約9割となっています。

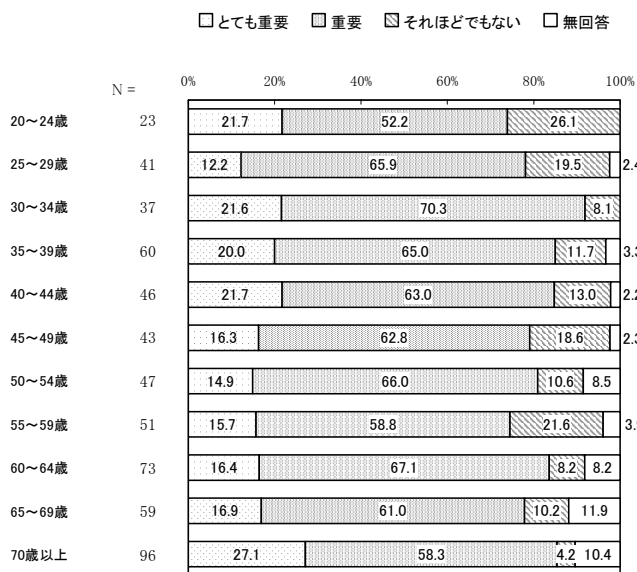
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で「それほどでもない」の割合が高く、3割を超えています。



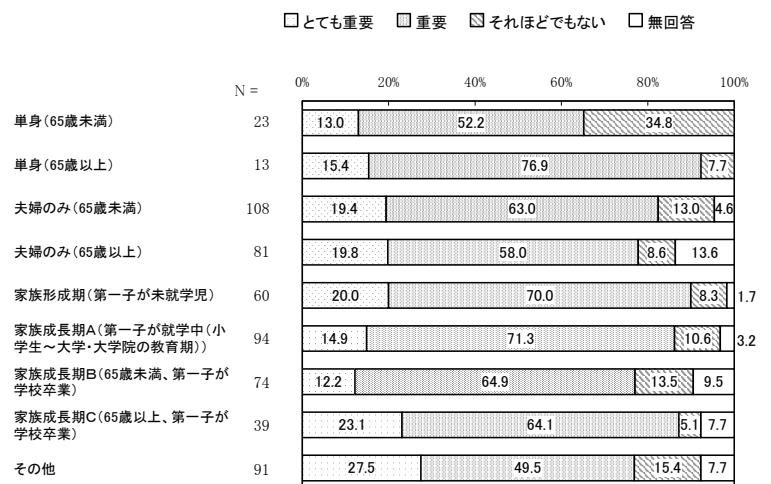
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



【問 10 満足度】

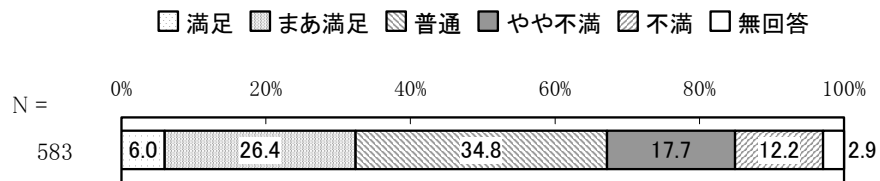
(19) 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約3割となっています。

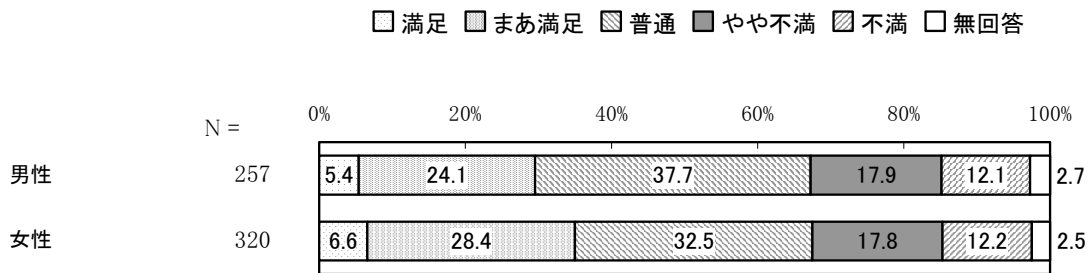
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、約5割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）、単身（65歳以上）、夫婦のみ（65歳未満）で“満足”の割合が高く、約4割となっています。

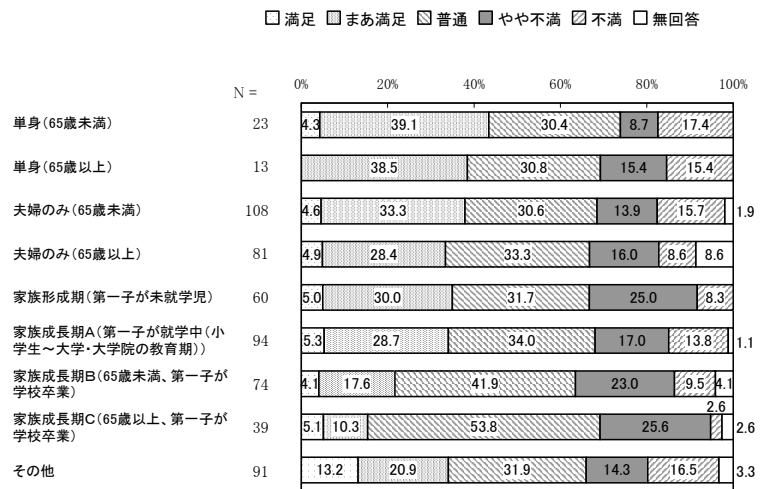
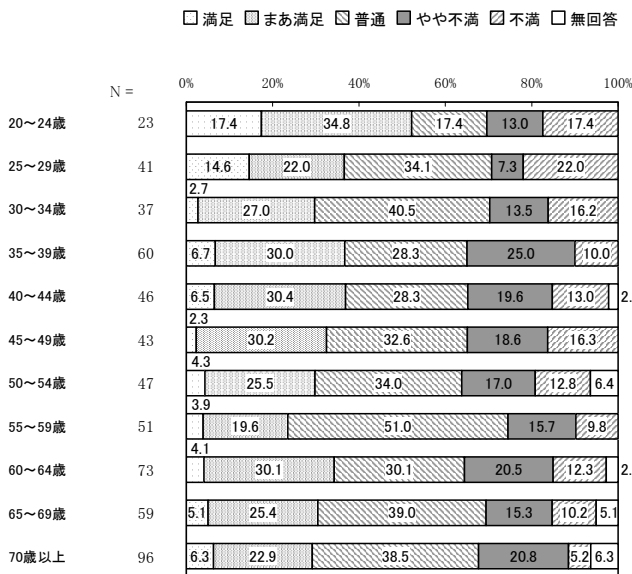


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問 10 重要度】

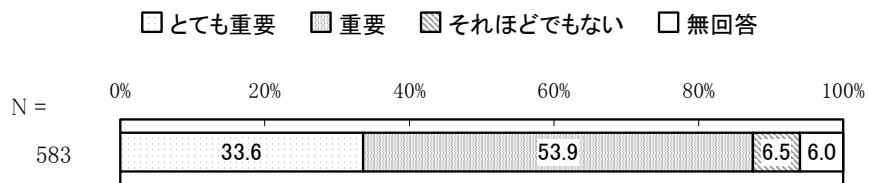
(19) 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

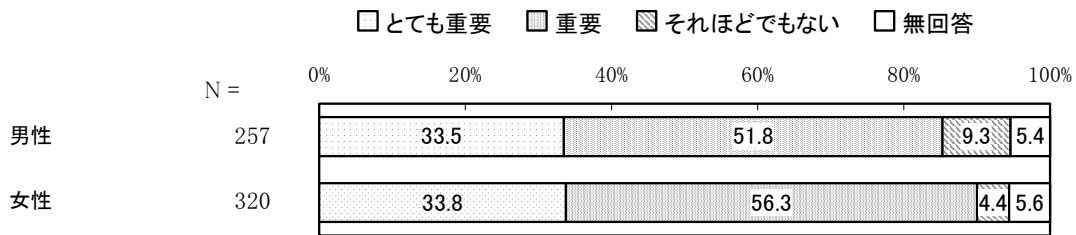
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、20～24歳で“重要”の割合が高く、すべての方が“重要”と回答しています。

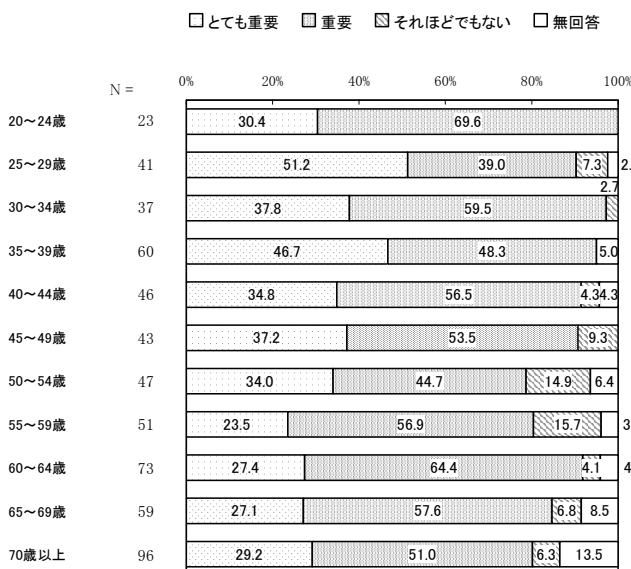
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、9割を超えており、特に単身（65歳以上）ですべての方が“重要”と回答しています。



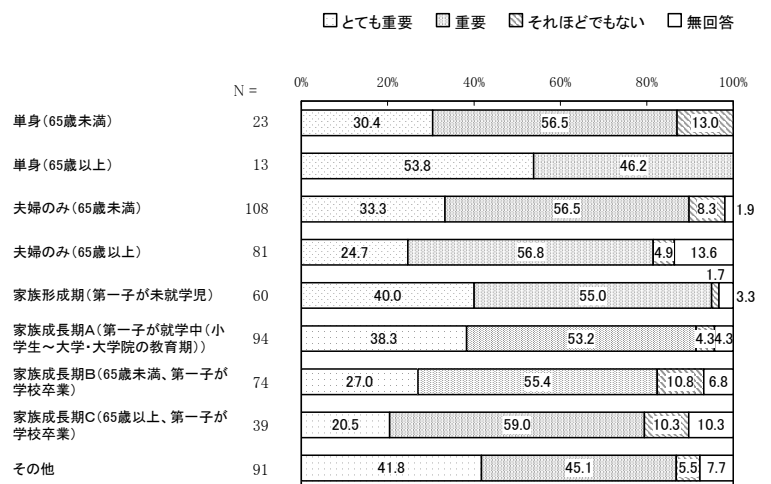
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



## ② 裾野市の取り組みについて

問 11 裾野市の行政としての取り組みについてお答えください。(満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ〇は1つずつ)

### 現状の満足度と今後の重要度

現状の評価と重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

各項目の回答者に下表の点数をかけて合計し、回答者総数で割った平均値を得点とします。

#### 現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

#### 重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

### 満足度&重要度ベスト3

満足度		
順位	事業名	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	0.57
2	リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	0.14
3	市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.03

重要度		
順位	事業名	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	1.49
2	安心して子育てができる環境の充実	1.40
3	衛生的で快適な下水道の整備状況	1.38

### 満足度が低く重要度が高い項目(今後、重点課題として検討が必要)

順位	事業名	満足度	重要度	点数差※
1	市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化	-0.49	1.38	-1.87
2	市内の土地利用のバランスの良さ	-0.62	1.07	-1.69
3	にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進	-0.57	1.11	-1.68

※点数差：満足度から重要度を引いたもの。点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

## 満足度・重要度による順位

満足度	点数	順位	点数	重要度
豊かで良質な水道水の確保	0.57	1	1.49	豊かで良質な水道水の確保
リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	0.14	2	1.40	安心して子育てができる環境の充実
市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.03	3	1.38	衛生的で快適な下水道の整備状況
衛生的で快適な下水道の整備状況	0.02	4	1.38	市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化
市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	-0.02	5	1.37	小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み
安心して子育てができる環境の充実	-0.04	6	1.32	ごみの不法投棄や公害への対策
市の行う「生涯学習プログラム」の充実度	-0.04	7	1.30	市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度
わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応	-0.04	8	1.27	リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み
工業を中心とした産業の浄性化	-0.05	9	1.24	市の「対応の早さ」など、行政運営の効率化
日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」	-0.07	10	1.23	次世代を担う青少年の育成
障がいのある人の社会参加と自立	-0.11	11	1.17	市が行う「高齢者に対する施策」の充実感
小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	-0.12	12	1.17	障がいのある人の社会参加と自立
次世代を担う青少年の育成	-0.12	13	1.15	わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応
ごみの不法投棄や公害への対策	-0.12	14	1.11	工業を中心とした産業の浄性化
市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	-0.13	15	1.11	にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進
市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度	-0.18	16	1.10	公園などの身近な緑地の環境整備
近隣市町との交流などの広域連携の促進	-0.19	17	1.07	市内の土地利用のバランスの良さ
農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進	-0.20	18	1.07	農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進
音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	-0.26	19	1.07	近隣市町との交流などの広域連携の促進
市民が関わることのできるまちづくり	-0.29	20	1.06	市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」
スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備	-0.30	21	1.04	新たな観光資源の創出と観光情報の発信
公園などの身近な緑地の環境整備	-0.30	22	0.97	日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」
市の「対応の早さ」など、行政運営の効率化	-0.31	23	0.96	市民が関わることのできるまちづくり
市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化	-0.49	24	0.95	スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備
新たな観光資源の創出と観光情報の発信	-0.52	25	0.94	市の行う「生涯学習プログラム」の充実度
にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進	-0.57	26	0.91	市が行う「健康づくりプログラム」の充実感
市内の土地利用のバランスの良さ	-0.62	27	0.79	音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

問 11 裾野市の行政としての取り組みについてお答えください。(満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ〇は1つずつ)

【問 11 満足度】

(1) 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

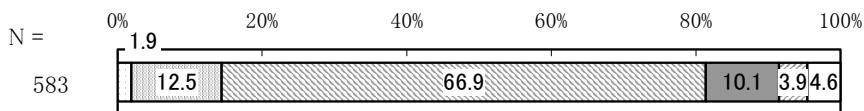
全体で見ると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、1割を超えています。

性別で見ると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高くなっています。

年代別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高く、2割を超えています。

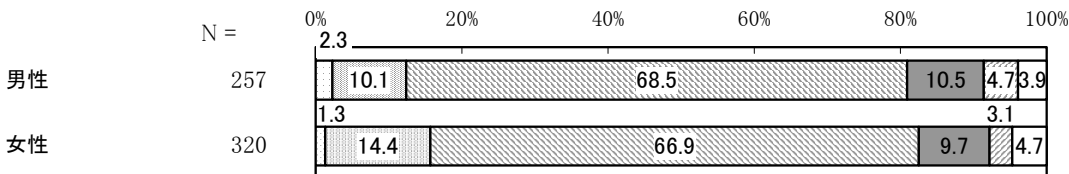
ライフステージ別で見ると、他に比べ、夫婦のみ(65歳以上)で“満足”の割合が高く、2割を超えています。

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答



【性別】

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

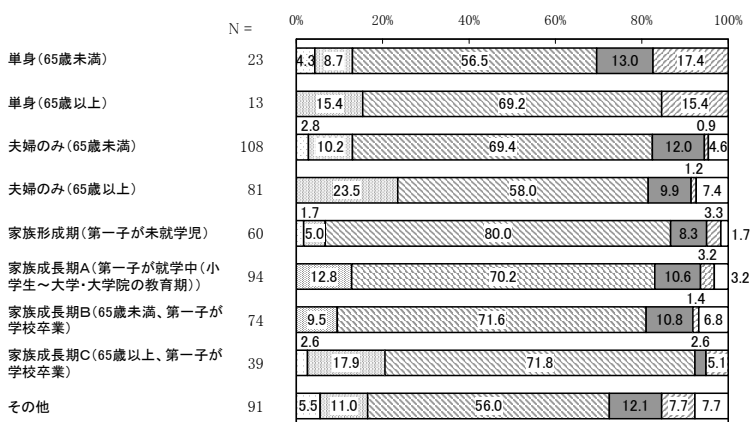
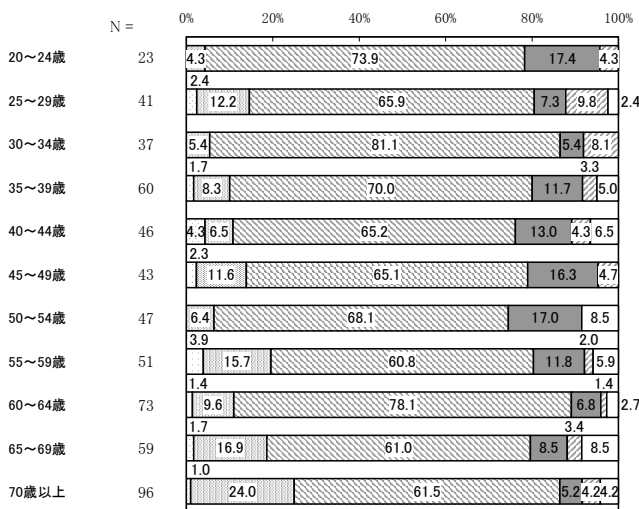


【年代別】

【ライフステージ別】

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答



## 【問 11 重要度】

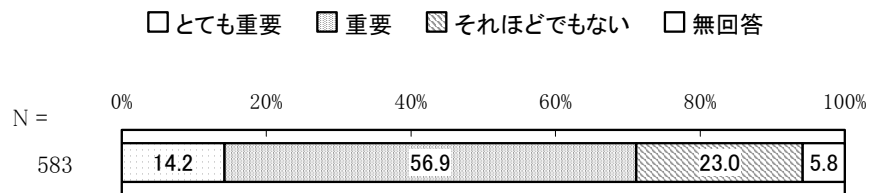
### (1) 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約7割となっています。

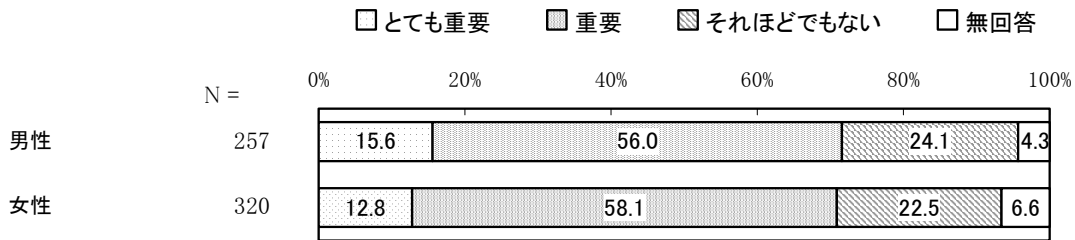
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“重要”の割合が高く、約8割となっています。

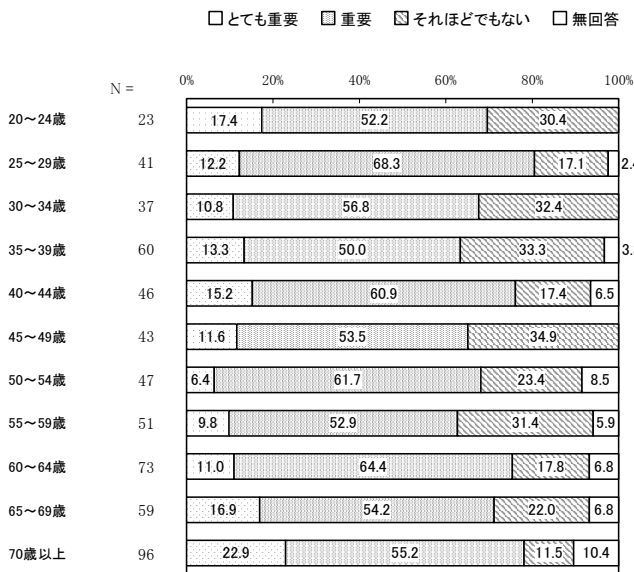
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



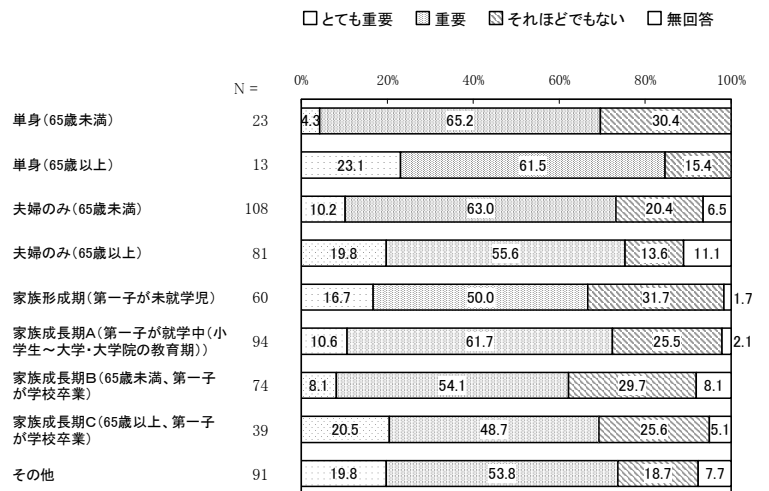
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

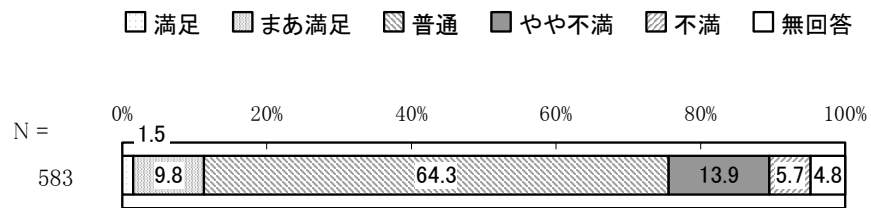
### (2) 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。

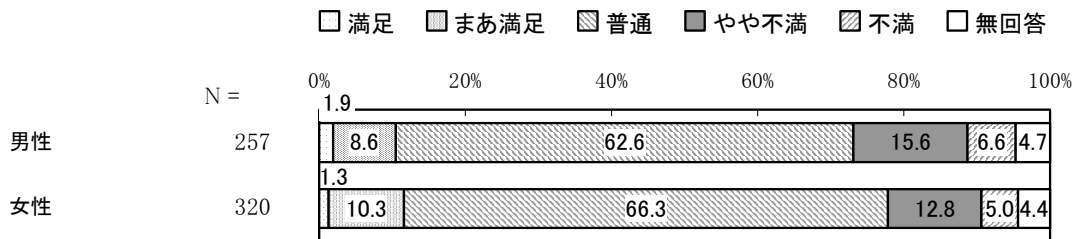
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“不満”の割合が高く、約2割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）、夫婦のみ（65歳以上）で“満足”の割合が高くなっています。

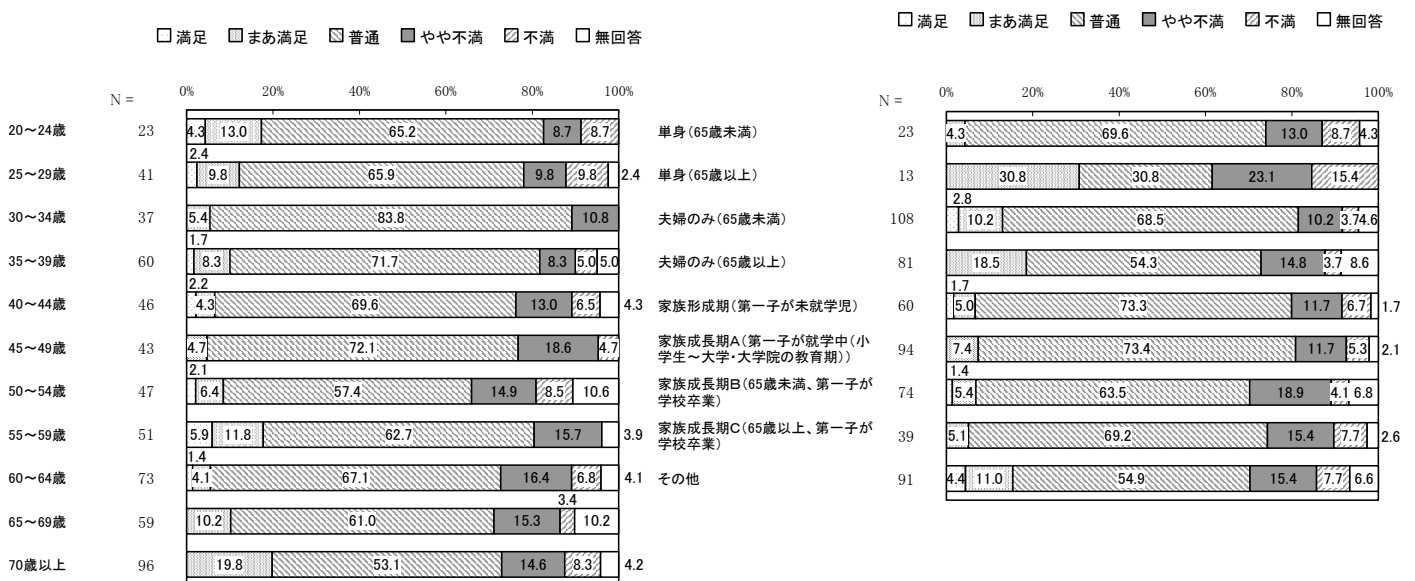


### 【性別】



### 【年代別】

### 【ライフステージ別】





## 【問 11 重要度】

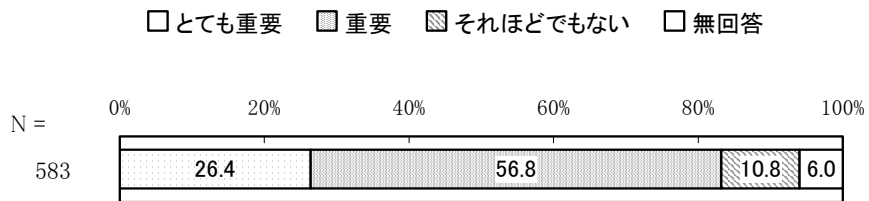
### (2) 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

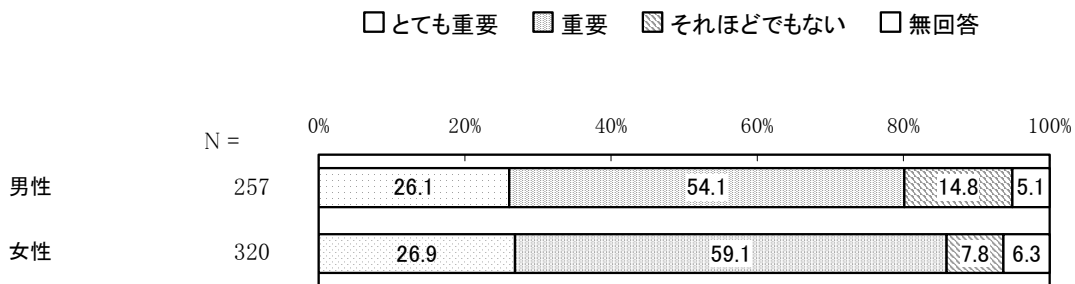
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、30～34歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

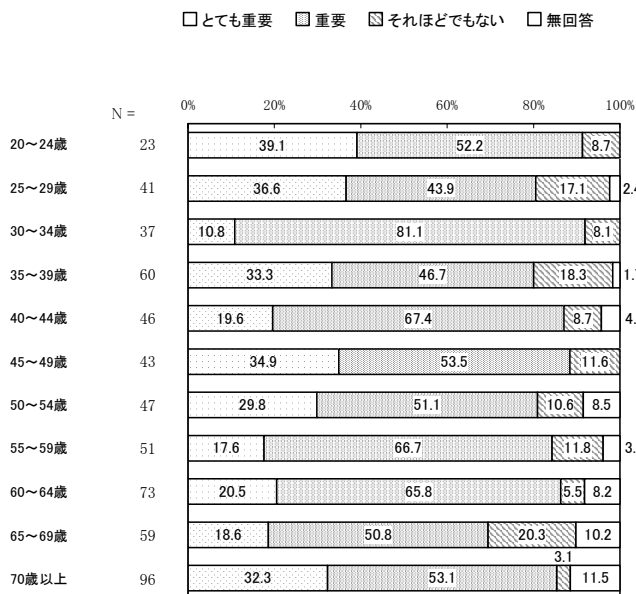
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“重要”の割合が高く、9割を超えています。



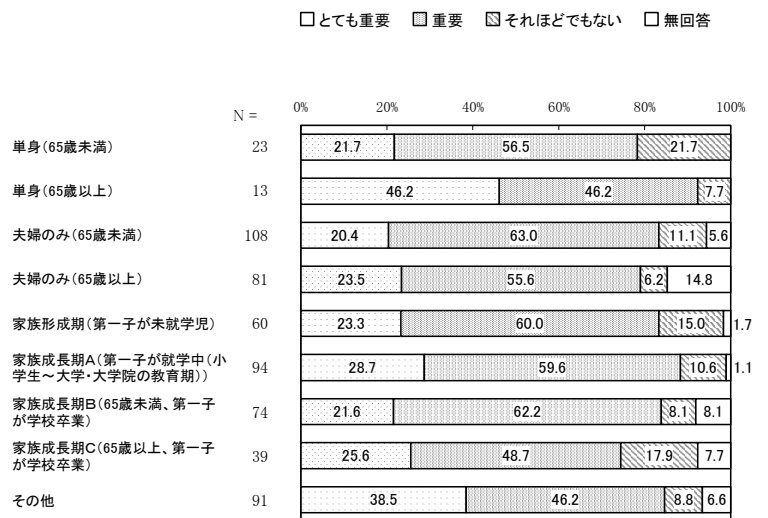
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

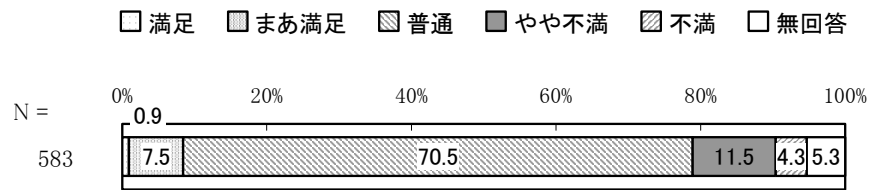
### (3) 障がいのある人の社会参加と自立

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、1割を超えています。

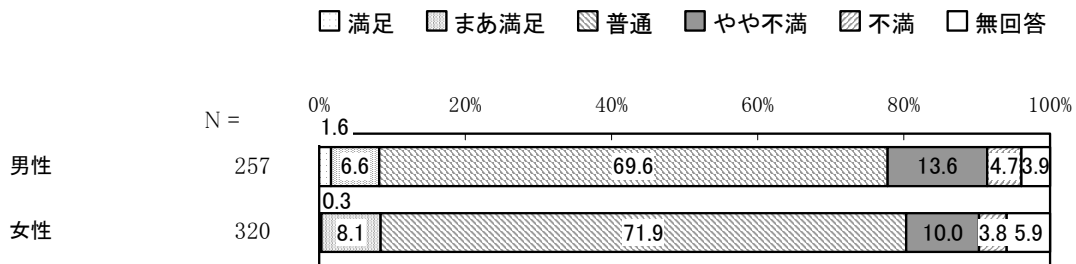
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“不満”の割合が高く、約2割となっています。

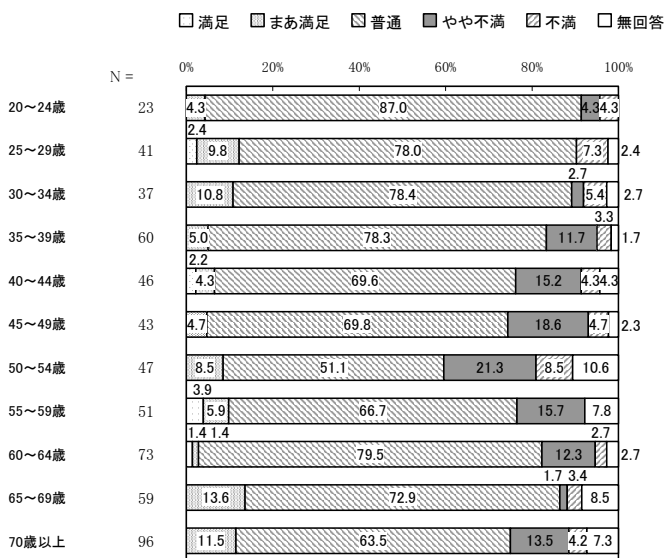
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



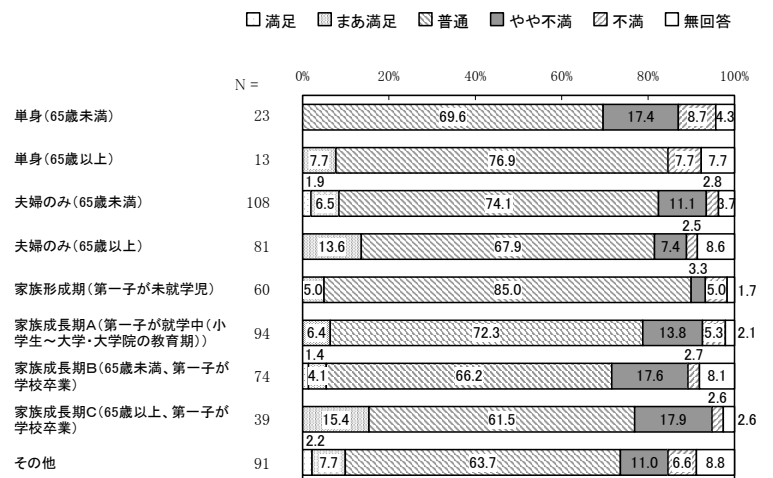
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



【問 11 重要度】

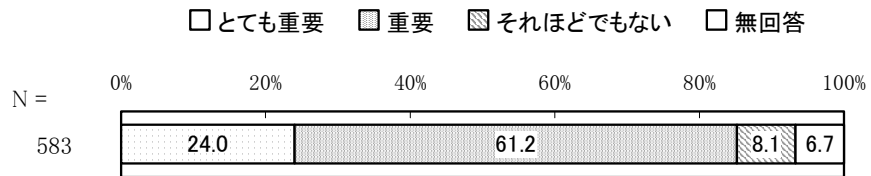
(3) 障がいのある人の社会参加と自立

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

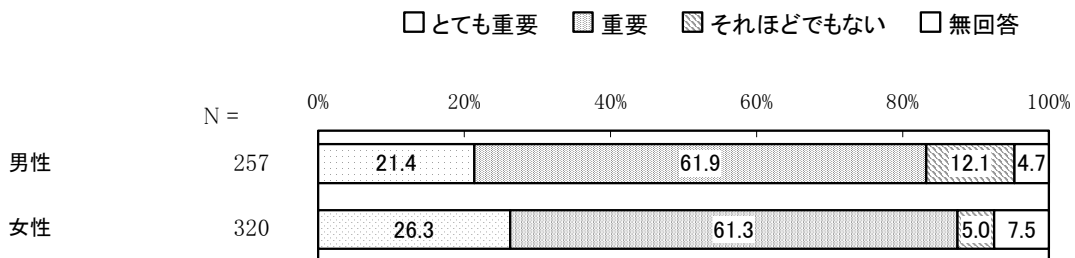
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

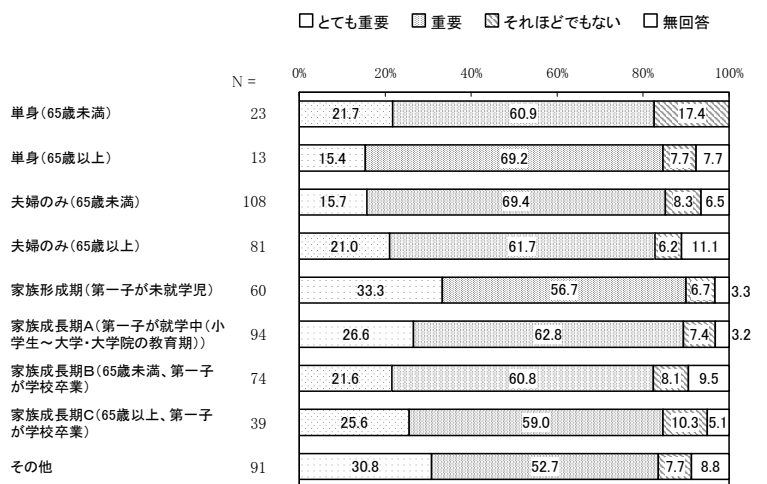
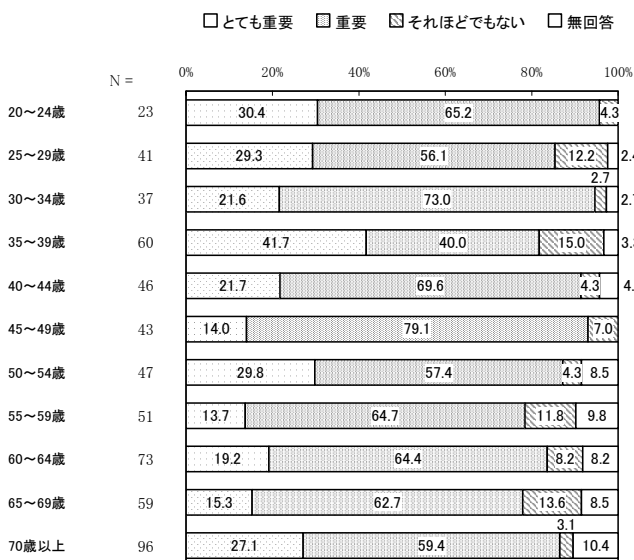


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

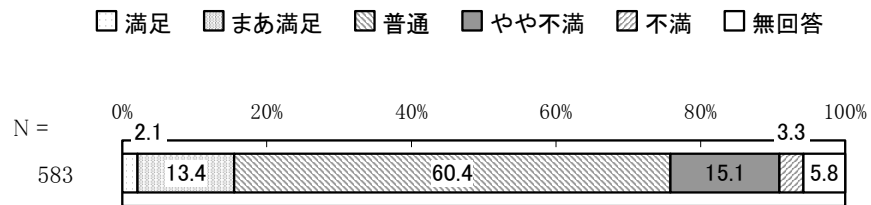
### (4) 安心して子育てができる環境の充実

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。

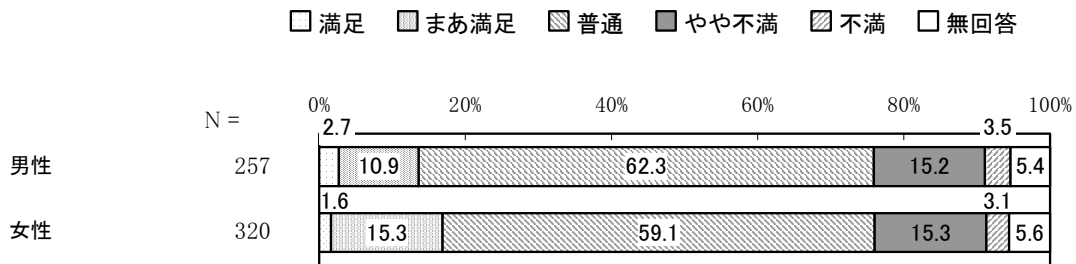
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“不満”の割合が高く、約2割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

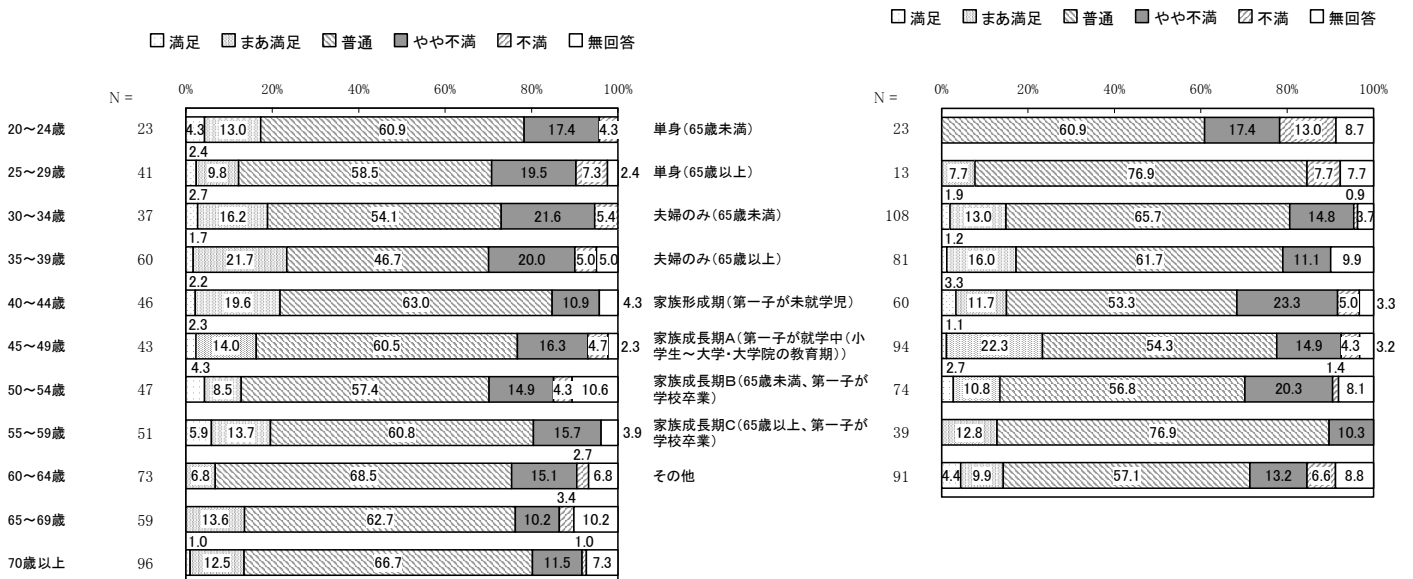


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



【問 11 重要度】

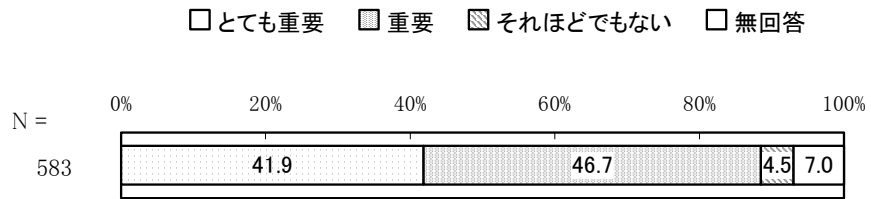
(4) 安心して子育てができる環境の充実

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

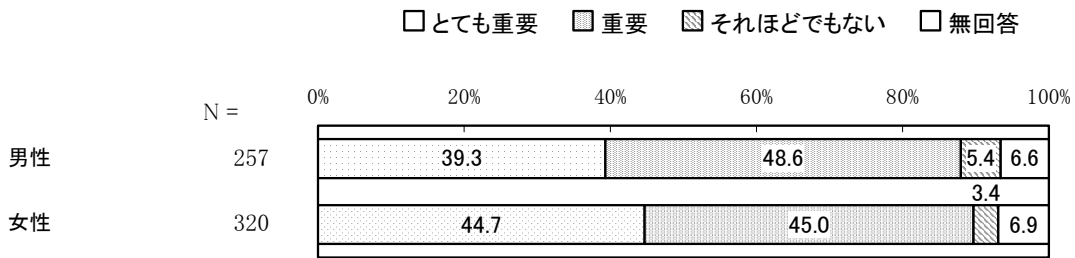
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、30～34歳ですべての方が“重要”と回答しています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

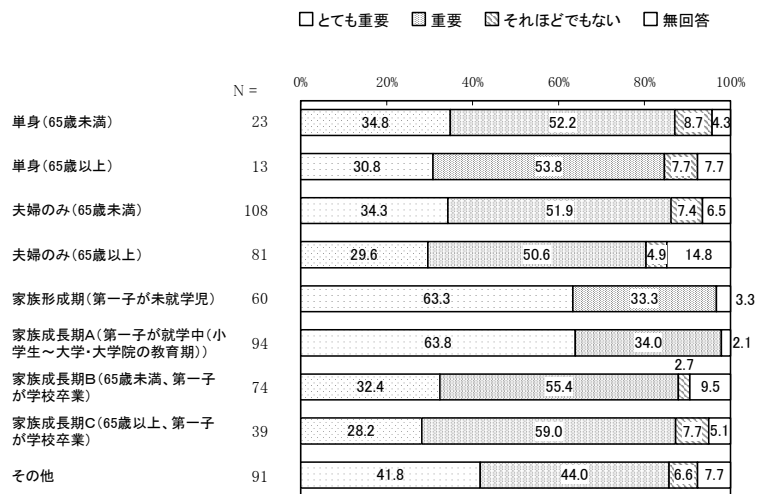
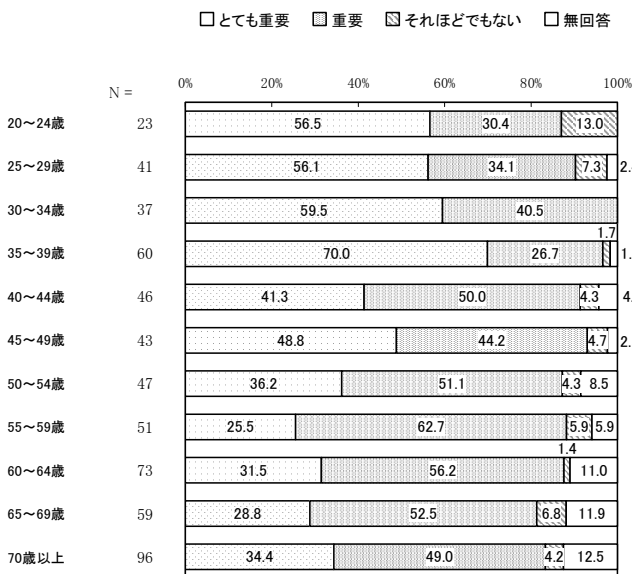


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

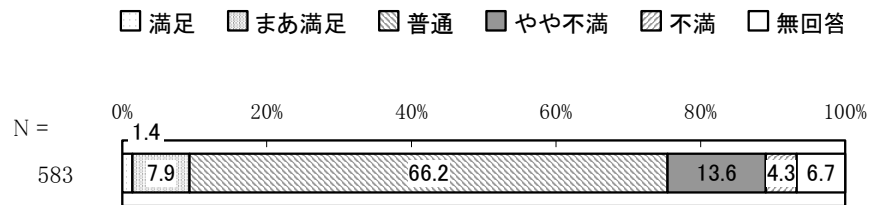
### (5) 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、1割を超えています。

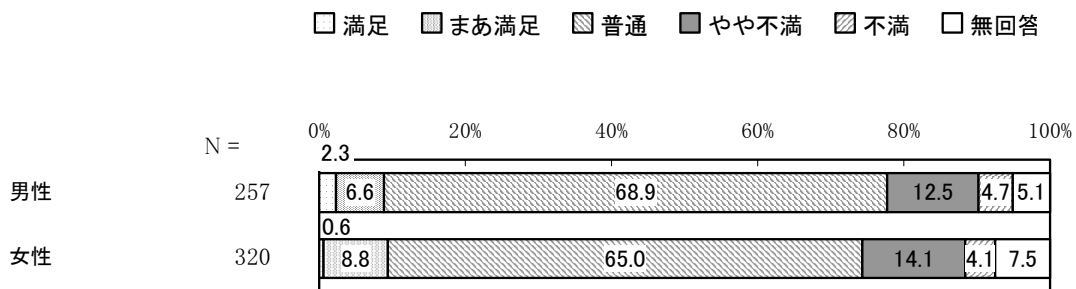
性別でみると、男性に比べ、女性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

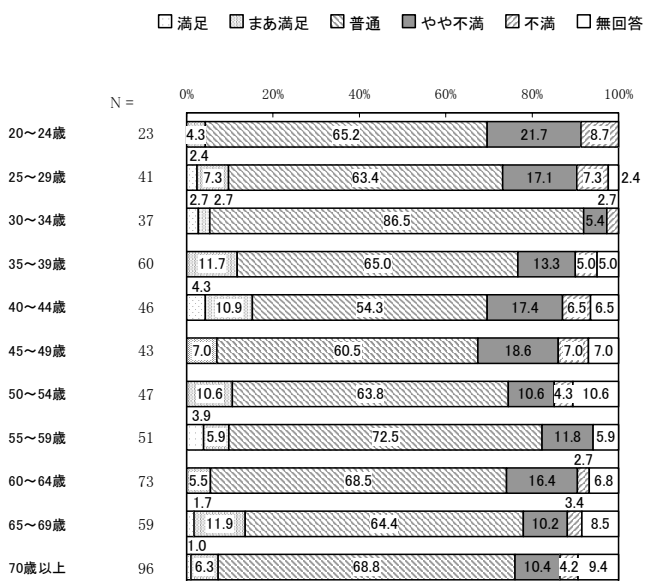
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“不満”の割合が高くなっています。



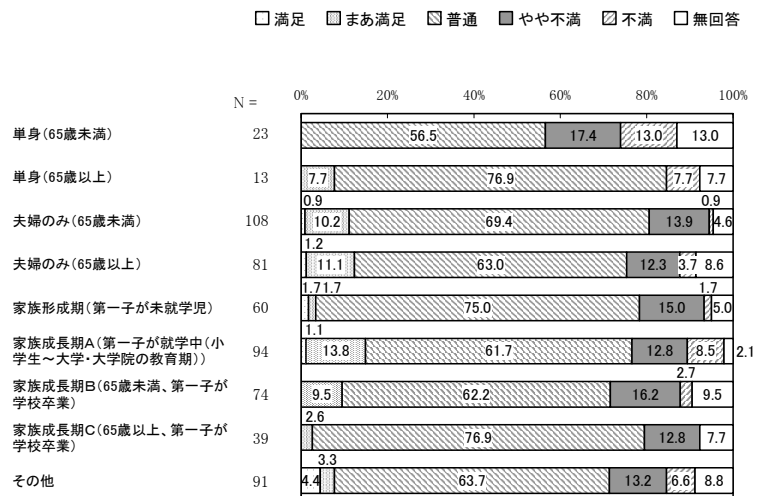
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



【問 11 重要度】

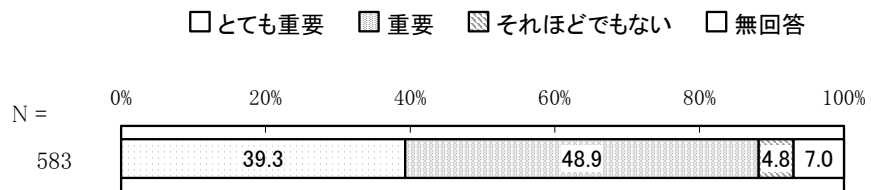
(5) 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

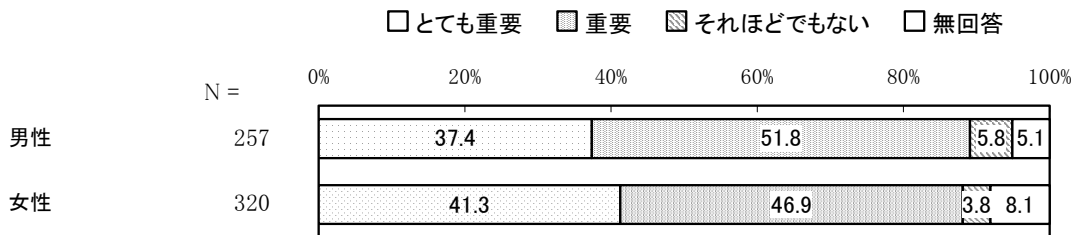
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、30～34歳ですべての方が“重要”と回答しています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

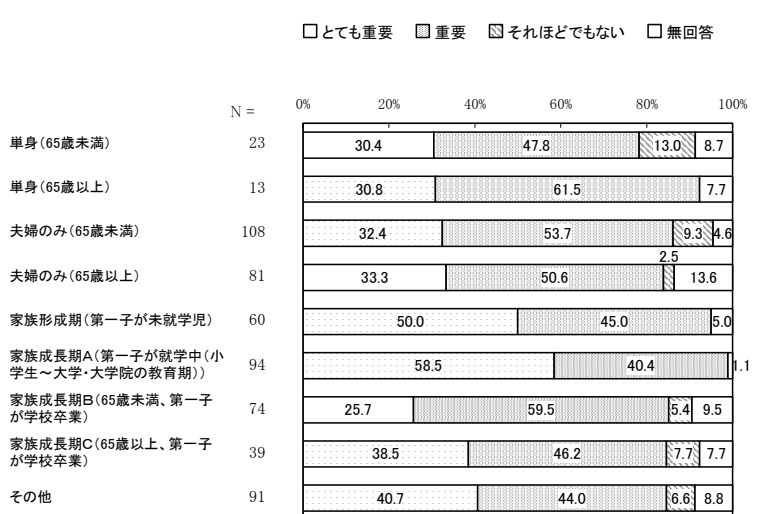
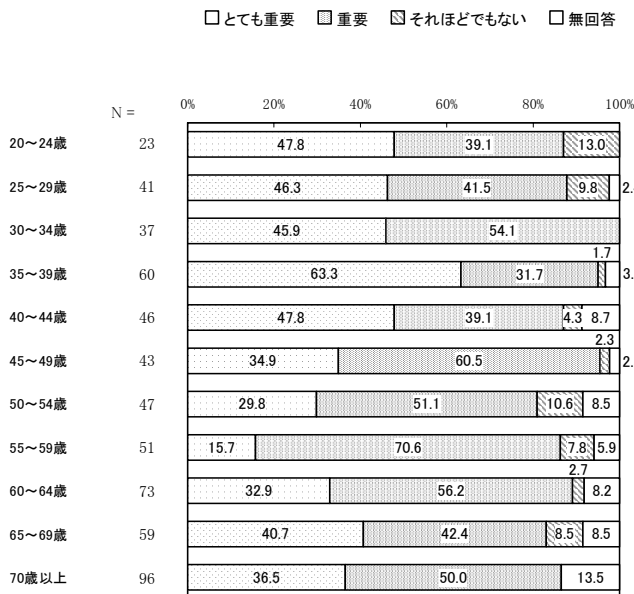


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

### (6) 市の行う「生涯学習プログラム」の充実度

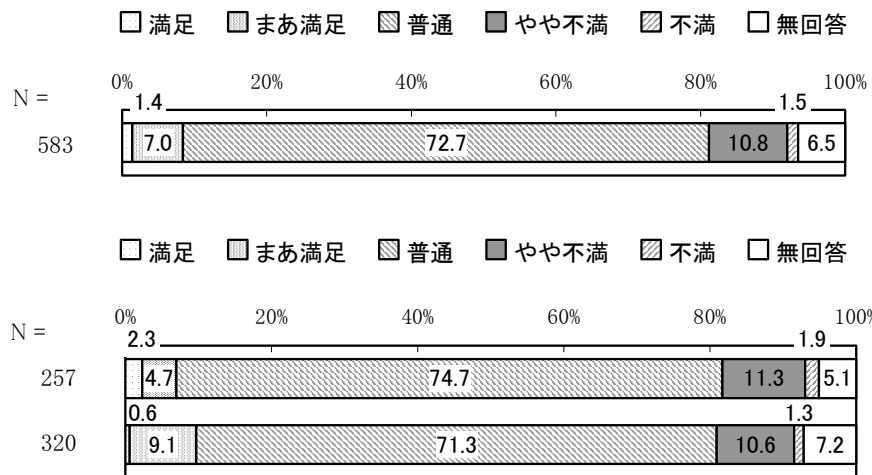
全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約1割となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

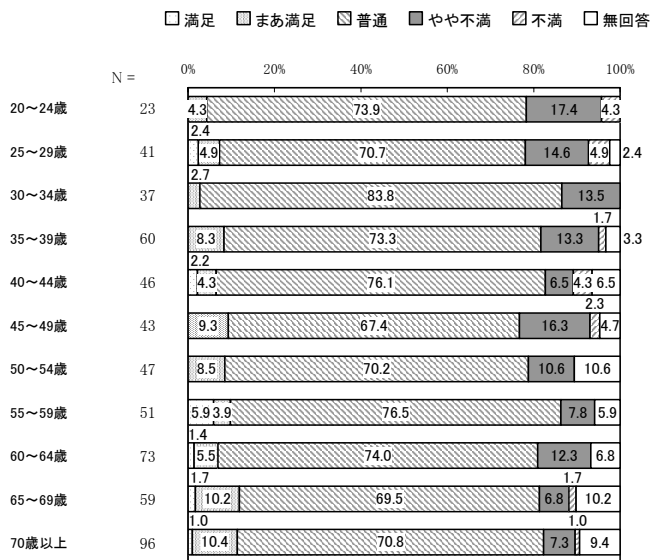
年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“不満”の割合が高く、約2割となっています。

ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳以上）で“満足”の割合が高く、2割を超えています。

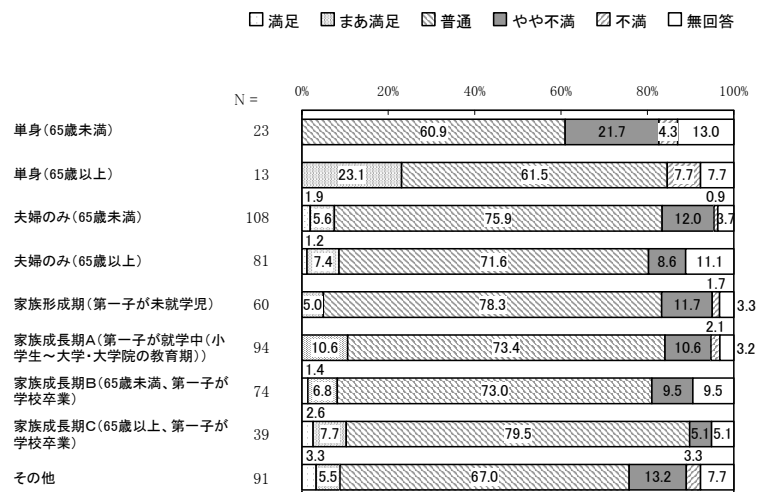
### 【性別】



### 【年代別】



### 【ライフステージ別】





【問 11 重要度】

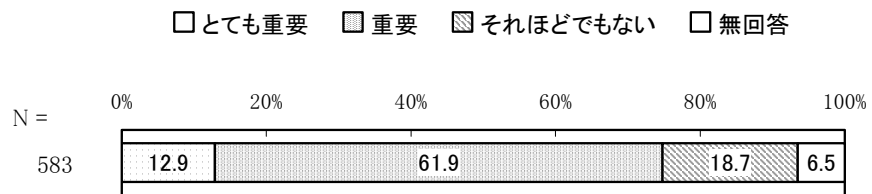
(6) 市の行う「生涯学習プログラム」の充実度

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、7割を超えています。

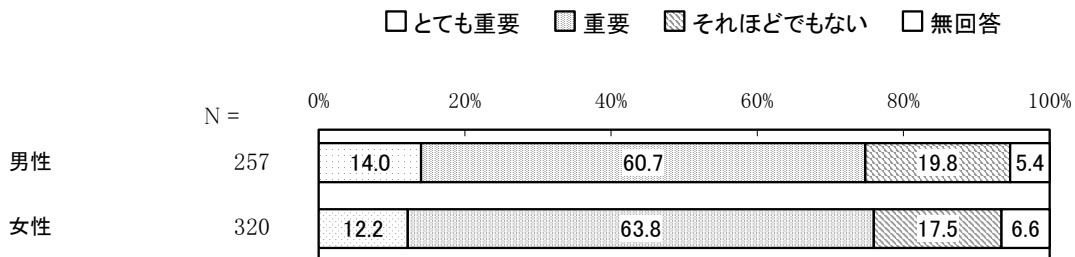
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳以上)、家族形成期(第一子が未就学児)で“重要”の割合が高く、8割を超えています。

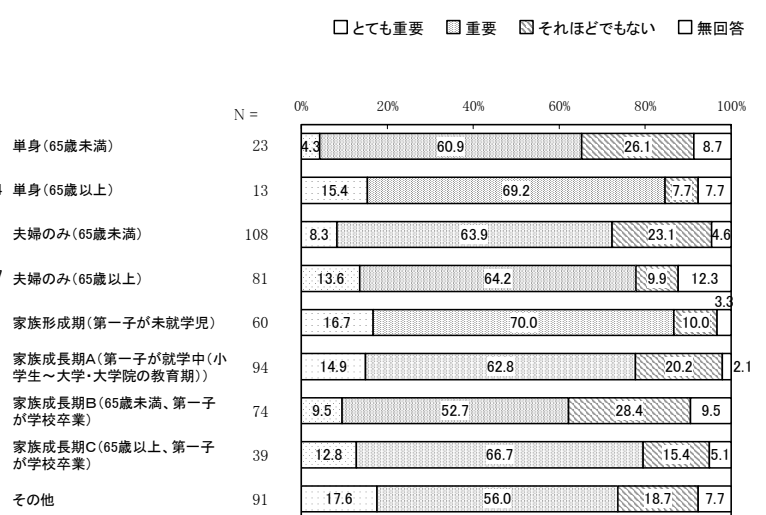
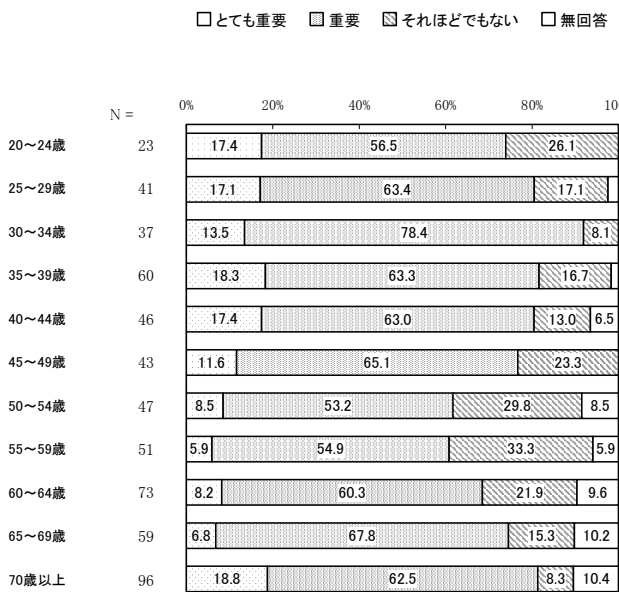


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

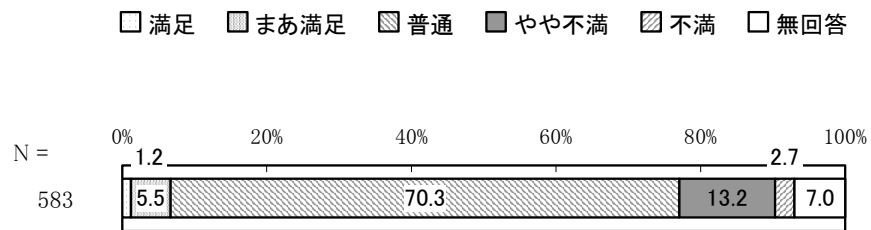
### (7) 次世代を担う青少年の育成

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、1割を超えています。

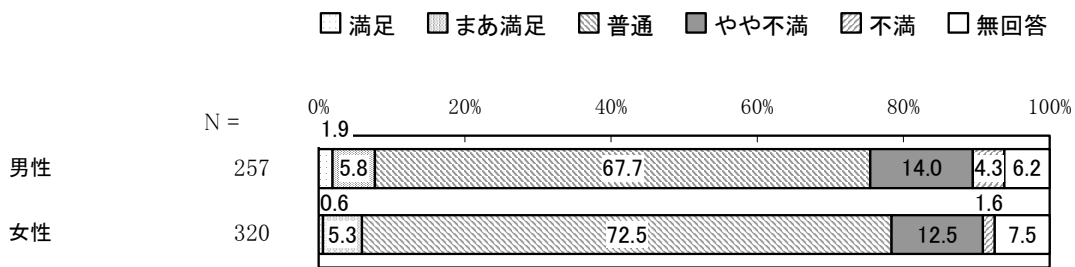
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

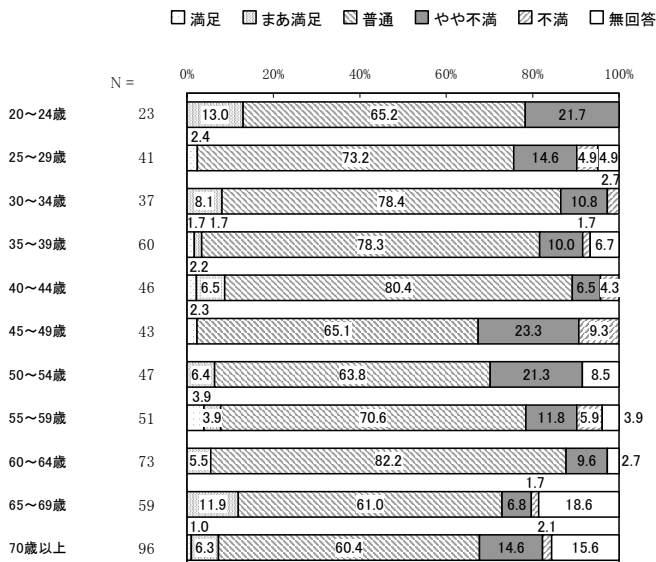
ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



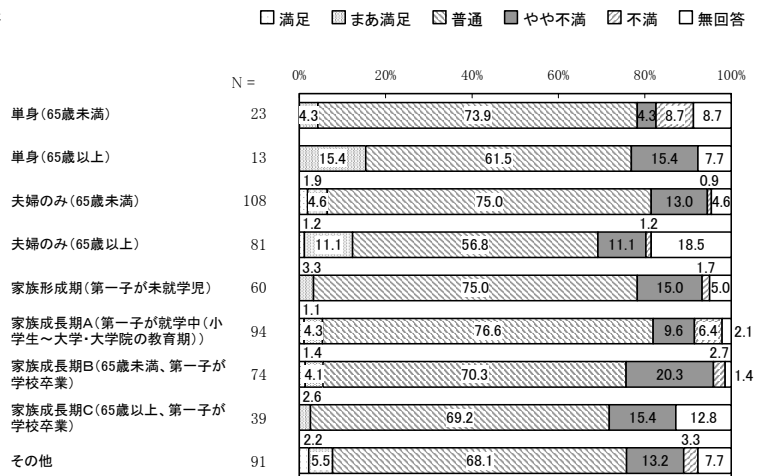
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 重要度】

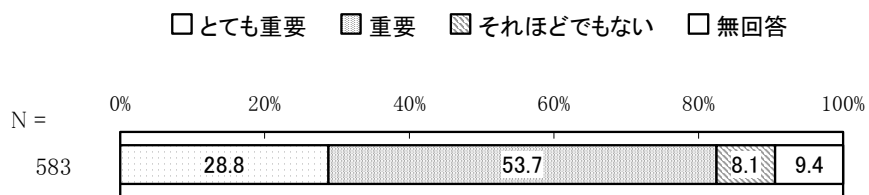
### (7) 次世代を担う青少年の育成

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

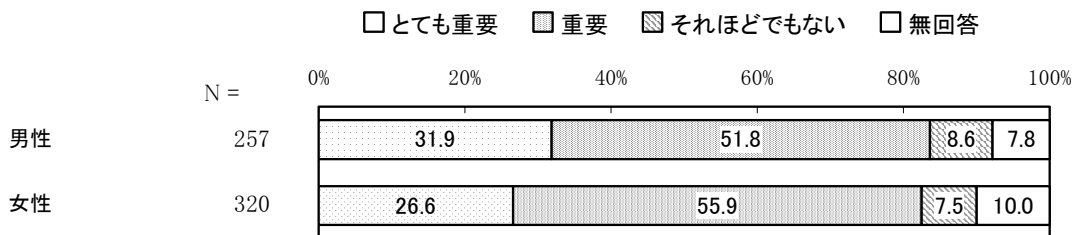
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、60～64歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

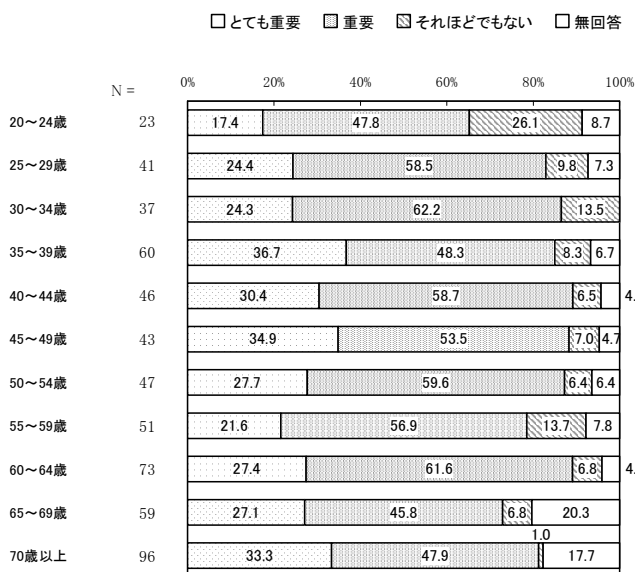
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、9割を超えています。



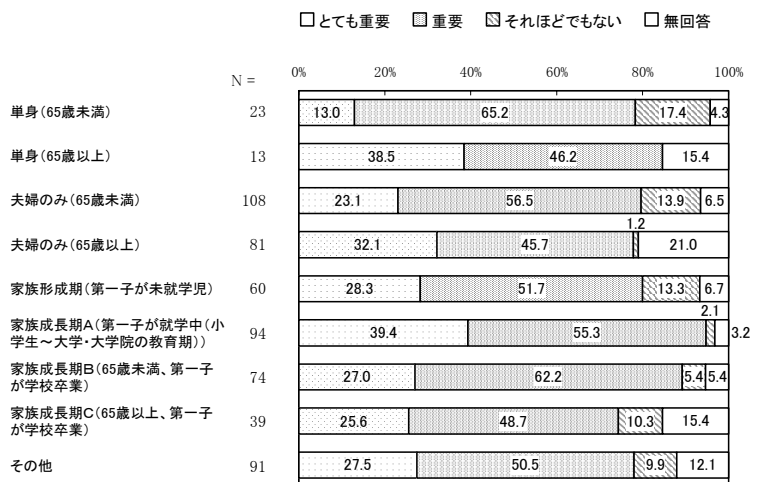
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

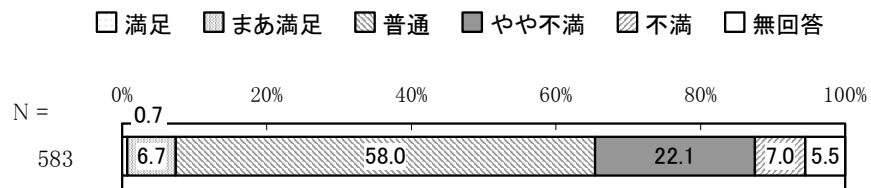
### (8) スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約3割となっています。

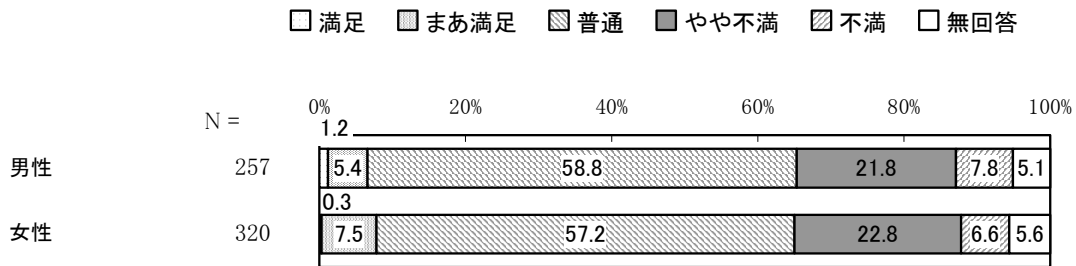
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で“不満”の割合が高く、約4割となっています。

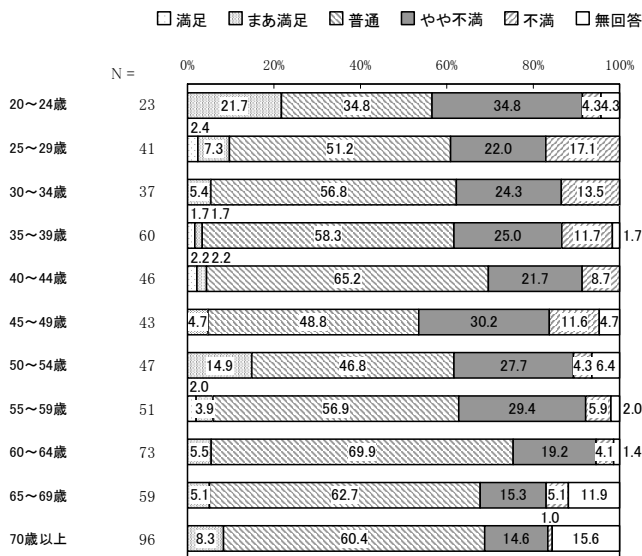
ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳未満）で“不満”の割合が高く、5割を超えています。



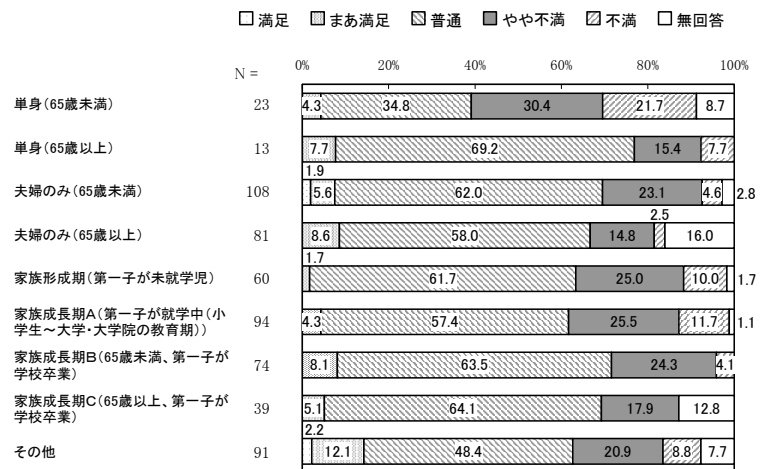
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



【問 11 重要度】

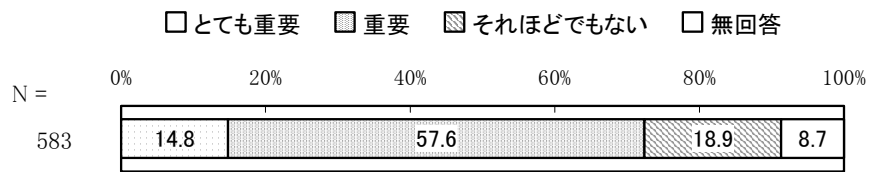
(8) スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約7割となっています。

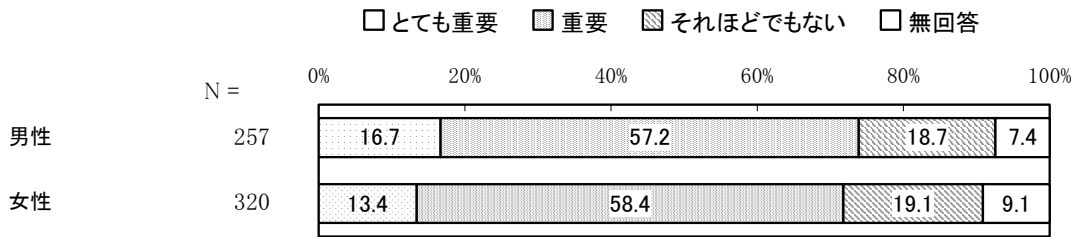
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“重要”の割合が高く、約8割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、8割を超えています。

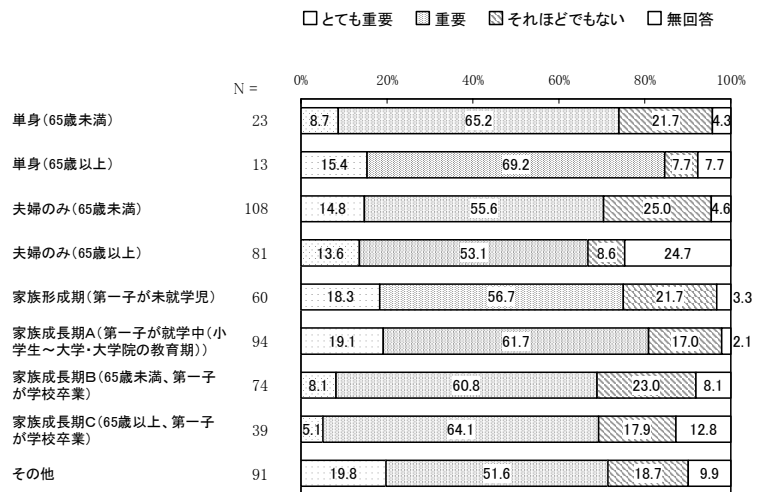
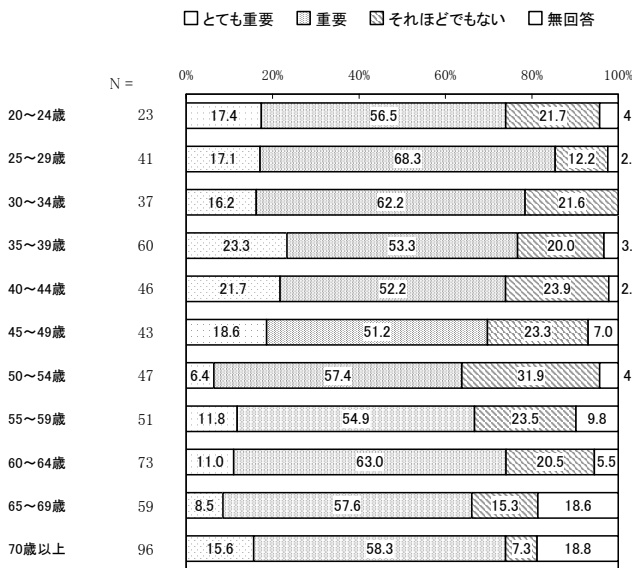


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

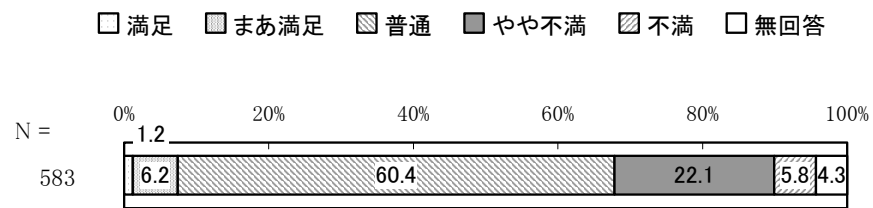
### (9) 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、2割を超えています。

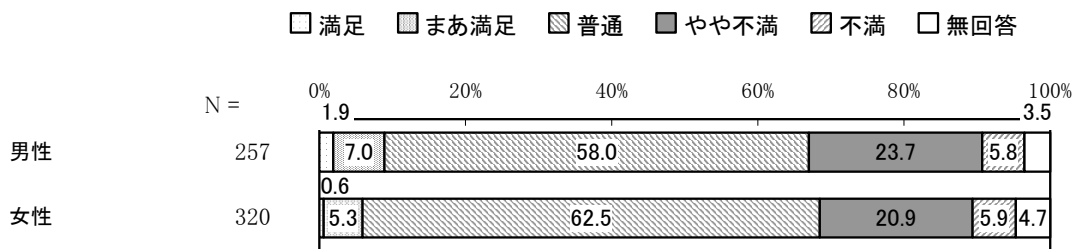
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

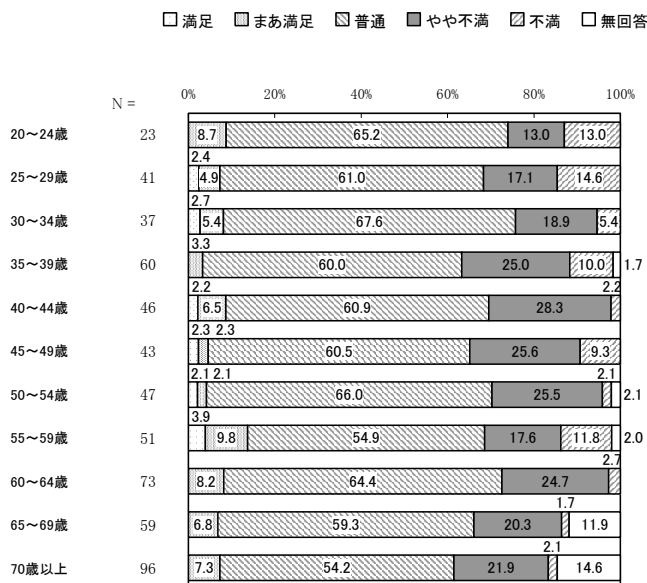
居住地別で見ると、他の地区に比べ、須山で“不満”の割合が高く、3割を超えています。



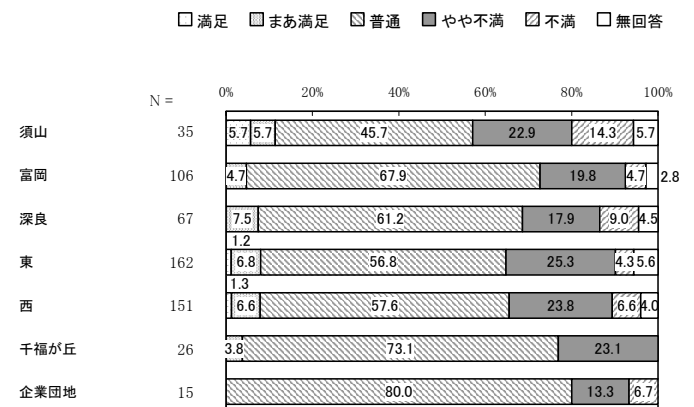
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



**【問 11 重要度】**

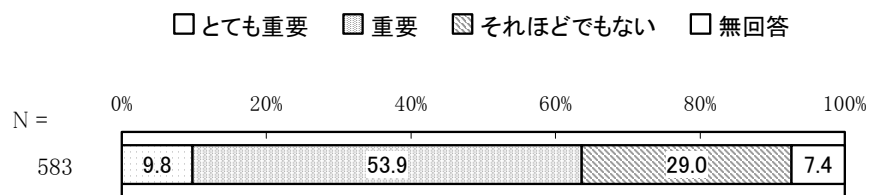
**(9) 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、6割を超えています。

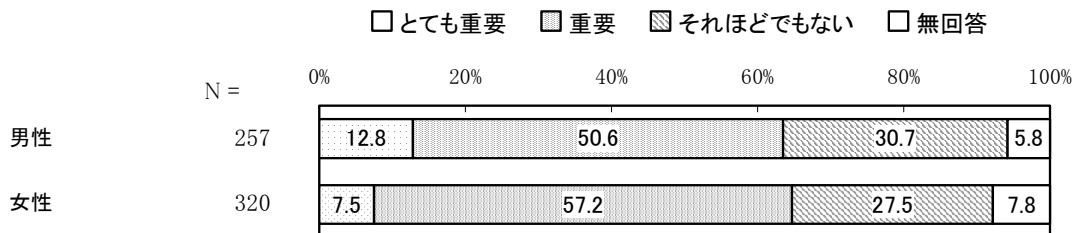
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、25～29歳で“重要”の割合が高く、約8割となっています。

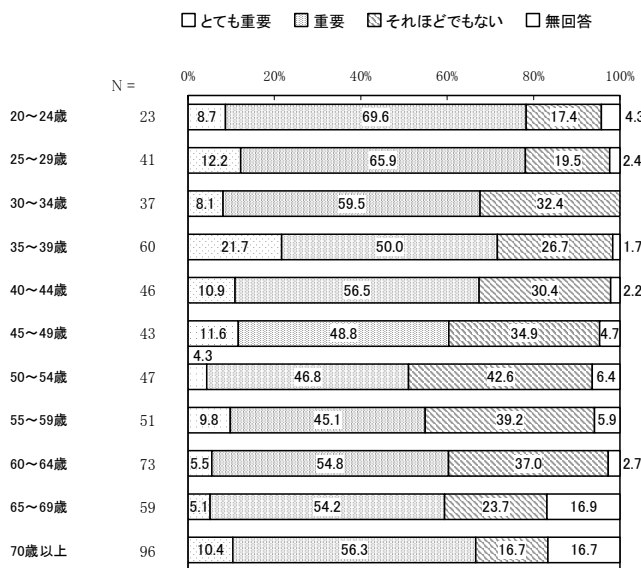
居住地別でみると、他の地区に比べ、東で“重要”の割合が低く、6割以下となっています。



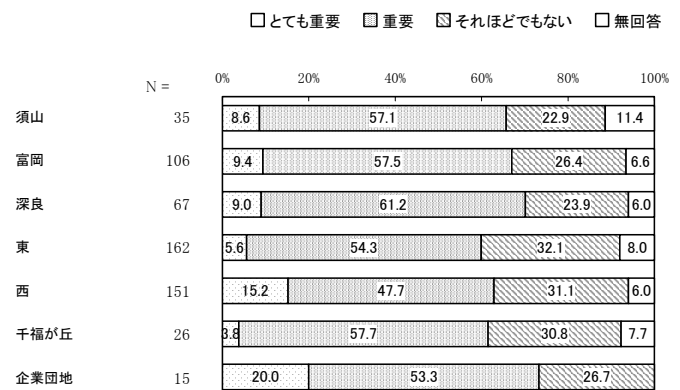
**【性 別】**



**【年代別】**



**【居住地別】**



## 【問 11 満足度】

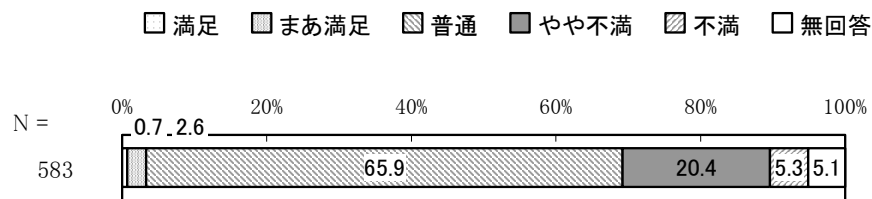
### (10) 市民が関わることのできるまちづくり

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、2割を超えています。

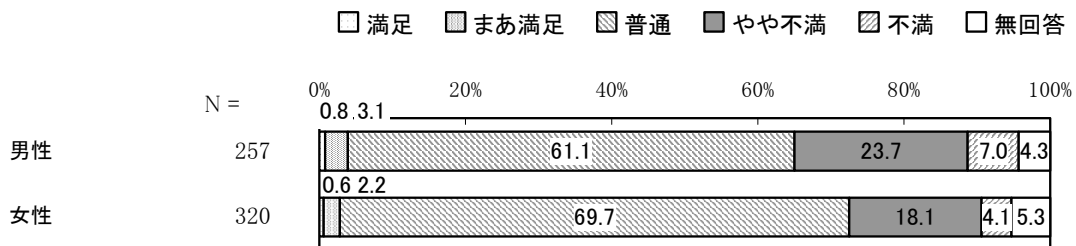
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“不満”の割合が高く、約4割となっています。

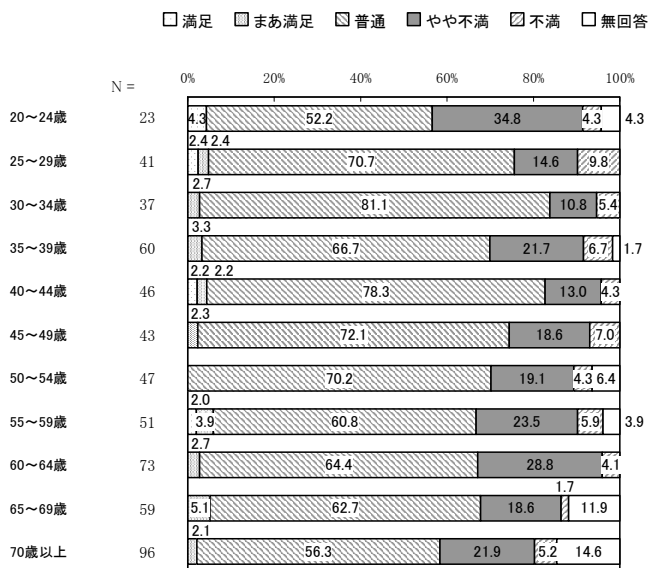
ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、3割を超えています。



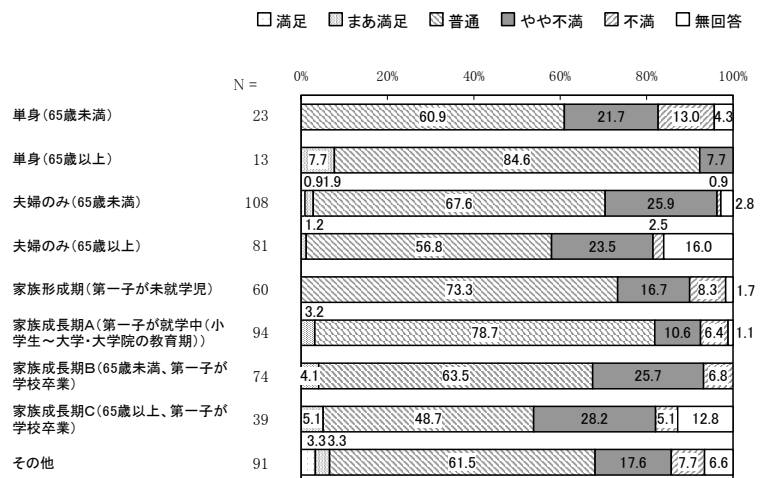
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】





**【問 11 重要度】**

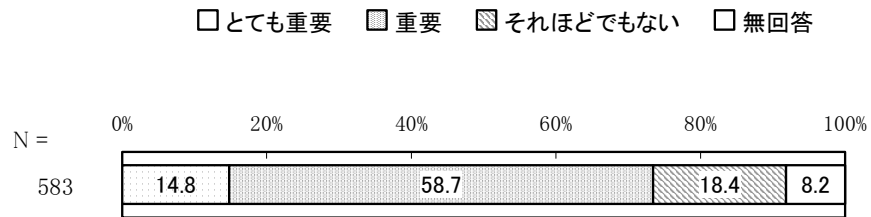
**(10) 市民が関わることのできるまちづくり**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、7割を超えています。

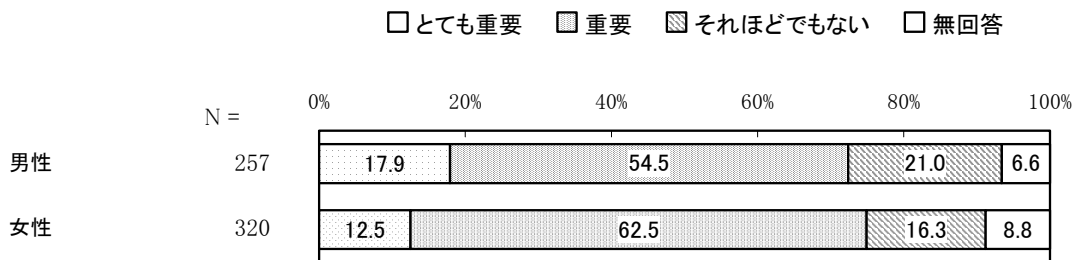
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳で“重要”の割合が高く、約8割となっています。

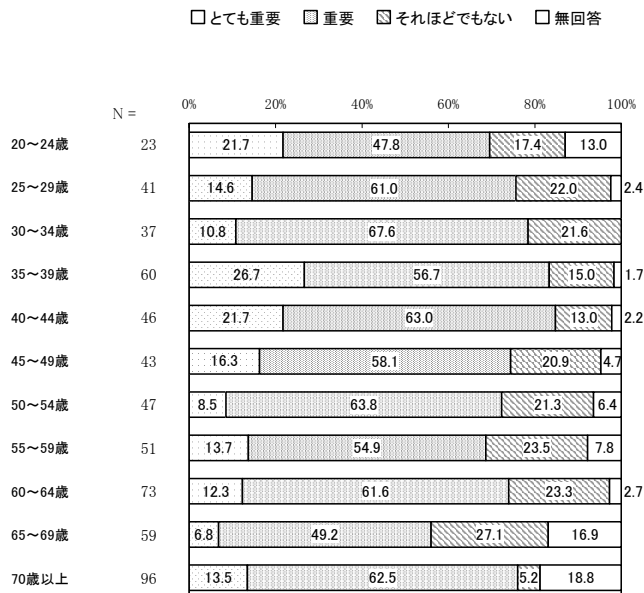
居住地別でみると、他の地区に比べ、須山で“重要”の割合が高く、8割となっています。



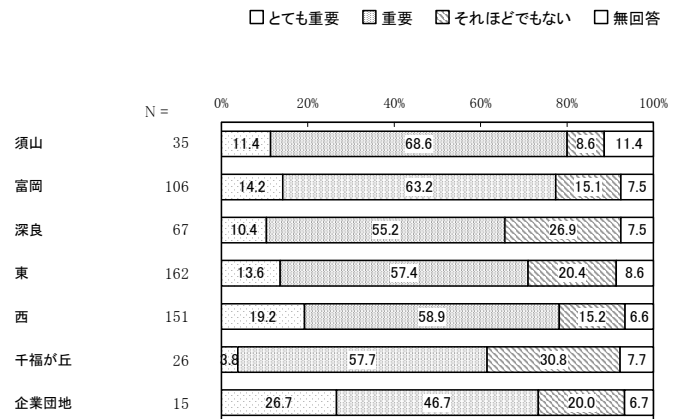
**【性 別】**



**【年代別】**



**【居住地別】**



## 【問 11 満足度】

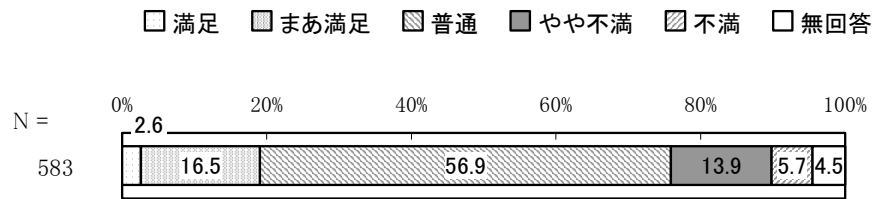
### (11) わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。

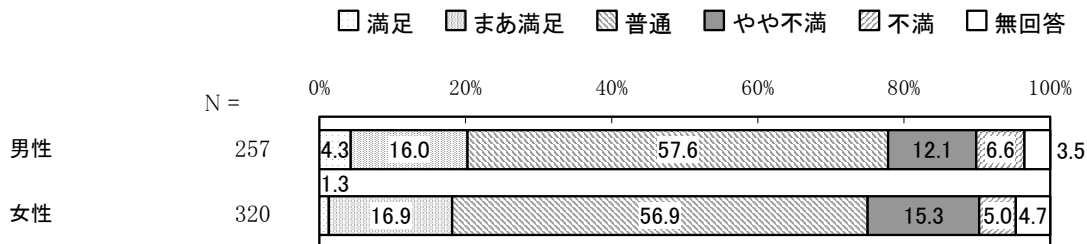
性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ70歳以上で“満足”の割合が高く、約3割となっています。

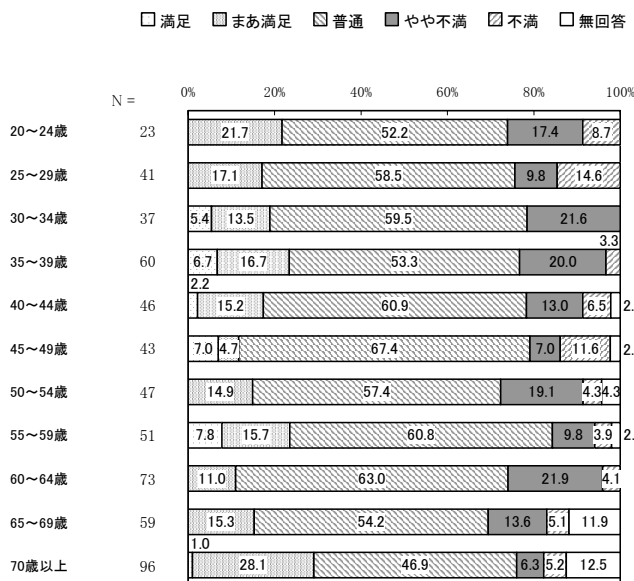
ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳以上）で“満足”の割合が高く、約4割となっています。



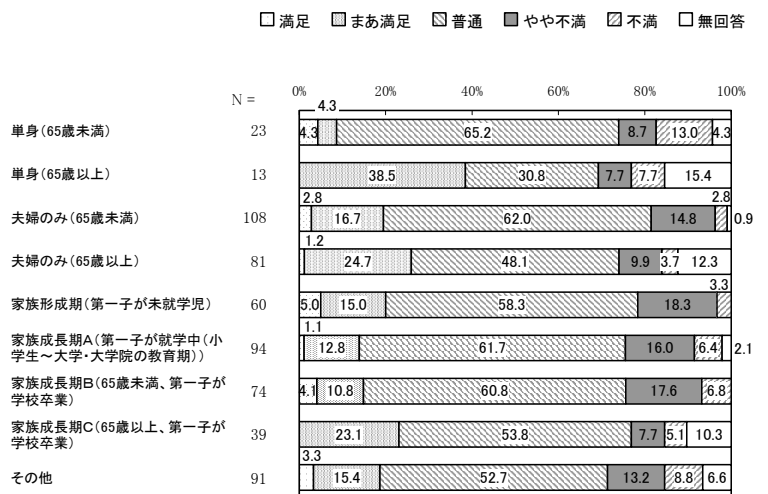
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 重要度】

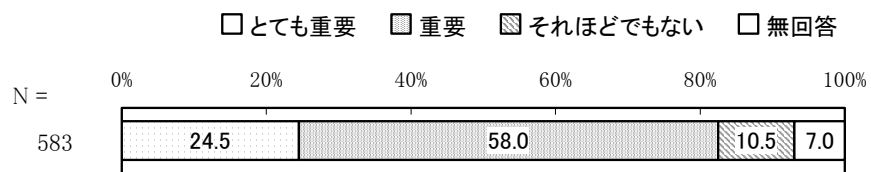
### (11) わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

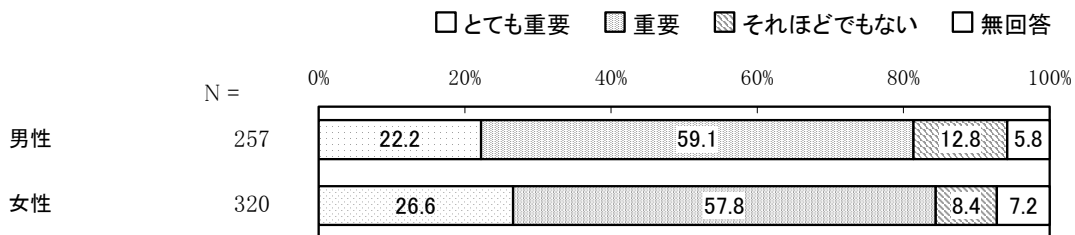
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

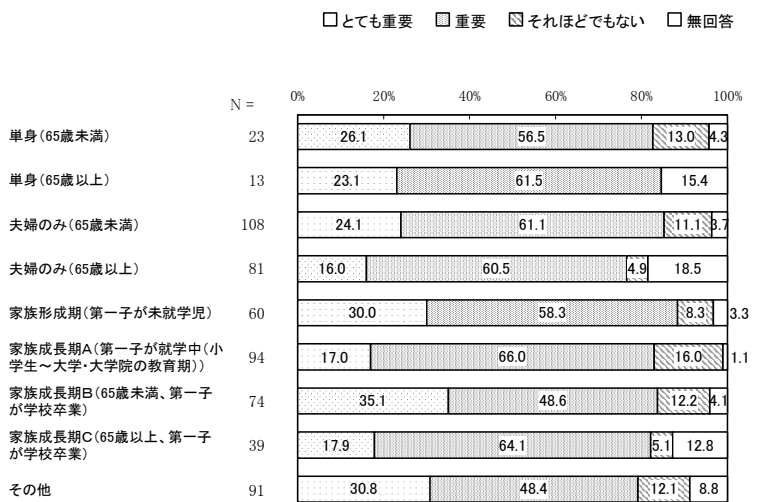
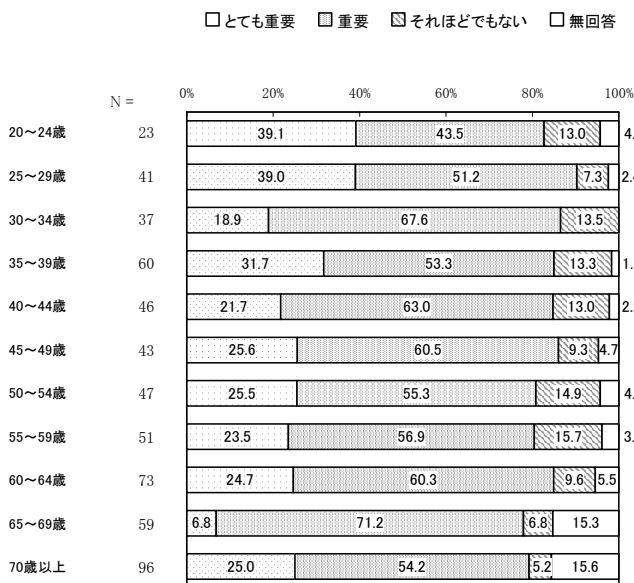


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

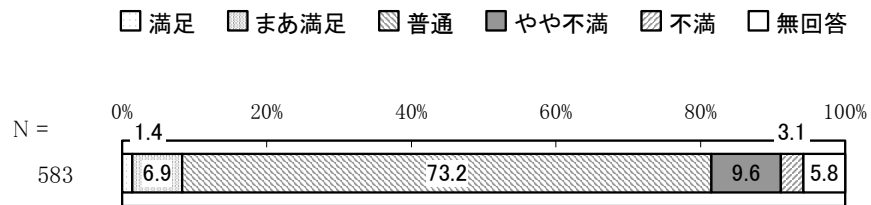
### (12) 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約1割となっています。

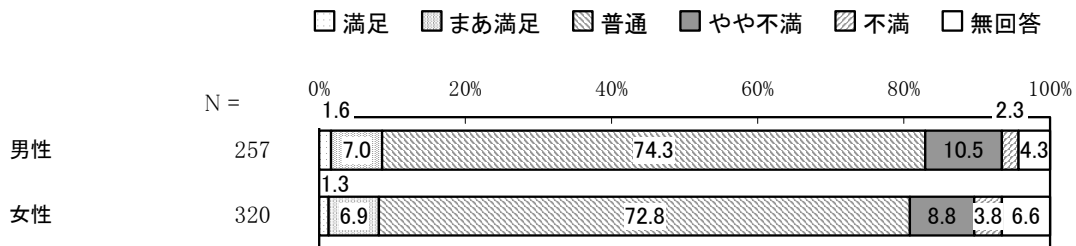
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、約2割となっています。

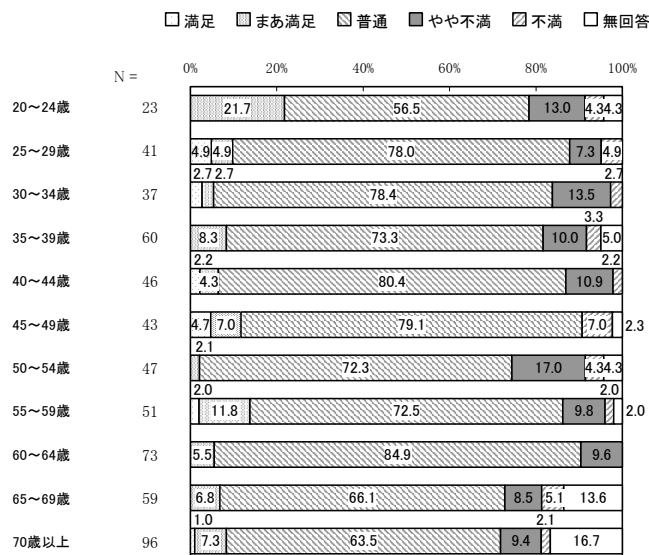
ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳未満）、夫婦のみ（65歳以上）で“満足”の割合が高くなっています。



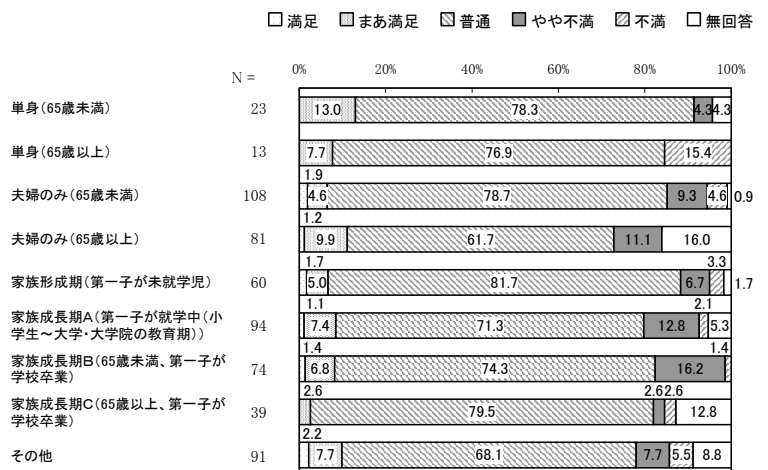
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



**【問 11 重要度】**

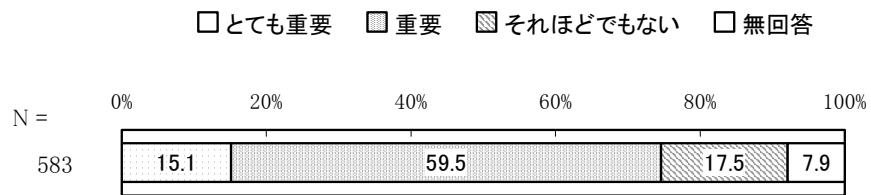
**(12) 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、7割を超えています。

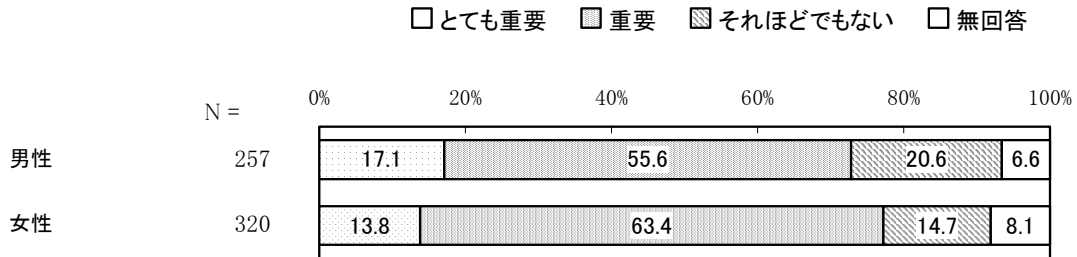
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“重要”の割合が高く、約8割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳以上)、家族形成期(第一子が未就学児)、家族成長期A(第一子が就学中(小学生～大学・大学院の教育期))で“重要”の割合が高く、8割を超えています。

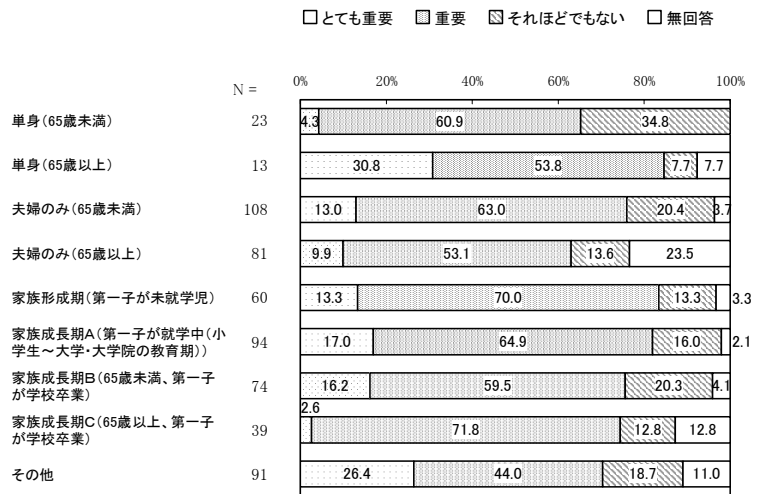
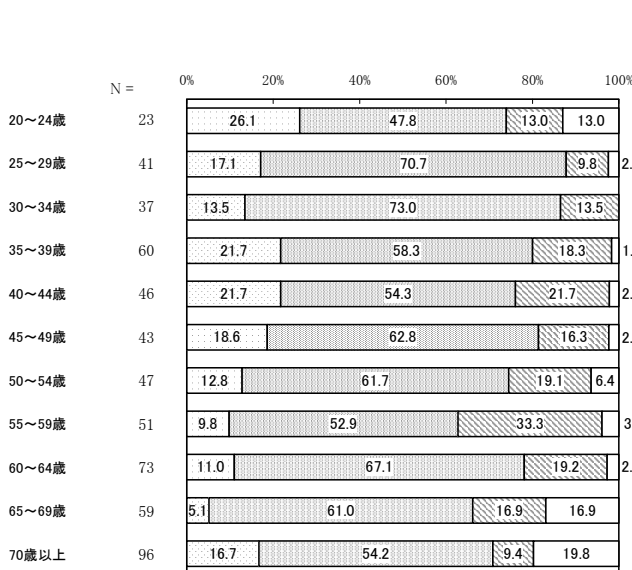


**【性 別】**



**【年代別】**

**【ライフステージ別】**



## 【問 11 満足度】

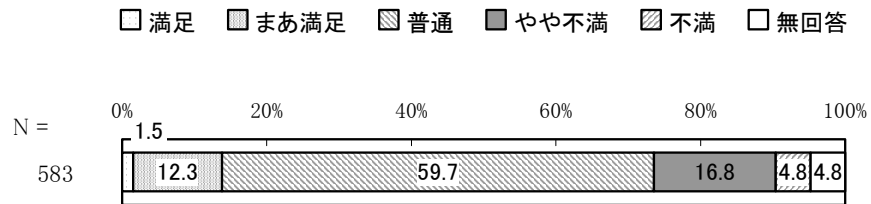
### (13) ごみの不法投棄や公害への対策

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。

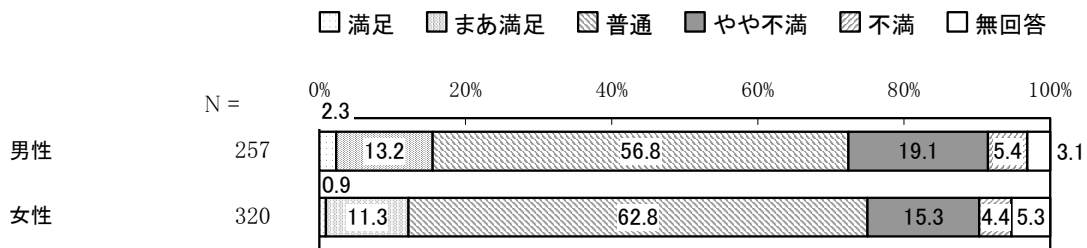
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳、55～59歳で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

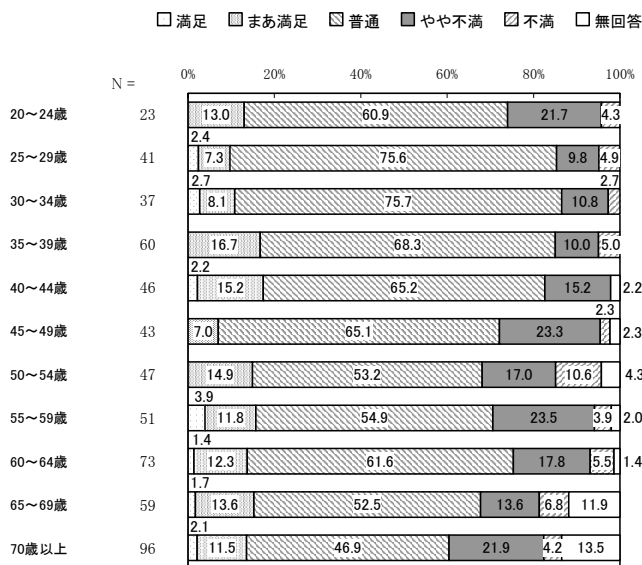
居住地別で見ると、他の地区に比べ、富岡で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



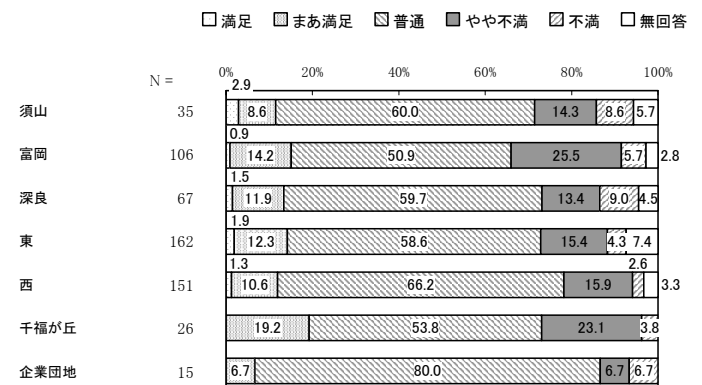
### 【性別】



### 【年代別】



### 【居住地別】



**【問 11 重要度】**

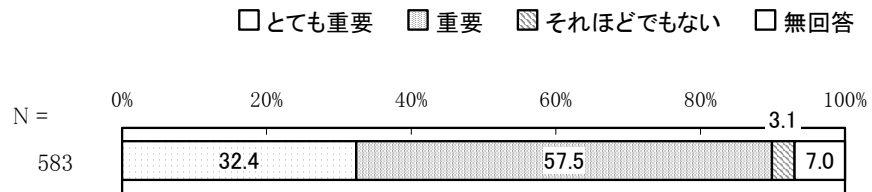
**(13) ごみの不法投棄や公害への対策**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

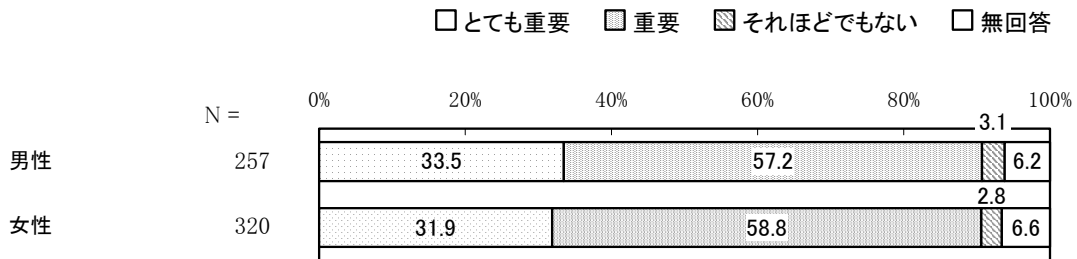
性別でみると、差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

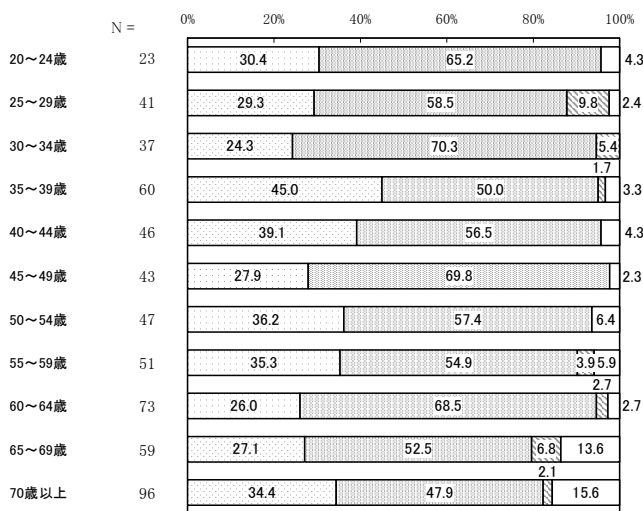
居住地別でみると、企業団地ですべての方が“重要”と回答しています。



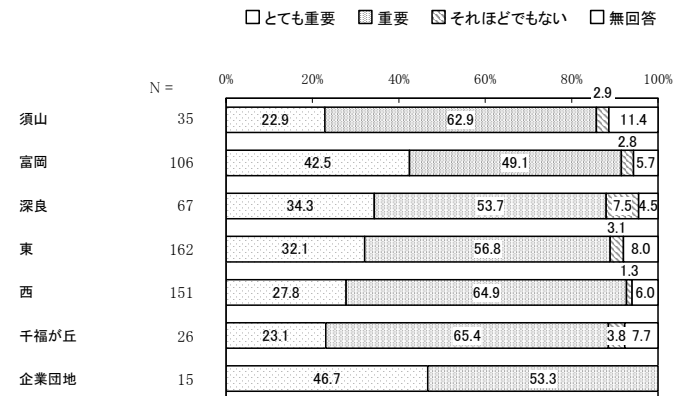
**【性 別】**



**【年代別】**



**【居住地別】**



## 【問 11 満足度】

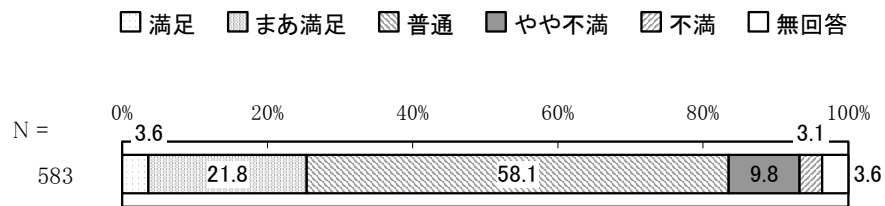
### (14) リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、2割を超えています。

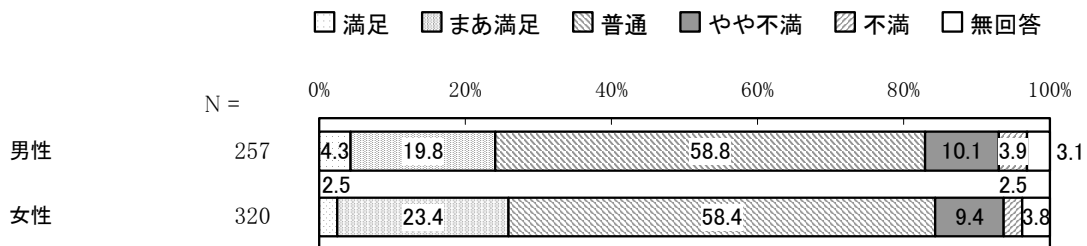
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高く、約3割となっています。

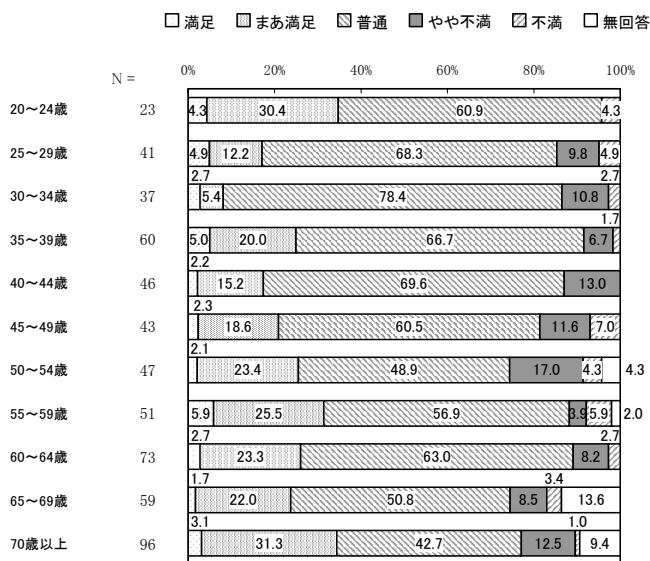
ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳以上）で“満足”の割合が高く、約4割となっています。



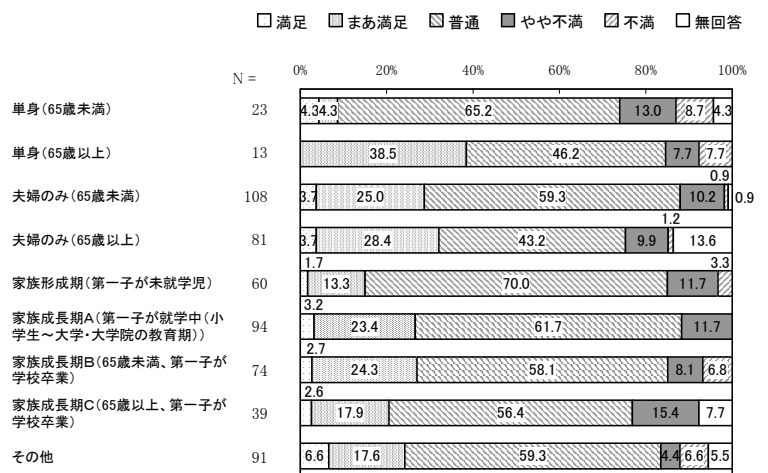
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】





【問 11 重要度】

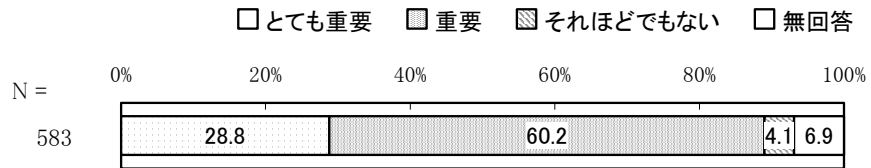
(14) リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

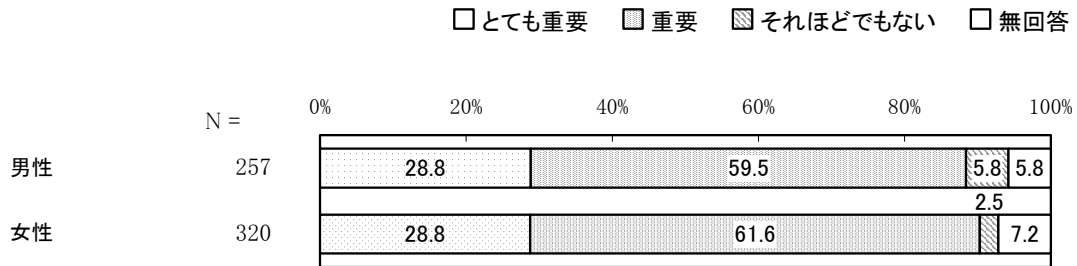
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳以上）で“重要”の割合が低く、8割以下となっています。

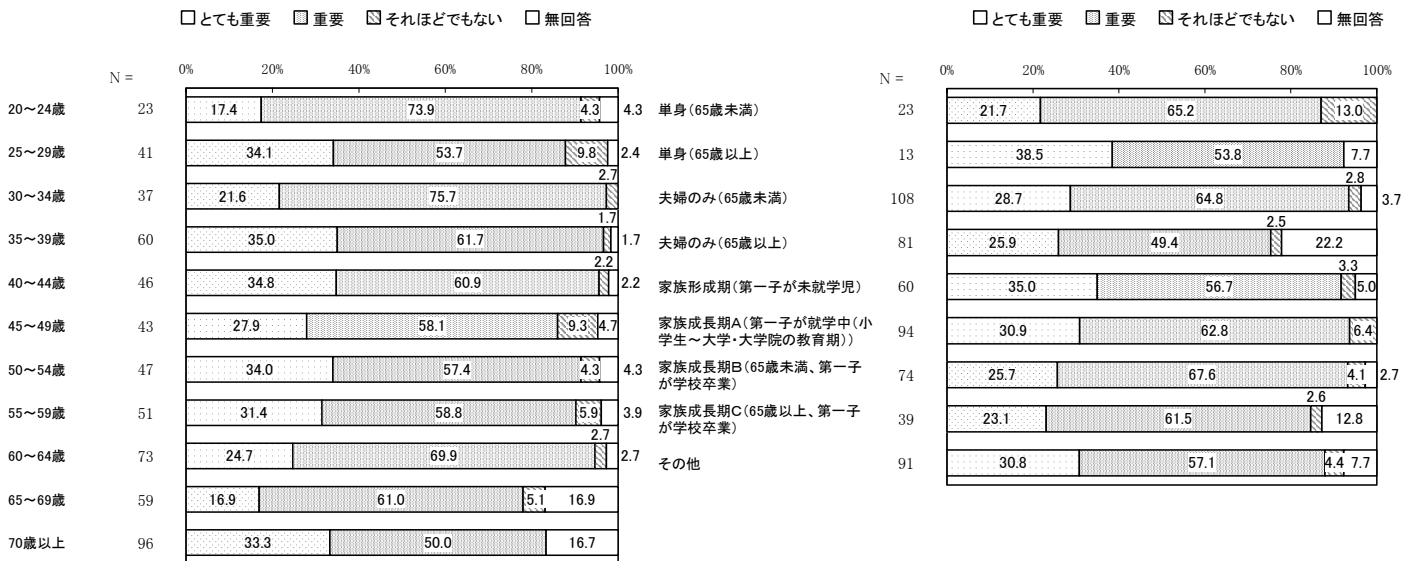


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

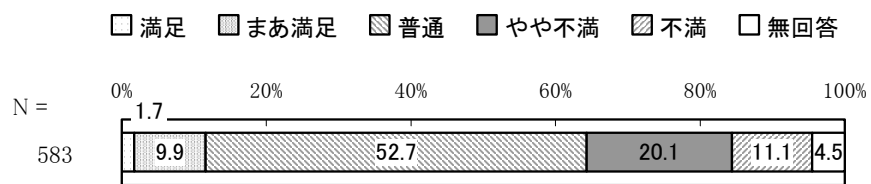
### (15) 公園などの身近な緑地の環境整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約3割となっています。

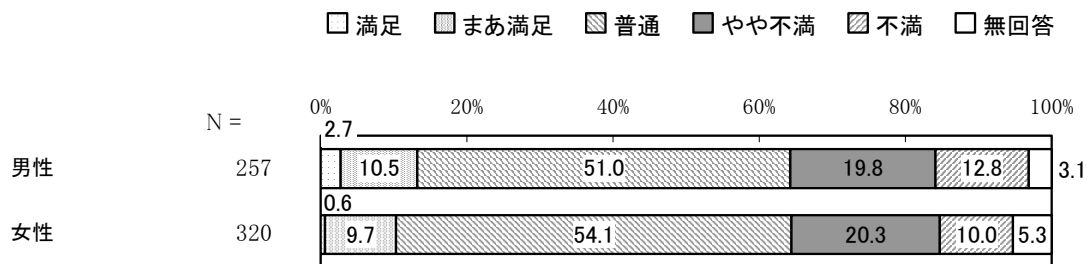
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、60～64で“不満”の割合が高く、約4割となっています。

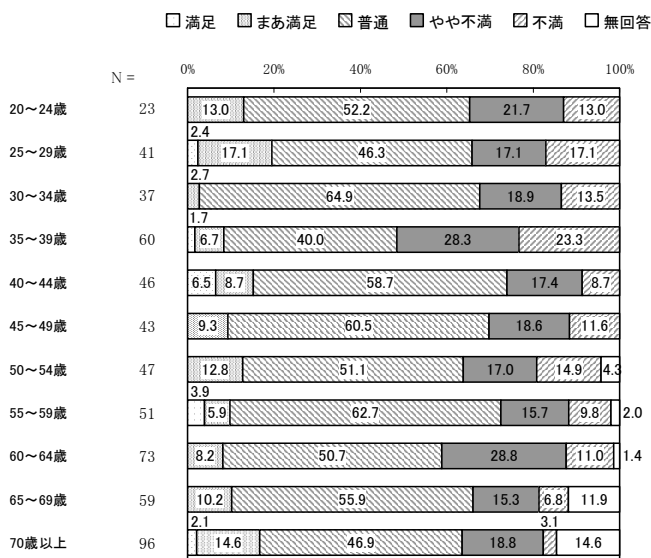
ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳未満）、単身（65歳以上）、夫婦のみ（65歳未満）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“不満”の割合が高く、3割を超えています。



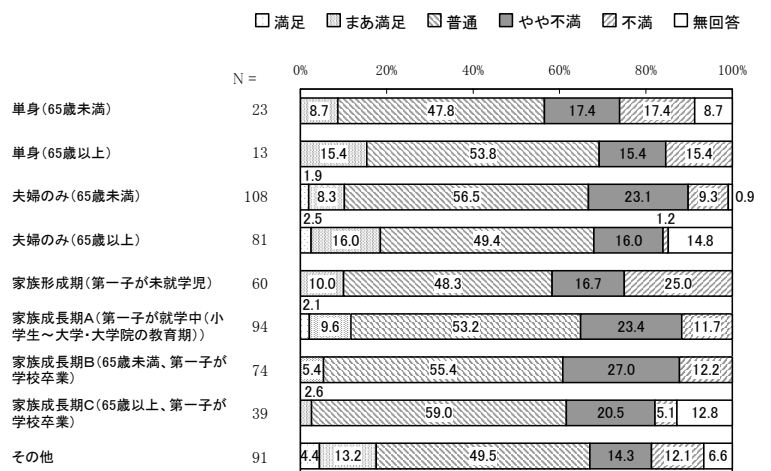
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 重要度】

### (15) 公園などの身近な緑地の環境整備

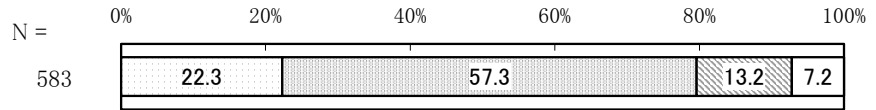
全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳・35～39歳・40～44歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

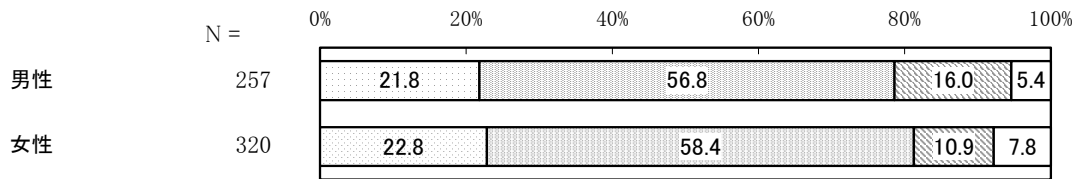
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

□ とても重要 □ 重要 □ それほどでもない □ 無回答



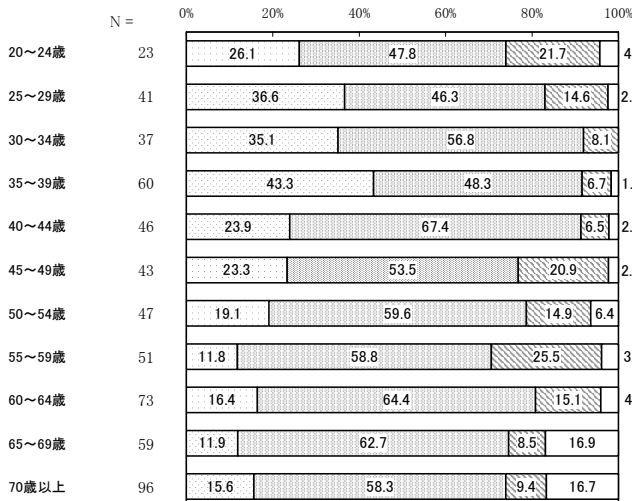
## 【性別】

□ とても重要 □ 重要 □ それほどでもない □ 無回答



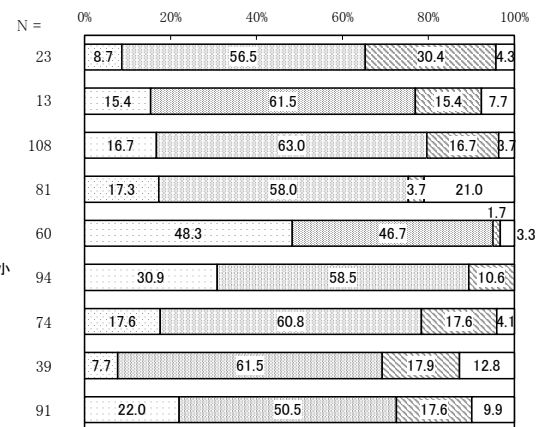
## 【年代別】

□ とても重要 □ 重要 □ それほどでもない □ 無回答



## 【ライフステージ別】

□ とても重要 □ 重要 □ それほどでもない □ 無回答



## 【問 11 満足度】

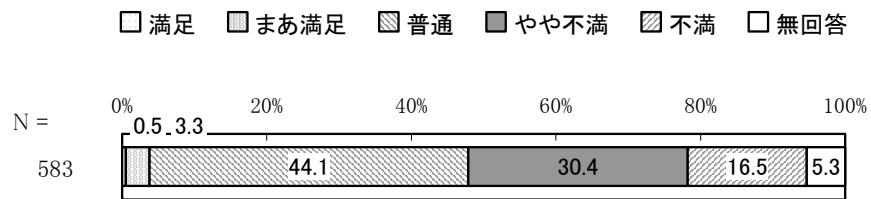
### (16) 市内の土地利用のバランスの良さ

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、4割を超えています。

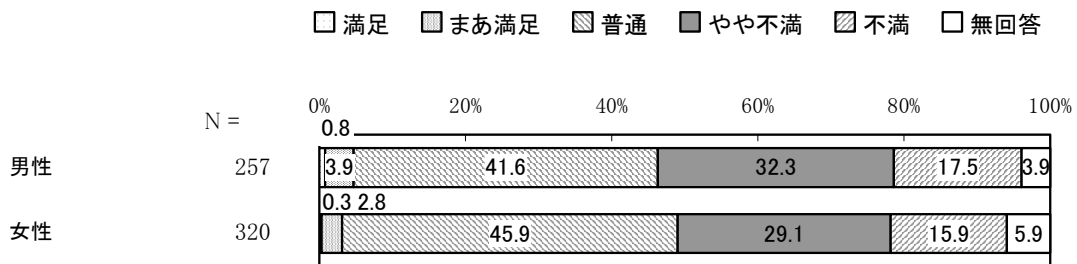
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で“不満”の割合が高く、5割となっています。

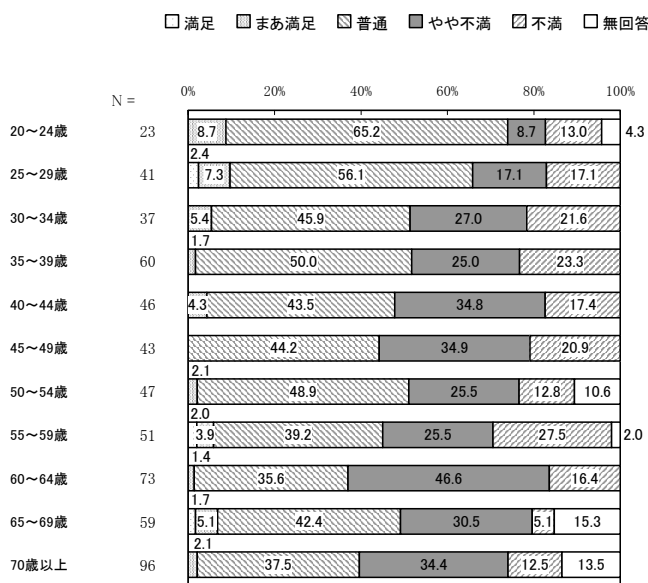
居住地別でみると、他の地区に比べ、富岡、深良、東で“不満”の割合が高く、約5割となっています。



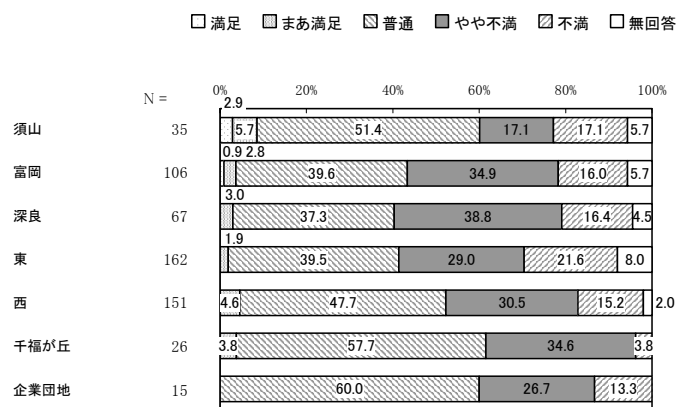
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



## 【問 11 重要度】

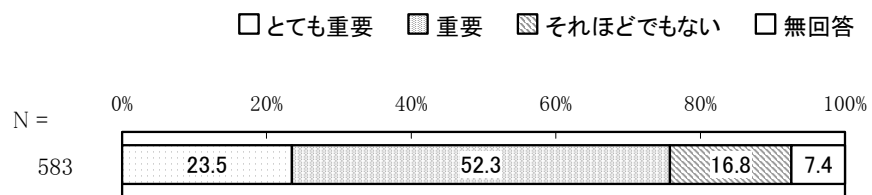
### (16) 市内の土地利用のバランスの良さ

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、7割を超えています。

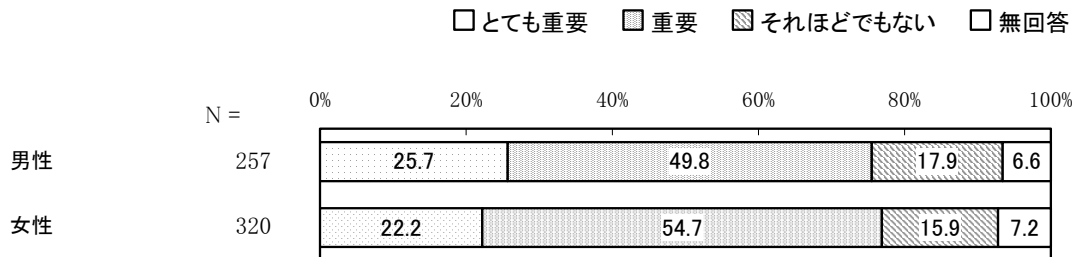
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

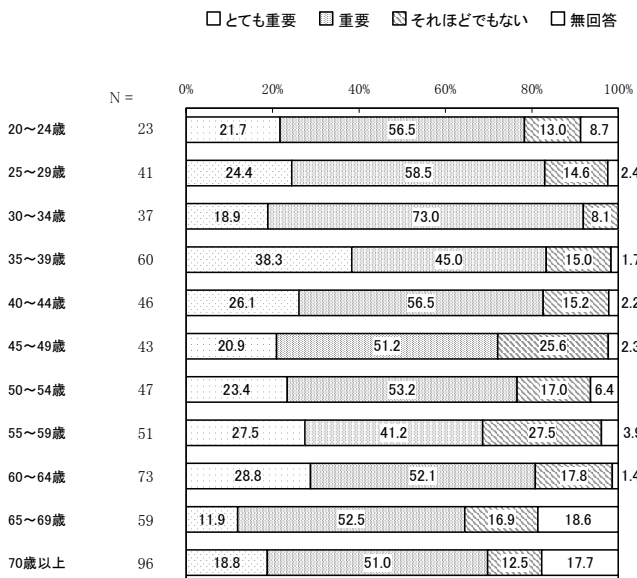
居住地別でみると、他の地区に比べ、富岡、企業団地で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



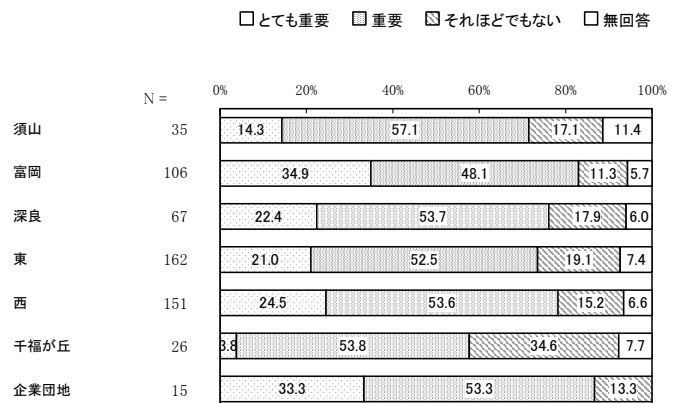
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



## 【問 11 満足度】

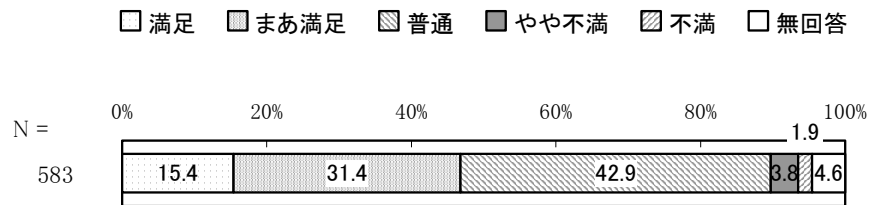
### (17) 豊かで良質な水道水の確保

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、4割を超えています。

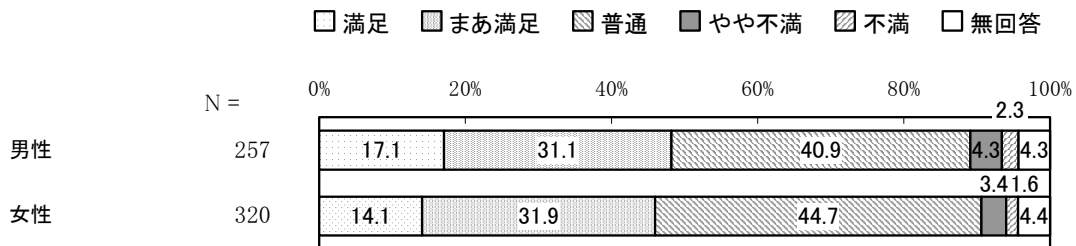
性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、60～64歳で“満足”の割合が高く、約5割となっています。

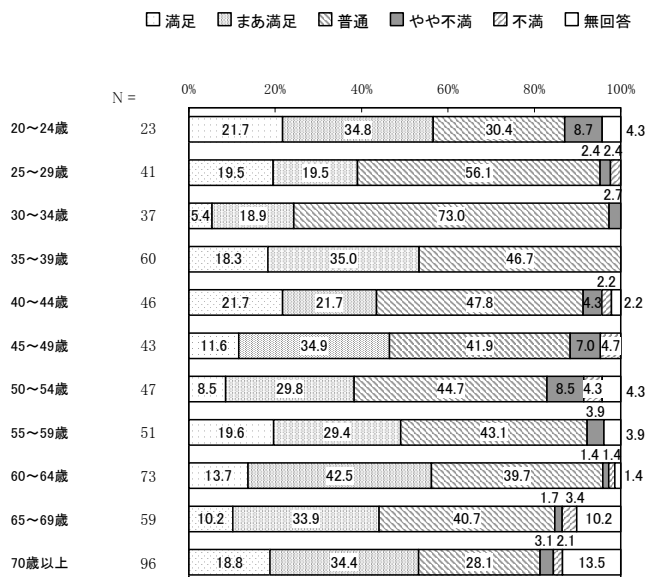
居住地別でみると、他の地区に比べ、深良で“満足”の割合が高く、5割を超えています。



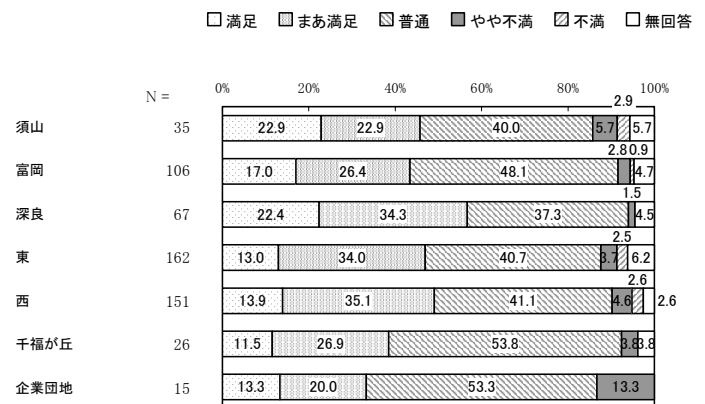
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



【問 11 重要度】

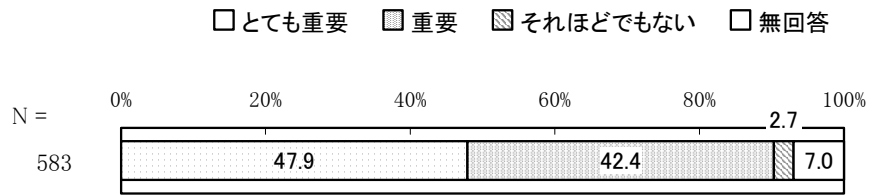
(17) 豊かで良質な水道水の確保

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

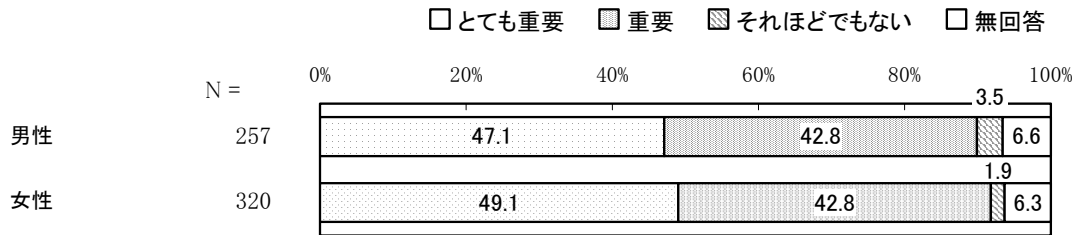
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、30～34歳ですべての方が“重要”と回答しています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳以上）で“重要”の割合が低く、8割となっています。

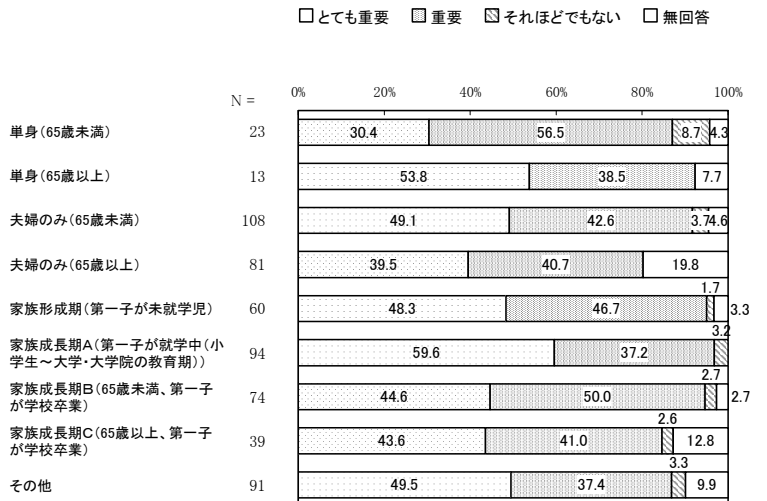
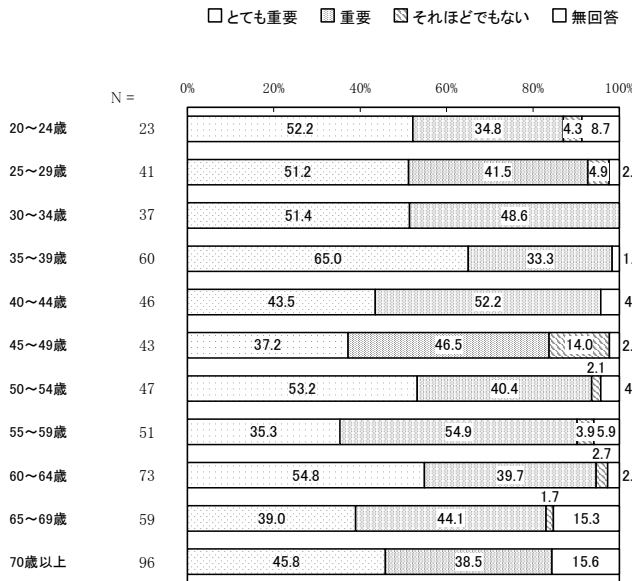


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

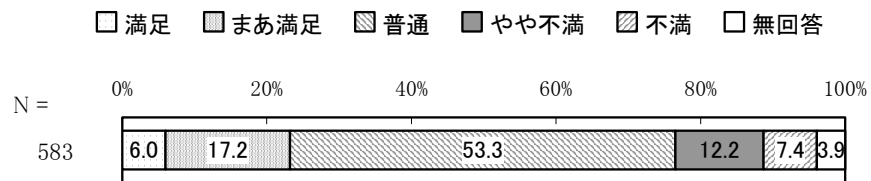
### (18) 衛生的で快適な下水道の整備状況

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、2割を超えています。

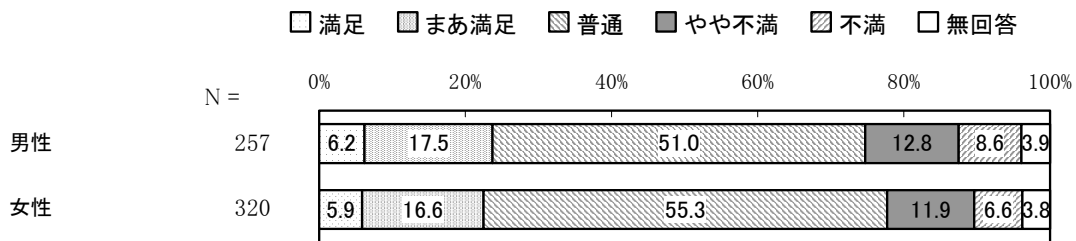
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、4割となっています。

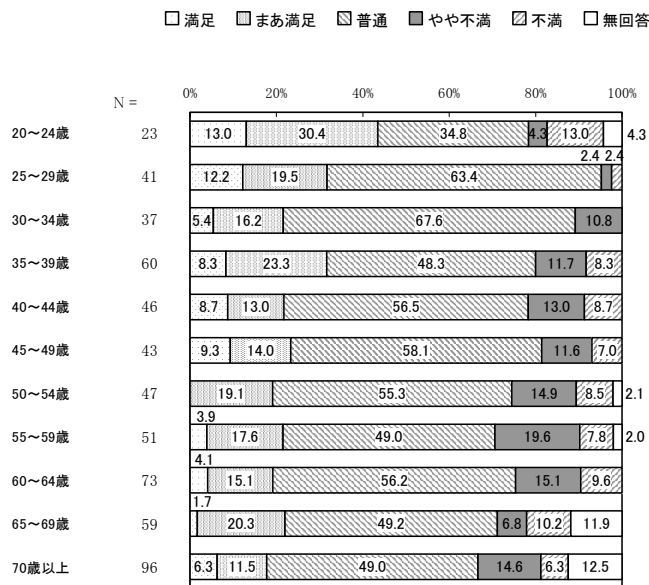
居住地別でみると、他の地区に比べ、東、西で“満足”の割合が高くなっています。一方、千福が丘で“不満”の割合が高く、約4割となっています。



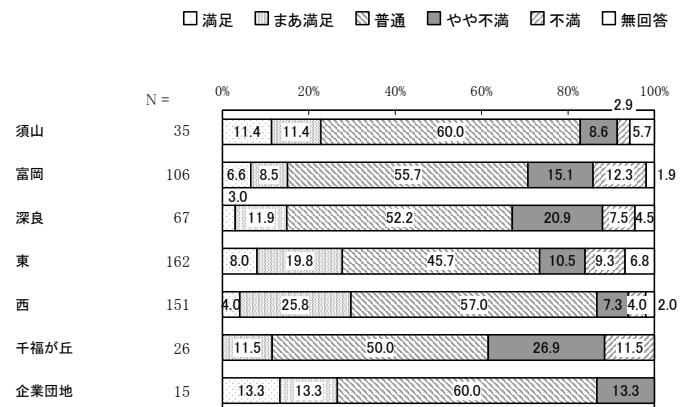
### 【性別】



### 【年代別】



### 【居住地別】





**【問 11 重要度】**

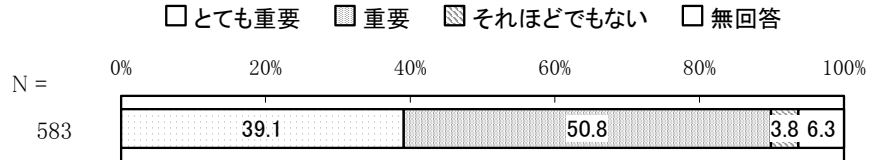
**(18) 衛生的で快適な下水道の整備状況**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

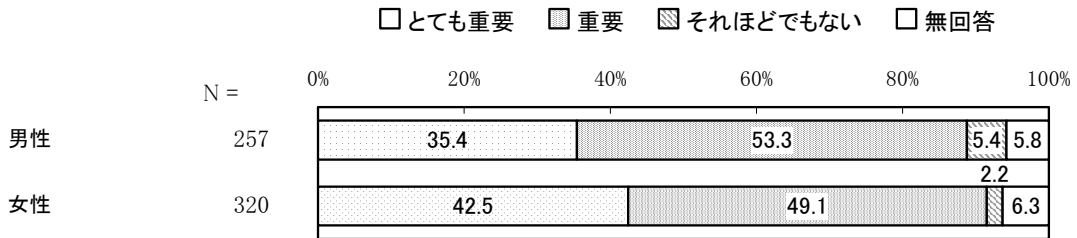
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、30～34歳ですべての方が“重要”と回答しています。

居住地別でみると、大きな差異はみられません。

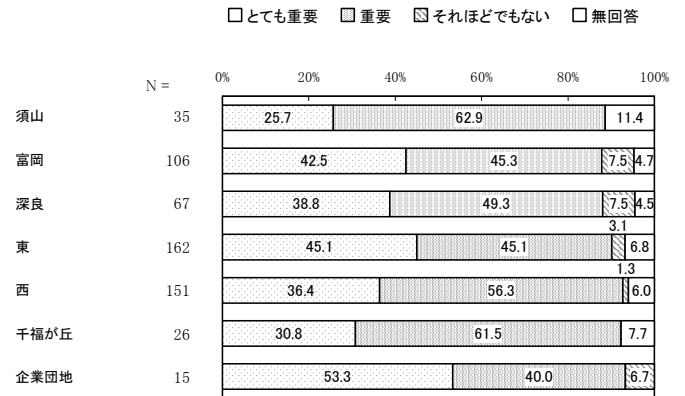
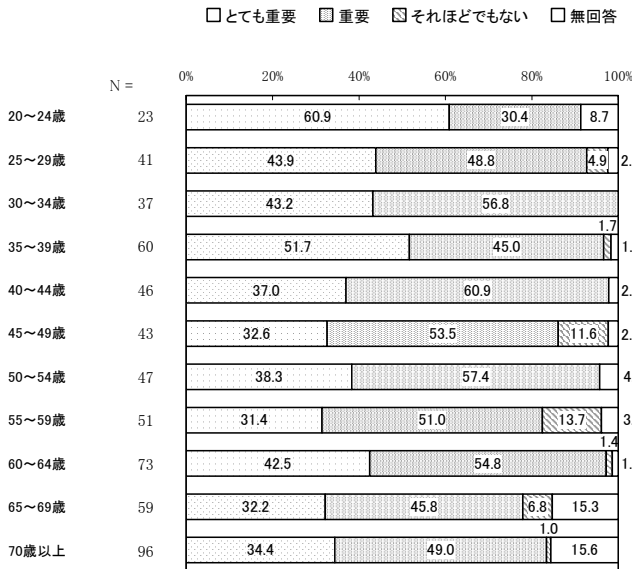


**【性 別】**



**【年代別】**

**【居住地別】**



## 【問 11 満足度】

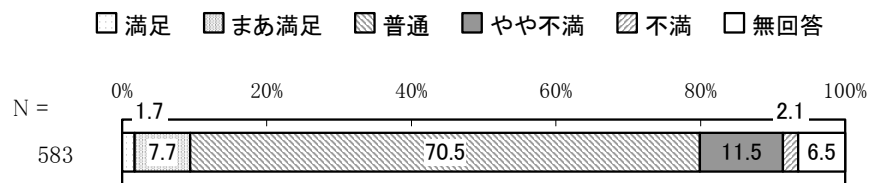
### (19) 工業を中心とした産業の浄性化

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、1割を超えています。

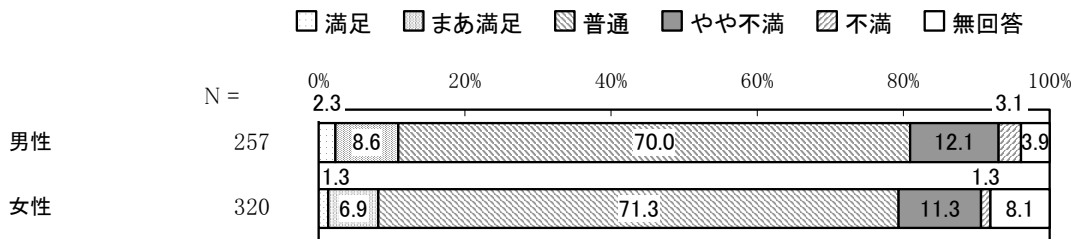
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“不満”の割合が高く、約2割となっています。

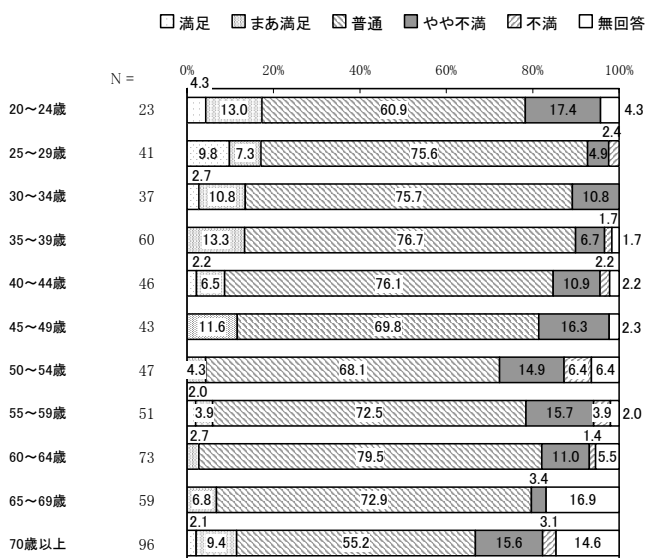
ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



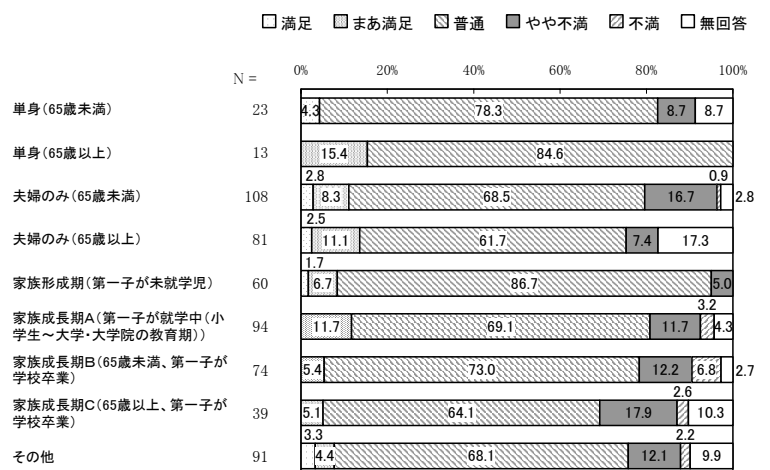
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



【問 11 重要度】

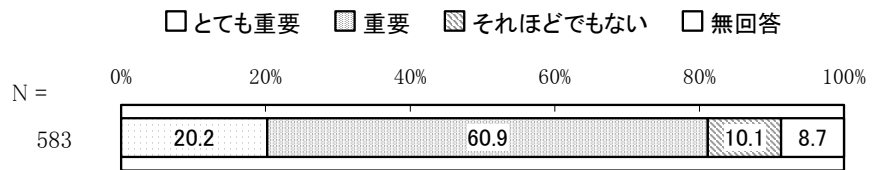
(19) 工業を中心とした産業の浄性化

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

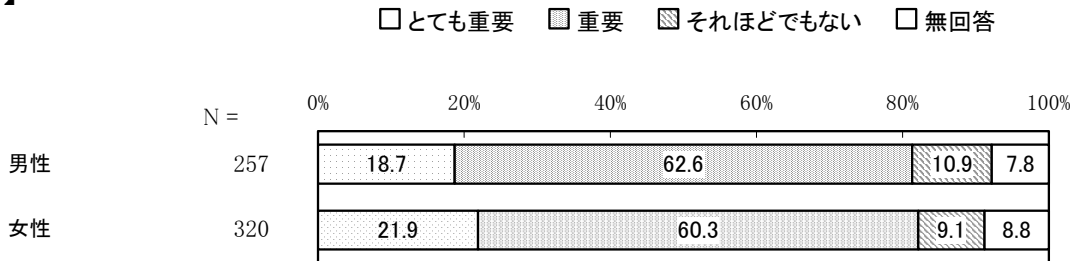
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳・30～34歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ(65歳未満)、家族形成期(第一子が未就学児)、家族成長期A(第一子が就学中(小学生～大学・大学院教育期))で“重要”の割合が高く、8割を超えています。

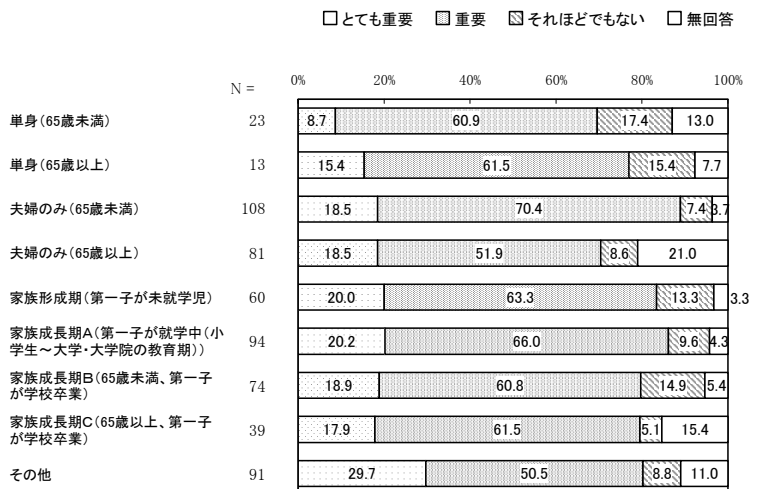
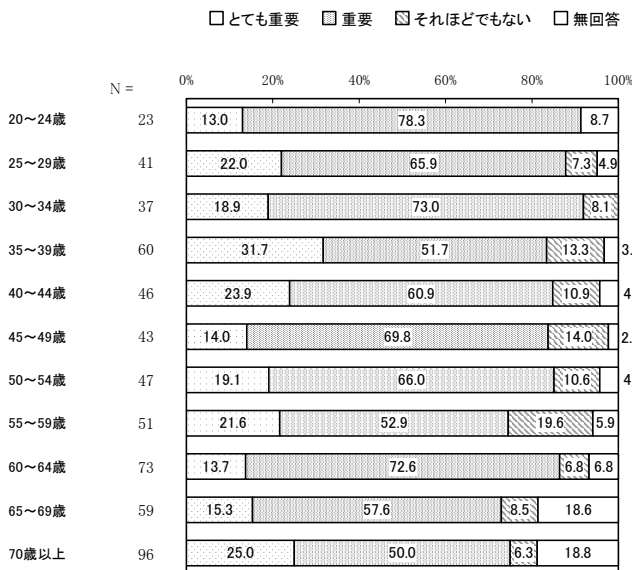


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

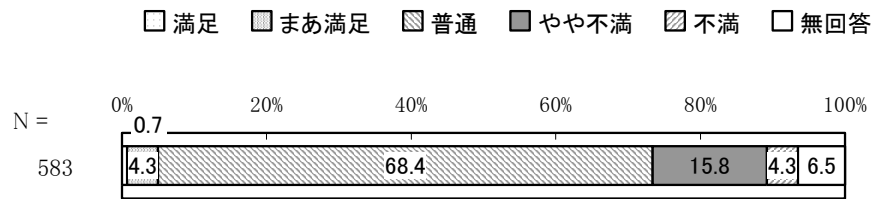
### (20) 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進

全体で見ると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。

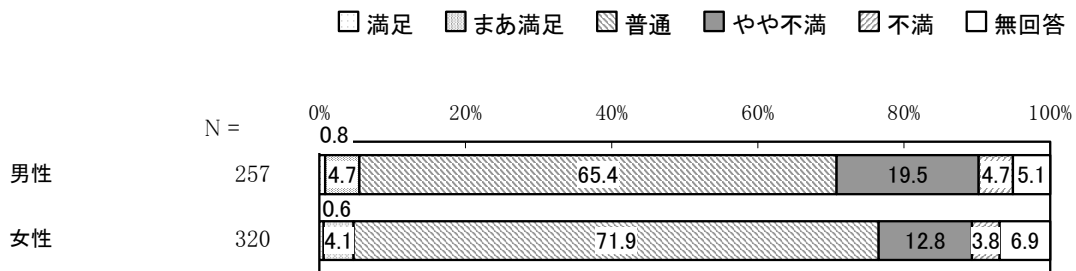
性別で見ると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別で見ると、他の年代に比べ70歳以上で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

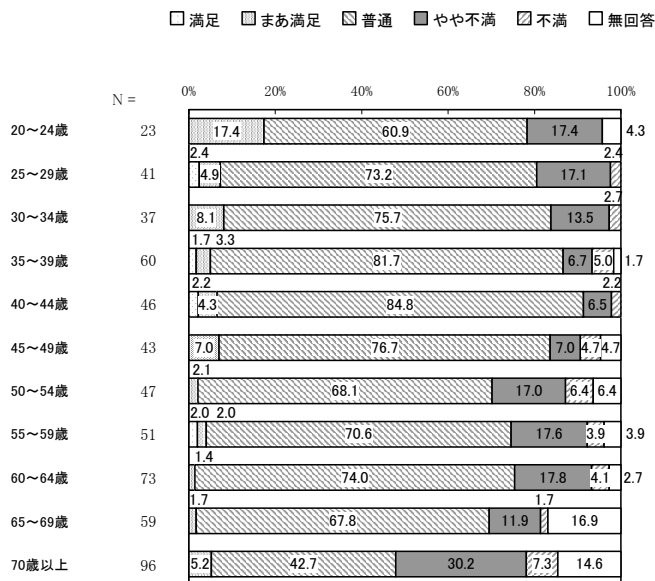
ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、約4割となっています。



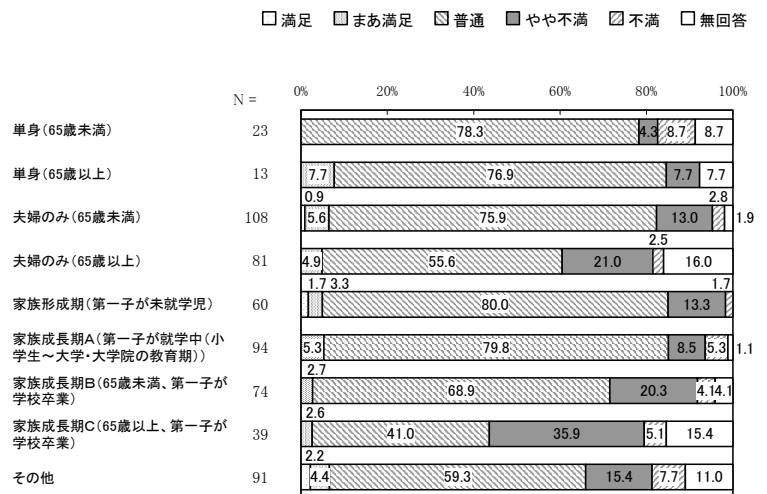
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 重要度】

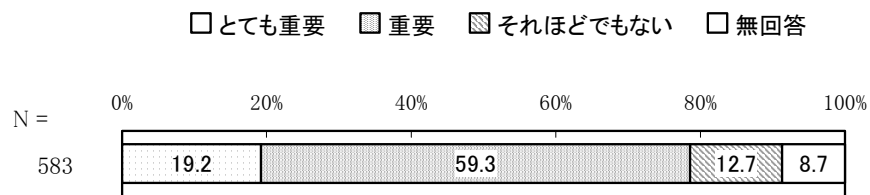
### (20) 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

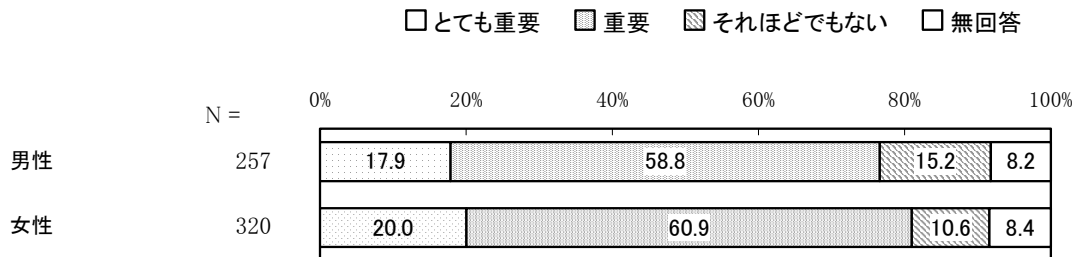
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

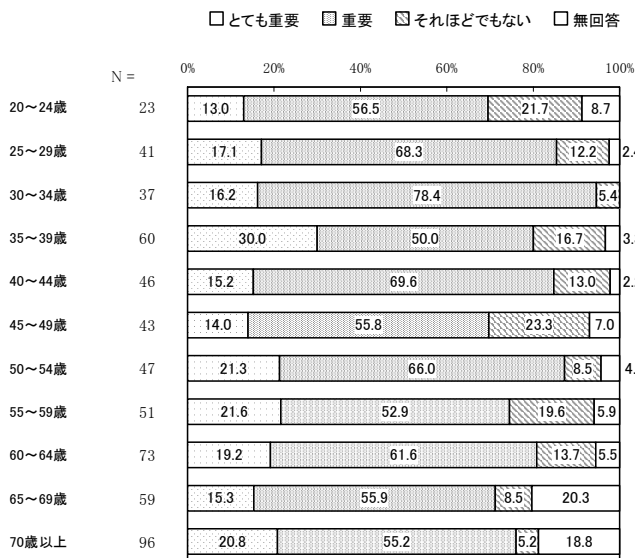
ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



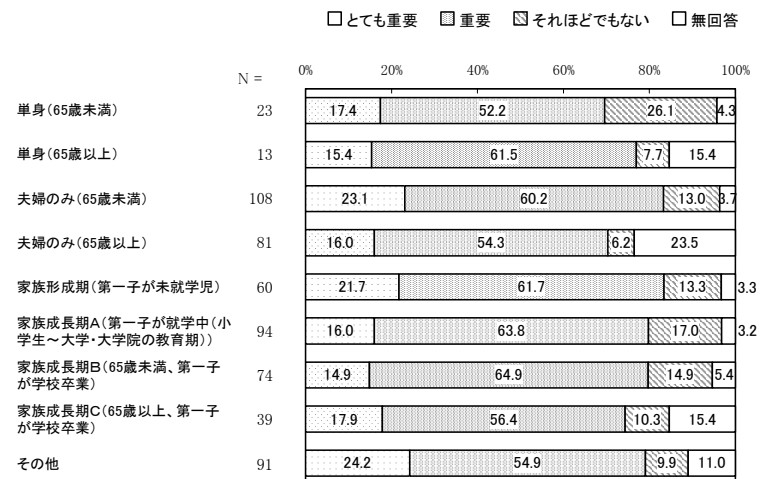
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

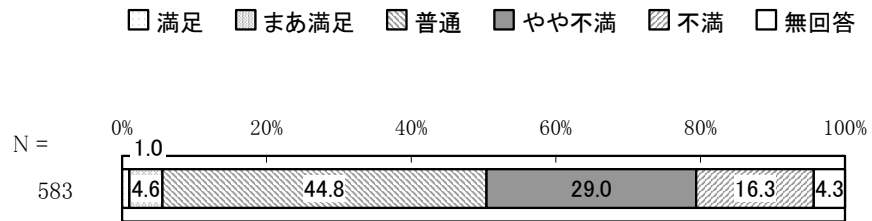
### (21) にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、4割を超えています。

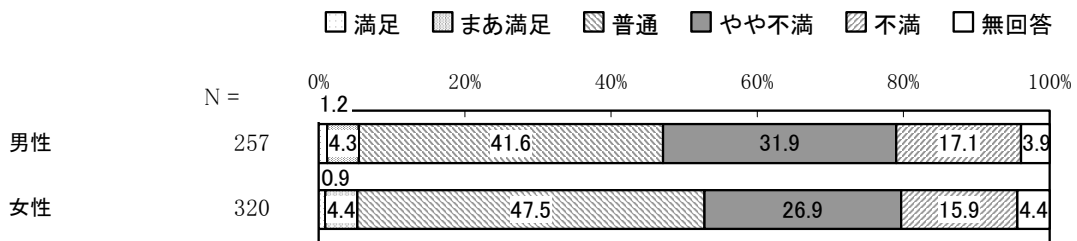
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、大きな差異はみられません。

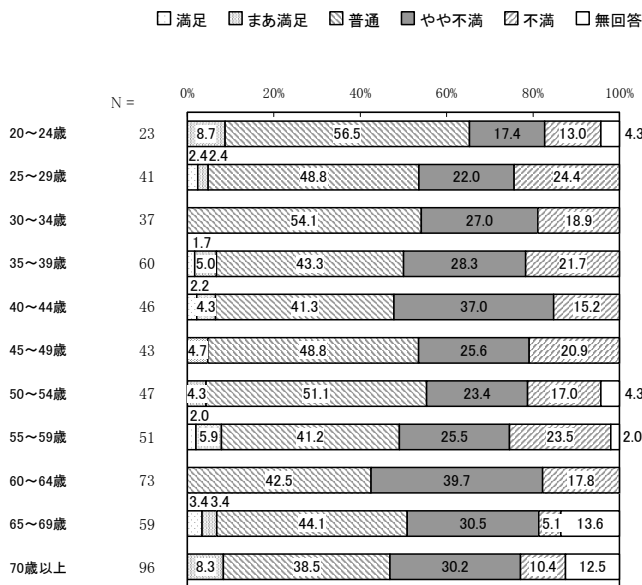
居住地別では、深良の“不満”が約5割となっています。



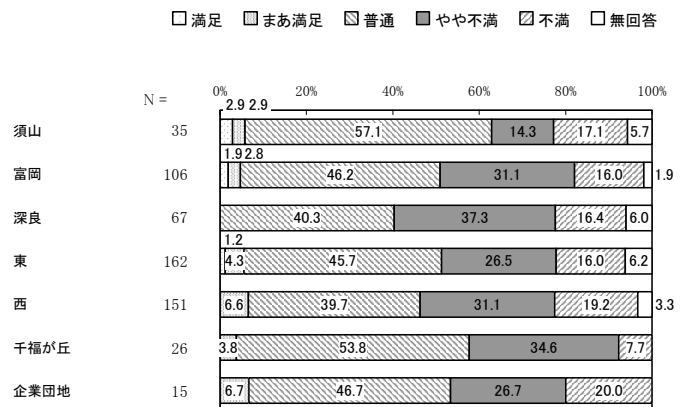
## 【性 別】



## 【年代別】



## 【居住地別】



**【問 11 重要度】**

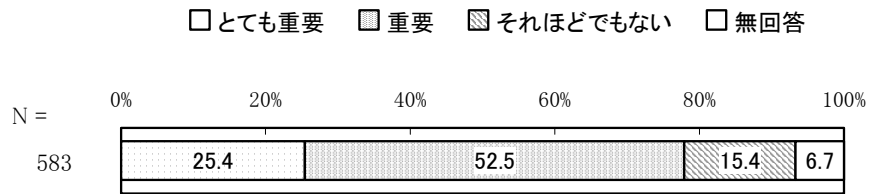
**(21) にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進**

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、7割を超えています。

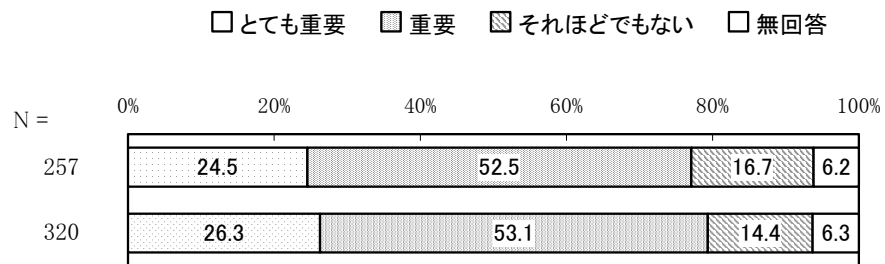
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で“重要”の割合が高く、約8割となっています。

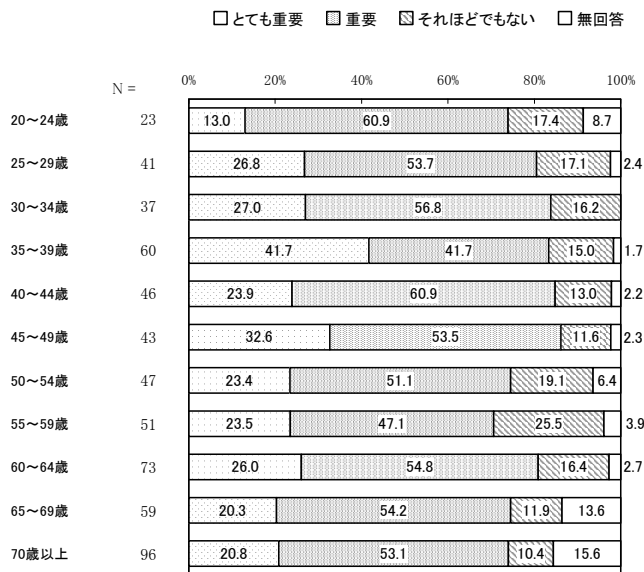
居住地別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で“重要”の割合が低く、7割以下となっています。



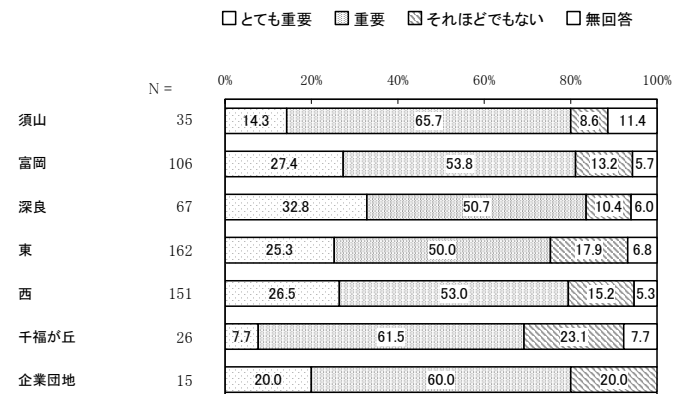
**【性 別】**



**【年代別】**



**【居住地別】**



## 【問 11 満足度】

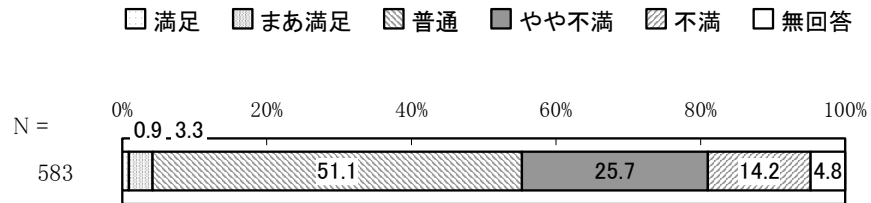
### (22) 新たな観光資源の創出と観光情報の発信

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約4割となっています。

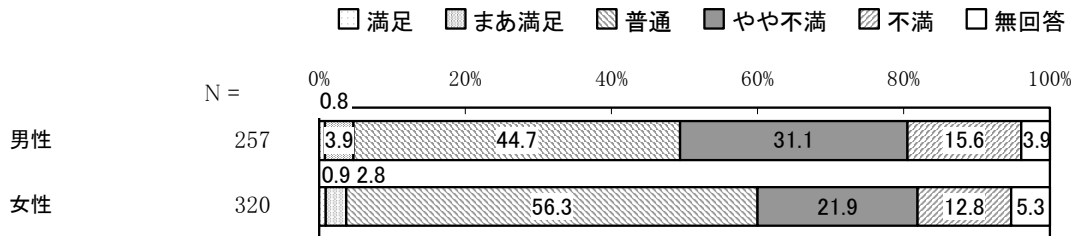
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、大きな差異はみられません。

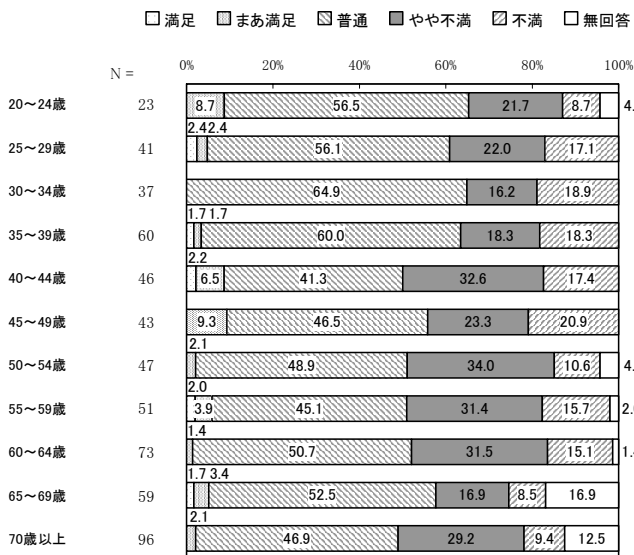
ライフステージ別で見ると、大きな差異はみられません。



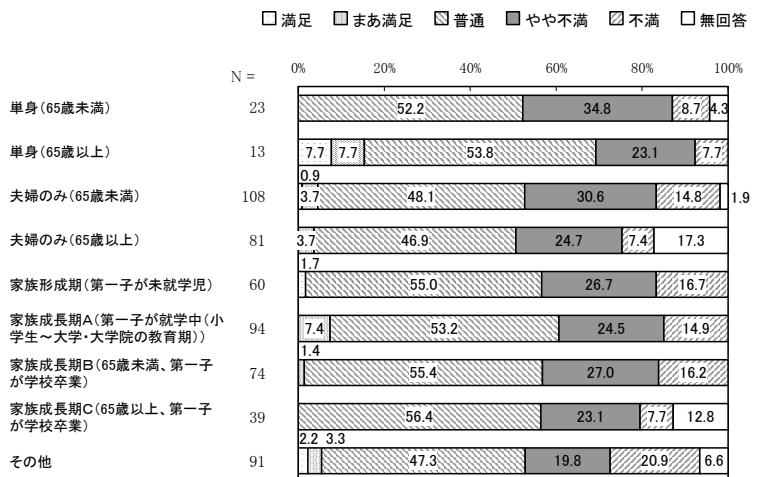
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】





## 【問 11 重要度】

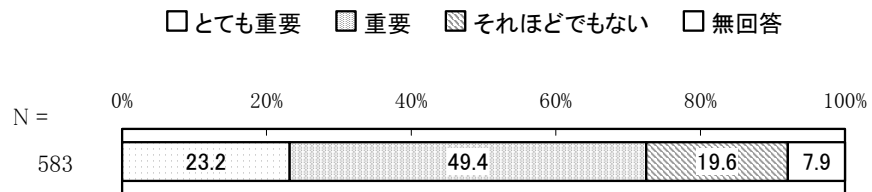
### (22) 新たな観光資源の創出と観光情報の発信

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約7割となっています。

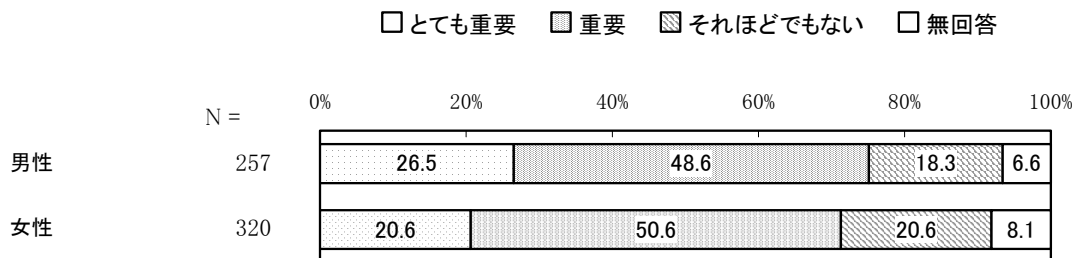
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳で“重要”の割合が高く、約8割となっています。

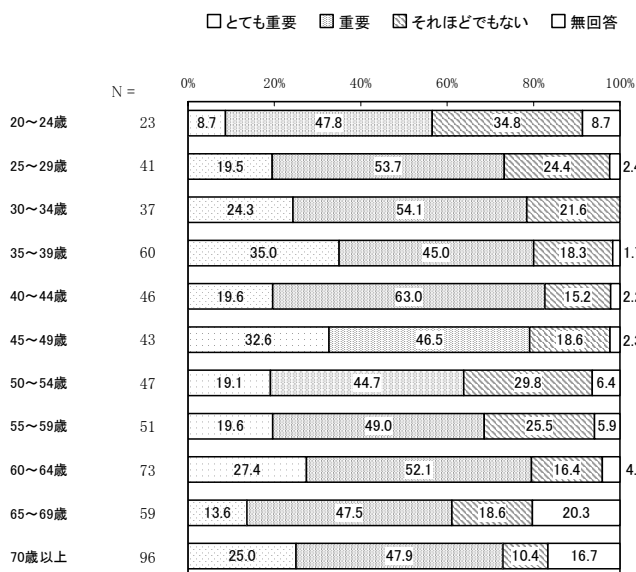
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



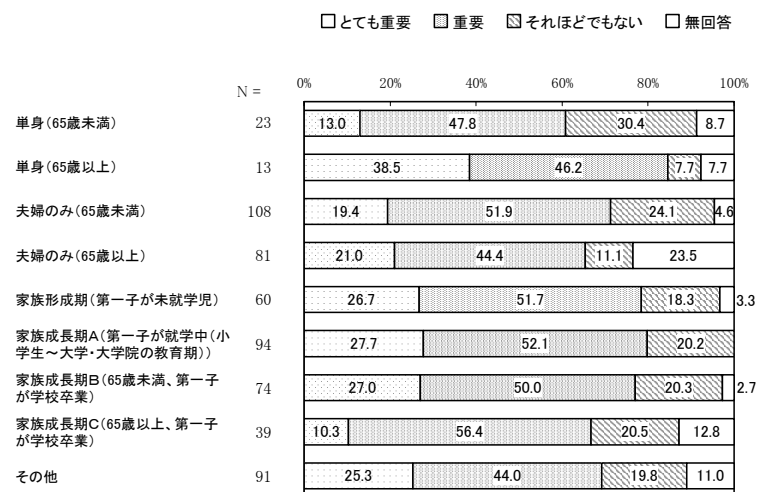
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

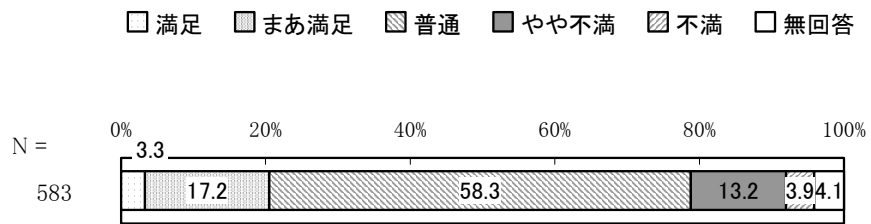
### (23) 市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」

全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約2割となっています。

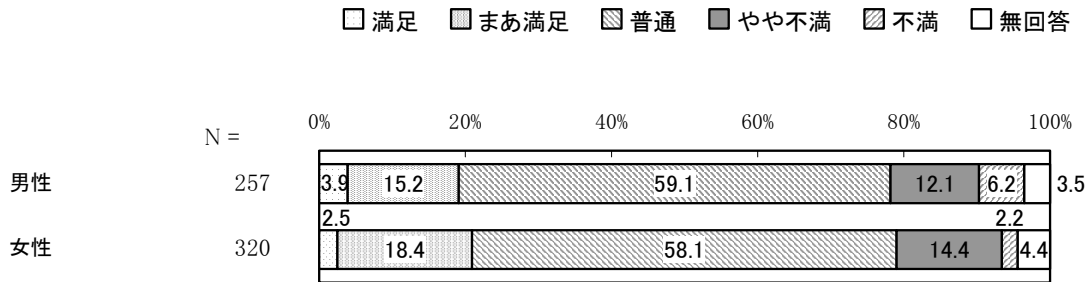
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、55～59歳で“満足”の割合が高く、約3割となっています。

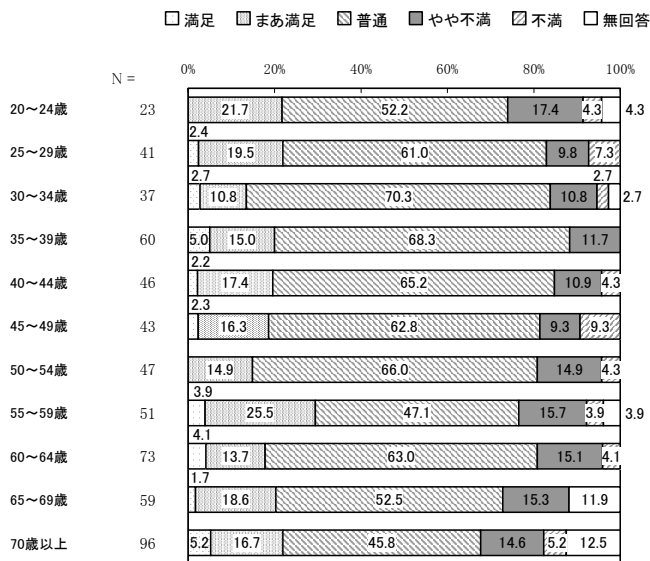
ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身(65歳以上)で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



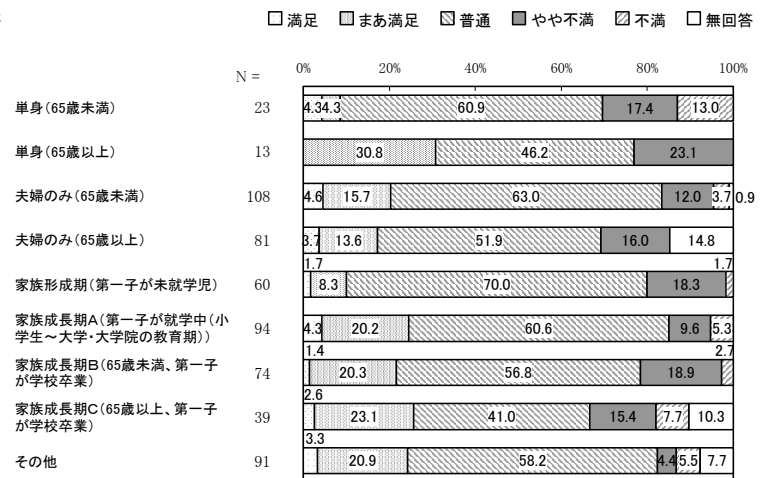
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



**【問 11 重要度】**

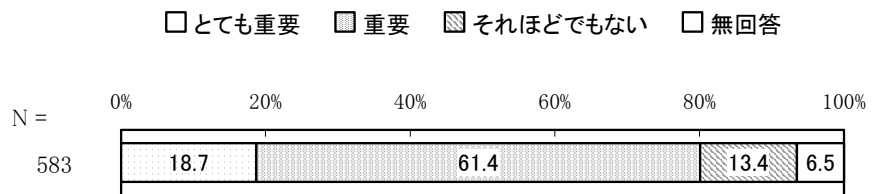
**(23) 市の行う広報( 広報紙・無線、報道など) の「わかりやすさ」や「情報の量」**

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

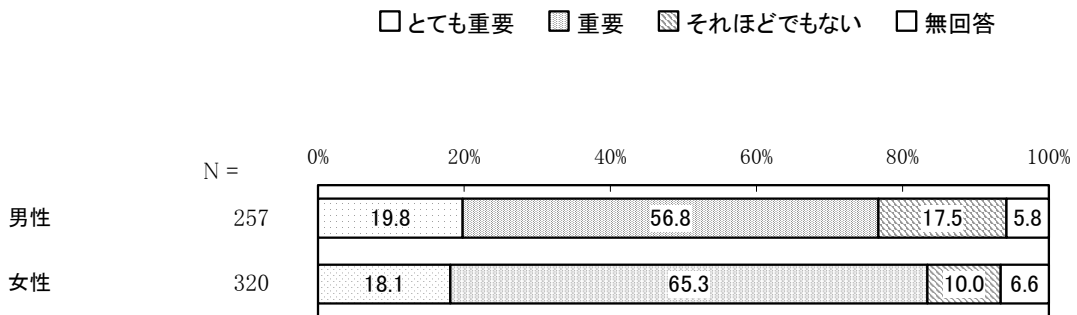
性別で見ると、男性に比べ、女性で“重要”が高くなっています。

年代別で見ると、他の年代に比べ、40～44歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族成長期A(第一子が就学中(小学生～大学・大学院教育期))で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

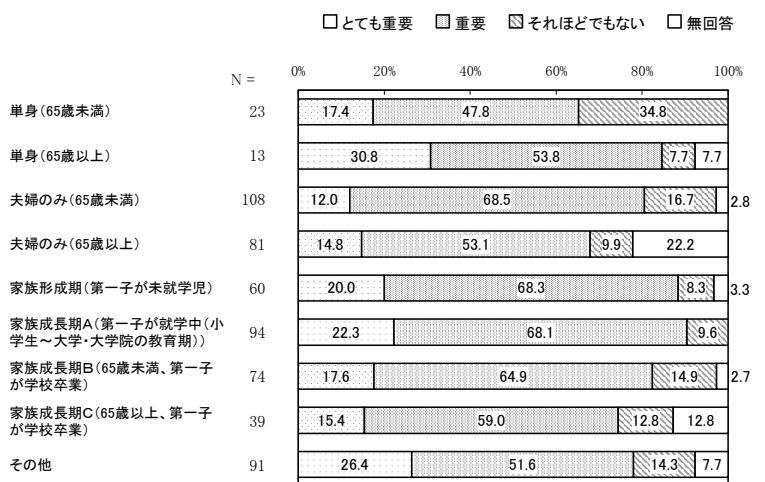
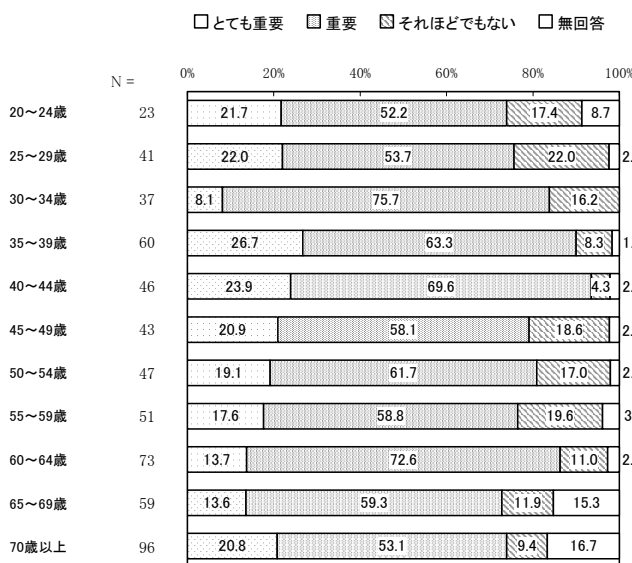


**【性 別】**



**【年代別】**

**【ライフステージ別】**



## 【問 11 満足度】

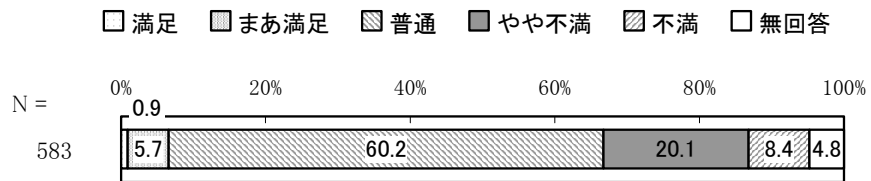
### (24) 市の「対応の早さ」など、行政運営の効率化

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約3割となっています。

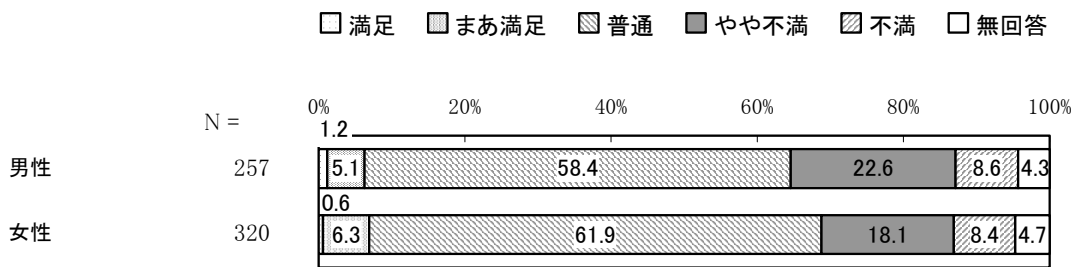
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“不満”の割合が高く、3割となっています。

ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳未満）、夫婦のみ（65歳未満）、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、3割を超えています。

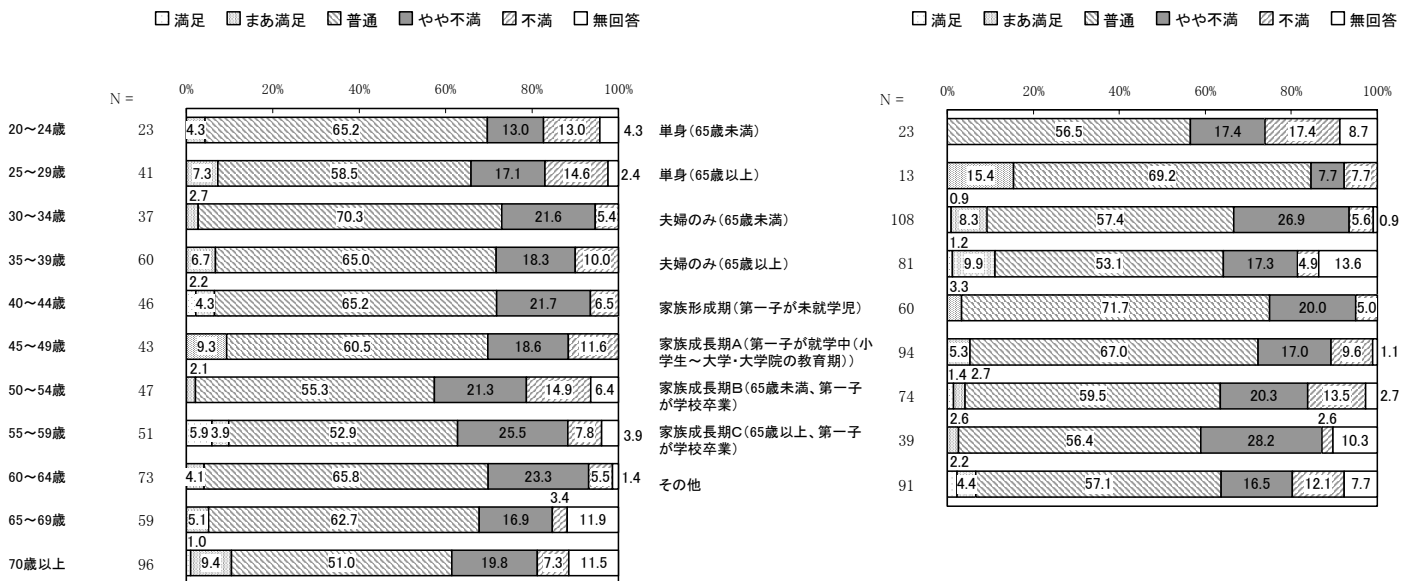


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 【問 11 重要度】

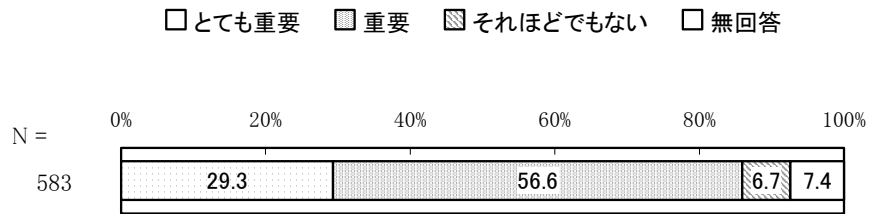
### (24) 市の「対応の早さ」など、行政運営の効率化

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

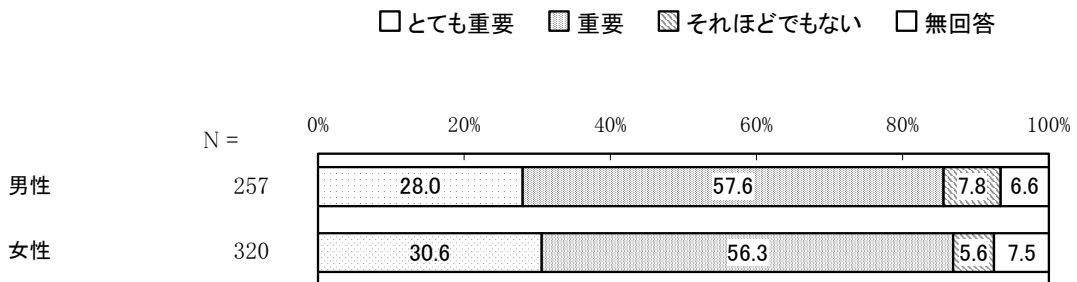
性別でみると、大きな差異はみられません

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院教育期））で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

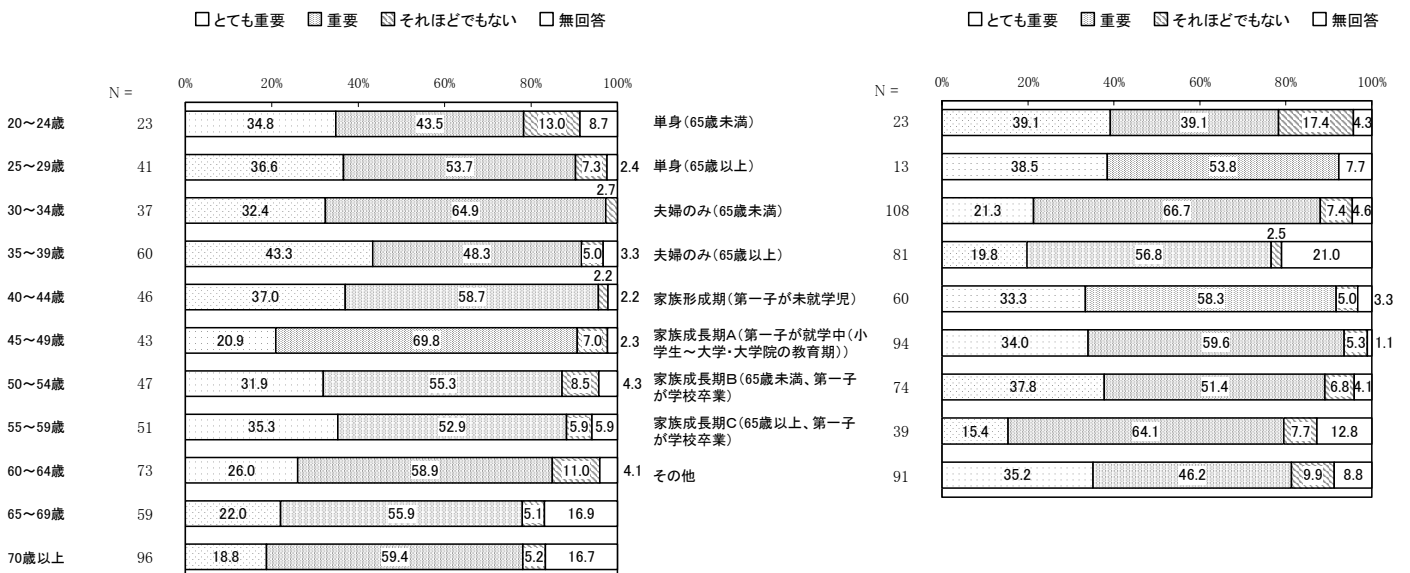


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 【問 11 満足度】

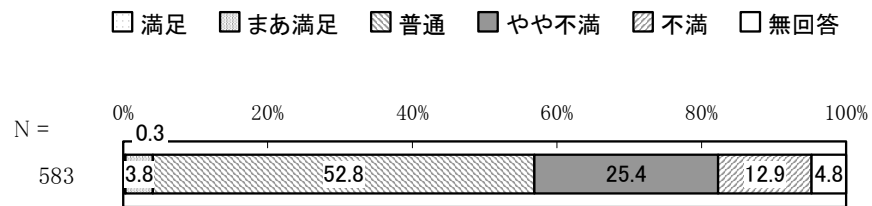
### (25) 市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約4割となっています。

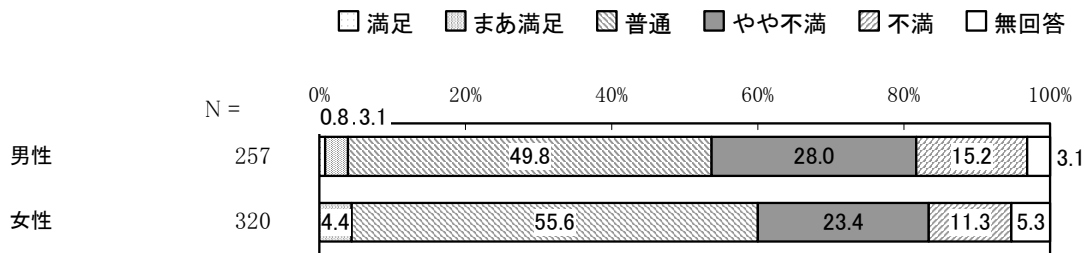
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で“不満”の割合が高く、約5割となっています。

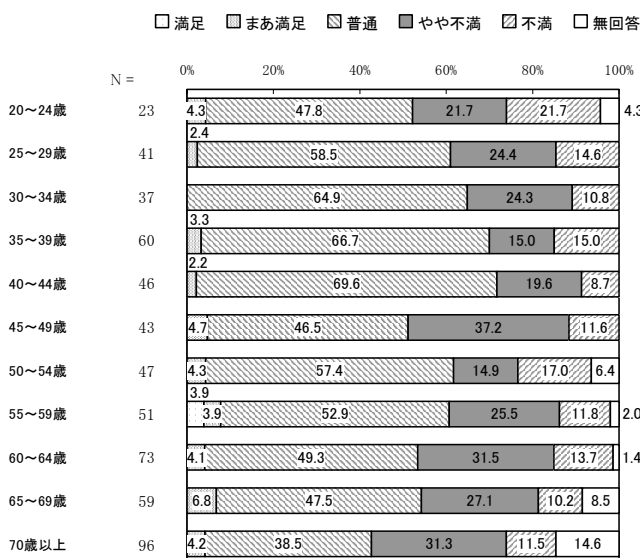
ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳以上）で“不満”の割合が高く、5割を超えています。



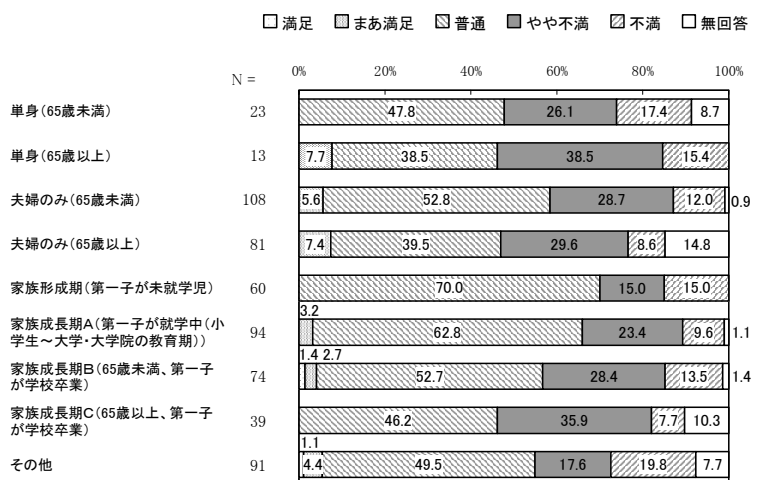
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



**【問 11 重要度】**

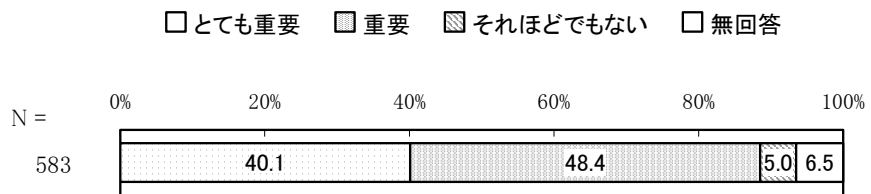
**(25) 市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化**

全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約9割となっています。

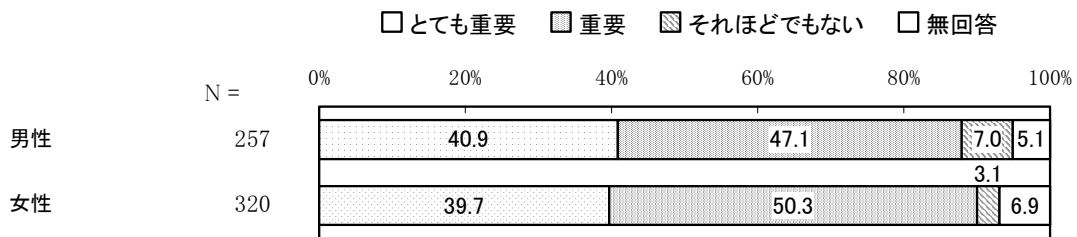
性別で見ると、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、30～34歳ですべての方が“重要”と回答しています。

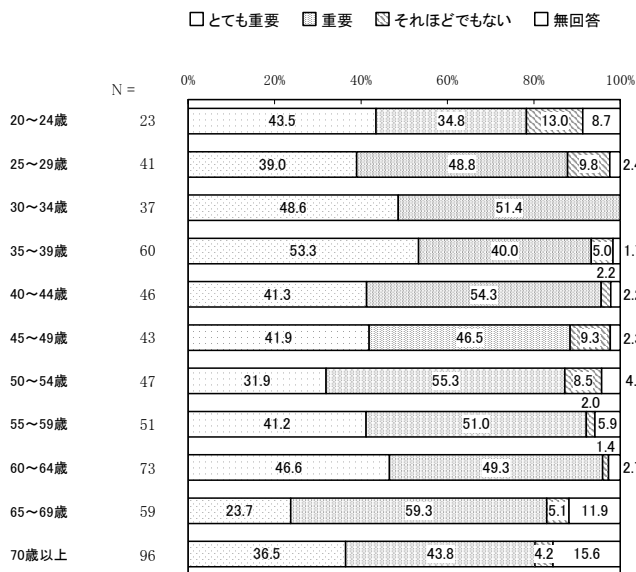
ライフステージ別で見ると、他に比べ、夫婦のみ（65歳以上）で“重要”の割合が低く、8割以下となっています。



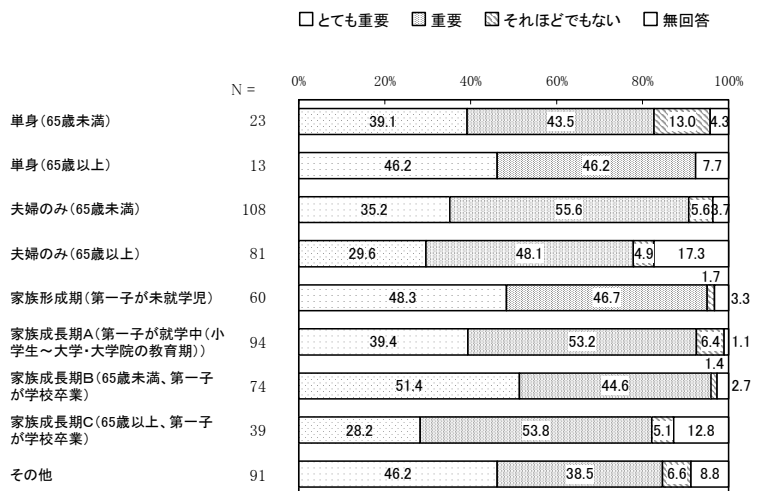
**【性別】**



**【年代別】**



**【ライフステージ別】**



【問 11 満足度】

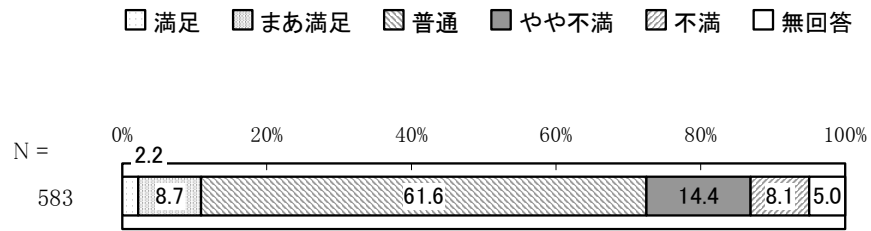
(26) 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。

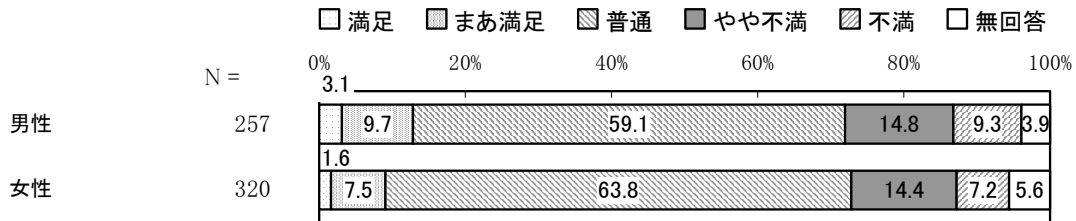
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

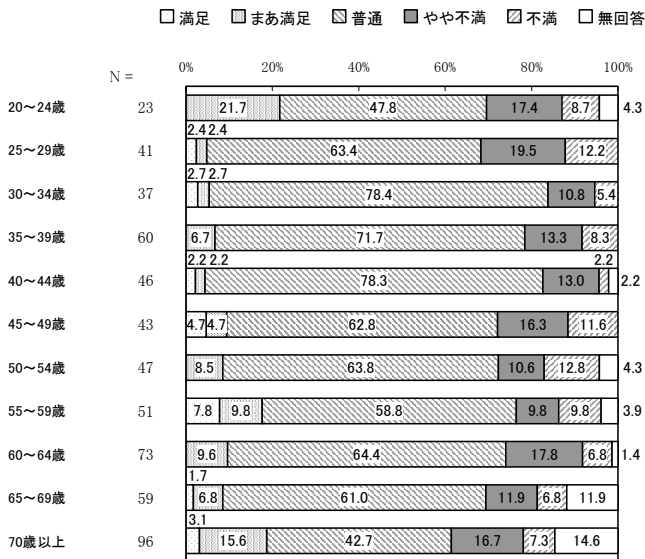
居住地別で見ると、他の地区に比べ、須山、東、西で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



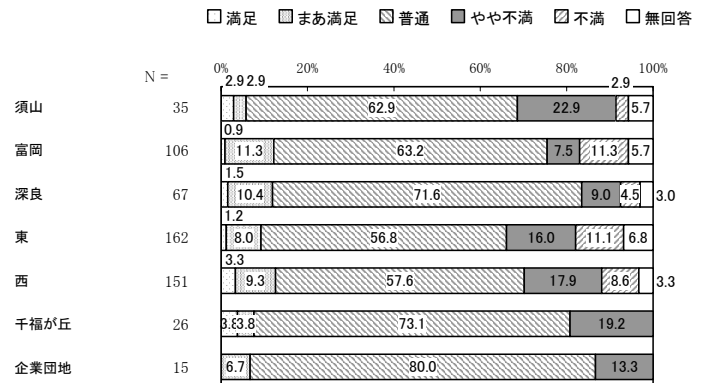
【性別】



【年代別】



【居住地別】





【問 11 重要度】

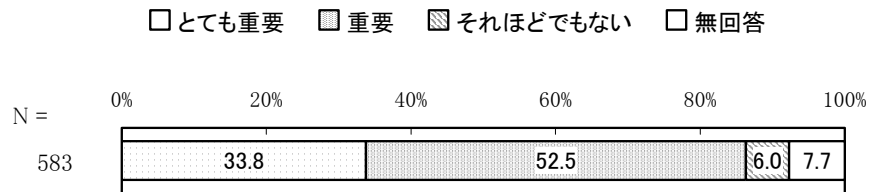
(26) 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、8割を超えています。

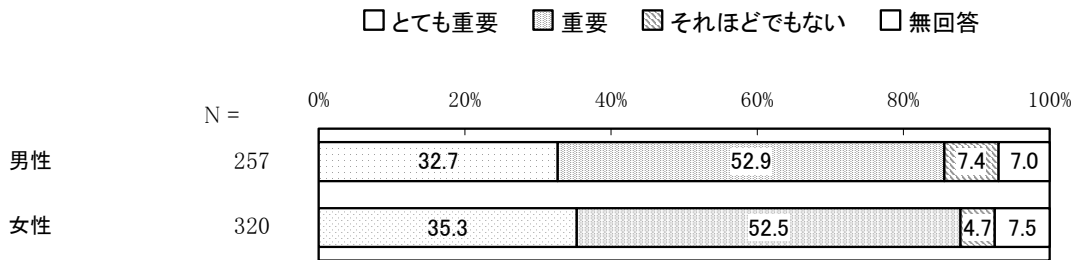
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

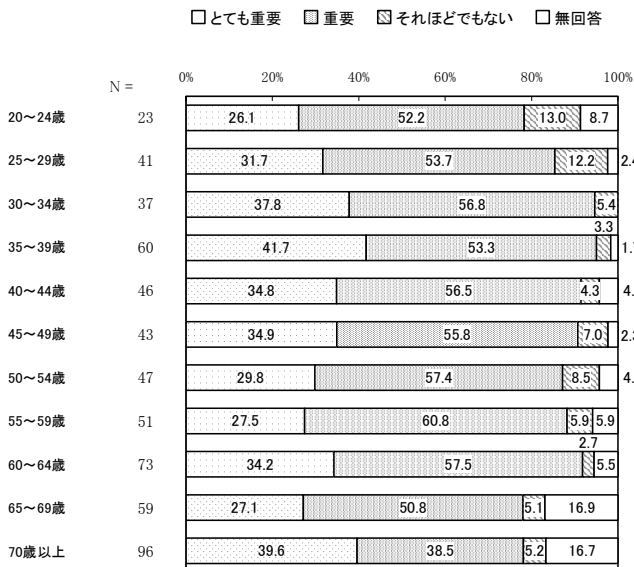
ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ(65歳以上)、家族成長期C(65歳以上、第一子が学校卒業)で“重要”の割合が低く8割以下となっています。



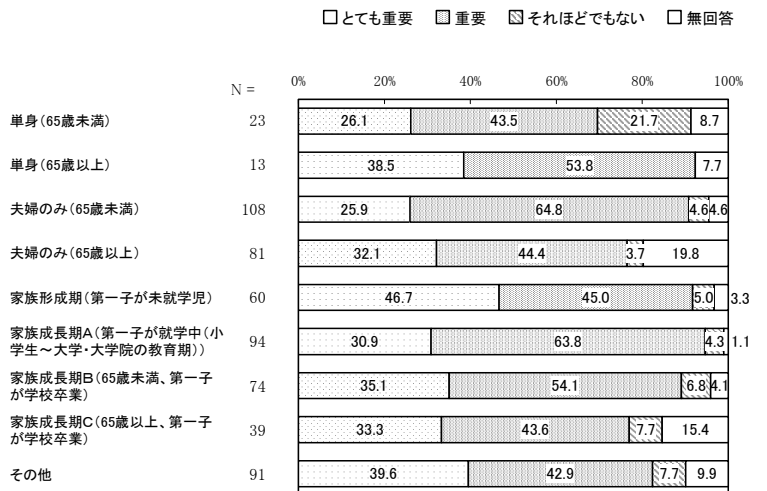
【性 別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問 11 満足度】

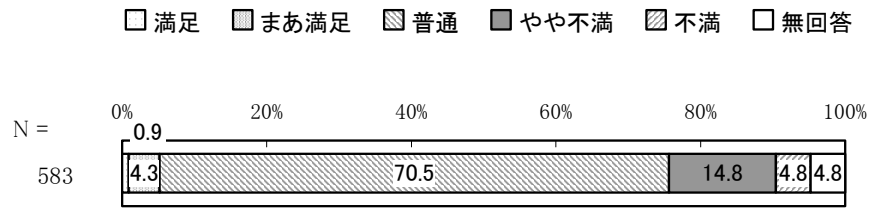
(27) 近隣市町との交流などの広域連携の促進

全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。

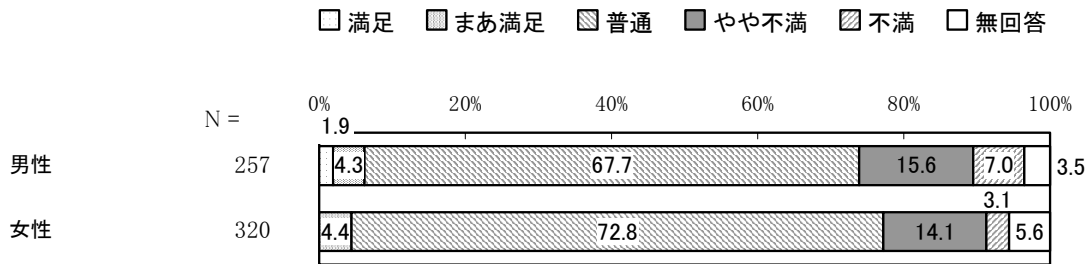
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“不満”の割合が高く、3割となっています。

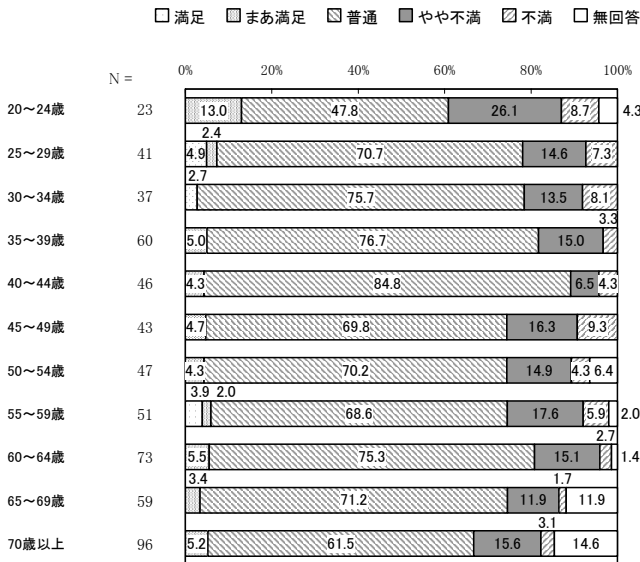
居住地別で見ると、他の地区に比べ、富岡、西で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



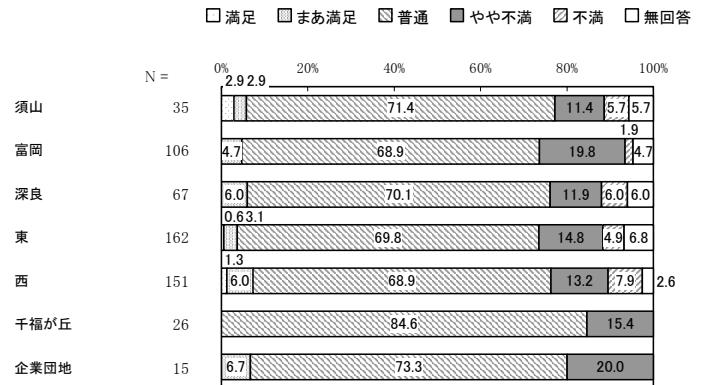
【性別】



【年代別】



【居住地別】



## 【問 11 重要度】

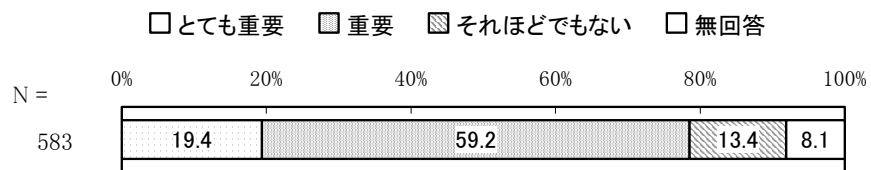
### (27) 近隣市町との交流などの広域連携の促進

全体でみると、「とても重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が、約8割となっています。

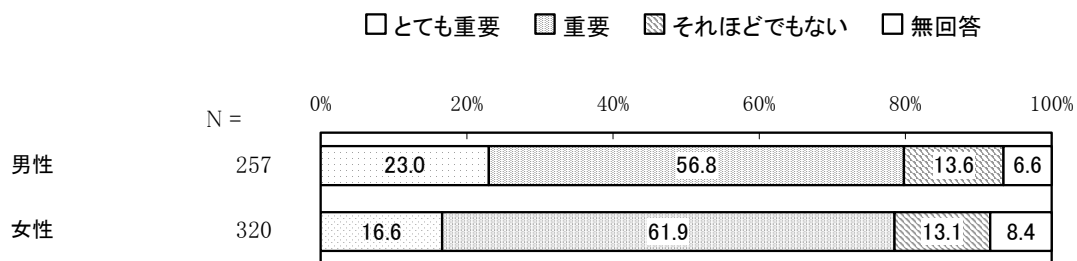
性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“重要”の割合が高く、約9割となっています。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）で“重要”の割合が高く、9割を超えています。

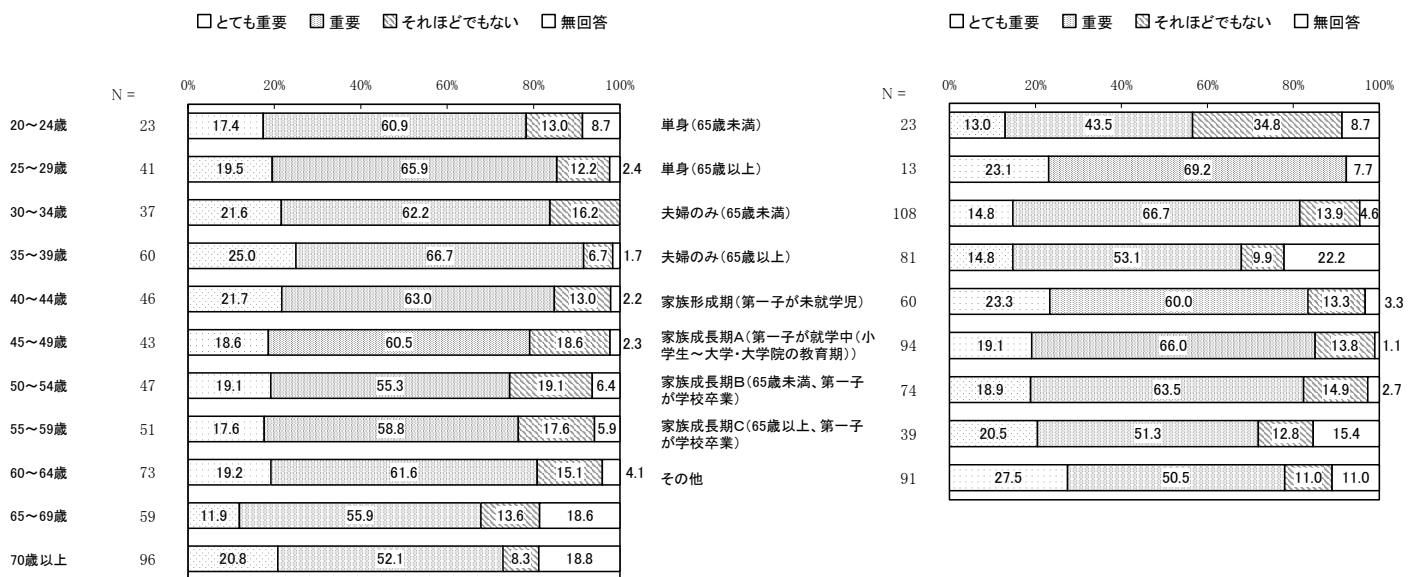


## 【性 別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



## 4 健康について

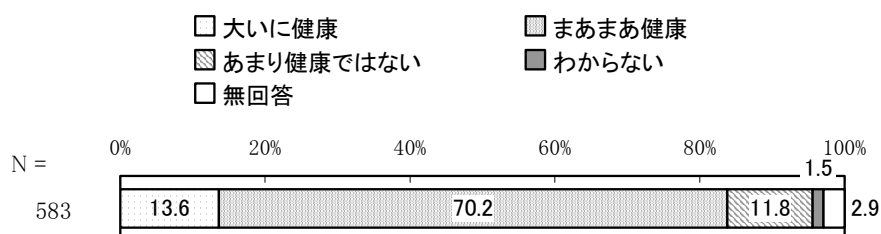
### 問 12 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

「まあまあ健康」の割合が70.2%と最も高く、次いで「大いに健康」の割合が13.6%、「あまり健康ではない」の割合が11.8%となっています。

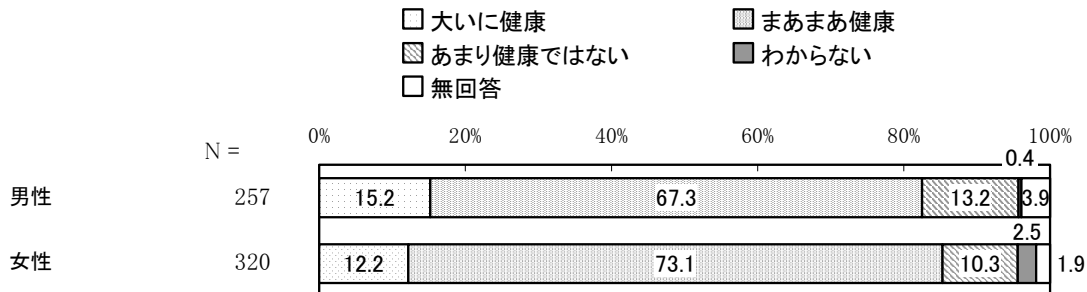
性別で見ると、男性に比べ、女性で「まあまあ健康」の割合が高くなっています。

年代別で見ると、他の年代に比べ、20～29歳で「大いに健康」の割合が高く、約4割となっています。

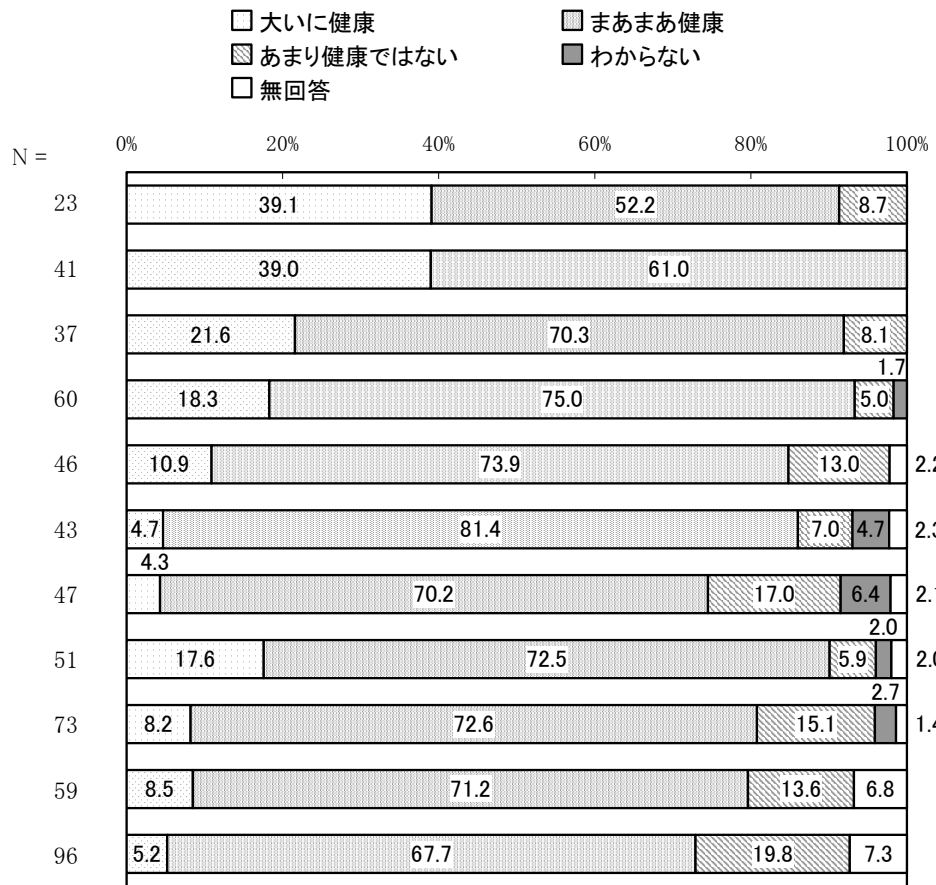
ライフステージ別で見ると、他のライフステージに比べ、単身（65歳未満）で「大いに健康」の割合が高く、約3割となっています。



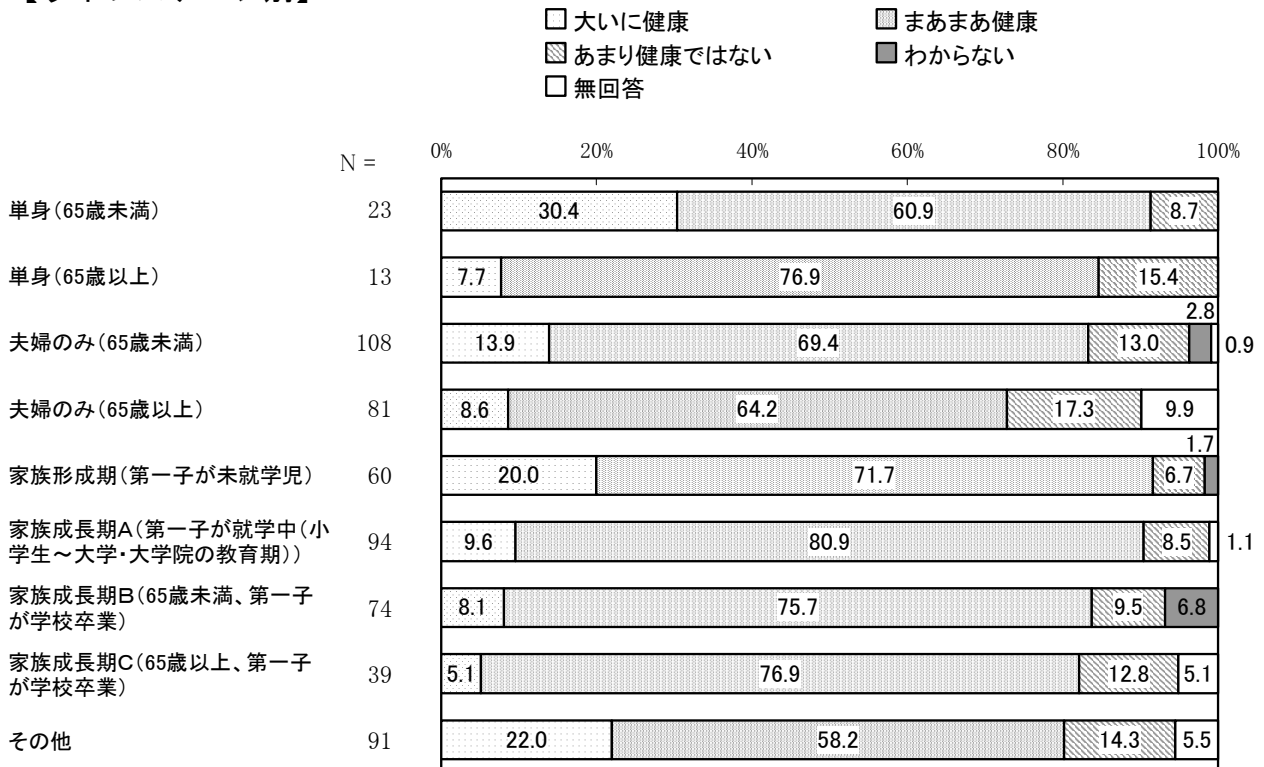
### 【性別】



### 【年代別】

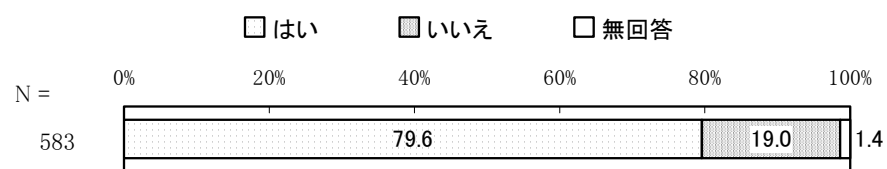


### 【ライフステージ別】

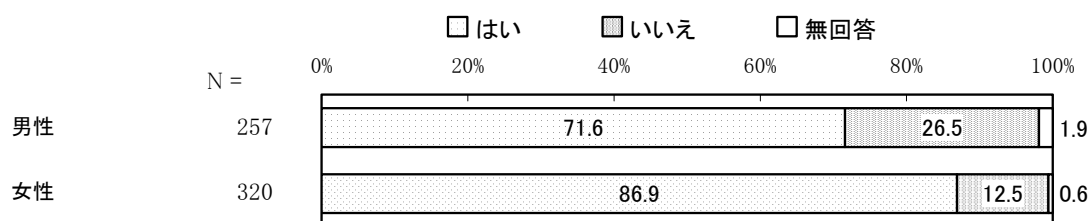


**問 13 ご自分の心配事や悩み事を相談できる相手や場所がありますか。(○は1つ)**

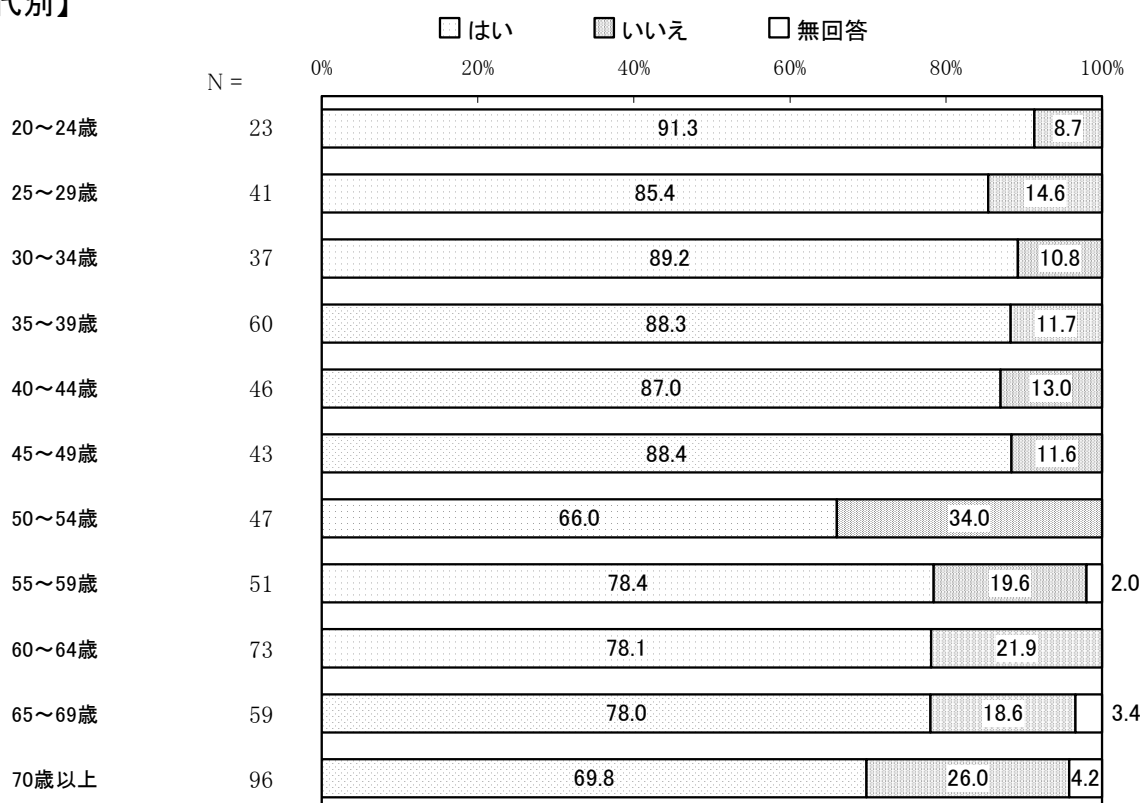
「はい」の割合が79.6%、「いいえ」の割合が19.0%となっています。  
 性別で見ると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。  
 年代別で見ると、他の年代に比べ、50～54歳、70歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



**【性別】**

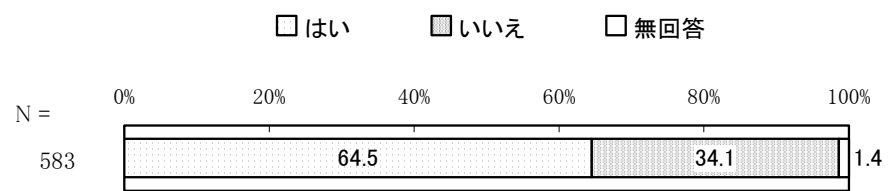


**【年代別】**

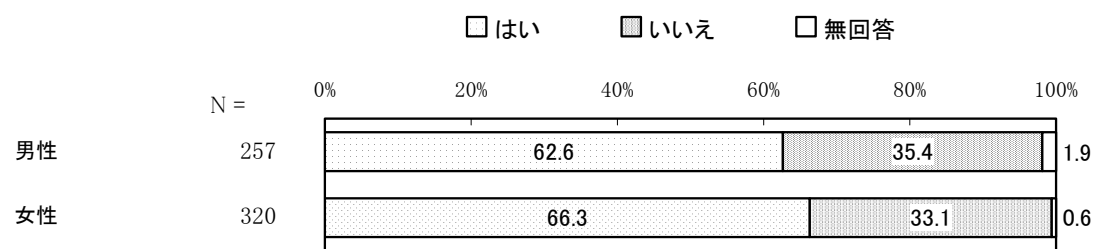


**問 14 ご自身やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」をもっていますか。(〇は1つ)**

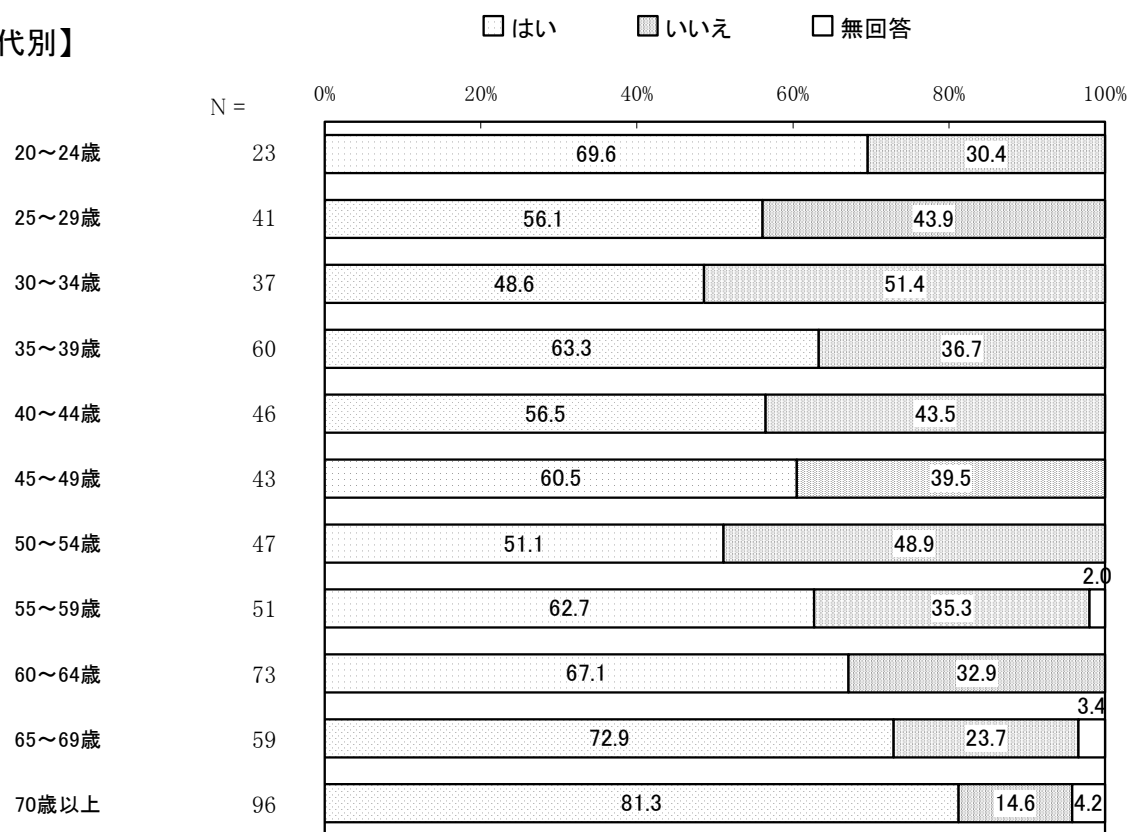
「はい」の割合が64.5%、「いいえ」の割合が34.1%となっています。  
 性別で見ると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。  
 年代別で見ると、他の年代に比べ、70歳以上で「はい」の割合が高く、約8割となっています。



**【性別】**



**【年代別】**



## 5 スポーツ活動について

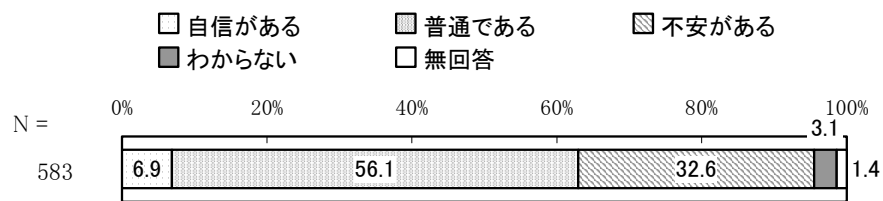
問 15 あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

「普通である」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「不安がある」の割合が 32.6%となっています。

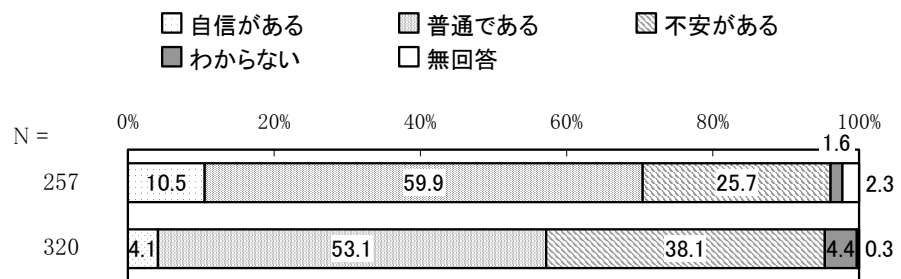
性別で見ると、女性に比べ、男性で「普通である」の割合が高くなっています。

年代別で見ると、他の年代に比べ、40～44 歳で「不安がある」の割合が高く、約 5 割となっています。

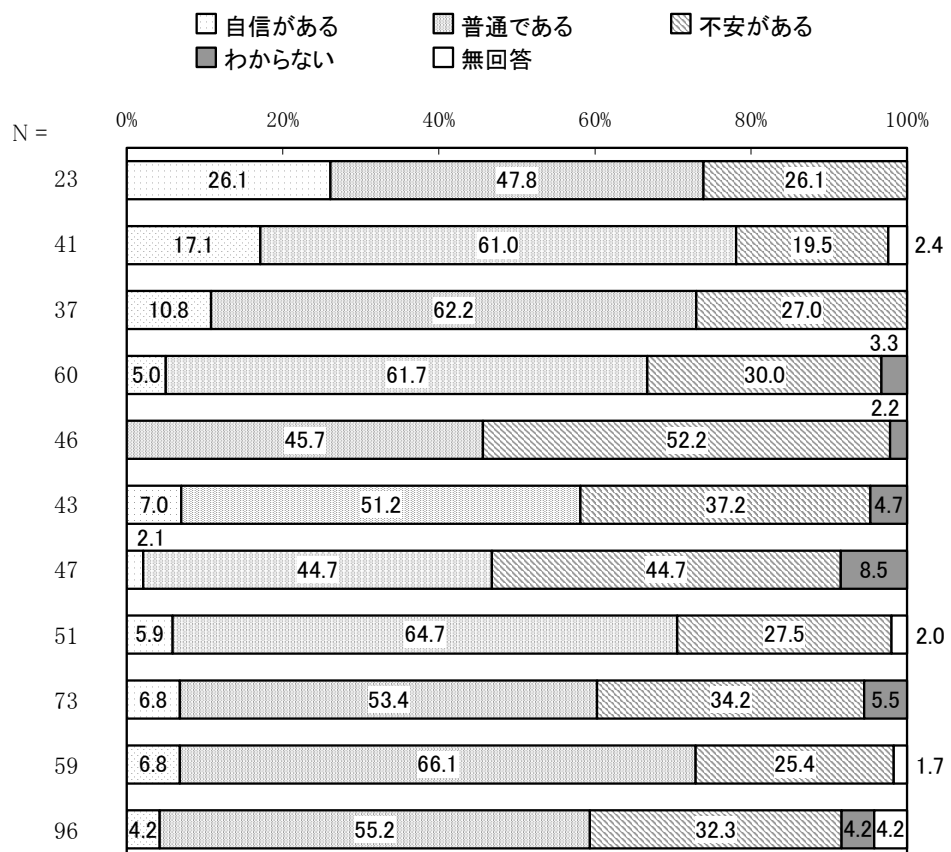
ライフステージ別で見ると、他のライフステージに比べ、単身（65 歳以上）で「不安がある」の割合が高くなっています。



### 【性別】

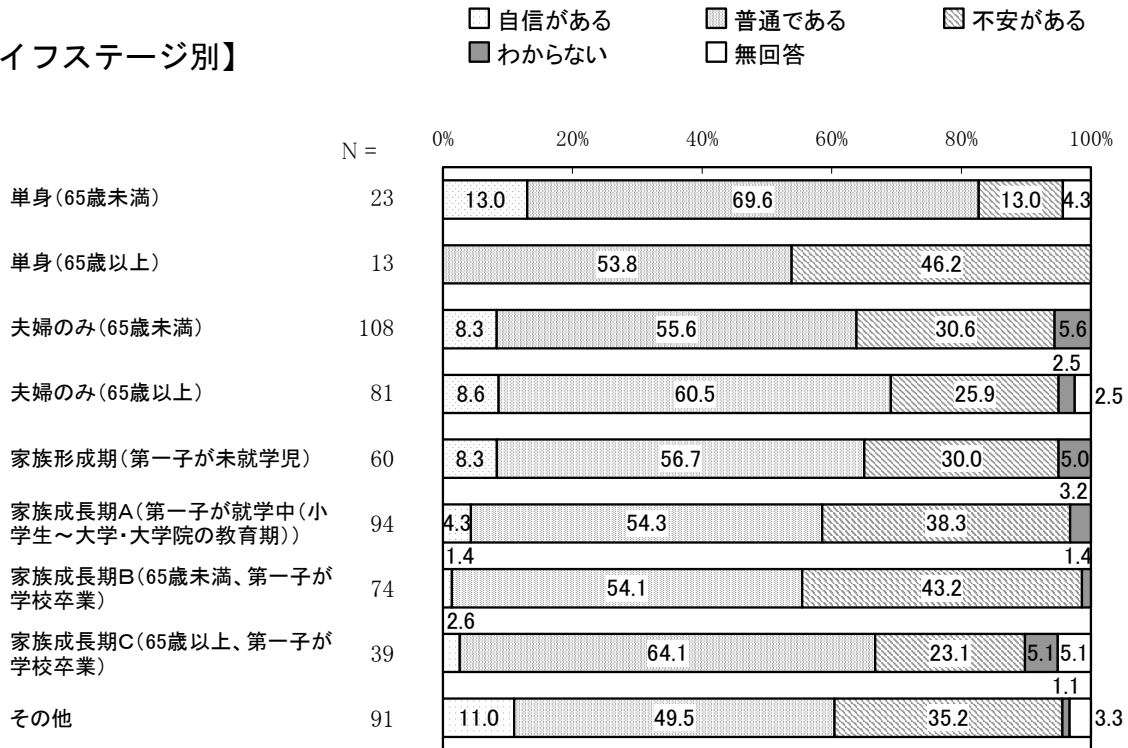


### 【年代別】





## 【ライフステージ別】



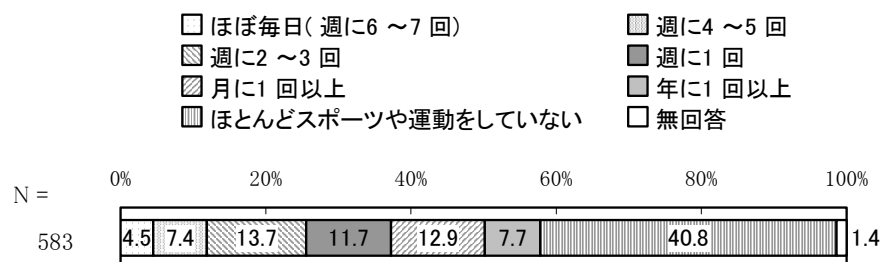
問 16 この1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上)をどれくらいの頻度で行いましたか。(○は1つ)

「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が40.8%と最も高く、次いで「週に2~3回」の割合が13.7%、「月に1回以上」の割合が12.9%となっています。

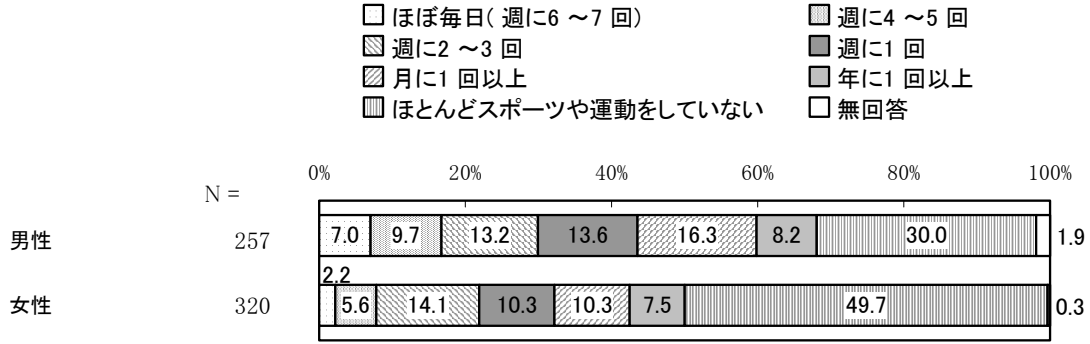
性別でみると、男性に比べ、女性で「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、50~54歳で「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が高く、5割以上となっています。

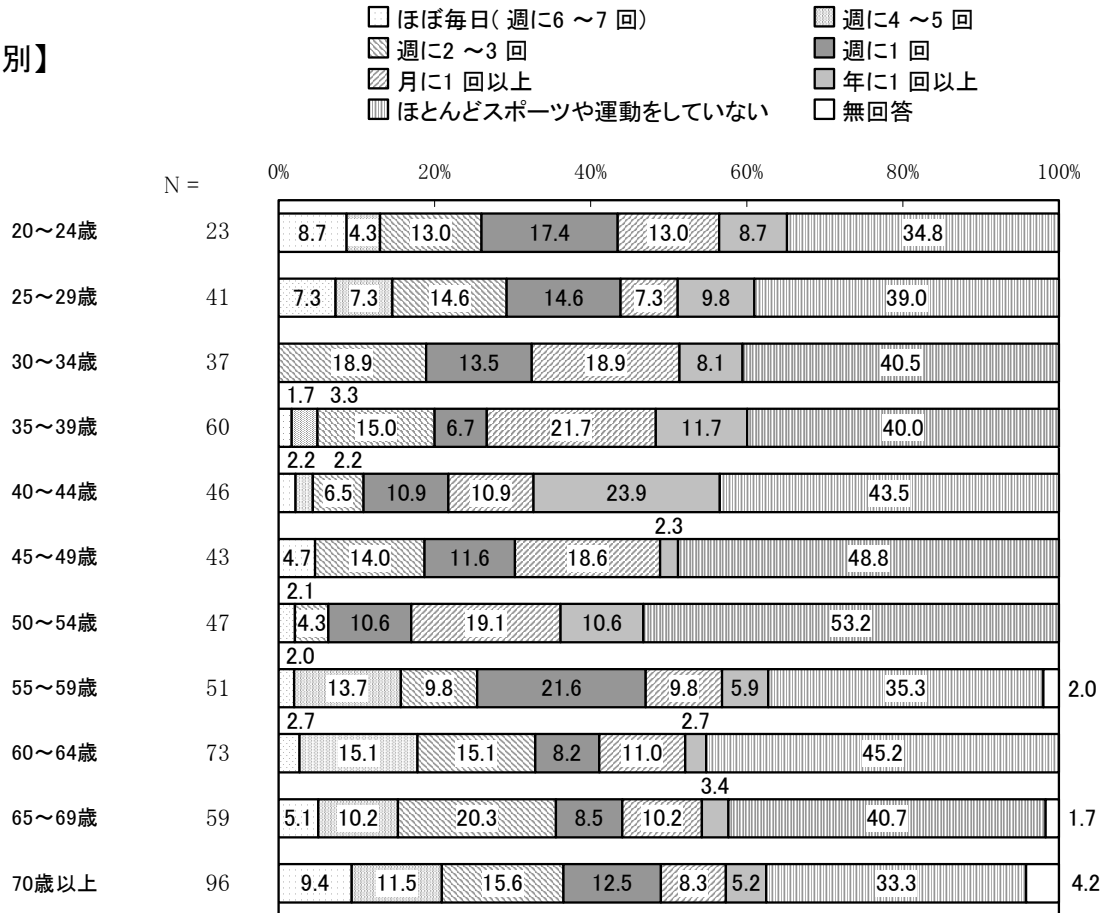
居住地別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で「週に4~5回」以上の割合が高く、約3割となっています。



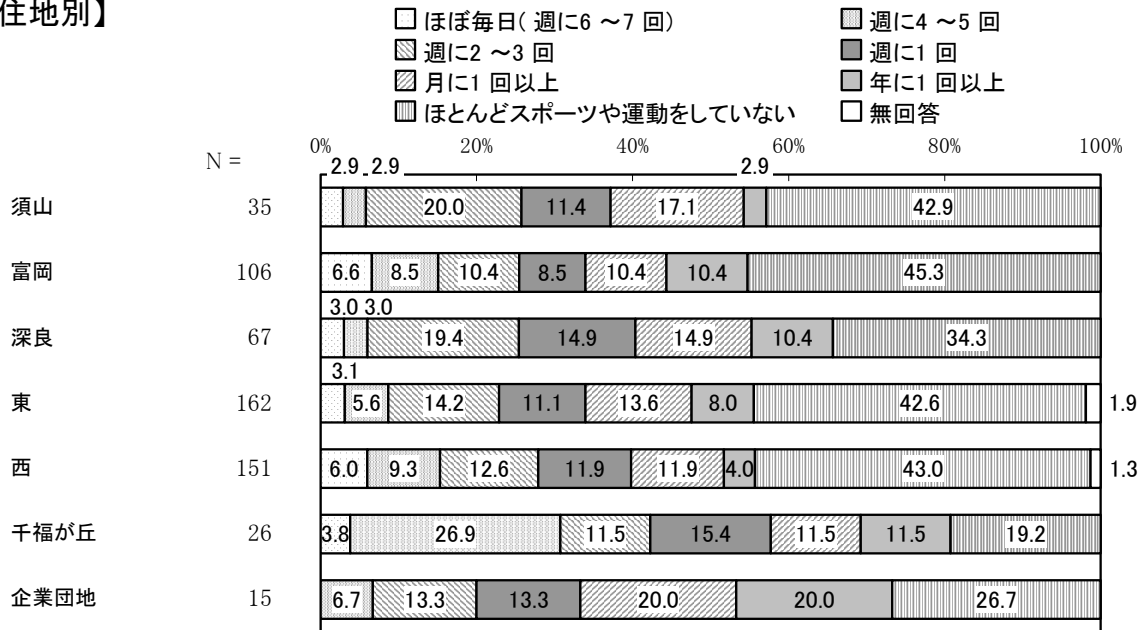
【性別】



【年代別】



【居住地別】



問 16-1 問 16 で 1 ~ 6 に回答した方にお聞きします。ふだん利用するスポーツ施設は次のどれにあてはまりますか。(〇はいくつでも)

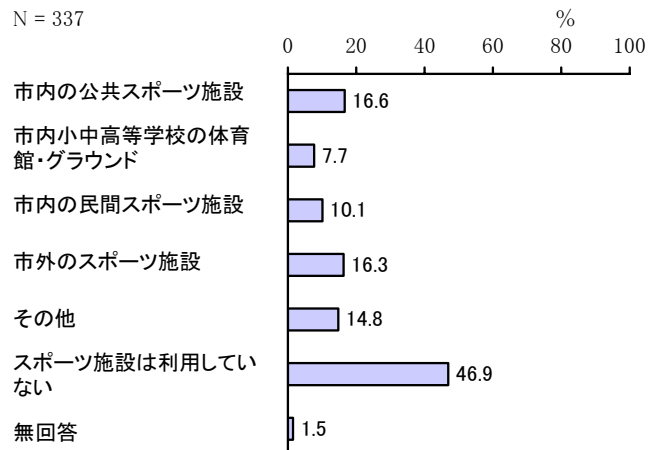
「スポーツ施設は利用していない」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「市内の公共スポーツ施設」の割合が 16.6%、「市外のスポーツ施設」の割合が 16.3%となっています。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「スポーツ施設は利用していない」の割合が高くなっています。

年代別で見ると、他の年代に比べ、20 ~ 24 歳、25 ~ 29 歳で「市外のスポーツ施設」の割合が高く、約 4 割となっています。

居住地別で見ると、他の地区に比べ、企業団地で「市内の公共スポーツ施設」の割合が高く、約 3 割となっています。

N = 337



【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	市内の公共スポーツ施設	市内小中高等学校の体育館・グラウンド	市内の民間スポーツ施設	市外のスポーツ施設	その他	スポーツ施設は利用していない	無回答
男性	175	15.4	9.7	8.0	18.9	16.0	48.6	—
女性	160	18.1	5.6	12.5	13.8	13.8	45.0	2.5

【年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	市内の公共スポーツ施設	市内小中高等学校の体育館・グラウンド	市内の民間スポーツ施設	市外のスポーツ施設	その他	スポーツ施設は利用していない	無回答
20～24歳	15	26.7	13.3	6.7	40.0	6.7	40.0	—
25～29歳	25	20.0	8.0	12.0	40.0	8.0	36.0	—
30～34歳	22	18.2	9.1	4.5	31.8	9.1	36.4	—
35～39歳	36	11.1	5.6	16.7	11.1	13.9	50.0	—
40～44歳	26	7.7	23.1	11.5	26.9	19.2	30.8	—
45～49歳	22	4.5	4.5	—	22.7	13.6	54.5	4.5
50～54歳	22	13.6	9.1	9.1	18.2	9.1	54.5	—
55～59歳	32	21.9	6.3	—	18.8	18.8	43.8	3.1
60～64歳	40	17.5	7.5	15.0	5.0	10.0	60.0	—
65～69歳	34	17.6	2.9	8.8	2.9	20.6	52.9	2.9
70歳以上	60	21.7	5.0	15.0	5.0	21.7	45.0	1.7

【居住地別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	市内の公共スポーツ施設	市内小中高等学校の体育館・グラウンド	市内の民間スポーツ施設	市外のスポーツ施設	その他	スポーツ施設は利用していない	無回答
須山	20	—	10.0	15.0	20.0	15.0	40.0	5.0
富岡	58	17.2	8.6	3.4	8.6	15.5	50.0	1.7
深良	44	25.0	4.5	11.4	11.4	13.6	50.0	—
東	90	13.3	5.6	8.9	23.3	10.0	47.8	1.1
西	84	16.7	11.9	13.1	14.3	19.0	45.2	1.2
千福が丘	21	23.8	4.8	14.3	19.0	19.0	42.9	—
企業団地	11	36.4	—	18.2	9.1	18.2	45.5	—

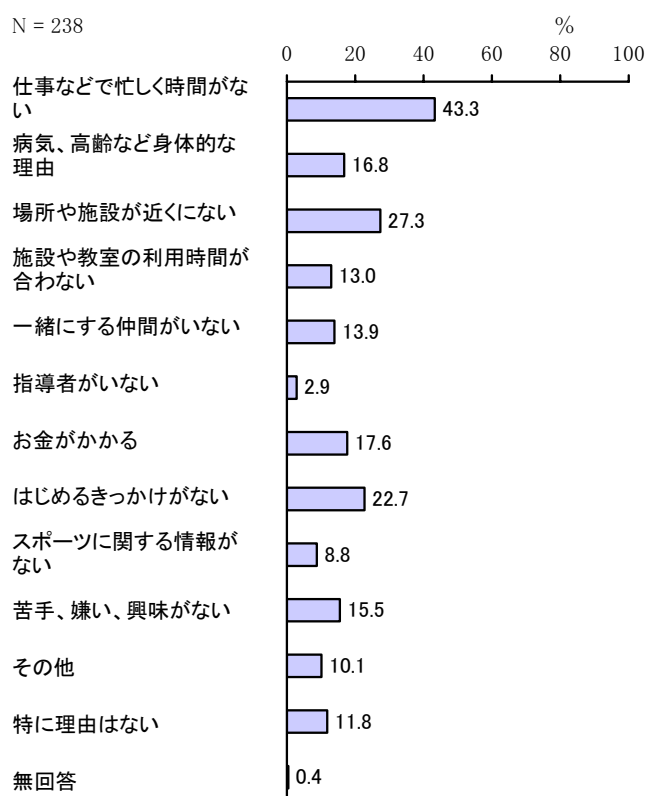
問 16-2 問 16 で「7 ほとんどスポーツや運動をしていない」に回答した方にお聞きします。スポーツや運動を行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「仕事などで忙しく時間がない」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「場所や施設が近くくない」の割合が 27.3%、「はじめるきっかけがない」の割合が 22.7%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事などで忙しく時間がない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、40～49 歳、55～59 歳で「仕事などで忙しく時間がない」の割合が高く、6 割以上となっています。

居住地別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で「場所や施設が近くくない」の割合が高く、4 割となっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	仕事などで忙しく時間がない	病気、高齢など身体的な理由	場所や施設が近くくない	施設や教室の利用時間が合わない	一緒にする仲間がいない	指導者がいない	お金がかかる	はじめるきっかけがない	スポーツに関する情報がない	苦手、嫌い、興味がない	その他	特に理由はない	無回答
男性	77	48.1	23.4	16.9	13.0	16.9	2.6	11.7	19.5	11.7	9.1	6.5	13.0	—
女性	159	41.5	13.2	32.1	12.6	11.9	2.5	20.1	23.9	6.9	18.9	11.9	11.3	0.6

【年代別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	仕事などで忙しく時間がない	病気、高齢など身体的な理由	場所や施設が近くにない	施設や教室の利用時間が合わない	一緒にする仲間がいない	指導者がいない	お金がかかる	はじめるきっかけがない	スポーツに関する情報がない	苦手、嫌い、興味がない	その他	特に理由はない	無回答
20～24歳	8	12.5	12.5	25.0	—	—	—	25.0	25.0	—	50.0	12.5	—	—
25～29歳	16	56.3	—	37.5	25.0	12.5	—	18.8	18.8	—	18.8	—	18.8	—
30～34歳	15	33.3	—	40.0	13.3	20.0	—	33.3	20.0	—	6.7	33.3	6.7	—
35～39歳	24	58.3	—	29.2	8.3	12.5	4.2	16.7	25.0	8.3	8.3	16.7	16.7	—
40～44歳	20	45.0	10.0	30.0	25.0	30.0	5.0	35.0	30.0	25.0	20.0	5.0	5.0	—
45～49歳	21	61.9	4.8	38.1	23.8	19.0	14.3	23.8	33.3	19.0	23.8	19.0	—	—
50～54歳	25	48.0	12.0	40.0	16.0	4.0	—	24.0	20.0	8.0	12.0	8.0	16.0	—
55～59歳	18	61.1	5.6	38.9	27.8	11.1	5.6	11.1	33.3	11.1	16.7	5.6	16.7	—
60～64歳	33	51.5	18.2	27.3	9.1	27.3	3.0	15.2	24.2	12.1	15.2	12.1	9.1	—
65～69歳	24	29.2	16.7	16.7	4.2	4.2	—	12.5	25.0	4.2	20.8	4.2	20.8	—
70歳以上	32	15.6	62.5	—	—	6.3	—	—	6.3	3.1	6.3	3.1	12.5	3.1

【居住地別】

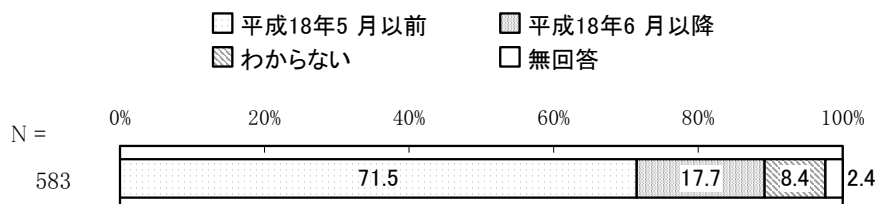
単位：%

区分	有効回答数(件)	仕事などで忙しく時間がない	病気、高齢など身体的な理由	場所や施設が近くにない	施設や教室の利用時間が合わない	一緒にする仲間がいない	指導者がいない	お金がかかる	はじめるきっかけがない	スポーツに関する情報がない	苦手、嫌い、興味がない	その他	特に理由はない	無回答
須山	15	20.0	6.7	33.3	20.0	20.0	—	20.0	40.0	13.3	6.7	20.0	13.3	—
富岡	48	35.4	16.7	22.9	8.3	8.3	2.1	16.7	14.6	6.3	16.7	8.3	22.9	—
深良	23	43.5	30.4	26.1	13.0	17.4	—	17.4	17.4	13.0	—	8.7	4.3	—
東	69	50.7	18.8	21.7	17.4	15.9	4.3	10.1	27.5	11.6	17.4	2.9	7.2	1.4
西	65	50.8	12.3	32.3	12.3	15.4	4.6	27.7	24.6	7.7	20.0	13.8	9.2	—
千福が丘	5	20.0	20.0	40.0	—	—	—	20.0	—	—	—	—	40.0	—
企業団地	4	50.0	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—

## 6 住宅用火災警報器の設置について

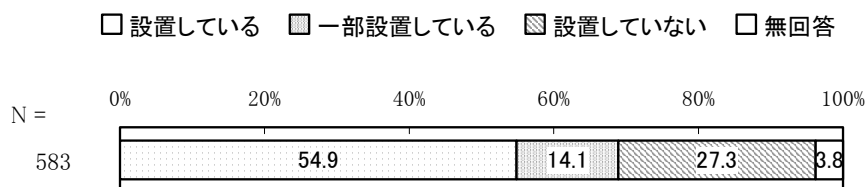
問 17 お住まいの住宅が建てられた時期について、該当するもの1つに○をつけてください。(○は1つ)

「平成18年5月以前」の割合が71.5%と最も高く、次いで「平成18年6月以降」の割合が17.7%となっています。



問 18 平成21年6月1日より、お住まいの住宅では、次の場所に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。あなたがお住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。該当するもの1つに○をつけてください。(○は1つ)

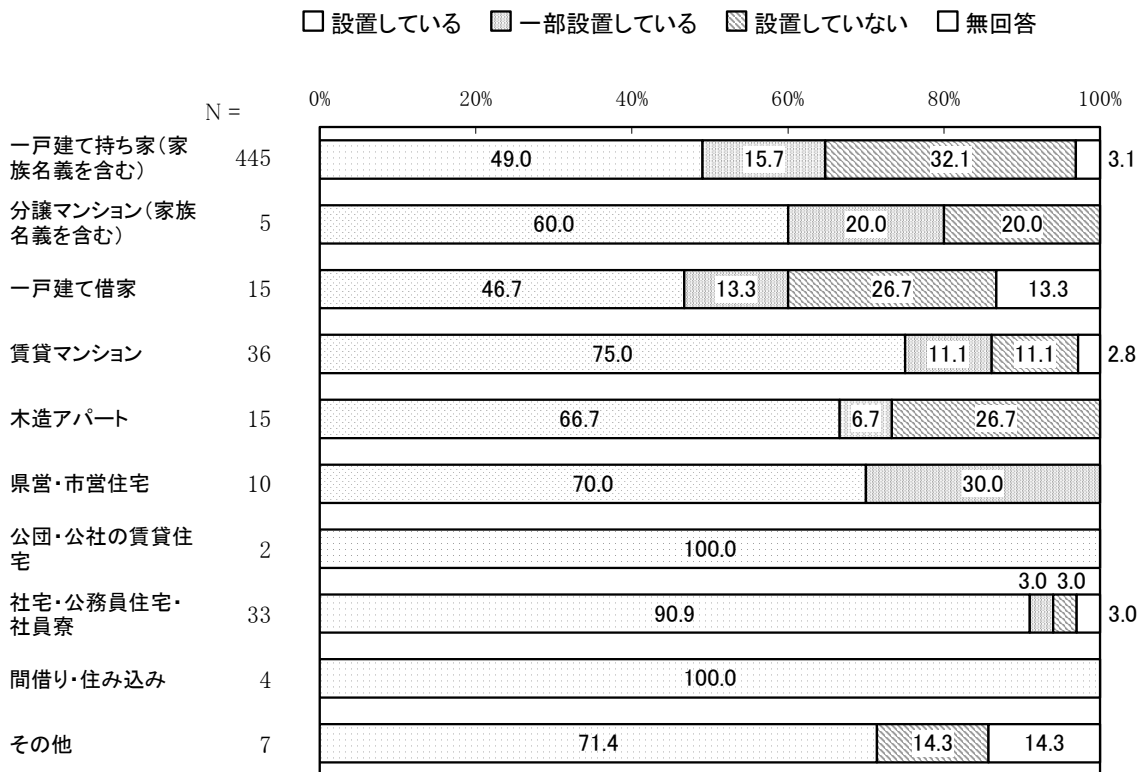
「設置している」の割合が54.9%と最も高く、次いで「設置していない」の割合が27.3%、「一部設置している」の割合が14.1%となっています。





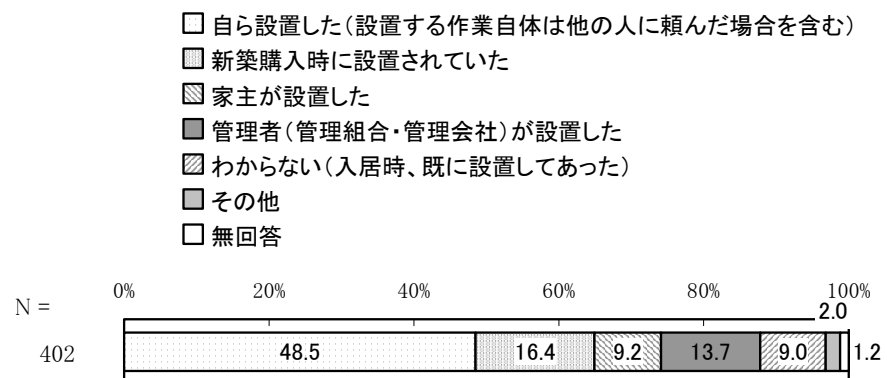
## 【住居の形態別】

住居の形態別でみると、他の住居の形態に比べ、公団・公社の賃貸住宅、社宅・公務員住宅・社員寮、間借り・住み込みで「設置している」の割合が高く、9割を超えています。一方、一戸建て持ち家（家族名義を含む）で「設置していない」の割合が高く、約3割となっています。



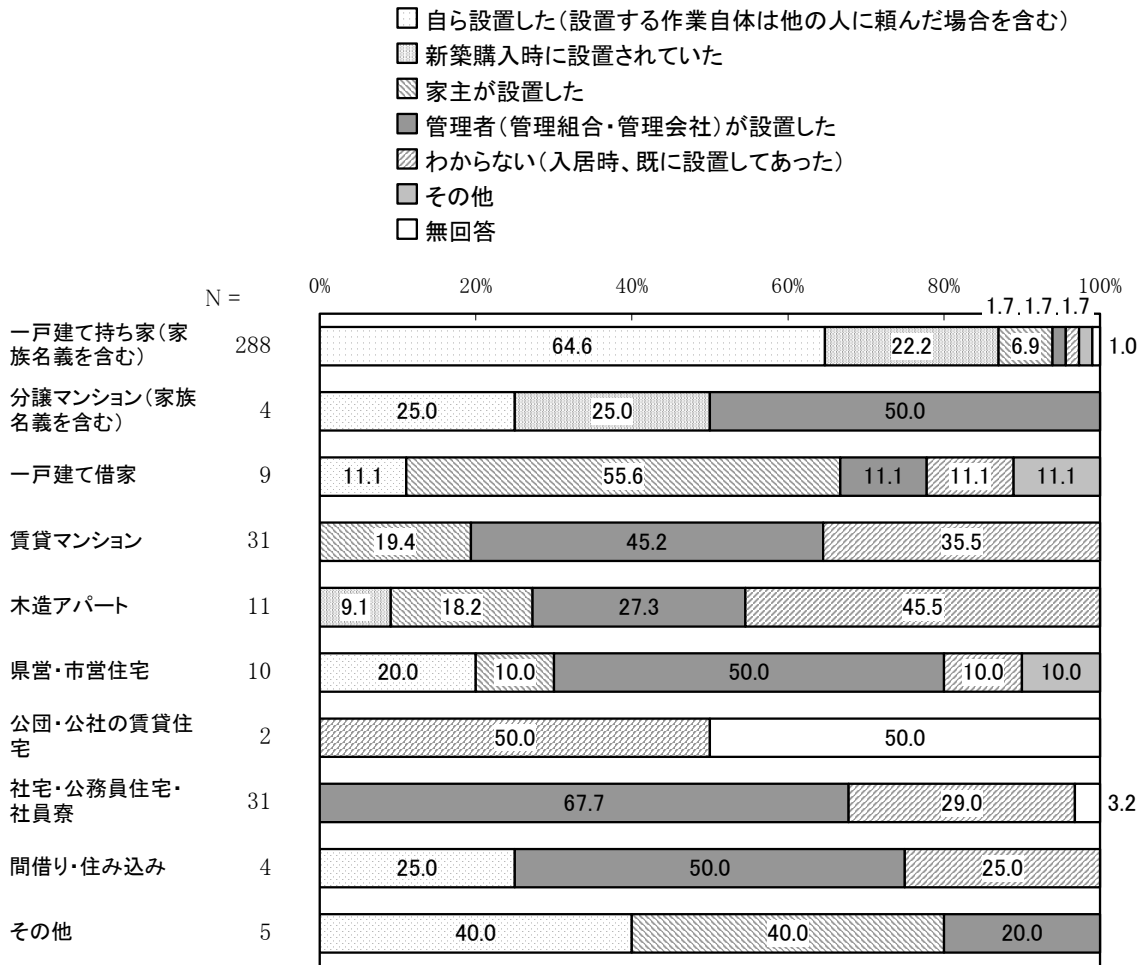
問 18-1 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つ以上設置している方にお聞きします。どのような経緯で設置にいたりしましたか。(○は1つ)

「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が48.5%と最も高く、次いで「新築購入時に設置されていた」の割合が16.4%、「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が13.7%となっています。



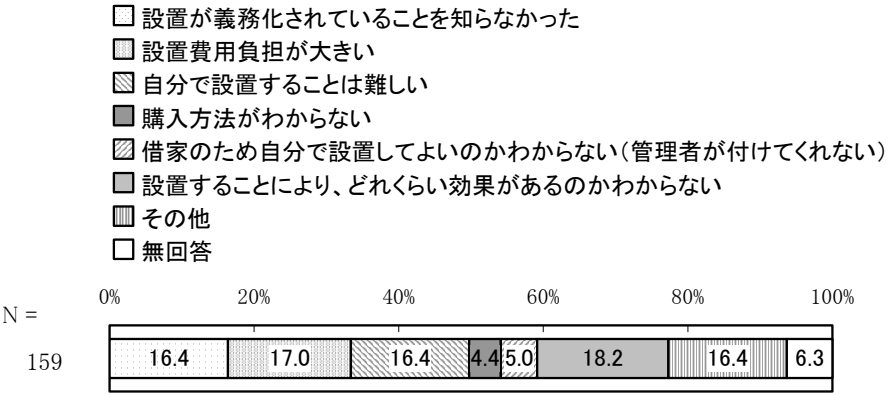
## 【住居の形態別】

住居の形態別でみると、他の住居の形態に比べ、一戸建て持ち家（家族名義を含む）で「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高く、6割を超えています。また、公団・公社の賃貸住宅、社宅・公務員住宅・社員寮、間借り・住み込みで「設置している」の割合が高く、9割を超えています。また、分譲マンション（家族名義を含む）、県営・市営住宅、社宅・公務員住宅・社員寮、間借り・住み込みで「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が高く、5割を超えています。



問 18-2 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つも設置していない方にお聞きします。今のところ設置していない理由は何ですか。(〇は1つ)

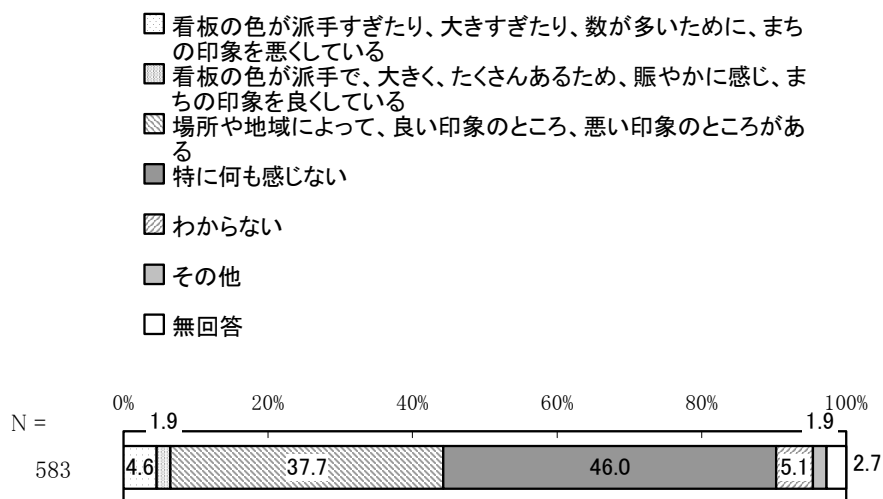
「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の割合が18.2%と最も高く、次いで「設置費用負担が大きい」の割合が17.0%、「設置が義務化されていることを知らなかった」、「自分で設置することは難しい」の割合が16.4%となっています。



## 7 屋外広告物について

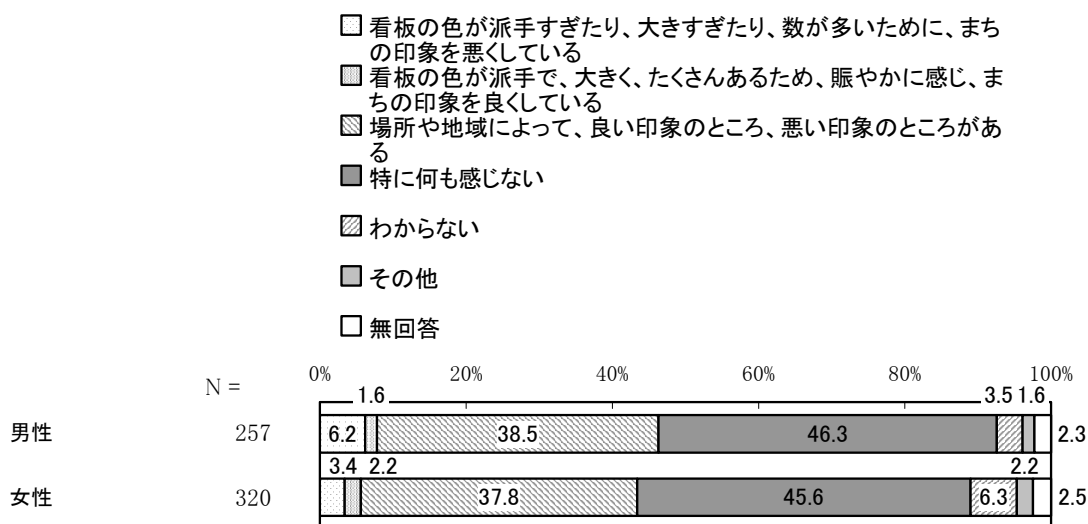
問 19 道路沿いや建物の外観に設置されている屋外の看板などについてどう感じますか。  
(○は1つ)

「特に何も感じない」の割合が46.0%と最も高く、次いで「場所や地域によって、良い印象のところ、悪い印象のところがある」の割合が37.7%となっています。



### 【性別】

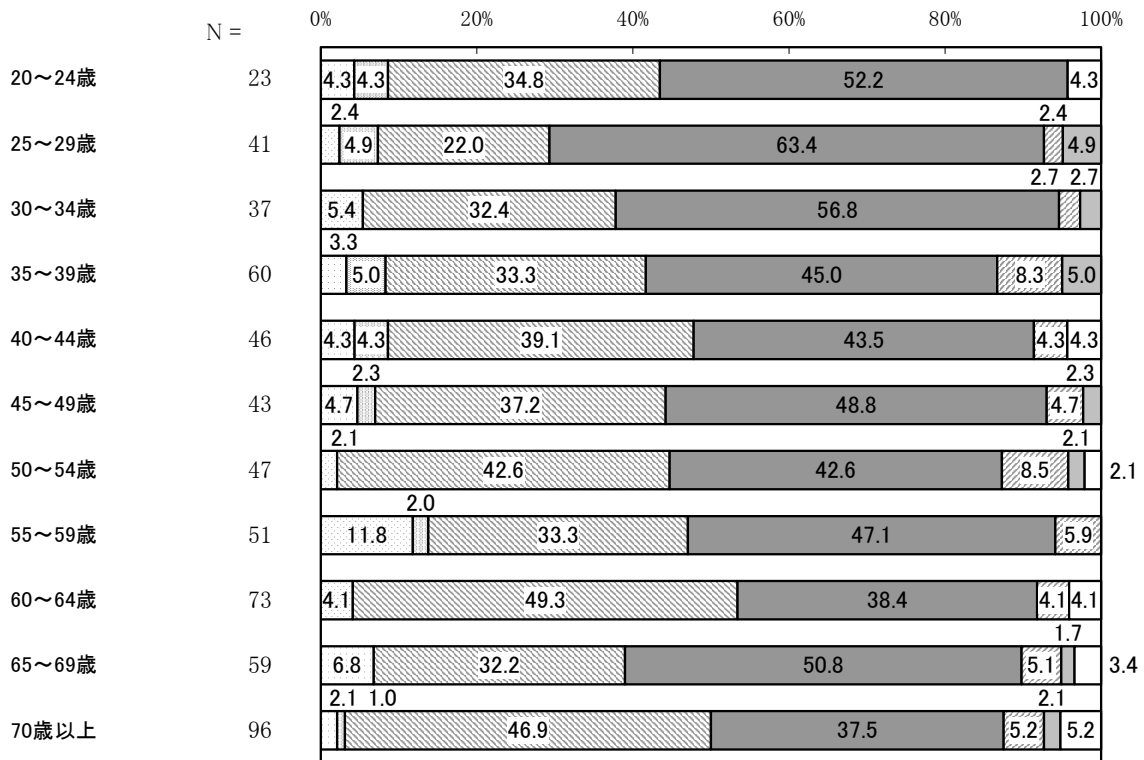
性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

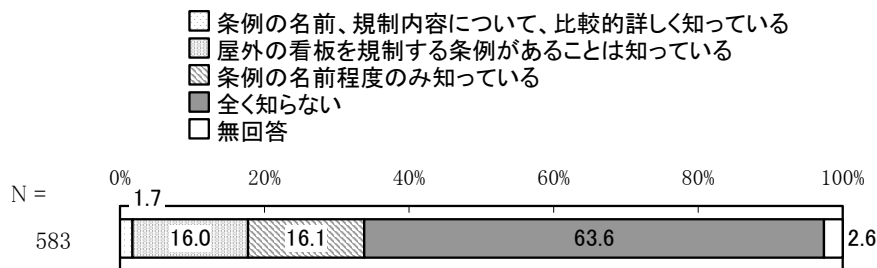
年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳、60～64歳、70歳以上で「場所や地域によって、良い印象のところ、悪い印象のところがある」の割合が高く、4割を超えています。また、34歳以下、65～69歳で「特に何も感じない」の割合が高く、5割を超えています。

- 看板の色が派手すぎたり、大きすぎたり、数が多いために、まちの印象を悪くしている
- 看板の色が派手で、大きく、たくさんあるため、賑やかに感じ、まちの印象を良くしている
- ▨ 場所や地域によって、良い印象のところ、悪い印象のところがある
- 特に何も感じない
- ▨ わからない
- その他
- 無回答



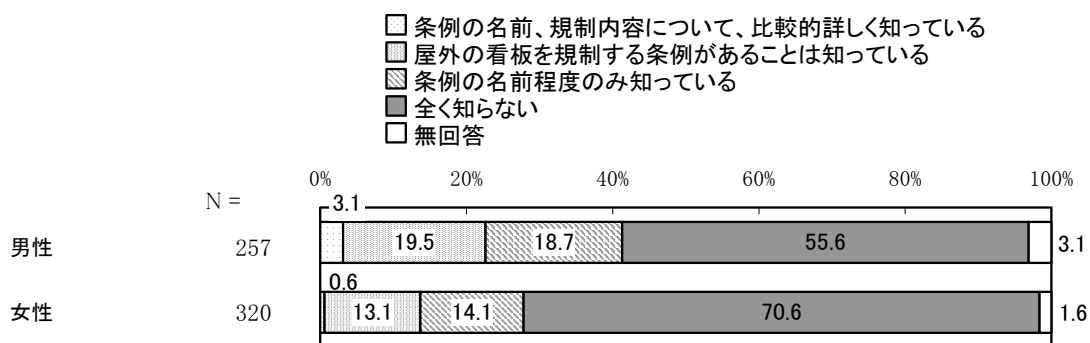
問 20 屋外の看板などを規制するために、「静岡県屋外広告物条例」がありますが、あなたはこの条例やこの内容について知っていますか。(○は1つ)

「全く知らない」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「条例の名前程度のみ知っている」の割合が 16.1%、「屋外の看板を規制する条例があることは知っている」の割合が 16.0%となっています。



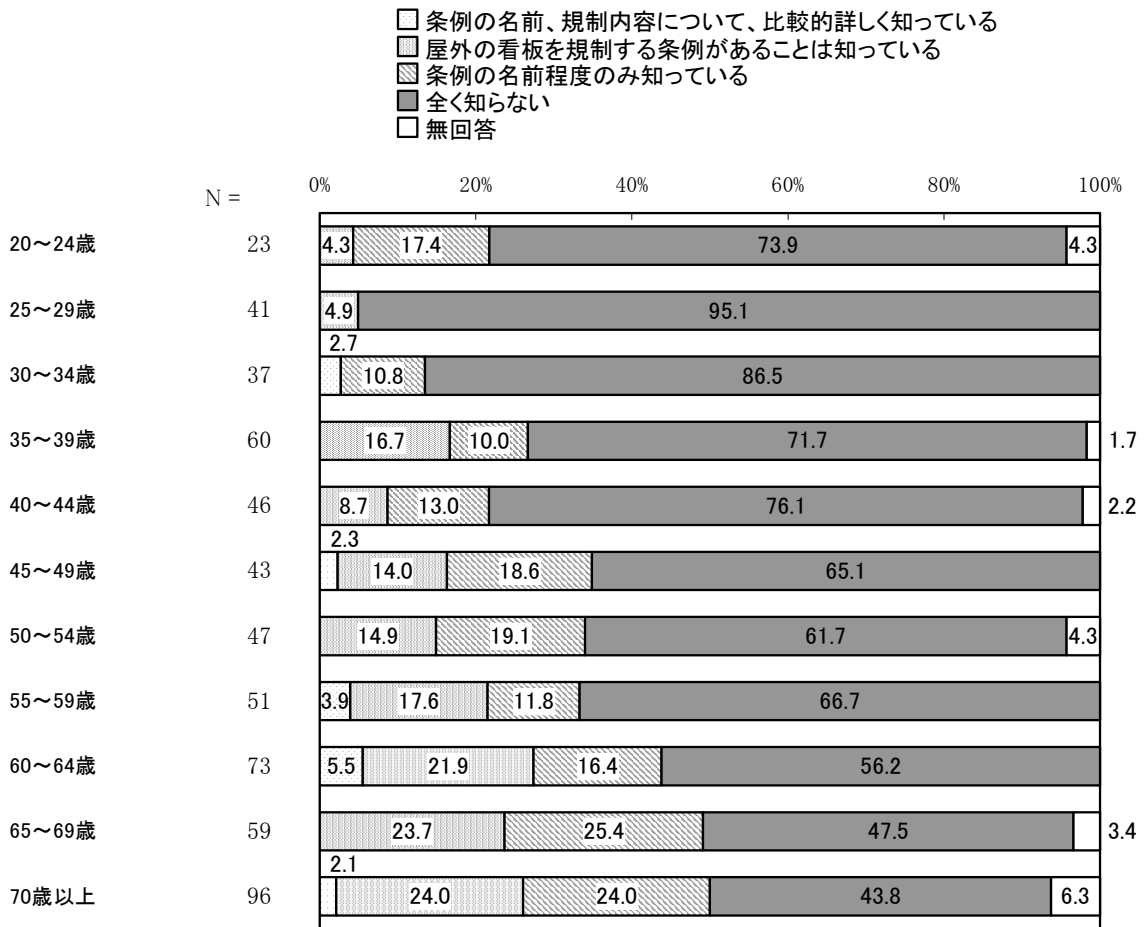
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「屋外の看板を規制する条例があることは知っている」の割合が高く、男性に比べ、女性で「全く知らない」の割合が高くなっています。



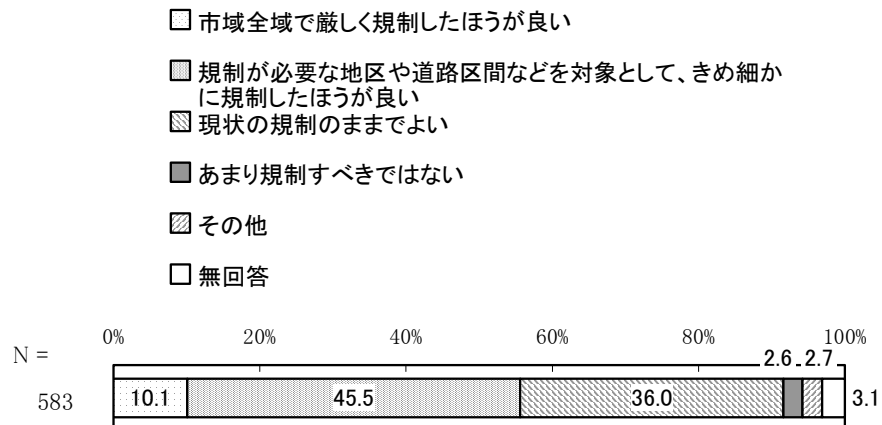
## 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「全く知らない」の割合が低くなる傾向があります。25～29歳では「全く知らない」の割合が9割を超えています。



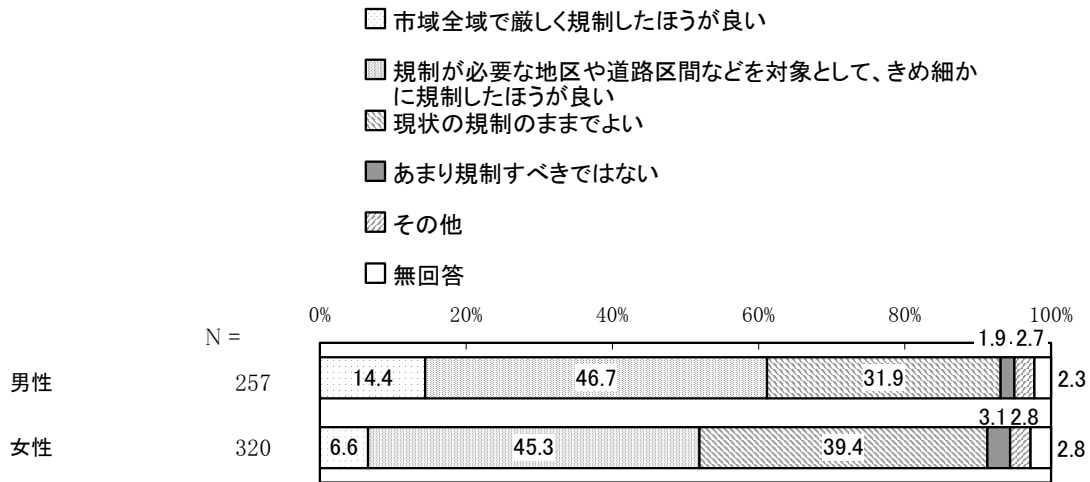
## 問 21 屋外の看板などを規制することについてどう思いますか。(○は1つ)

「規制が必要な地区や道路区間などを対象として、きめ細かに規制したほうが良い」の割合が45.5%と最も高く、次いで「現状の規制のままでよい」の割合が36.0%、「市域全域で厳しく規制したほうが良い」の割合が10.1%となっています。



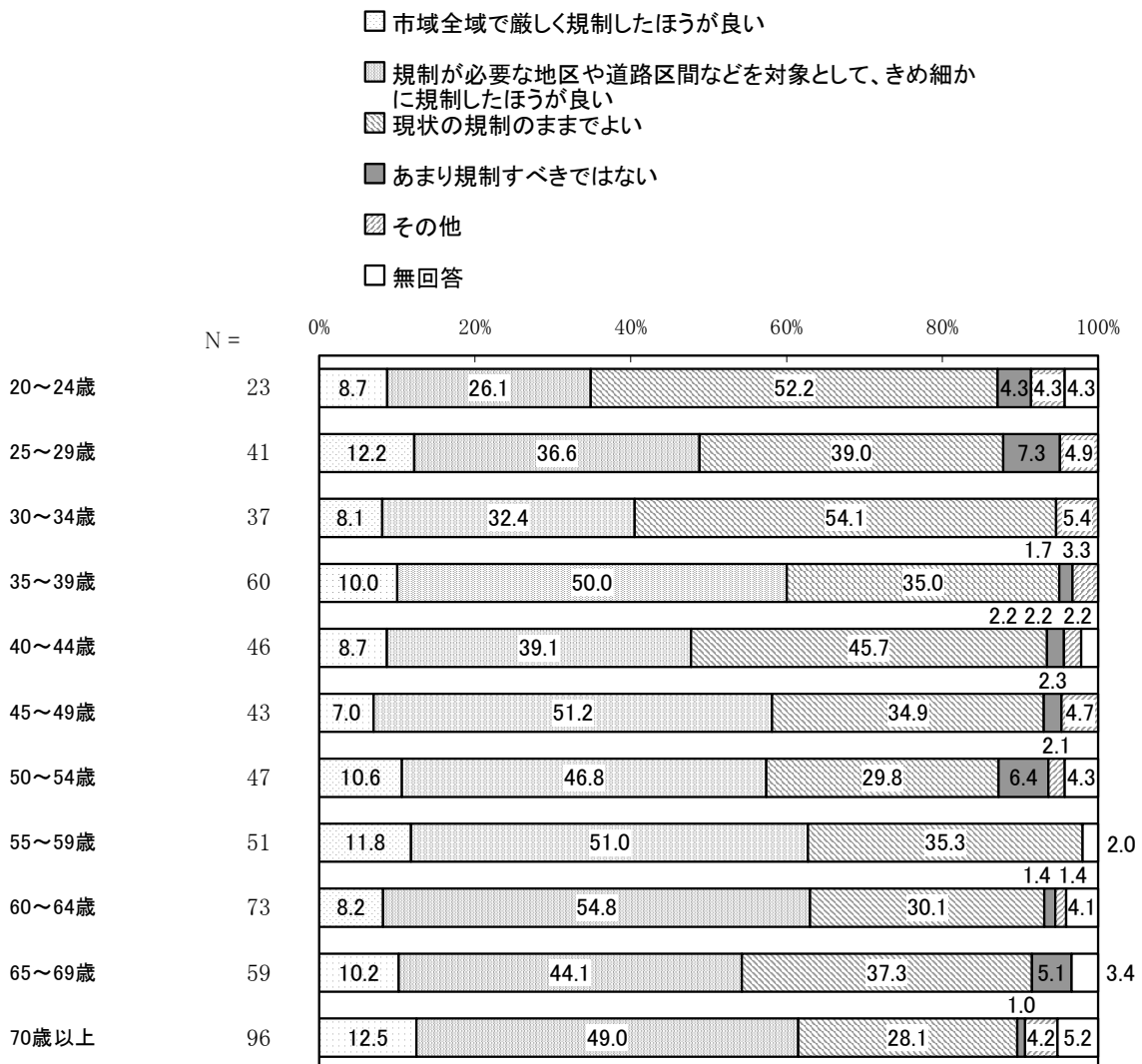
## 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「市域全域で厳しく規制したほうが良い」の割合が高く、男性に比べ女性で「現状の規制のままでよい」の割合が高くなっています。



## 【年代別】

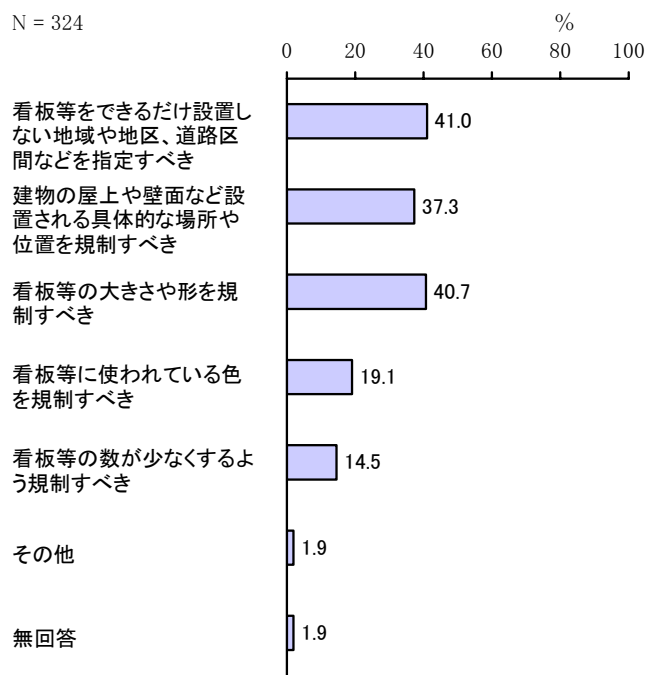
年代別で見ると、34歳以下で「規制が必要な地区や道路区間などを対象として、きめ細かに規制したほうが良い」の割合が低くなっています。





問 21-1 問 21 で、1 または 2 に○を付けた方にお聞きします。本市の屋外の看板などで、特にどのような点について規制すべきだと思いますか。(○はいくつでも)

「看板等をできるだけ設置しない地域や地区、道路区間などを指定すべき」の割合が 41.0% と最も高く、次いで「看板等の大きさや形を規制すべき」の割合が 40.7%、「建物の屋上や壁面など設置される具体的な場所や位置を規制すべき」の割合が 37.3% となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で「建物の屋上や壁面など設置される具体的な場所や位置を規制すべき」「看板等の大きさや形を規制すべき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	看板等をできるだけ設置しない地域や地区、道路区間などを指定すべき	建物の屋上や壁面など設置される具体的な場所や位置を規制すべき	看板等の大きさや形を規制すべき	看板等に使用されている色を規制すべき	看板等の数が少なくするように規制すべき	その他	無回答
男性	157	42.0	34.4	38.2	19.1	17.2	1.9	1.3
女性	166	39.8	39.8	42.8	18.7	11.4	1.8	2.4

## 【年代別】

年代別でみると、20～24歳、55～59歳で「建物の屋上や壁面など設置される具体的な場所や位置を規制すべき」の割合が高く、30～34歳、40～44歳、60～64歳、70歳以上で「看板等の大きさや形を規制すべき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	看板等をできるだけ設置しない地域や地区、道路区間などを指定すべき	建物の屋上や壁面など設置される具体的な場所や位置を規制すべき	看板等の大きさや形を規制すべき	看板等に使われている色を規制すべき	看板等の数が少なくなるよう規制すべき	その他	無回答
20～24歳	8	50.0	62.5	25.0	12.5	25.0	—	—
25～29歳	20	40.0	50.0	30.0	5.0	10.0	—	5.0
30～34歳	15	53.3	13.3	53.3	33.3	6.7	6.7	—
35～39歳	36	33.3	41.7	38.9	25.0	8.3	2.8	—
40～44歳	22	36.4	31.8	36.4	31.8	13.6	4.5	—
45～49歳	25	48.0	36.0	44.0	32.0	32.0	—	—
50～54歳	27	33.3	44.4	37.0	14.8	14.8	—	7.4
55～59歳	32	50.0	50.0	46.9	21.9	3.1	—	3.1
60～64歳	46	37.0	39.1	41.3	19.6	23.9	—	—
65～69歳	32	46.9	21.9	40.6	12.5	6.3	6.3	3.1
70歳以上	59	39.0	32.2	42.4	10.2	13.6	1.7	1.7

問22 今後、あなたが屋外の看板を地域景観と調和したものにしていくための取り組みについて具体的に何が出来ると思いますか。(〇はいくつでも)

「老朽化した看板や目立ちすぎる看板等の撤去活動」の割合が39.8%と最も高く、次いで「特になし」の割合が32.6%、「市内の屋外の看板等について、基準に合っているかなどのパトロール活動」の割合が15.4%となっています。

N = 583

市内の屋外の看板等について、基準に合っているかなどのパトロール活動

老朽化した看板や目立ちすぎる看板等の撤去活動

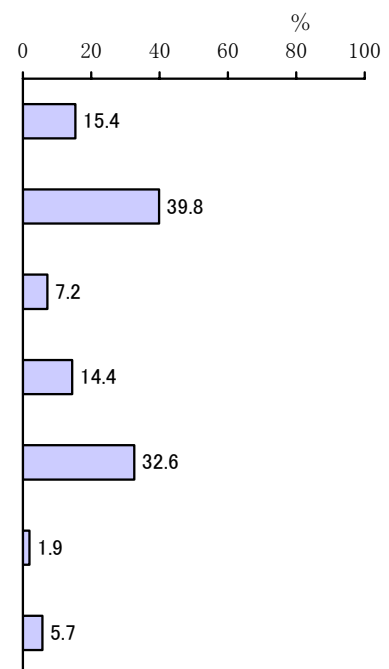
本市に相応しい看板等のあり方に関する検討会等への参加

活動はしないが、看板等に関する情報が欲しい

特になし

その他

無回答



## 【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「市内の屋外の看板等について、基準に合っているかなどのパトロール活動」「老朽化した看板や目立ちすぎる看板等の撤去活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市内の屋外の看板等について、基準に合っているかなどのパトロール活動	老朽化した看板や目立ちすぎる看板等の撤去活動	本市に相応しい看板等のある方に関する検討会等への参加	活動はしないが、看板等に関する情報が欲しい	特になし	その他	無回答
男性	257	19.1	45.1	8.6	13.6	27.6	2.7	4.3
女性	320	12.8	35.6	5.9	14.7	36.9	1.3	6.3

## 【年代別】

年代別でみると、34歳以下で「特になし」の割合が、45～49歳で「老朽化した看板や目立ちすぎる看板等の撤去活動」の割合が高くなっています。

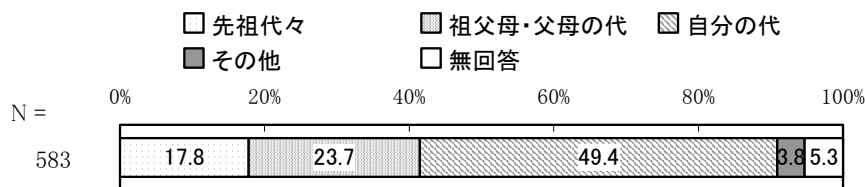
単位：％

区分	有効回答数(件)	市内の屋外の看板等について、基準に合っているかなどのパトロール活動	老朽化した看板や目立ちすぎる看板等の撤去活動	本市に相応しい看板等のある方に関する検討会等への参加	活動はしないが、看板等に関する情報が欲しい	特になし	その他	無回答
20～24歳	23	4.3	43.5	—	8.7	47.8	—	4.3
25～29歳	41	19.5	41.5	4.9	7.3	43.9	—	2.4
30～34歳	37	8.1	29.7	13.5	13.5	40.5	2.7	—
35～39歳	60	11.7	36.7	6.7	15.0	38.3	3.3	3.3
40～44歳	46	15.2	41.3	6.5	15.2	30.4	2.2	—
45～49歳	43	18.6	51.2	16.3	14.0	25.6	—	4.7
50～54歳	47	12.8	40.4	2.1	17.0	31.9	4.3	6.4
55～59歳	51	21.6	29.4	3.9	13.7	33.3	5.9	3.9
60～64歳	73	13.7	49.3	6.8	11.0	31.5	—	5.5
65～69歳	59	10.2	25.4	6.8	25.4	30.5	—	10.2
70歳以上	96	22.9	44.8	8.3	13.5	25.0	2.1	10.4

## 8 市営墓地について

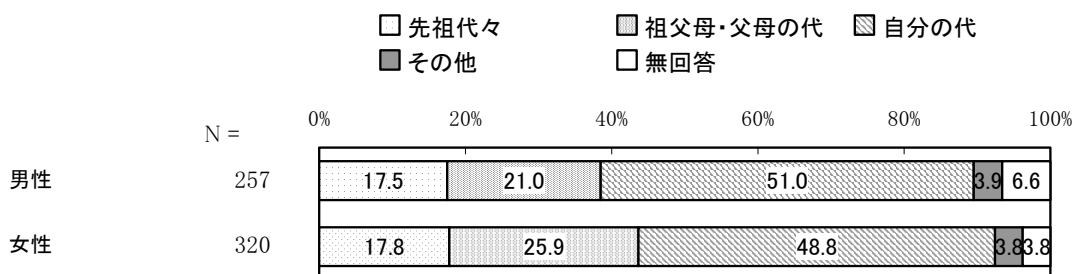
### 問 23 家族の居住年について。(〇は1つ)

「自分の代」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「祖父母・父母の代」の割合が 23.7%、「先祖代々」の割合が 17.8%となっています。



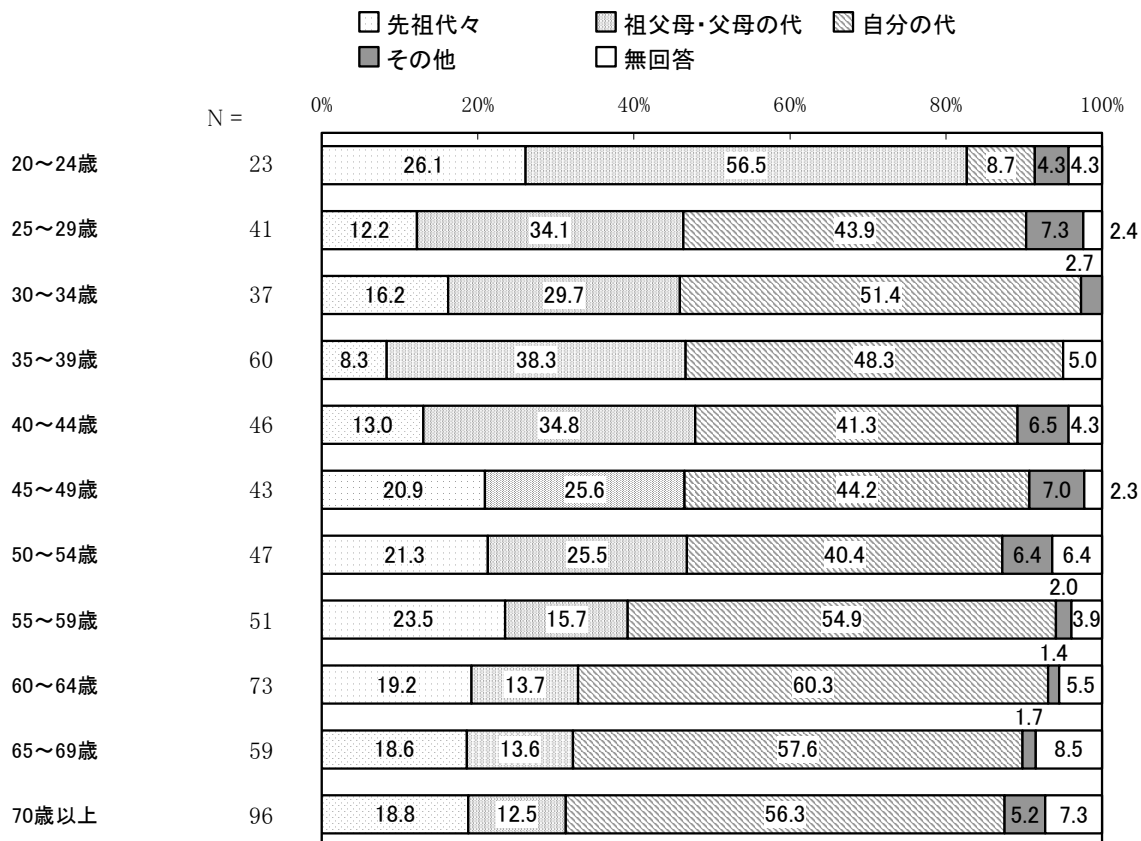
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自分の代」の割合が高くなっています。



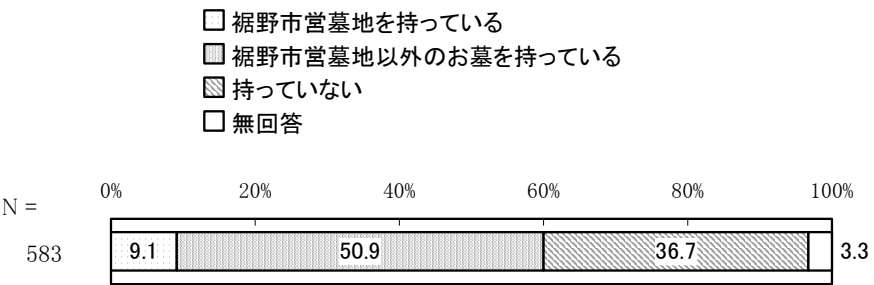
#### 【年代別】

年代別でみると、44歳以下で「祖父母・父母の代」の割合が、55歳以上で「自分の代」の割合が高くなる傾向がみられます。



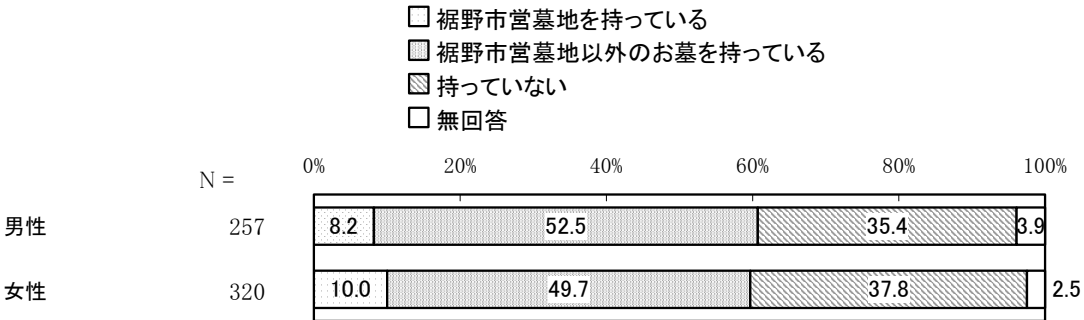
24 将来、ご自身が利用できるお墓(墓地・納骨堂)をすでにお持ちですか。(○は1つ)

「裾野市営墓地以外のお墓を持っている」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「持っていない」の割合が 36.7%となっています。



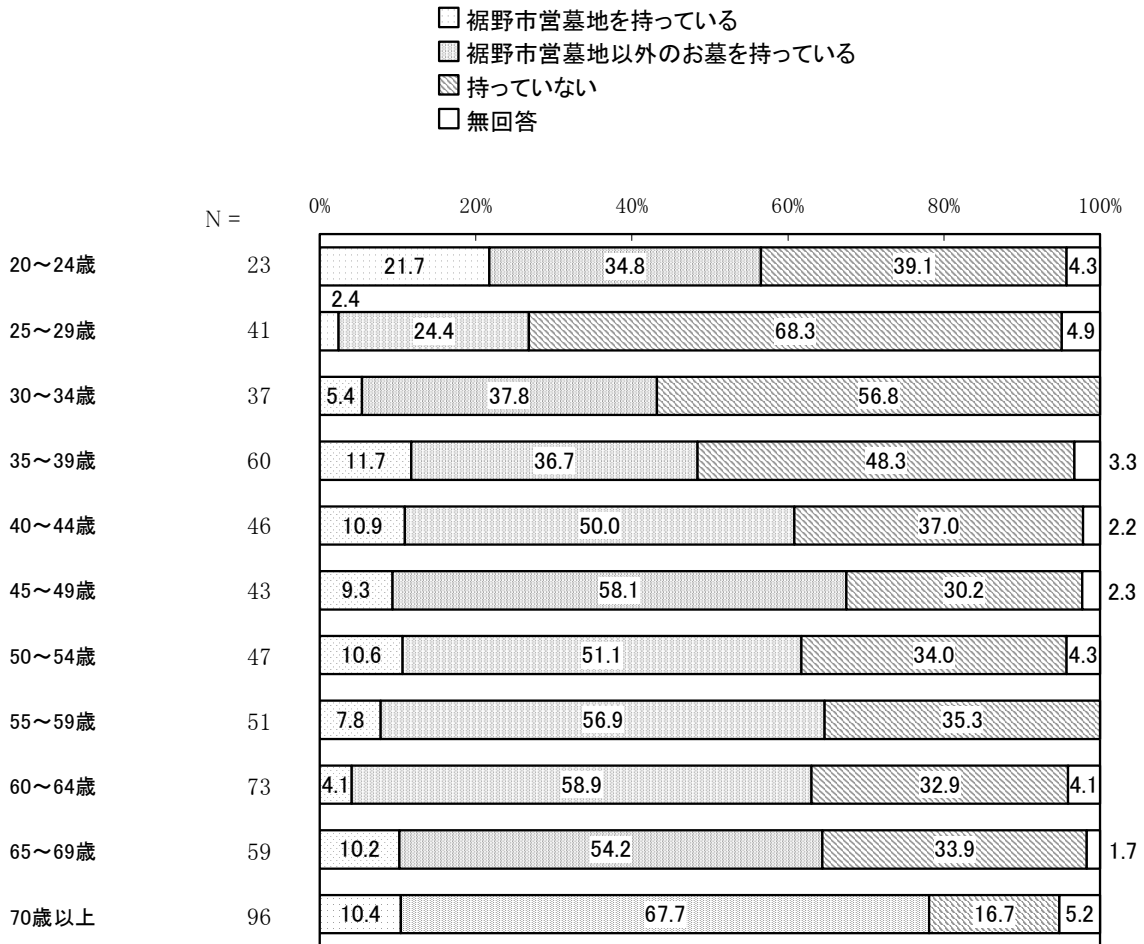
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



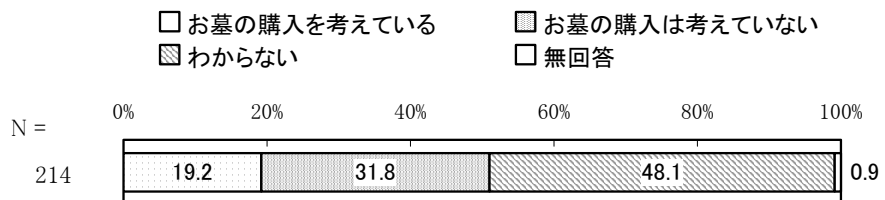
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「持っていない」の割合が低くなる傾向がみられます。



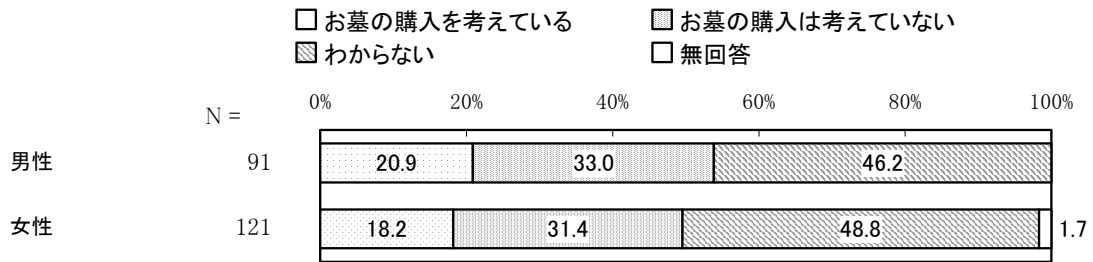
問 24-1 問 24 で「3 持っていない」と回答された方にお聞きします。お墓の購入を考えていますか。(○は1つ)

「わからない」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「お墓の購入は考えていない」の割合が 31.8%、「お墓の購入を考えている」の割合が 19.2%となっています。



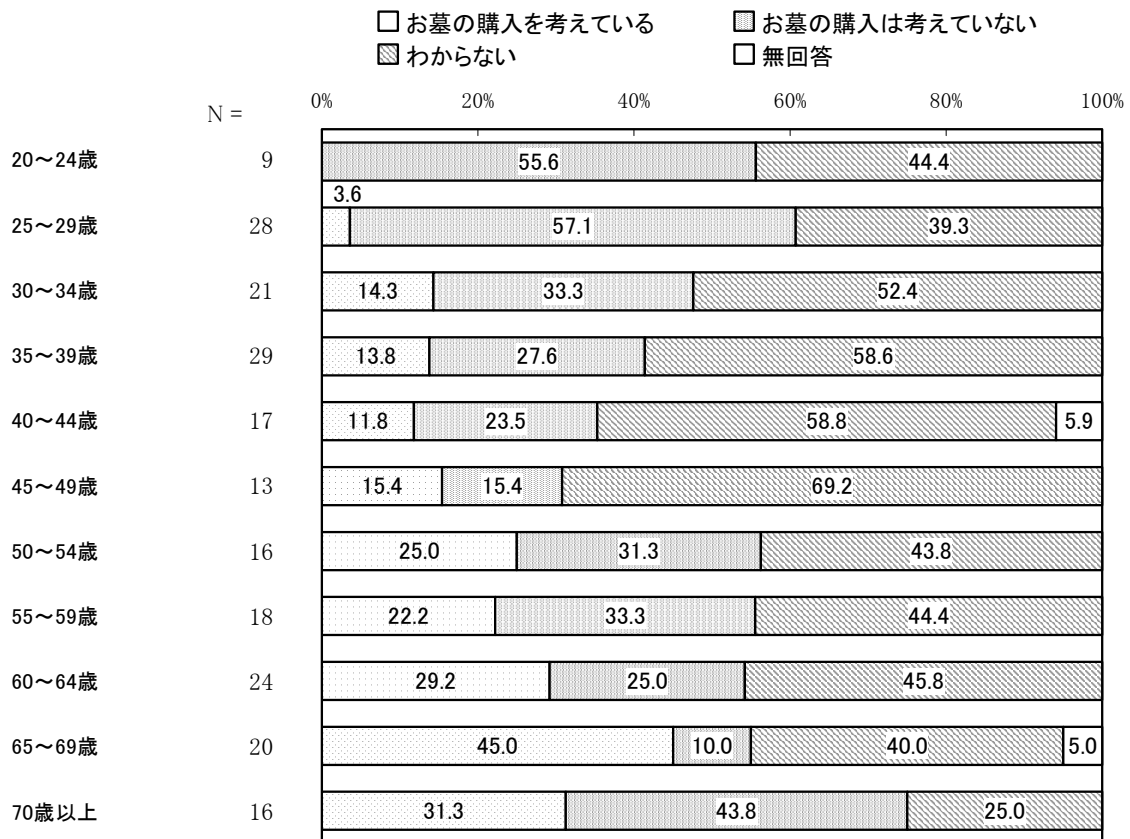
## 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



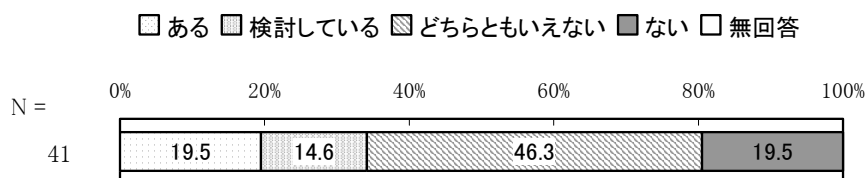
## 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「お墓の購入を考えている」の割合が高くなる傾向がみられ、65～69歳で最も高く、4割を超えています。



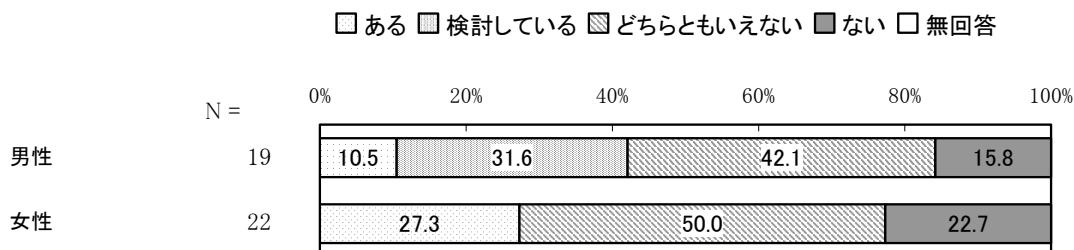
問 24-2 問 24-1 で「1 お墓の購入を考えている」と回答された方にお聞きします。  
 裾野市営墓地を購入する希望はありますか。(参考：裾野市営墓地 裾野市深良 4066  
 番地、標準タイプ 永代使用料 430,000 円、年間管理費 5,000 円) (○は1つ)

「どちらともいえない」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「ある」、「ない」の割合が 19.5%となっています。



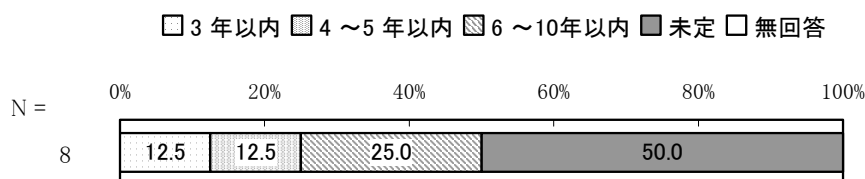
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「検討している」の割合が高くなっています。



問 24-3 問 24-2 で「1 ある」と回答された方にお聞きします。今後、お墓を購入される予定はいつですか。(○は1つ)

5割が「未定」となっています。





# IV 参考資料

## 1 調査票

### まちづくりにあなたの声を！

#### 裾野市市民意識調査ご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より裾野市政に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

裾野市では現在、将来の都市像「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現に向けて各種の施策を進めております。

裾野市では、市民のみなさまの意見を広く取り入れ、市民と行政が一体となつたまちづくりをめざして、「裾野市市民意識調査」を実施しております。この調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出した1,000人の方に回答をお願いしています。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは決してございません。

また、調査結果は広報紙、市のホームページに掲載し、諸施策推進のための基礎資料として活用させていただきます。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

ご記入後は同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**2月4日（水）**までにご投函くださいますようお願いいたします。

平成26年1月

裾野市長 大橋 俊二

#### 調査票 記入上の注意

- 1 宛名のご本人がご回答ください。
- 2 ご記入は、鉛筆または黒のボールペンをお使いください。
- 3 ご回答は、指示の数だけ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。
- 4 「その他（ ）」の場合には、番号に○をつけ、（ ）の中に具体的に  
にご記入ください。
- 5 調査票の最後にある記入式回答の  には、直接ご記入ください。
- 6 返信用封筒には、この調査票を三つ折にして封入し、ご投函ください。

※このアンケートについて、不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

裾野市企画部企画政策課 電話 995-1804

**最初に、あなた自身やご家族のことについてお聞きします。**

問1 あなたの性別は。(○は1つ)

1 男性  2 女性

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

1 20～24歳	2 25～29歳	3 30～34歳	4 35～39歳
5 40～44歳	6 45～49歳	7 50～54歳	8 55～59歳
9 60～64歳	10 65～69歳	11 70歳以上	

問3 現在、あなたは誰かと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続き柄で、同居している方をすべてお答えください。(○はいくつでも)

1 ひとり暮らし

2 妻または夫

3 子

4 親

問3-1 妻または夫と同居されている方にお聞きします。(○は1つ)

あなたとは共働きをしていますか。(○は1つ)

1 している  2 していない

問3-2 子と同居されている方にお聞きします。(○は1つ)

お父さんは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 一番上の子が小学校入学前  2 一番上の子が小学校在学中

3 一番上の子が中学校・高校在学中  4 一番上の子が大学・大学院・各種学校在学中

5 一番上の子が学校を卒業

問4 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

1 会社員(民間)  2 公務員・団体職員  3 農林業等の自営業

4 商工・サービス業等の自営業  5 自由業(開業医、弁護士、芸術家等)

6 パート・アルバイト  7 専業主婦(主夫)  8 学生  9 無職

問5 あなたの居住地は次のどれですか。(○は1つ)

1 須山  2 富岡  3 深良  4 東

5 西  6 千福が丘  7 企業団地

問6 あなたのお住まいの住宅は次のどれですか。(○は1つ)

1 一戸建て持ち家(家族名義を含む)  2 分譲マンション(家族名義を含む)

3 一戸建て借家  4 賃貸マンション  5 木造アパート

6 県営・市営住宅  7 公団・公社の賃貸住宅  8 社宅・公務員住宅・社員寮

9 間借り・住み込み  10 その他( )

問7 あなたは今のお住まいについてどこから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 昭和19年(1944年)以前	2 昭和20～29年(1945～1954年)
3 昭和30～39年(1955～1964年)	4 昭和40年～49年(1965～1974年)
5 昭和50～59年(1975～1984年)	6 昭和60～平成6年(1985～1994年)
7 平成7～11年(1995～1999年)	8 平成12～16年(2000～2004年)
9 平成17年(2005年)以降	

問8 これからも、現在の場所に住み続けたいと思いませんか。(○は1つ)

1 現在の場所に住み続けたい	2 市内の他の場所に移りたい
3 市外に移りたい	4 わからない

**市の政策全体についてお聞きします。**

問9 裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	2 まあまあ満足している	3 普通
4 やや不満	5 不満	

**お住まいの周辺環境についてお聞きします。**

問10 近隣市町にある公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めた、周辺環境についてお答えください。

(満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ○は1つずつ)

記 号 例	満足度					重要度		
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	とても重要	重要	それほど重要ではない
1	○	○	○	○	○	A	ⓑ	C
2	×	×	×	×	×	Ⓐ	B	C
3	○	○	○	○	○	A	B	C
4	○	○	○	○	○	A	B	C
5	○	○	○	○	○	A	B	C
6	○	○	○	○	○	A	B	C
7	○	○	○	○	○	A	B	C

	満足度			重要度	
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
8 不安のない消防体制と救急体制の充実	1	2	3	4	5
9 公園などの身近な緑地の環境整備	1	2	3	4	5
10 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備	1	2	3	4	5
11 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	1	2	3	4	5
12 鉄道やバスの便利さ	1	2	3	4	5
13 まちなみや自然の景観の美しさ	1	2	3	4	5
14 誰もが平等に情報を受け取ることができ る(広報紙・無線、ホームページ、メール など)環境	1	2	3	4	5
15 空気や河川の水のきれいさ	1	2	3	4	5
16 「悪臭のなさい」「散乱ごみの少なさ」	1	2	3	4	5
17 身近に住んでいる外国人とのトラブルの 少なさ	1	2	3	4	5
18 河川や水路の整備状況	1	2	3	4	5
19 「近くで買える物ができる」「家の周りが静 かである」など、まちの環境の快適度	1	2	3	4	5

**裾野市の取り組みについてお聞きします。**

問11 裾野市の行政としての取り組みについてお答えください。  
(満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ○は1つずつ)

記 例	満足度			重要度	
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	1	2	3	④	5
××××××××××××××××××	1	②	3	4	5
市が行う「健康づくりプログラム」の充 実感	1	2	3	4	5
市が行う「高齢者に対する施策」の充実 感	1	2	3	4	5
障がいのある人の社会参加と自立	1	2	3	4	5
安心して子育てができる環境の充実	1	2	3	4	5
小・中学校の「学力の養成」や「人間の 育成」についての取り組み	1	2	3	4	5
市が行う「生涯学習プログラム」の充実 度	1	2	3	4	5

	満足度			重要度	
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
7 次世代を担う青少年の育成	1	2	3	4	5
8 スポーツを習慣にした生活を送る環境の 整備	1	2	3	4	5
9 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化 に触れる機会の多さ	1	2	3	4	5
10 市民が関わることのできるまちづくり	1	2	3	4	5
11 わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応	1	2	3	4	5
12 日常生活や職場での「性別に関わらない 平等な環境」	1	2	3	4	5
13 ごみの不法投棄や公署への対策	1	2	3	4	5
14 リサイクルやごみの減量化等の環境に配 慮した取り組み	1	2	3	4	5
15 公園などの身近な緑地の環境整備	1	2	3	4	5
16 市内の土地利用のバランスの良さ	1	2	3	4	5
17 豊かで良質な水道水の確保	1	2	3	4	5
18 衛生的で快適な下水道の整備状況	1	2	3	4	5
19 工業を中心とした産業の浄化	1	2	3	4	5
20 農地利用や農業の活性化を目指した、農 林業の推進	1	2	3	4	5
21 にぎわいのある商業地づくりと、その ブランドの利用推進	1	2	3	4	5
22 新たな観光資源の創出と観光情報の発信	1	2	3	4	5
23 市の行う広報(広報紙・無線、報道など) の「わかりやすさ」や「情報の量」	1	2	3	4	5
24 市の「対応の早さ」など、行政運営の効 率化	1	2	3	4	5
25 市の「予算の使い方」などの財政運営の 効率化	1	2	3	4	5
26 市職員に仕事や地域活動を任せられる、 職員の信頼度	1	2	3	4	5
27 近隣市町との交流などの広域連携の促進	1	2	3	4	5

**健康についてお聞きします。**

問12 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 大いに健康	2 まあまあ健康
3 あまり健康ではない	4 わからない

問 13 ご自分の心配事や悩み事を相談できる相手や場所がありますか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

問 14 ご自身やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」をもっていますか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

**スポーツ活動についてお聞きします。**

問 15 あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 自信がある 2 普通である  
3 不安がある 4 わからない

問 16 この1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上)をどれくらいの頻度で行いましたか。(○は1つ)

- 1 ほぼ毎日(週に6~7回) 2 週に4~6回  
3 週に2~3回 4 週に1回  
5 月に1回以上 6 年に1回以上  
7 ほとんどスポーツや運動をしていない

問 16-1 問16で1~6に回答した方にお聞きします。

ふだん利用するスポーツ施設は次のどれにありませんか。(○はいくつでも)

- 1 市内の公共スポーツ施設 2 市内小・中等学校の体育館・グラウンド  
3 市内の民間スポーツ施設 4 市外のスポーツ施設  
5 その他 ( )  
6 スポーツ施設は利用していない

問 16-2 問16で「7 ほとんどスポーツや運動をしていない」に回答した方にお聞きします。

スポーツや運動を行わなかった理由は何か。(○はいくつでも)

- 1 仕事などで忙しく時間がない 2 病気、高齢など身体的な理由  
3 場所や施設が近くはない 4 施設や教室の利用時間が合わない  
5 一緒にする仲間がいない 6 指導者がいない  
7 お金がかかる 8 はじめるきっかけがない  
9 スポーツに関する情報が少ない 10 苦手、嫌い、興味が少ない  
11 その他 ( )  
12 特に理由はない

**住宅用火災警報器の設置についてお聞きします。**

※消防法が改正され、平成21年6月1日からご家庭に住宅用火災警報器等の設置が義務付けられました。

問 17 お住まいの住宅が建てられた時期について、該当するもの1つに○をつけてください。

(○は1つ)

- 1 平成18年5月以前 2 平成18年6月以降  
3 わからない

問 18 平成21年6月1日より、お住まいの住宅では、次の場所に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

・ 寝室

・ 階段(寝室が2階以上の階にある場合)

あなたがお住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。該当するもの1つに○をつけてください。(○は1つ)

- 1 設置している } 問 18-1へお進みください  
2 一部設置している }  
3 設置していない } 問 18-2へお進みください

問 18-1 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つ以上設置している方にお聞きします。

どのような経緯で設置にいたしましたか。(○は1つ)

- 1 自ら設置した(設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む)  
2 新築購入時に設置されていた  
3 家主が設置した  
4 管理者(管理組合・管理会社)が設置した  
5 わからない(入居時、既に設置してあった)  
6 その他 ( )

問 18-2 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つも設置していない方にお聞きします。

今のごところ設置していない理由は何ですか。(○は1つ)

- 1 設置が義務化されていることを知らなかった  
2 設置費用負担が大き  
3 自分で設置することは難しい  
4 購入方法がわからない  
5 借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者が付けてくれない)  
6 設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない  
7 その他 ( )

**屋外広告物についてお聞きします。**

問 19 道路沿いや建物の外観に設置されている屋外の看板などについてどう感じますか。

(○は1つ)

- 1 看板の色が派手すぎたり、大きすぎたり、数が多いために、まちの印象を悪くしている
- 2 看板の色が派手で、大きく、たくさんあるため、賑やかに感じ、まちの印象を良くしている
- 3 場所や地域によって、良い印象のところ、悪い印象のところがある
- 4 特に何も感じない
- 5 わからない
- 6 その他( )

問 20 屋外の看板などを規制するために、「静岡県屋外広告物条例」がありますが、あなたはこの条例やこの内容について知っていますか。(○は1つ)

- 1 条例の名称、規制内容について、比較的詳しく知っている
- 2 屋外の看板を規制する条例があることは知っている
- 3 条例の名称程度のみ知っている
- 4 全く知らない

問 21 屋外の看板などを規制することについてどう思いますか。(○は1つ)

- 1 市域全域で厳しく規制したほうが良い
- 2 規制が必要な地区や道路区間などを対象として、きめ細かに規制したほうが良い
- 3 現状の規制のままでもよい
- 4 あまり規制すべきではない
- 5 その他( )

問 21-1 問 21 で、1 または 2 に○を付けた方にお聞きします。

本市の屋外の看板などで、特にどのような点について規制すべきだと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 看板等をできるだけ設置しない地域や地区、道路区間などを指定すべき
- 2 建物の屋上や壁面などに設置される具体的な場所や位置を規制すべき
- 3 看板等の大きさや形を規制すべき
- 4 看板等に使われている色を規制すべき
- 5 看板等の数が少なくなるよう規制すべき
- 6 その他( )

問 22 今後、あなたが屋外の看板を地域景観と調和したものにしていこうと決めた取り組みについて具体的に何が出来ると思いますか。(○はいくつでも)

- 1 市内の屋外の看板等について、基準に合っているかなどのパトロール活動
- 2 老朽化した看板や目立ちすぎざる看板等の撤去活動
- 3 本市に相応しい看板等のあり方に関する検討会等への参加
- 4 活動はしないが、看板等に関する情報が欲しい
- 5 特になし
- 6 その他( )

**市営墓地についてお聞きします。**

問 23 家族の居住年について。(○は1つ)

- 1 先祖代々
- 2 祖父母・父母の代
- 3 自分の代
- 4 その他( )

問 24 将来、ご自身が利用できるお墓(墓・納骨堂)をすでにお持ちですか。(○は1つ)

- 1 裾野市営墓地を持っている
- 2 裾野市営墓地以外のお墓を持っている
- 3 持っていない

問 24-1 問 24 で「3 持っていない」と回答された方にお聞きします。

お墓の購入を考えていますか。(○は1つ)

- 1 お墓の購入を考えている
- 2 お墓の購入は考えていない
- 3 わからない

問 24-2 問 24-1 で「1 お墓の購入を考えている」と回答された方にお聞きします。

裾野市営墓地を購入する希望はありますか。(参考：裾野市営墓地 裾野市深良 4066 番地、標準タイプ 永代使用料 430,000 円、年間管理費 5,000 円) (○は1つ)

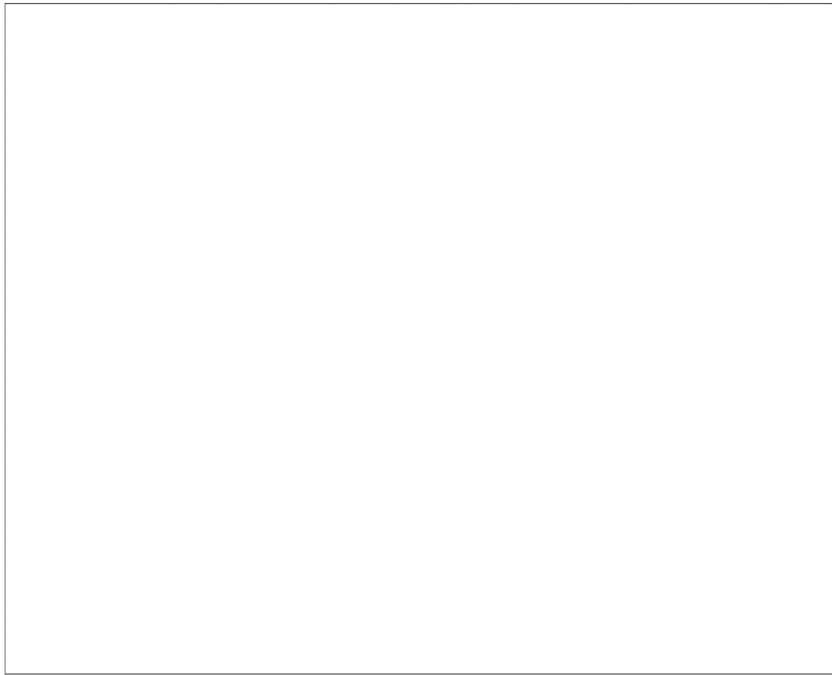
- 1 ある
- 2 検討している
- 3 どちらともいえない
- 4 ない

問 24-3 問 24-2 で「1 ある」と回答された方にお聞きします。

今後、お墓を購入される予定はいつですか。(○は1つ)

- 1 3年以内
- 2 4~5年以内
- 3 6~10年以内
- 4 未定

その他、ご意見がありましたらご自由にお書きください。



アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

裾野市市民意識調査  
報 告 書

平成 26 年 3 月 発行

裾野市 企画部 企画政策課

〒410-1192

静岡県裾野市佐野 1059 番地

T E L 055-995-1804

F A X 055-995-1861